

# 男女共同参画に関する町民の意識調査

平成23年10月

邑 南 町

## 目 次

調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
-------------------------------	---

### 調査結果の概要

1. 男女の役割などについて・・・・・・・・・・	3
2. 女性の社会参画について・・・・・・・・	3
3. 女性と仕事について・・・・・・・・・・	3
4. 仕事と家庭・地域活動について・・・・・・・・	4
5. 女性の人権・・・・・・・・・・・・・・・・	4
6. 男女共同参画政策について・・・・・・・・	4

### 調査結果の分析

#### 第1章 男女の役割などについて

1. 性別役割等に関する意識・・・・・・・・	6
2. 各分野における男女の地位の平等感・・・・・・・・	27
3. 社会全体における男女の地位の平等感・・・・・・・・	44
4. 男性が優遇されている原因・・・・・・・・	46

#### 第2章 女性の社会参画について

1. 女性の社会参画を推進する方策・・・・・・・・	48
2. 女性の意見の反映度・・・・・・・・・・	50
3. 女性の意見が反映されない理由・・・・・・・・	53

#### 第3章 女性と仕事について

1. 女性の就業パターン・・・・・・・・・・	55
2. 女性の働き続けやすさ・・・・・・・・・・	61
3. 女性が働き続けるうえでの障害・・・・・・・・	64

## 第4章 仕事と家庭・地域活動について

1. 仕事と家庭・地域活動についての考え方・・・・・・・・・・ 66
2. 日常生活における家庭の仕事等の役割分担・・・・・・・・ 72
3. 男性の家庭・地域活動への参加のために必要なこと・・・ 79
4. 仕事以外の活動の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
5. 参加していない理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
6. 参加してみたい活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85

## 第5章 女性の人権について

1. セクシュアル・ハラスメントの経験・・・・・・・・・・ 87
2. ドメスティック・バイオレンスの経験・・・・・・・・・・ 90

## 第6章 男女共同参画政策について

1. 男女共同参画政策について・・・・・・・・・・・・・・・・ 93

- . 自由回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
- . 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 123

## . 調 査 の 概 要

## 1．調査目的

この調査は、男女共同に関する町民の生活実態と意識、要望等を把握し、平成17年に実施した同調査を基礎資料として策定した「邑南町男女共同参画計画」の評価、分析を行い、同計画の見直しを行うために行ったものである。

## 2．調査の設計

### (1) 調査の範囲および対象

邑南町内に居住する満20歳以上の男女800人を選挙人名簿から無作為に抽出（実発送は770人）

### (2) 調査の方法と実施時期

郵送配布・郵送回収により実施

平成23年 9月28日発送

10月14日回収締切

### (3) 調査の内容

平成17年の調査と同じ内容とし、性別役割、女性の社会参画、女性と仕事、仕事と家庭生活・地域活動、女性の人権、男女共同参画政策など、男女共同参画に関わる課題などについて、全19問のアンケート

## 3．回収結果

### (1) 回収数 330人（女性180人、男性145人、不詳5人）

回収率 42.9%

（前回比 49人、 4.5%）

## 4．調査結果利用上の注意

集計結果は、原則として標本数に対する百分比（%）で、小数第2位を四捨五入して小数第1位までを表示している。したがって、構成比を合計しても100%にならないことがある。

## 5. 回答者の特性

60歳以上は13.9%で、前回の58.0%と状況は異なっている。

		実数(人)			構成比(%)			前回比(構成比変動 %)		
		全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
総数		330	180	145	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
性別	女性	180	180	0	54.5	100.0	0.0	0.7	0.0	0.0
	男性	145	0	145	43.9	0.0	100.0	5.3	0.0	0.0
	無回答	5	0	0	1.5	0.0	0.0	64.3	0.0	0.0
年代	20代	32	19	13	9.7	10.6	9.0	115.6	140.9	76.5
	30代	62	33	29	18.8	18.3	20.0	208.2	238.9	163.2
	40代	69	38	31	20.9	21.1	21.4	97.2	97.2	87.7
	50代	116	61	55	35.2	33.9	37.9	90.3	78.4	93.4
	60代	45	28	16	13.6	15.6	11.0	18.1	8.8	35.7
	70代以上	1	0	1	0.3	0.0	0.7	99.3	100.0	98.2
	無回答	6	1	0	1.8	0.6	0.0	25.0	40.0	0.0
職業	勤め人(常勤)	164	68	96	49.7	37.8	66.2	121.9	121.1	109.5
	勤め人(臨時等)	73	61	12	22.1	33.9	8.3	140.2	156.8	62.7
	自営業(農林業)	11	3	8	3.3	1.7	5.5	97.1	61.4	77.2
	自営業(その他)	24	7	16	7.3	3.9	11.0	15.9	20.4	23.6
	家族従業者(農林業)	3	1	2	0.9	0.6	1.4	83.6	90.5	68.2
	家族従業者(その他)	9	7	2	2.7	3.9	1.4	107.7	160.0	7.7
	家事専業	27	27	0	8.2	15.0	0.0	36.4	33.0	100.0
	学生	8	6	2	2.4	3.3	1.4	700.0	0.0	133.3
	無職	14	4	10	4.2	2.2	6.9	81.1	91.5	61.0
	無回答	6	1	1	1.8	0.6	0.7	73.9	86.4	86.3
配偶関係	配偶者あり	233	134	98	70.6	74.4	67.6	3.4	6.0	16.5
	配偶者と離・死別	26	16	10	7.9	8.9	6.9	52.4	60.3	22.5
	未婚	62	26	36	18.8	14.4	24.8	241.8	227.3	226.3
	無回答	9	4	1	2.7	2.2	0.7	42.6	24.1	72.0
共働き	共働き	174	97	77	52.7	53.9	53.1	1.3	14.2	11.8
	共働きでない	57	35	21	17.3	19.4	14.5	61.4	61.2	62.9
	無回答	2	2	0	0.6	1.1	0.0	66.7	60.7	100.0
配偶者の職業	勤め人(常勤)	129	85	44	39.1	47.2	30.3	30.3	25.9	33.5
	勤め人(臨時等)	43	11	32	13.0	6.1	22.1	38.3	8.9	56.7
	自営業(農林業)	9	9	0	2.7	5.0	0.0	76.7	57.6	100.0
	自営業(その他)	22	17	5	6.7	9.4	3.4	15.5	13.3	9.7
	家族従業者(農林業)	8	6	2	2.4	3.3	1.4	69.6	21.4	87.2
	家族従業者(その他)	3	2	1	0.9	1.1	0.7	59.1	47.6	69.6
	家事専業	10	0	10	3.0	0.0	6.9	70.3	100.0	51.1
	学生	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	15	10	5	4.5	5.6	3.4	76.4	73.1	78.2
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
世帯状況	単身世帯	21	11	10	6.4	6.1	6.9	32.6	50.0	35.3
	夫婦のみの世帯	46	23	23	13.9	12.8	15.9	53.8	54.0	52.5
	親子2世代	167	96	70	50.6	53.3	48.3	68.1	85.1	41.2
	親子孫3世代以上	82	42	40	24.8	23.3	27.6	9.3	0.4	17.9
	その他	11	10	1	3.3	5.6	0.7	26.9	180.0	81.6
	無回答	7	2	1	2.1	1.1	0.7	58.0	81.4	0.0
地域	羽須美	46	21	25	13.9	11.7	17.2	0.7	22.5	29.3
	瑞穂	129	74	54	39.1	41.1	37.2	6.5	2.8	6.9
	石見	148	83	65	44.8	46.1	44.8	2.4	5.0	11.5

## . 調 査 結 果 の 概 要

回答者のうち40歳代と50歳代が56.1%を占め、70歳代以上については0.3%と極端にサンプル数が少ないため、極端な結果が出ている場合がある。

## 1. 男女の役割などについて

### (1) 性別役割分担に関する意識(問1)

性別役割分担意識については、男女とも同程度で否定意見の方向にあり、前回調査と比べても、否定の方向に大きく変化している。

### (2) 男女の地位の平等感(問2、問3、問4)

男女の地位の平等感については、分野別では、前回調査と比べ、平等感は上がっているものの、男性優遇と感じている分野が多い。社会全体では、平等感は低く男性優遇と感じている割合が非常に高い。男性優遇の原因としては、「社会通念・慣習・しきたりが強いから」が突出して高くなっている。

## 2. 女性の社会参画について

### (1) 女性の社会参画を推進する方策について(問5)

「男性も女性も対等に、仕事と家庭の両立を支援する体制に整備を図る」「家事、育児、介護などの家族的責任を男性(夫)にも平等に担ってもらう」の順に高くなっていて、前回調査と同傾向である。

### (2) 女性の意見の反映度(問6、問7)

女性の意見が町の政策に「反映されている」が前回調査よりも増加し、半数以上を占めている。

## 3. 女性と仕事について

### (1) 女性の就業パターン(問8、問9、問10)

「子どもができてずっと仕事を続ける方がよい(就労継続型)」が前回調査よりも大きく増加し半数以上を占め、「子どもができたらず仕事をやめ、大きくなったら再び仕事に就く方がよい(中断・再就労型)」と逆転している。

しかしながら、「女性の働き続けやすさ」では、「働き続けにくい」が更



に増加し66%以上となっている。

働き続ける上での障害としては、「育児・介護施設が十分に整備されていない」「短期契約・パートタイム・臨時雇いなど不安定な雇用形態が多い」が半数以上をしめている。

#### 4．仕事と家庭・地域活動について

##### (1) 仕事と家庭・地域活動についての考え方(問11～問16)

男女それぞれの望ましい生き方においては、ともに「両立派」が半数以上を占めているが、家庭における家事・育児は「妻がすることが多い」が高くなっている。

#### 5．女性の人権について

##### (1) 女性への暴力について(問17、問18)

セクシャル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンスともに、認知度は非常に高くなっている。しかしながら、「自分・身近な人に経験あり」も増加し20%以上となっている。

#### 6．男女共同参画政策について

##### (1) 男女共同参画政策について(問19)

「男女ともに育児・介護休暇が取得しやすい職場環境の整備を企業等に呼びかけていく」が最も高く「男女に均等な雇用環境の整備を企業等に呼びかけていく」「介護サービスを充実させる」と続くが、いずれも半数以上を占めていて、特に企業等の体質改善を政策に求める意識が非常に高くなっている。

#### 7．総論

本計画や上位計画をはじめ他の計画の執行、増加する事件、絶えず提供される報道など、女性をとりまく環境が、様々な形で情報として伝えられてきていることや、社会における経済活動や雇用情勢の低下などの社会背景、そうしたことが、意識のうえでは、男女共同参画に前向きな方向に大きく進み、改善を望む意識も高まってきている。

しかし、実態については、女性に家事・育児・介護への負担が高くなっていて、女性の働く環境も改善されていないようである。また、社会全体で経

済・雇用環境が厳しく、一方では、高齢化によりどうしても介護の機会が増加している。

そうしたことから、職を失うことなく、育児・介護休暇の取得が容易にできる状況をつくること、また介護施設を充実することにより、安心して働き、暮したいという気持ちが高まり、そうした政策を求める声が多いのは当然のことだと思われる。

以上のことから、本計画の改訂にあたっては、これらの点に留意し、引き続き啓発活動を推進するとともに、誰もが、支えあうことにより、安心して働け、心豊かに暮らせる社会の構築を目指すことを基本とした。

## . 調 査 結 果 の 分 析

## 第1章 男女の役割などについて

### 1. 性別役割等に関する意識（問1）

（図1 - 1、図1 - 1 - 1）

全体的にみると、性別役割に肯定的なもの（5割を超えていたもの）は、  
「女性には細やかな気配りが、男性にはいざという時の決断力が必要だ」64.9%  
だけとなっている。

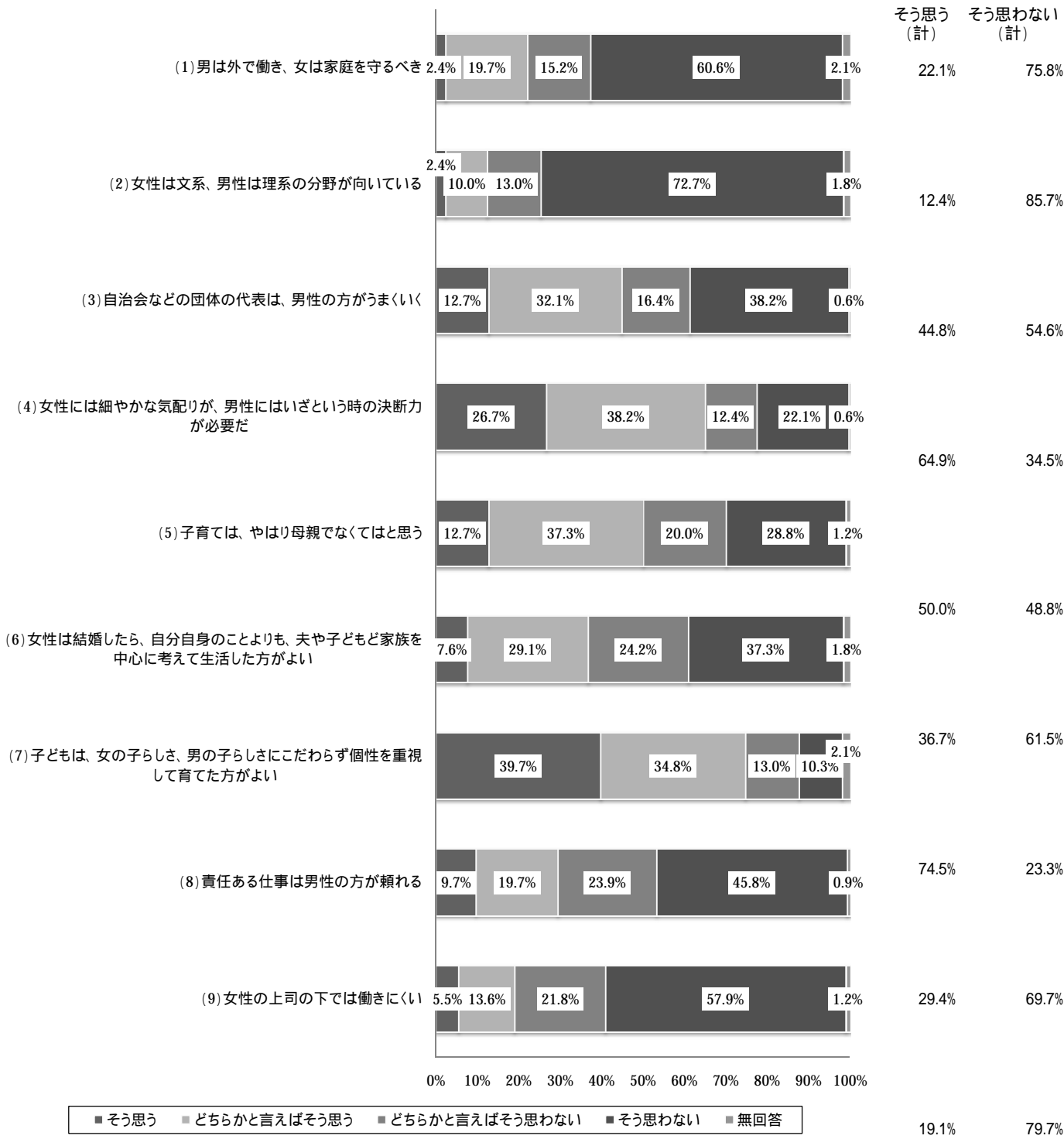
逆に、役割分担に否定的なものは、  
「女性は文系、男性は理系の分野が向いている」85.7%  
「女性の上司の下では働きにくい」79.7%  
「男は外で働き、女は家庭を守るべき」75.8%  
「子どもは、女の子らしさ、男の子らしさにこだわらず個性を子育ては、やはり母親でなくてはと思う」74.5%  
となっている。

性別でみると、「自治会などの団体の代表は、男性の方がうまくいく」について、  
女性が肯定的に対し、男性が否定的と、反対の結果が出ているが、他は男女ともに同  
程度で否定意見の傾向にある。

各項目について、前回の調査と比較すると否定の方向に大きく変化している。

図1 - 1

性別役割等に関する意識  
問1 次にあげることがらについて、あなたはどのように思いますか。( はそれぞれ1つずつ)  
(n = 330)

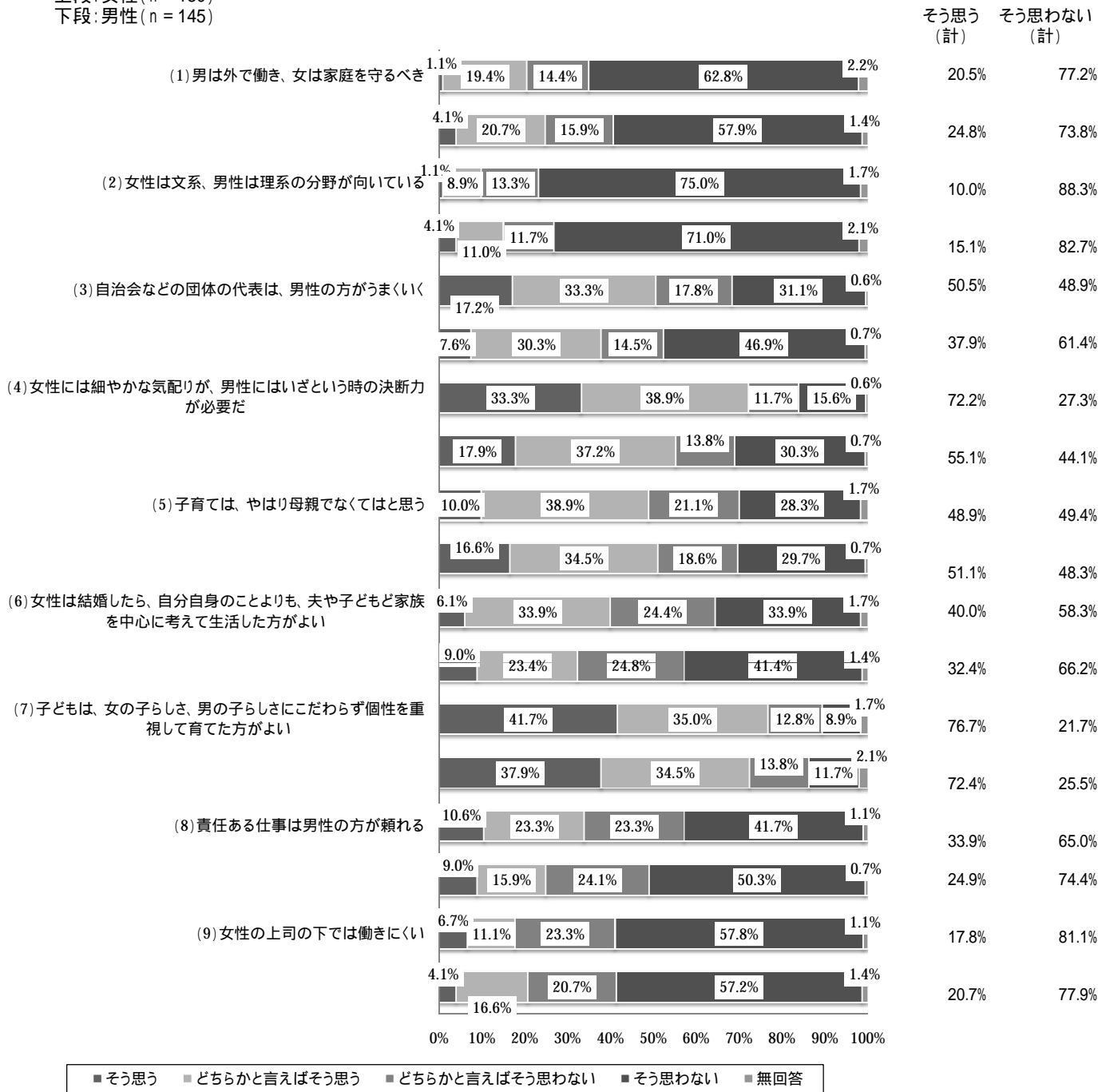


前回との比較

区分	今回		前回		比較増減	
	そう思う	思わない	そう思う	思わない	そう思う	思わない
(1) 男は外で働き、女は家庭を守るべき	22.1%	75.8%	39.3%	52.2%	-17.2%	23.6%
(2) 女性は文系、男性は理系の分野が向いている	12.4%	85.7%	22.4%	62.5%	-10.0%	23.2%
(3) 自治会などの団体の代表は、男性の方がうまくいく	44.8%	54.6%	58.0%	33.8%	-13.2%	20.8%
(4) 女性には細やかな気配りが、男性にはいざという時の決断力が必要だ	64.9%	34.5%	76.3%	16.9%	-11.4%	17.6%
(5) 子育ては、やはり母親でなくてはと思う	50.0%	48.8%	67.5%	24.5%	-17.5%	24.3%
(6) 女性は結婚したら、自分自身のことよりも、夫や子どもと家族を中心に考えて生活した方がよい	36.7%	61.5%	53.8%	38.8%	-17.1%	22.7%
(7) 子どもは、女の子らしさ、男の子らしさにこだわらず個性を重視して育てた方がよい	74.5%	23.3%	76.0%	16.1%	-1.5%	7.2%
(8) 責任ある仕事は男性の方が頼れる	29.4%	69.7%	51.2%	40.1%	-21.8%	29.6%
(9) 女性の上司の下では働きにくい	19.1%	79.7%	34.3%	54.1%	-15.2%	25.6%

図 1 - 1 - 1

性別役割等に関する意識 (性別)  
上段: 女性 (n = 180)  
下段: 男性 (n = 145)



前回との比較

区分	男女別	今回		前回		比較増減	
		そう思う	思わない	そう思う	思わない	そう思う	思わない
(1) 男は外で働き、女は家庭を守るべき	女	20.5%	77.2%	38.4%	53.2%	-17.9%	24.0%
	男	24.8%	73.8%	40.5%	55.1%	-15.7%	18.7%
(2) 女性は文系、男性は理系の分野が向いている	女	10.0%	88.3%	22.7%	59.6%	-12.7%	28.7%
	男	15.1%	82.7%	22.8%	70.3%	-7.7%	12.4%
(3) 自治会などの団体の代表は、男性の方がうまくいく	女	50.5%	48.9%	64.0%	29.1%	-13.5%	19.8%
	男	37.9%	61.4%	53.8%	41.1%	-15.9%	20.3%
(4) 女性には細やかな気配りが、男性にはいざという時の決断力が必要だ	女	72.2%	27.3%	77.8%	15.8%	-5.6%	11.5%
	男	55.1%	44.1%	77.8%	19.6%	-22.7%	24.5%
(5) 子育ては、やはり母親でなくてはと思う	女	48.9%	49.4%	68.0%	26.1%	-19.1%	23.3%
	男	51.1%	48.3%	70.9%	23.4%	-19.8%	24.9%
(6) 女性は結婚したら、自分自身のことよりも、夫や子どもと家族を中心に考えて生活した方がよい	女	40.0%	58.3%	55.7%	37.9%	-15.7%	20.4%
	男	32.4%	66.2%	53.2%	43.0%	-20.8%	23.2%
(7) 子どもは、女の子らしさ、男の子らしさにこだわらず個性を重視して育てた方がよい	女	76.7%	21.7%	77.8%	15.8%	-1.1%	5.9%
	男	72.4%	25.5%	77.2%	17.7%	-4.8%	7.8%
(8) 責任ある仕事は男性の方が頼れる	女	33.9%	65.0%	53.2%	39.4%	-19.3%	25.6%
	男	24.9%	74.4%	50.6%	43.0%	-25.7%	31.4%
(9) 女性の上司の下では働きにくい	女	17.8%	81.1%	32.5%	55.7%	-14.7%	25.4%
	男	20.7%	77.9%	38.6%	55.1%	-17.9%	22.8%

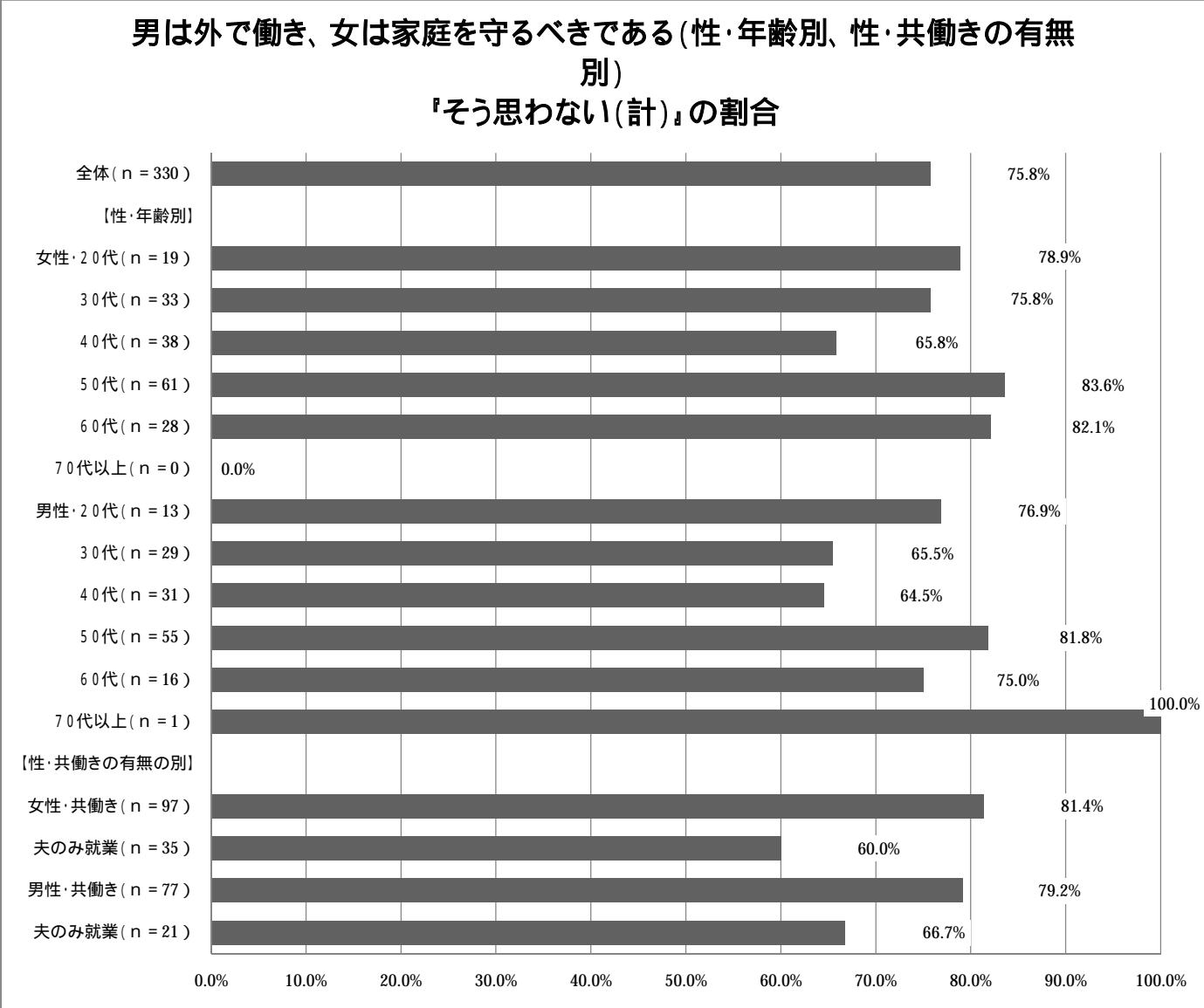
( 1 ) 男は仕事、女は家庭

( 図 1 - 1 - 2 )

「男は仕事、女は家庭」という考え方に否定的な人の割合は 75.8% で、前回調査と比べ 23.6% 高くなっている。

性別の差はあまりないようであるが、年代別では、30代40代が少し低く、50代60代で高くなっている。この点で、前回の調査（高年層ほど低くなる）と大きく異なっている。

性・共働き有無別でみると、共働きの方が高くなっている。



前回との比較

区分		今回		前回	比較
		数	(n)		
全体		250	330	75.8%	52.2%
【性・年齢別】					
女性	20代	15	19	78.9%	88.9%
	30代	25	33	75.8%	81.8%
	40代	25	38	65.8%	72.7%
	50代	51	61	83.6%	79.5%
	60代	23	28	82.1%	57.1%
	70代以上	0	0	0.0%	27.6%
男性	20代	10	13	76.9%	100.0%
	30代	19	29	65.5%	66.7%
	40代	20	31	64.5%	83.3%
	50代	45	55	81.8%	74.2%
	60代	12	16	75.0%	51.9%
	70代以上	1	1	100.0%	30.6%
【性・共働きの有無の別】					
女性	共働き	79	97	81.4%	69.1%
	夫が就業	21	35	60.0%	58.1%
男性	共働き	61	77	79.2%	61.0%
	夫が就業	14	21	66.7%	47.4%



( 2 ) 女性は文系、男性は理系

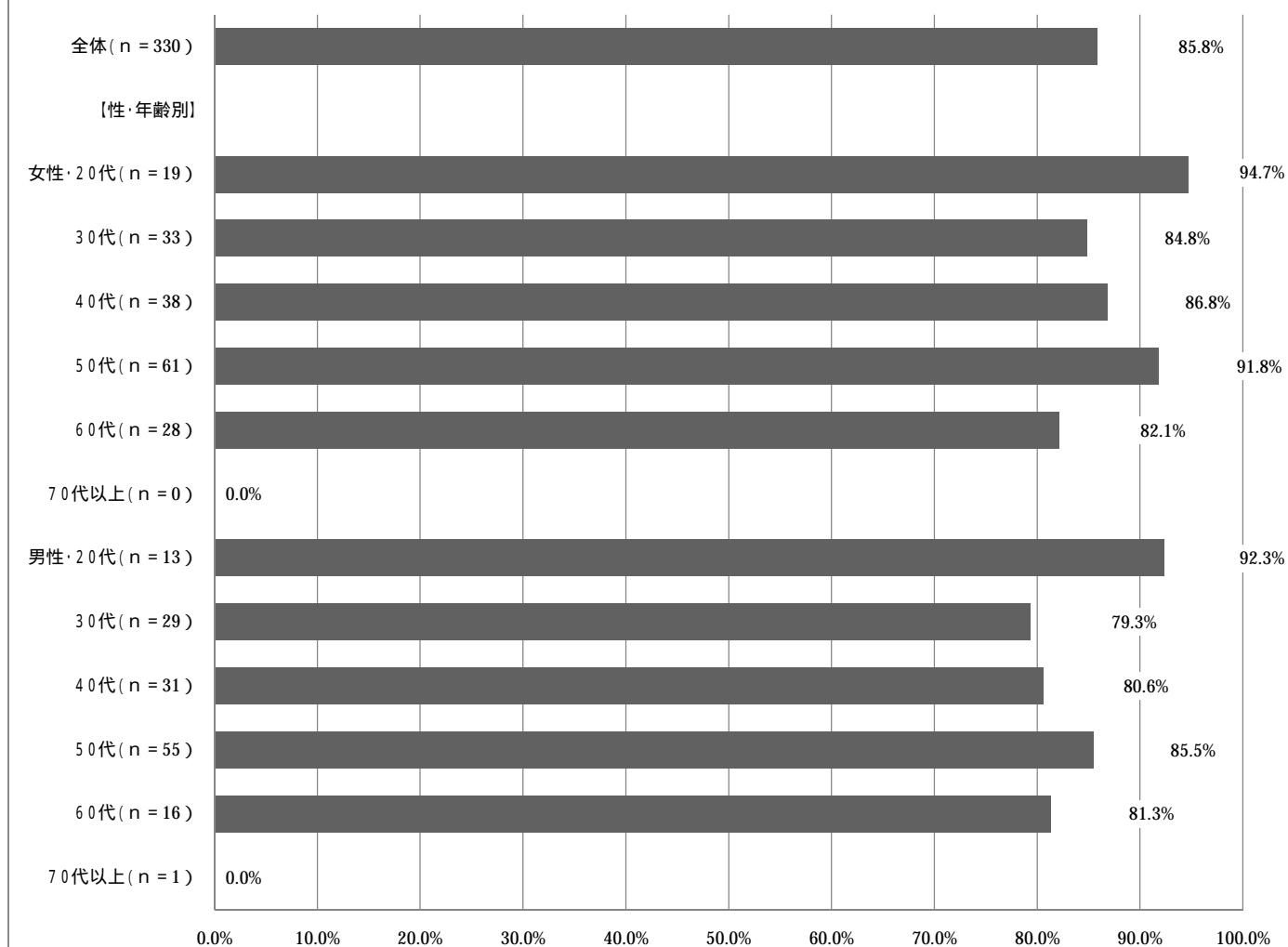
( 図 1 - 1 - 3 )

「女性 は 文系、男性 は 理系の分野が向いている」という考え方に否定的な人の割合は 75.8% で、前回調査と比べ 23.6% 高くなっている。

性別の差はあまりないようであるが、年代別では、20代と50代が高くなっている。

性・共働き有無別でみると、共働きの方が高くなっている。

# 女性は文系、男性は理系の分野が向いている(性・年齢別) 「そう思わない(計)」の割合



## 前回との比較

区分		今回		前回	比較
		数	(n)	%	%
全体		283	330	85.8%	62.5%
[性・年齢別]					
女性	20代	18	19	94.7%	88.9%
	30代	28	33	84.8%	100.0%
	40代	33	38	86.8%	86.4%
	50代	56	61	91.8%	79.5%
	60代	23	28	82.1%	45.7%
	70代以上	0	0	0.0%	41.4%
男性	20代	12	13	92.3%	87.5%
	30代	23	29	79.3%	100.0%
	40代	25	31	80.6%	94.4%
	50代	47	55	85.5%	77.4%
	60代	13	16	81.3%	55.6%
	70代以上	0	1	0.0%	58.1%

### ( 3 ) 自治会などの団体の代表者は男性

( 図 1 - 1 - 4 )

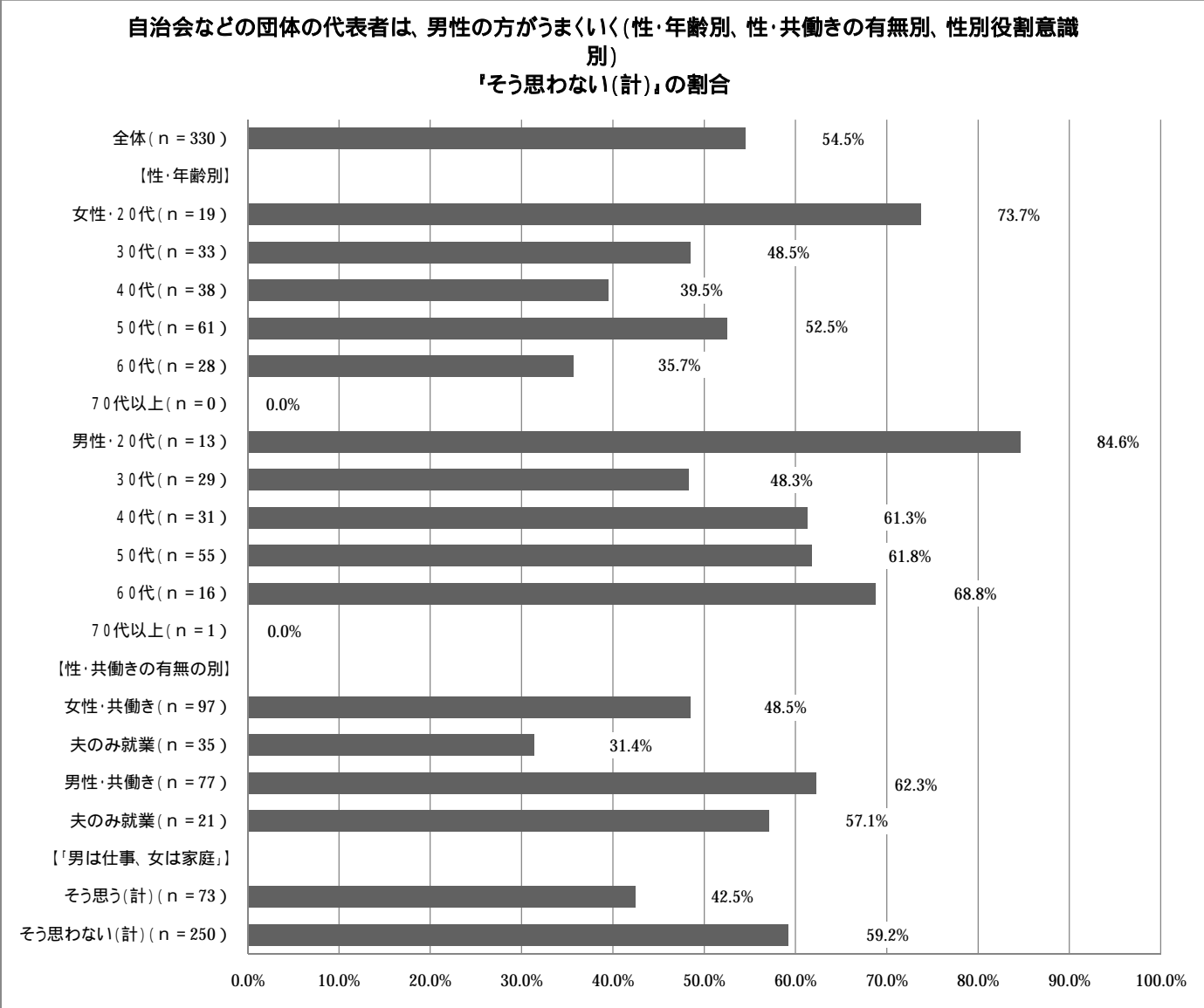
「自治会などの団体の代表者は、男性の方がうまくいく」という考えについては、前回調査と比べ、否定的な人の割合が逆転し 54.5%であった。前回調査と比べると 20.7%高くなっている。

性別では、女性が肯定的な意識の人が 50.5%であるのに対し、男性は否定的な意識の人が 61.4%であり、相反している。

年代別では、女性の 20代と男性の 20代 40代 50代 60代が顕著に高くなっている。

性・共働き有無別でみると、共働きの方が若干高くなっている。

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担に否定的な意識の人が若干高くなっている。



前回との比較

区分		今回		前回	比較
		数	(n)		
全体		180	330	54.5%	33.8%
【性・年齢別】					
女性	20代	14	19	73.7%	44.4%
	30代	16	33	48.5%	27.3%
	40代	15	38	39.5%	54.5%
	50代	32	61	52.5%	38.5%
	60代	10	28	35.7%	22.9%
	70代以上	0	0	0.0%	19.5%
男性	20代	11	13	84.6%	75.0%
	30代	14	29	48.3%	75.0%
	40代	19	31	61.3%	55.6%
	50代	34	55	61.8%	41.9%
	60代	11	16	68.8%	51.9%
	70代以上	0	1	0.0%	21.0%
【性・共働きの有無の別】					
女性	共働き	47	97	48.5%	30.9%
	夫が就業	11	35	31.4%	25.8%
男性	共働き	48	77	62.3%	37.7%
	夫が就業	12	21	57.1%	57.9%
【「男は仕事、女は家庭」性別役割意識別】					
そう思う(計)		31	73	42.5%	20.8%
そう思わない(計)		148	250	59.2%	48.5%

#### ( 4 ) 女性には気配り、男性には決断力

( 図 1 - 1 - 5 )

「女性には細やかな気配りが、男性にはいざというときの決断力が必要だ」という考え方については、肯定的な人の割合は64.8%で、否定的な人の割合は34.5%となっている。前回調査と比べると、どちらも10%以上高くなっている。

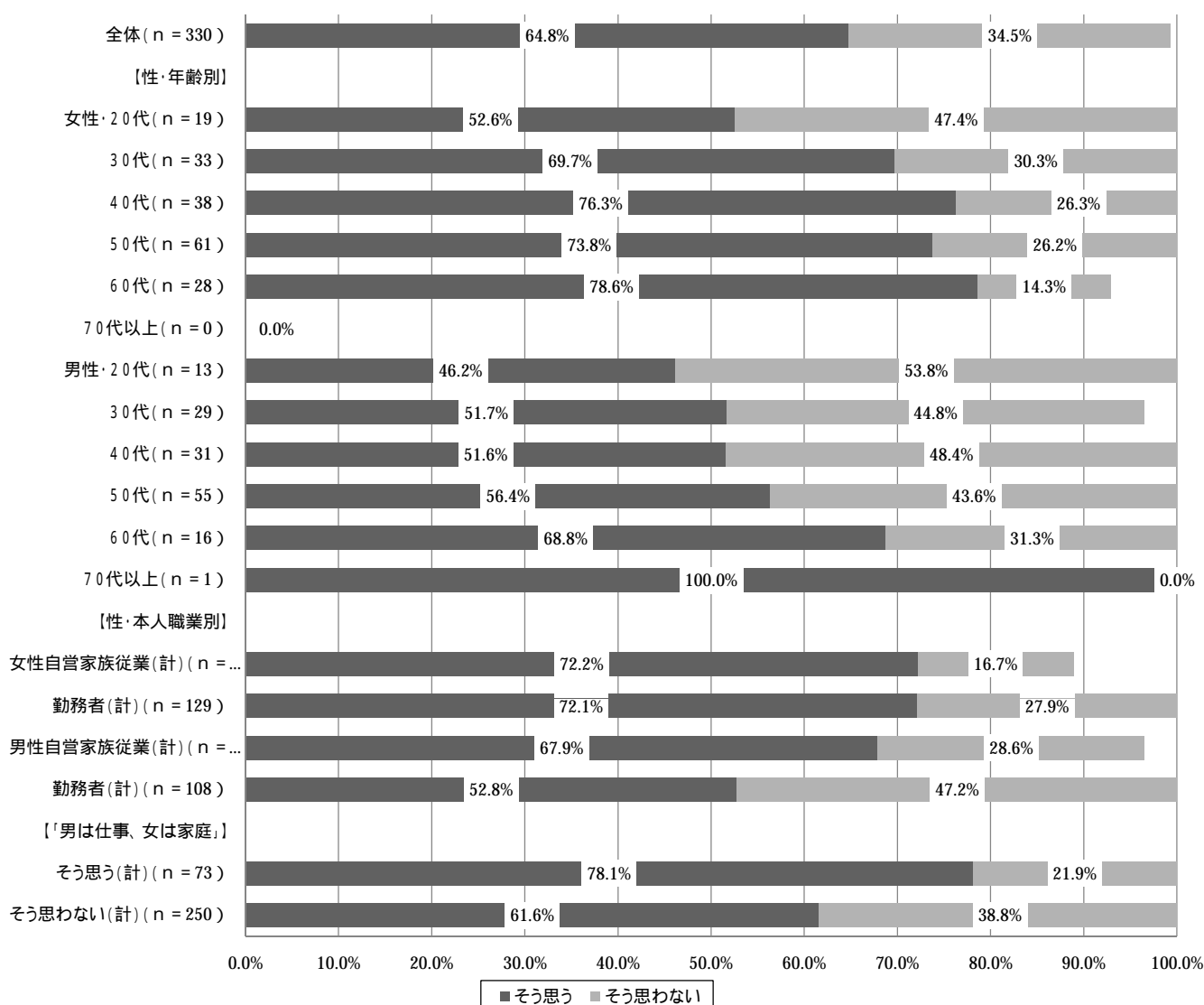
性別でみると、男性よりも女性の肯定的な人の割合が高くなっている。

年代別では、年代が高くなるほど肯定的な人の割合は高くなっている。

性・本人職業別でみると、女性は同じ割合あるのに対し、男性は勤務者より自営家族従業の方が肯定的な人の割合が高くなっている。

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担に肯定的な人の方が、肯定的な意識が高くなっている。

女性には細やかな気配りが、男性にはいざというときの決断力が必要だ  
(性・年齢別、性・本人職業別、性別役割意識別)



## 前回との比較

区分		今回			前回		比較増減	
		(n)	そう思う	思わない	そう思う	思わない	そう思う	思わない
全体		330	64.8%	34.5%	54.1%	22.2%	10.7%	12.3%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	52.6%	47.4%	22.2%	44.4%	30.4%	3.0%
	30代	33	69.7%	30.3%	36.4%	27.3%	33.3%	3.0%
	40代	38	76.3%	26.3%	36.4%	18.2%	39.9%	8.1%
	50代	61	73.8%	26.2%	48.7%	30.8%	25.1%	-4.6%
	60代	28	78.6%	14.3%	62.9%	22.9%	15.7%	-8.6%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	63.2%	19.5%	-63.2%	-19.5%
男性	20代	13	46.2%	53.8%	12.5%	25.0%	33.7%	28.8%
	30代	29	51.7%	44.8%	50.0%	8.3%	1.7%	36.5%
	40代	31	51.6%	48.4%	22.2%	27.8%	29.4%	20.6%
	50代	55	56.4%	43.6%	54.8%	32.3%	1.6%	11.3%
	60代	16	68.8%	31.3%	59.3%	22.2%	9.5%	9.1%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	72.6%	16.1%	27.4%	-16.1%
【性・本人職業別】								
女性	女性自営家族従業	18	72.2%	16.7%	65.7%	20.0%	6.5%	-3.3%
	勤務者	129	72.1%	27.9%	41.9%	29.0%	30.2%	-1.1%
男性	男性自営家族従業	28	67.9%	28.6%	62.3%	18.0%	5.6%	10.6%
	勤務者	108	52.8%	47.2%	51.7%	17.2%	1.1%	30.0%
【「男は仕事、女は家庭」性別役割意識別】								
そう思う(計)		73	78.1%	21.9%	71.1%	20.1%	7.0%	1.8%
そう思わない(計)		250	61.6%	38.8%	45.5%	25.3%	16.1%	13.5%

## ( 5 ) 子育ては母親

( 図 1 - 1 - 6 )

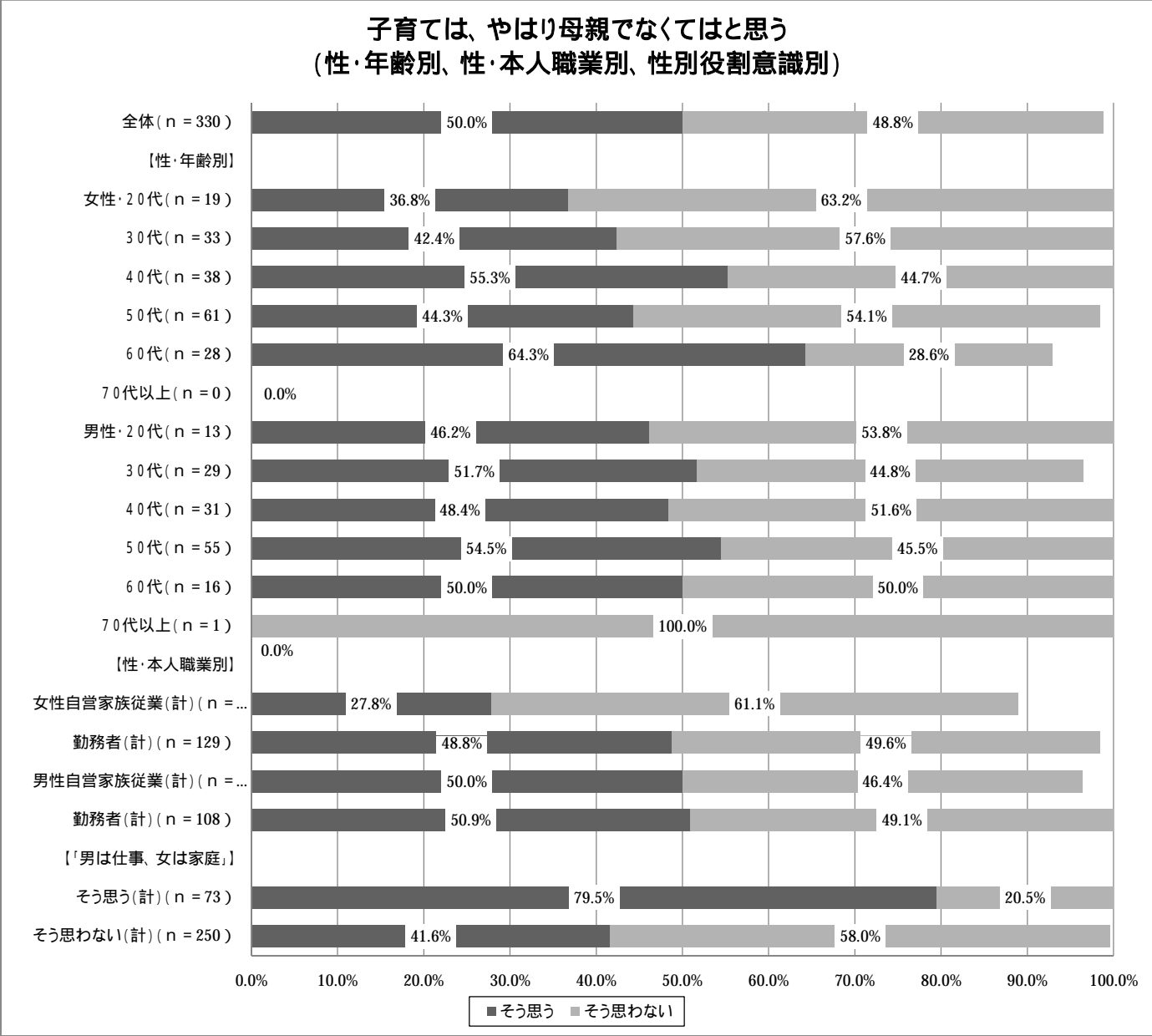
「子育ては、やはり母親でなくてはと思う」という考え方については、肯定的な人の割合が50%で、否定的な人とほぼ同じである。前回調査と比べると、どちらも10%以上高くなっている。

性別でみると、男女に大きな差はないが、男性の肯定的な人の割合が51.1%と若干高くなっている。

年代別では、若い層が否定的な人の割合が高くなっている。

性・本人職業別でみると、男性は同じ割合あるのに対し、女性は勤務者が自営家族従業より肯定的な人の割合が高くなっている。

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担に肯定的な人の方が、肯定的な意識がとて高くなっている。



前回との比較

区分		今回			前回		比較増減	
		(n)	そう思う	思わない	そう思う	思わない	そう思う	思わない
全体		330	50.0%	48.8%	34.8%	32.7%	15.2%	16.1%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	36.8%	63.2%	0.0%	66.7%	36.8%	-3.5%
	30代	33	42.4%	57.6%	9.1%	36.4%	33.3%	21.2%
	40代	38	55.3%	44.7%	4.5%	40.9%	50.8%	3.8%
	50代	61	44.3%	54.1%	15.4%	35.9%	28.9%	18.2%
	60代	28	64.3%	28.6%	34.7%	40.0%	29.6%	-11.4%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	52.9%	27.6%	-52.9%	-27.6%
男性	20代	13	46.2%	53.8%	0.0%	50.0%	46.2%	3.8%
	30代	29	51.7%	44.8%	41.7%	16.7%	10.0%	28.1%
	40代	31	48.4%	51.6%	22.2%	33.3%	26.2%	18.3%
	50代	55	54.5%	45.5%	32.3%	41.9%	22.2%	3.6%
	60代	16	50.0%	50.0%	40.7%	33.3%	9.3%	16.7%
	70代以上	1	0.0%	100.0%	51.6%	25.8%	-51.6%	74.2%
【性・本人職業別】								
女性	女性自営家族従業員	18	27.8%	61.1%	28.6%	37.1%	-0.8%	24.0%
	勤務者	129	48.8%	49.6%	14.5%	37.1%	34.3%	12.5%
男性	男性自営家族従業員	28	50.0%	46.4%	41.0%	27.9%	9.0%	18.5%
	勤務者	108	50.9%	49.1%	29.3%	41.4%	21.6%	7.7%
【「男は仕事、女は家庭」性別役割意識別】								
そう思う(計)		73	79.5%	20.5%	59.1%	30.2%	20.4%	-9.7%
そう思わない(計)		250	41.6%	58.0%	20.2%	37.4%	21.4%	20.6%



( 6 ) 女性は結婚したら家族中心

( 図 1 - 1 - 7 )

「女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」という考え方については、肯定的な人の割合が36.7%で、前回調査と比べると、17.1%下がり、逆転している。

性別でみると、女性の肯定的な人の割合が40%と男性よりも高くなっている。

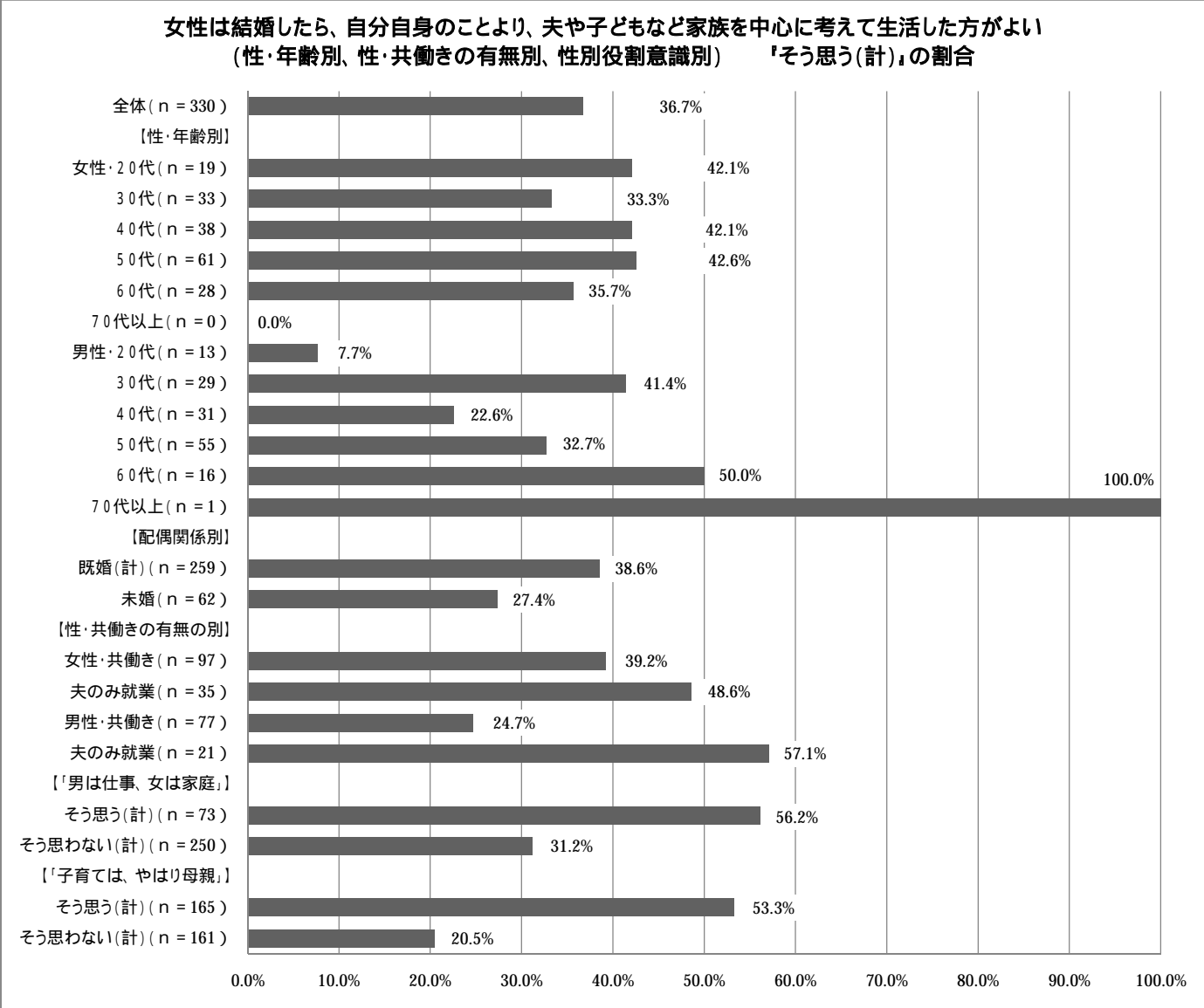
年代別では、男性の20代40代50代の肯定的な人の割合が低くなっている。

配偶関係別では、既婚が高くなっている。

性・共働きの有無別でみると、男女ともに「夫が就業」の肯定的な人の割合が高くなっているが、男性の「夫が就業」は57.1%と非常に高くなっている。

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担に肯定的な人の方が、肯定的な意識がとて高くなっている。

「子育ては、やはり母親」という性別役割分担についても、肯定的な人の方が、肯定的な意識がとて高くなっている。



前回との比較

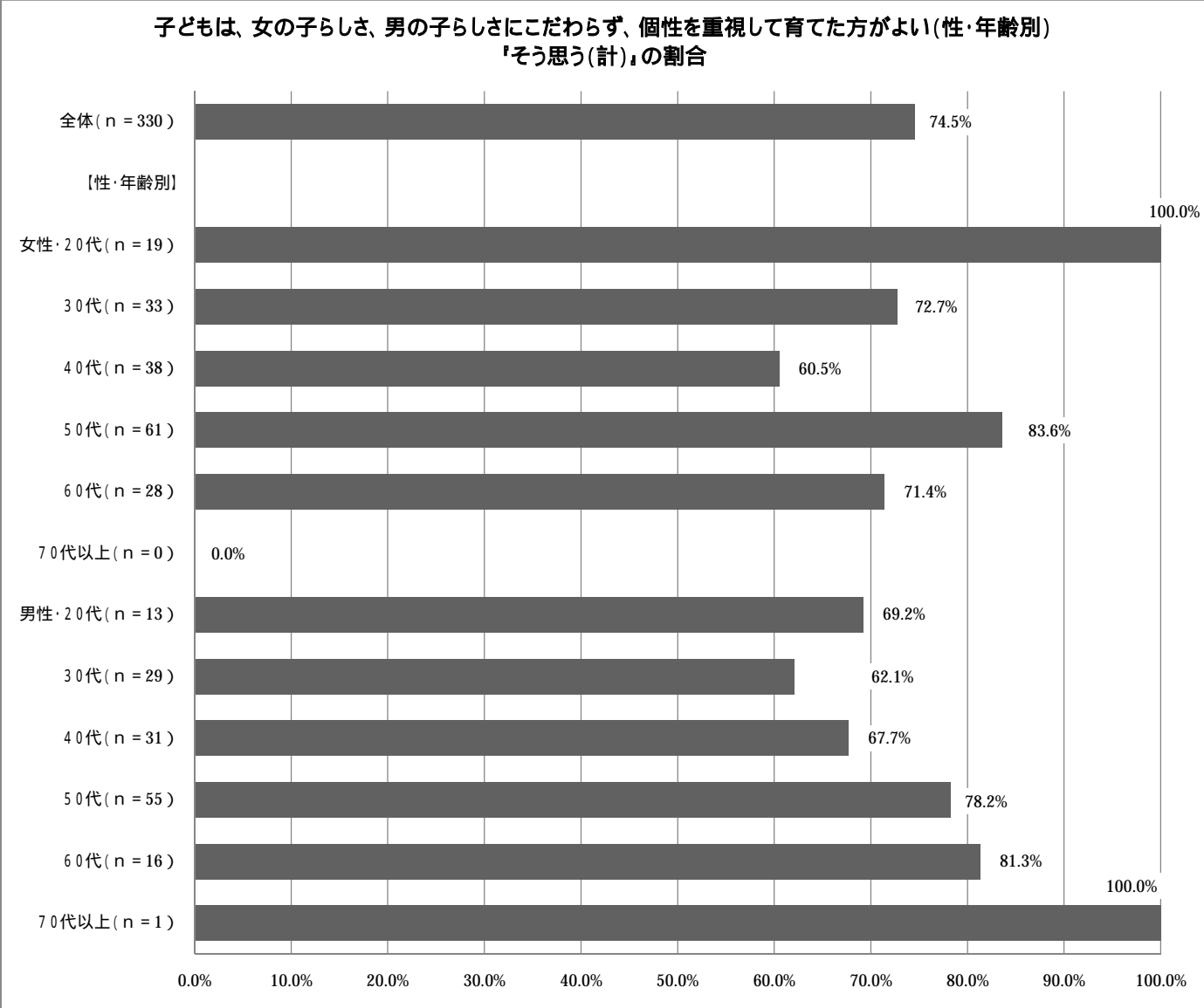
区分		今回		前回	比較
		数	(n)	%	%
全体		121	330	36.7%	53.8%
【性・年齢別】					
女性	20代	8	19	42.1%	11.1%
	30代	11	33	33.3%	36.4%
	40代	16	38	42.1%	36.4%
	50代	26	61	42.6%	43.6%
	60代	10	28	35.7%	57.1%
	70代以上	0	0	0.0%	72.4%
男性	20代	1	13	7.7%	0.0%
	30代	12	29	41.4%	33.3%
	40代	7	31	22.6%	22.2%
	50代	18	55	32.7%	51.6%
	60代	8	16	50.0%	51.9%
	70代以上	1	1	100.0%	74.2%
【配偶関係別】					
既婚(計)		100	259	38.6%	56.5%
未婚		17	62	27.4%	33.3%
【性・共働きの有無の別】					
女性	共働き	38	97	39.2%	45.6%
	夫が就業	17	35	48.6%	38.7%
男性	共働き	19	77	24.7%	42.9%
	夫が就業	12	21	57.1%	57.9%
【「男は仕事、女は家庭」性別役割意識別】					
そう思う(計)		41	73	56.2%	77.2%
そう思わない(計)		78	250	31.2%	39.9%
【「子育ては、やはり母親」性別役割意識別】					
そう思う(計)		88	165	53.3%	68.0%
そう思わない(計)		33	161	20.5%	24.7%

( 7 ) 子どもは、個性を重視して育てる

( 図 1 - 1 - 8 )

「子どもは、女の子らしさ、男の子らしさにこだわらず、個性を重視して育てた方がよい」という考え方については、肯定的な人の割合が74.5%で、前回調査と比べると、ほぼ横ばいである。

性別、年代別でみると、30代40代の男女で若干低くなっているが、全体としては、肯定的な人の割合が高い。



前回との比較						
区分		今回			前回	比較
		数	(n)	%	%	%
全体		246	330	74.5%	76.0%	-1.5%
【性・年齢別】						
女性	20代	19	19	100.0%	77.8%	22.2%
	30代	24	33	72.7%	81.8%	-9.1%
	40代	23	38	60.5%	81.8%	-21.3%
	50代	51	61	83.6%	74.4%	9.2%
	60代	20	28	71.4%	77.1%	-5.7%
	70代以上	0	0	0.0%	78.2%	-78.2%
男性	20代	9	13	69.2%	75.0%	-5.8%
	30代	18	29	62.1%	66.7%	-4.6%
	40代	21	31	67.7%	72.2%	-4.5%
	50代	43	55	78.2%	90.3%	-12.1%
	60代	13	16	81.3%	74.1%	7.2%
	70代以上	1	1	100.0%	75.8%	24.2%

( 8 ) 責任ある仕事は男性

( 図 1 - 1 - 9 )

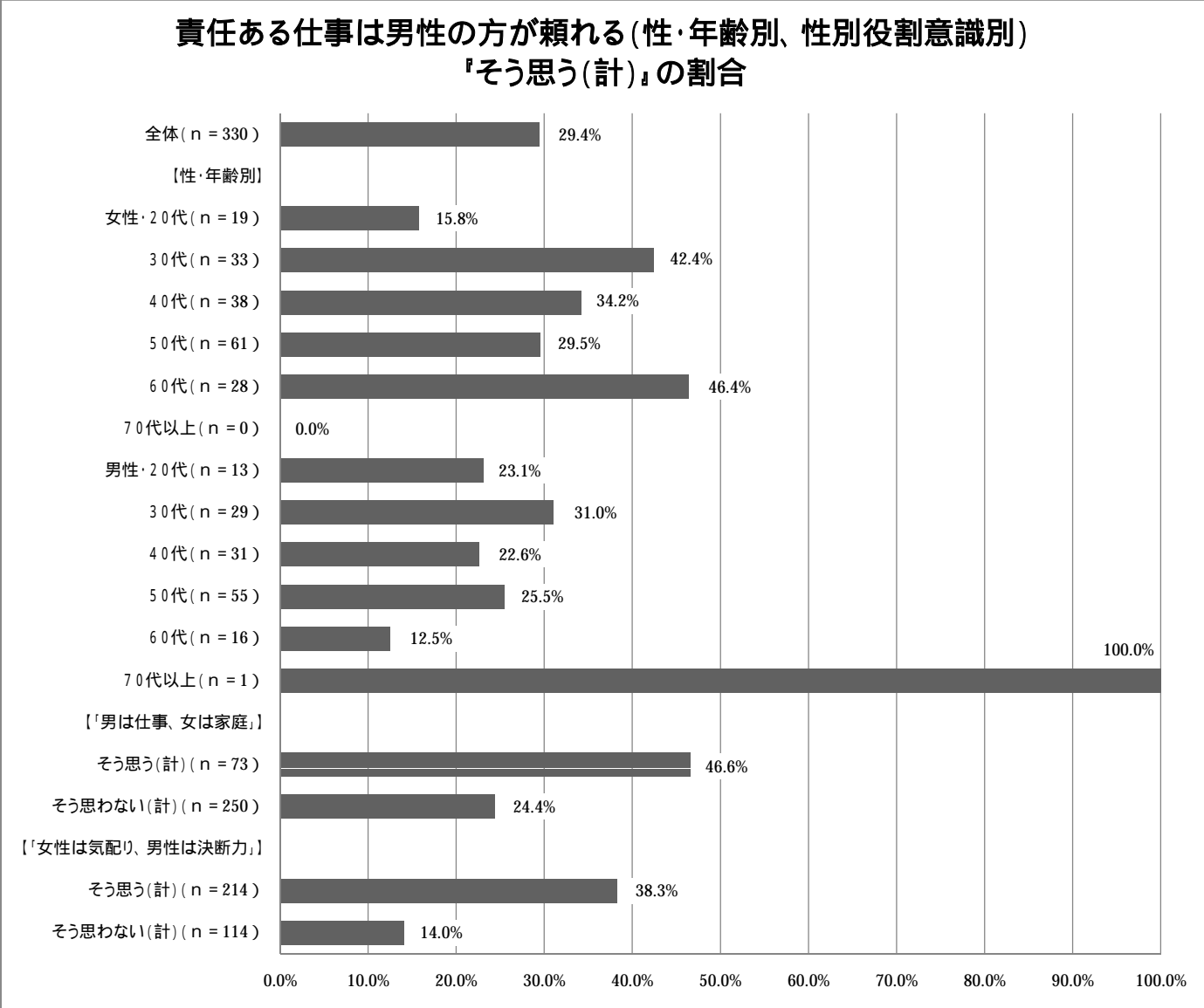
「責任ある仕事は男性の方が頼れる」という考え方については、肯定的な人の割合は 29.4% と低い。前回調査と比べると、21.8% 下がり、逆転している。

性別で見ても、大きな差はない。

年代別では、女性の 20 代と男性の 60 代が特に低いほかは、同程度である。

「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担に肯定的な人の方が、肯定的な意識が高くなっている。

「女は気配り、男は決断力」という性別役割分担についても、肯定的な人の方が、肯定的な意識が高くなっている。



前回との比較

区分		今回		前回	比較
		数	(n)	%	%
全体		97	330	29.4%	51.2%
【性・年齢別】					
女性	20代	3	19	15.8%	77.8%
	30代	14	33	42.4%	36.4%
	40代	13	38	34.2%	22.7%
	50代	18	61	29.5%	38.5%
	60代	13	28	46.4%	60.0%
	70代以上	0	0	0.0%	64.4%
男性	20代	3	13	23.1%	25.0%
	30代	9	29	31.0%	25.0%
	40代	7	31	22.6%	33.3%
	50代	14	55	25.5%	45.2%
	60代	2	16	12.5%	59.3%
	70代以上	1	1	100.0%	62.9%
【「男は仕事、女は家庭」性別役割意識別】					
そう思う(計)		34	73	46.6%	68.5%
そう思わない(計)		61	250	24.4%	38.4%
【「女性は気配り、男性は決断力」性別役割意識別】					
そう思う(計)		82	214	38.3%	57.8%
そう思わない(計)		16	114	14.0%	17.2%

( 9 ) 女性の上司の下では働きにくい

( 図 1 - 1 - 1 0 )

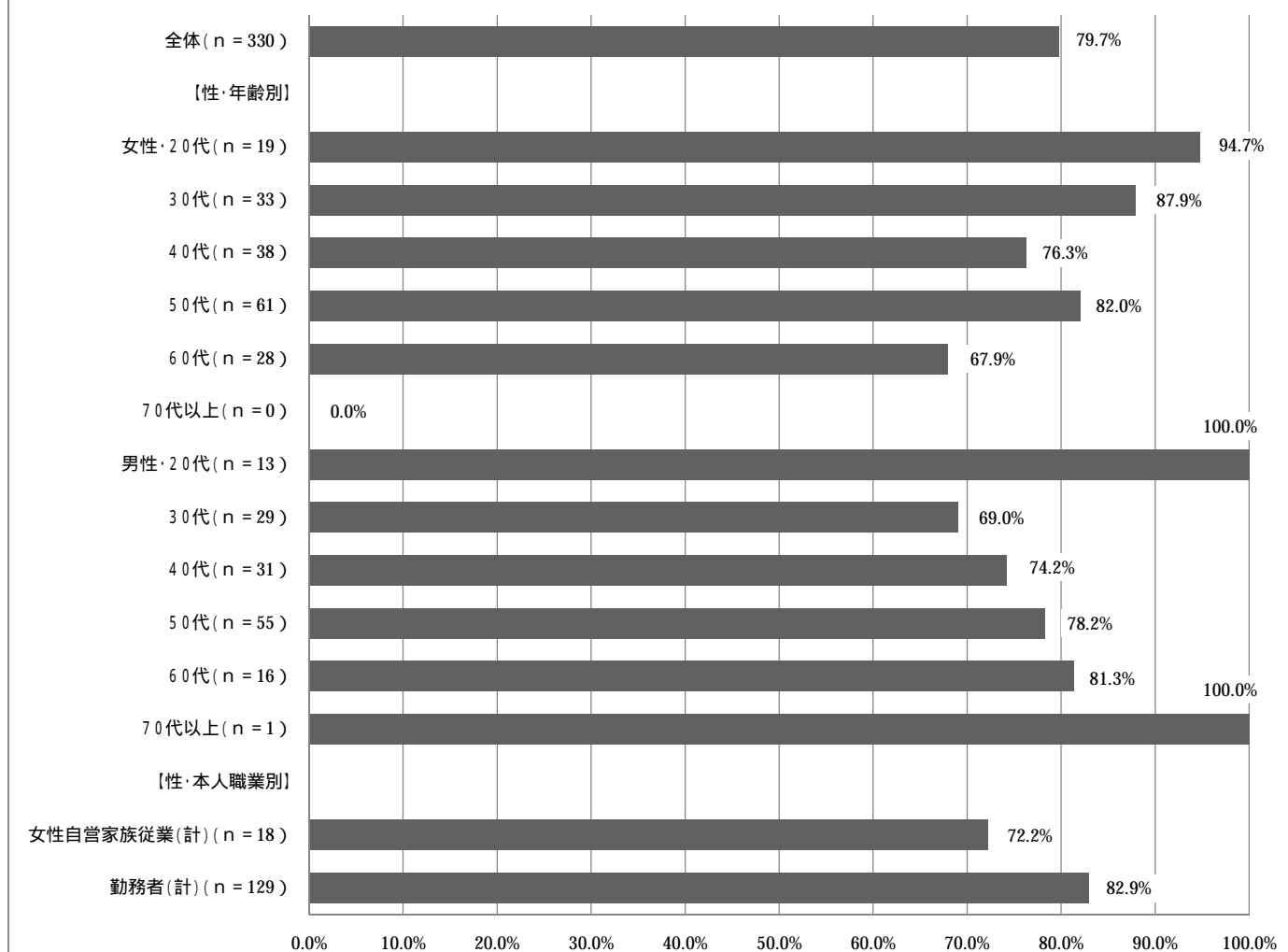
「女性の上司の下では働きにくい」という考え方については、否定的な人の割合が 7 9 . 7 % で、前回調査と比べると、2 5 . 6 % 高くなっている。

性別でみると、女性の否定的な人の割合が 8 1 . 1 % と男性よりも若干高くなっている。

年代別では、女性は年代が上がれば低くなり、男性は逆に高くなっている。

女性の本人職業別でみると、勤務者が 1 0 % 高くなっている。

# 女性の上司の下では働きにくい(性・年齢別、本人職業別) 「そう思わない(計)」の割合



## 前回との比較

区分		今回		前回	比較
		数	(n)		
全体		263	330	79.7%	54.1%
【性・年齢別】					
女性	20代	18	19	94.7%	88.9%
	30代	29	33	87.9%	81.8%
	40代	29	38	76.3%	90.9%
	50代	50	61	82.0%	74.4%
	60代	19	28	67.9%	42.9%
	70代以上	0	0	0.0%	36.8%
男性	20代	13	13	100.0%	75.0%
	30代	20	29	69.0%	91.7%
	40代	23	31	74.2%	77.8%
	50代	43	55	78.2%	61.3%
	60代	13	16	81.3%	40.7%
	70代以上	1	1	100.0%	41.9%
【性・本人職業別】					
女性自営家族従業		13	18	72.2%	40.0%
勤務者		107	129	82.9%	79.0%



## 2. 各分野における男女の地位の平等感（問2）

（図1 - 2、図1 - 2 - 1）

全体的にみると、平等の割合が高かったものは、  
「学校教育の場で」67%  
「法律や制度上で」42.7%  
となっている。

男性優遇の割合が高かったものは、  
「社会通念・慣習・しきたりなどで」78.8%  
「政治の場で」73.3%  
「地域活動で」60.9%  
「家庭で」57.3%  
「職場で」53.4%  
となっている。

性別で平等の割合をみると、いずれの項目も男性の割合が高くなっている。特に男女の差が大きいのは「政治の場で」が27.7%、次いで「法律や制度上で」が23.7%、「家庭で」が14.7%の差となっている。

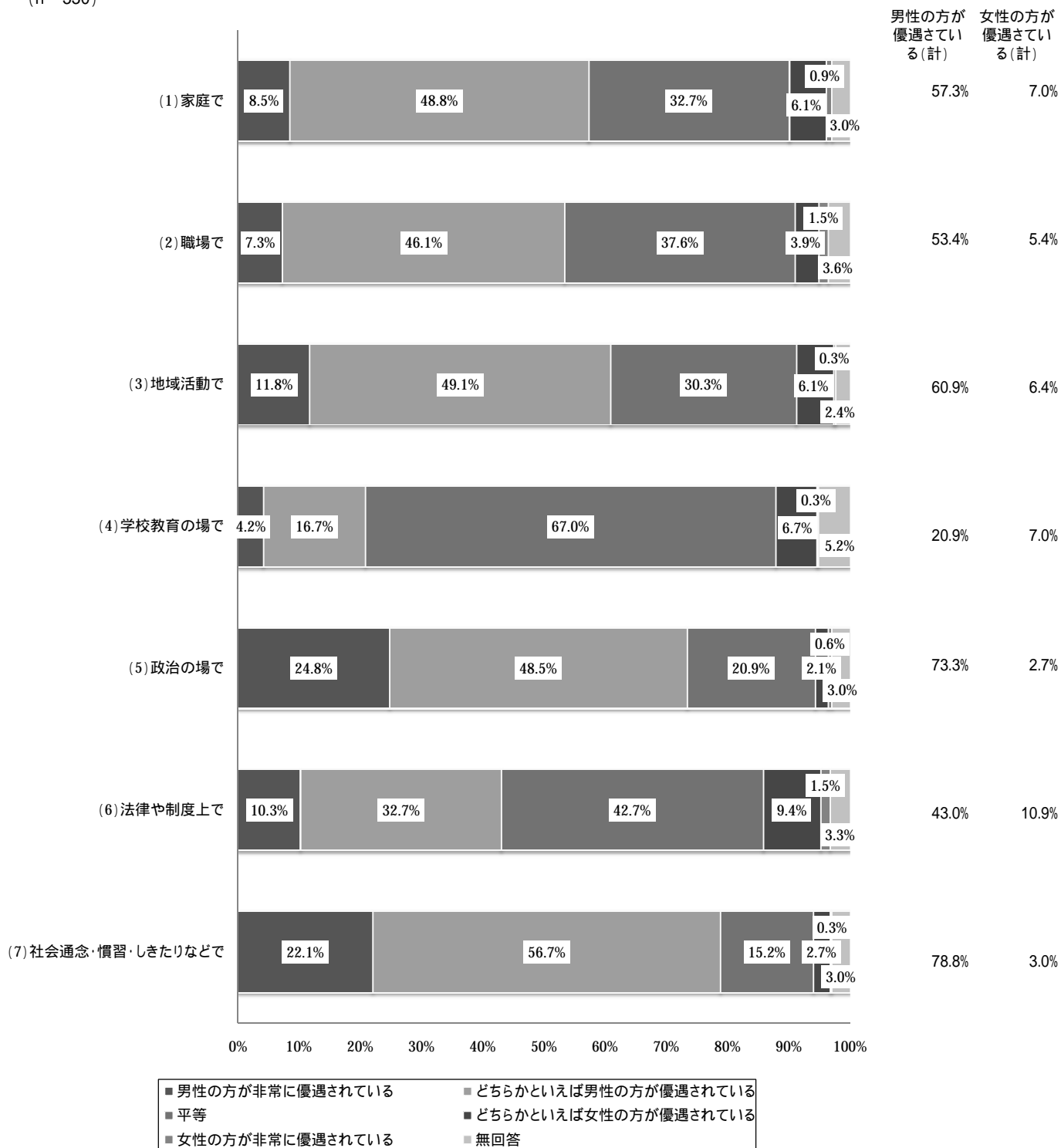
各項目について、前回の調査と比較すると若干下がったものはあるが、全体としては高くなっている。

図1 - 2

各分野における男女の地位の平等感

問2 次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。( はそれぞれ1つずつ)

(n = 330)



前回との比較

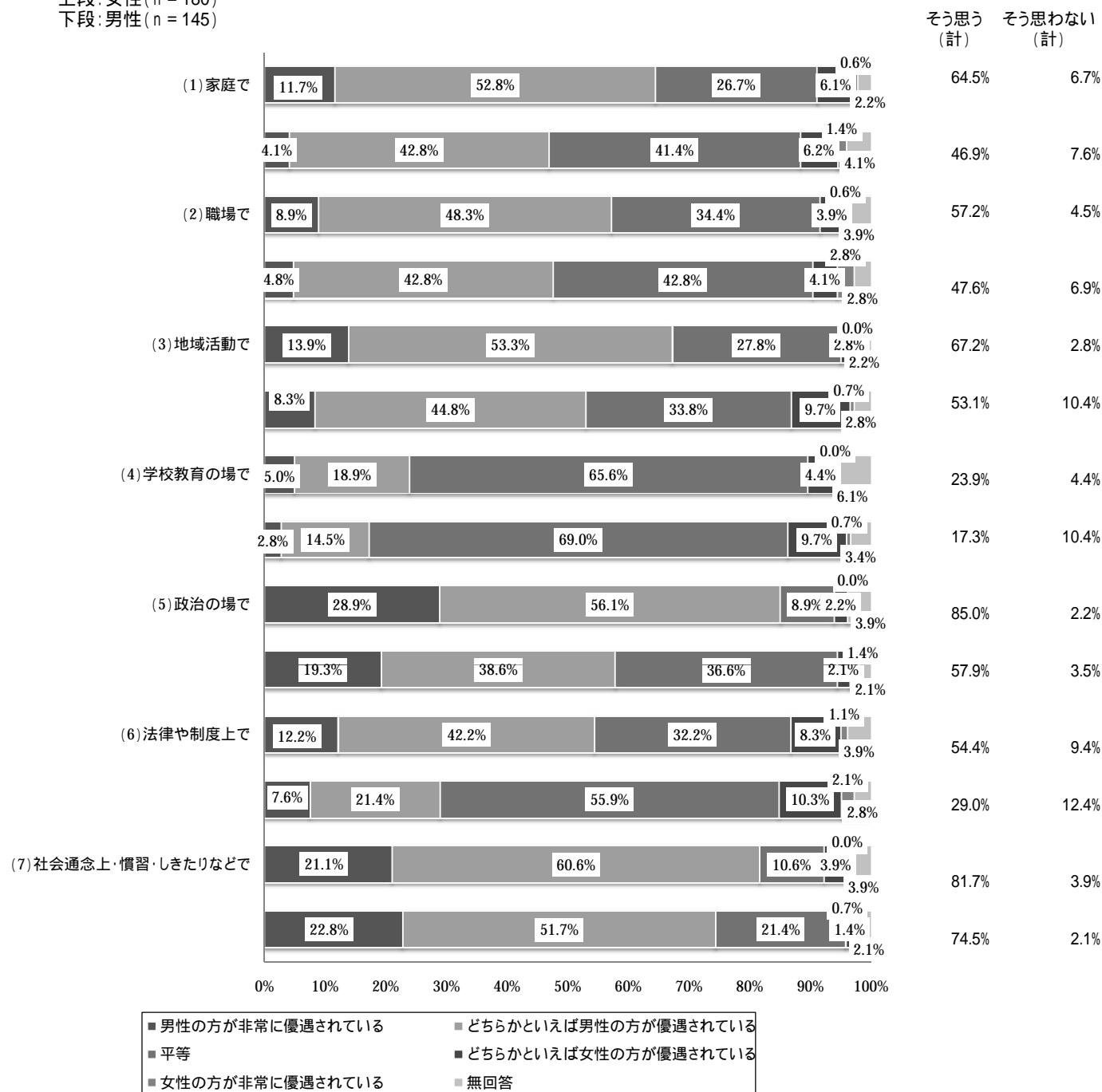
区分	今回			前回			比較増減		
	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
(1) 家庭で	57.3%	32.7%	7.0%	52.0%	33.5%	7.4%	5.3%	-0.8%	-0.4%
(2) 職場で	53.4%	37.6%	5.4%	50.7%	27.7%	4.2%	2.7%	9.9%	1.2%
(3) 地域活動で	60.9%	30.3%	6.4%	53.3%	30.6%	3.7%	7.6%	-0.3%	2.7%
(4) 学校教育の場で	20.9%	67.0%	7.0%	19.5%	56.7%	4.5%	1.4%	10.3%	2.5%
(5) 政治の場で	73.3%	20.9%	2.7%	59.9%	25.1%	1.1%	13.4%	-4.2%	1.6%
(6) 法律や制度上で	43.0%	42.7%	10.9%	38.0%	40.1%	6.3%	5.0%	2.6%	4.6%
(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで	78.8%	15.2%	3.0%	63.3%	20.1%	4.5%	15.5%	-4.9%	-1.5%

図1 - 2 - 1

各分野における男女の地位の平等感(性別)

上段: 女性 (n = 180)

下段: 男性 (n = 145)



前回との比較

区分	男女別	今回			前回			前回		
		男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
(1) 家庭生活で	女	64.5%	26.7%	6.7%	51.7%	33.0%	7.9%	12.8%	-6.3%	-1.2%
	男	46.9%	41.4%	7.6%	55.1%	35.4%	7.6%	-8.2%	6.0%	0.0%
(2) 職場で	女	57.2%	34.4%	4.5%	48.8%	27.6%	3.9%	8.4%	6.8%	0.6%
	男	47.6%	42.8%	6.9%	55.7%	29.1%	5.1%	-8.1%	13.7%	1.8%
(3) 地域活動で	女	67.2%	27.8%	2.8%	55.7%	30.0%	2.5%	11.5%	-2.2%	0.3%
	男	53.1%	33.8%	10.4%	53.2%	32.9%	5.7%	-0.1%	0.9%	4.7%
(4) 学校教育の場で	女	23.9%	65.6%	4.4%	21.7%	53.7%	3.4%	2.2%	11.9%	1.0%
	男	17.3%	69.0%	10.4%	16.5%	64.6%	6.3%	0.8%	4.4%	4.1%
(5) 政治の場	女	85.0%	8.9%	2.2%	61.6%	22.2%	1.0%	23.4%	-13.3%	1.2%
	男	57.9%	36.6%	3.5%	61.4%	29.7%	1.3%	-3.5%	6.9%	2.2%
(6) 法律や制度上で	女	54.4%	32.2%	9.4%	43.3%	35.0%	4.4%	11.1%	-2.8%	5.0%
	男	29.0%	55.9%	12.4%	33.5%	48.7%	9.5%	-4.5%	7.2%	2.9%
(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで	女	81.7%	10.6%	3.9%	62.1%	20.7%	4.4%	19.6%	-10.1%	-0.5%
	男	74.5%	21.4%	2.1%	69.0%	19.6%	5.1%	5.5%	1.8%	-3.0%

( 1 ) 家庭で

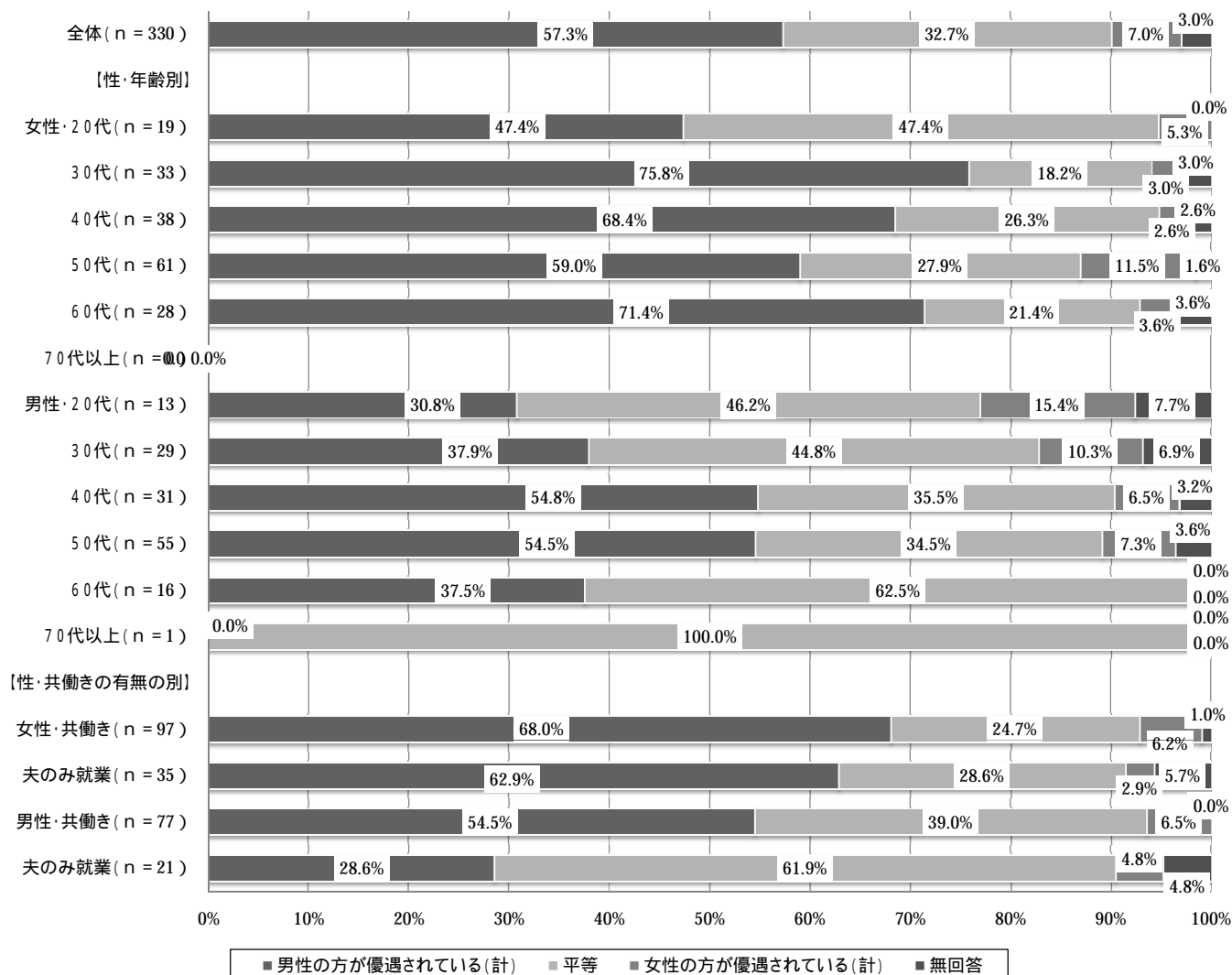
( 図 1 - 2 - 2 )

「家庭生活で」は、男性優遇が 57.3% と高く、平等は 32.7% である。前回調査と比べると、男性優遇が 5.3% 高くなった反面、平等と女性優遇が低くなっている。

性・年齢別でみると、女性の 30 代～60 代は男性優遇が高く、平等の割合と大きな差を生じている。一方男性は、それほど差はなく、この年代での男女の意識の差が顕著に出ている。

性・共働きの有無別では、男性の「夫が就業」で平等が 61.9% と非常に高くなっている。

# 家庭生活で(性・年齢別、性・共働きの有無別)



## 前回との比較

区分		今回				前回			比較		
		(n)	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
全体		330	57.3%	32.7%	7.0%	52.0%	33.5%	7.4%	5.3%	-0.8%	-0.4%
【性・年齢別】											
女性	20代	19	47.4%	47.4%	5.3%	88.9%	11.1%	0.0%	-41.5%	36.3%	5.3%
	30代	33	75.8%	18.2%	3.0%	72.7%	27.3%	0.0%	3.1%	-9.1%	3.0%
	40代	38	68.4%	26.3%	2.6%	63.6%	22.7%	9.1%	4.8%	3.6%	-6.5%
	50代	61	59.0%	27.9%	11.5%	66.7%	28.2%	2.6%	-7.7%	-0.3%	8.9%
	60代	28	71.4%	21.4%	3.6%	57.1%	34.3%	5.7%	14.3%	-12.9%	-2.1%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	42.5%	32.2%	11.5%	-42.5%	-32.2%	-11.5%
男性	20代	13	30.8%	46.2%	15.4%	75.0%	25.0%	0.0%	-44.2%	21.2%	15.4%
	30代	29	37.9%	44.8%	10.3%	33.3%	50.0%	16.7%	4.6%	-5.2%	-6.4%
	40代	31	54.8%	35.5%	6.5%	33.3%	55.6%	11.1%	21.5%	-20.1%	-4.6%
	50代	55	54.5%	34.5%	7.3%	71.0%	22.6%	3.2%	-16.5%	11.9%	4.1%
	60代	16	37.5%	62.5%	0.0%	55.6%	29.6%	14.8%	-18.1%	32.9%	-14.8%
	70代以上	1	0.0%	100.0%	0.0%	54.8%	37.1%	4.8%	-54.8%	62.9%	-4.8%
【性・共働きの有無の別】											
女性	共働き	97	68.0%	24.7%	6.2%	61.8%	30.9%	5.9%	6.2%	-6.2%	0.3%
	夫が就業	35	62.9%	28.6%	2.9%	54.8%	32.3%	3.2%	8.1%	-3.7%	-0.3%
男性	共働き	77	54.5%	39.0%	6.5%	55.8%	35.1%	7.8%	-1.3%	3.9%	-1.3%
	夫が就業	21	28.6%	61.9%	4.8%	42.1%	47.4%	10.5%	-13.5%	14.5%	-5.7%

## ( 2 ) 職場で

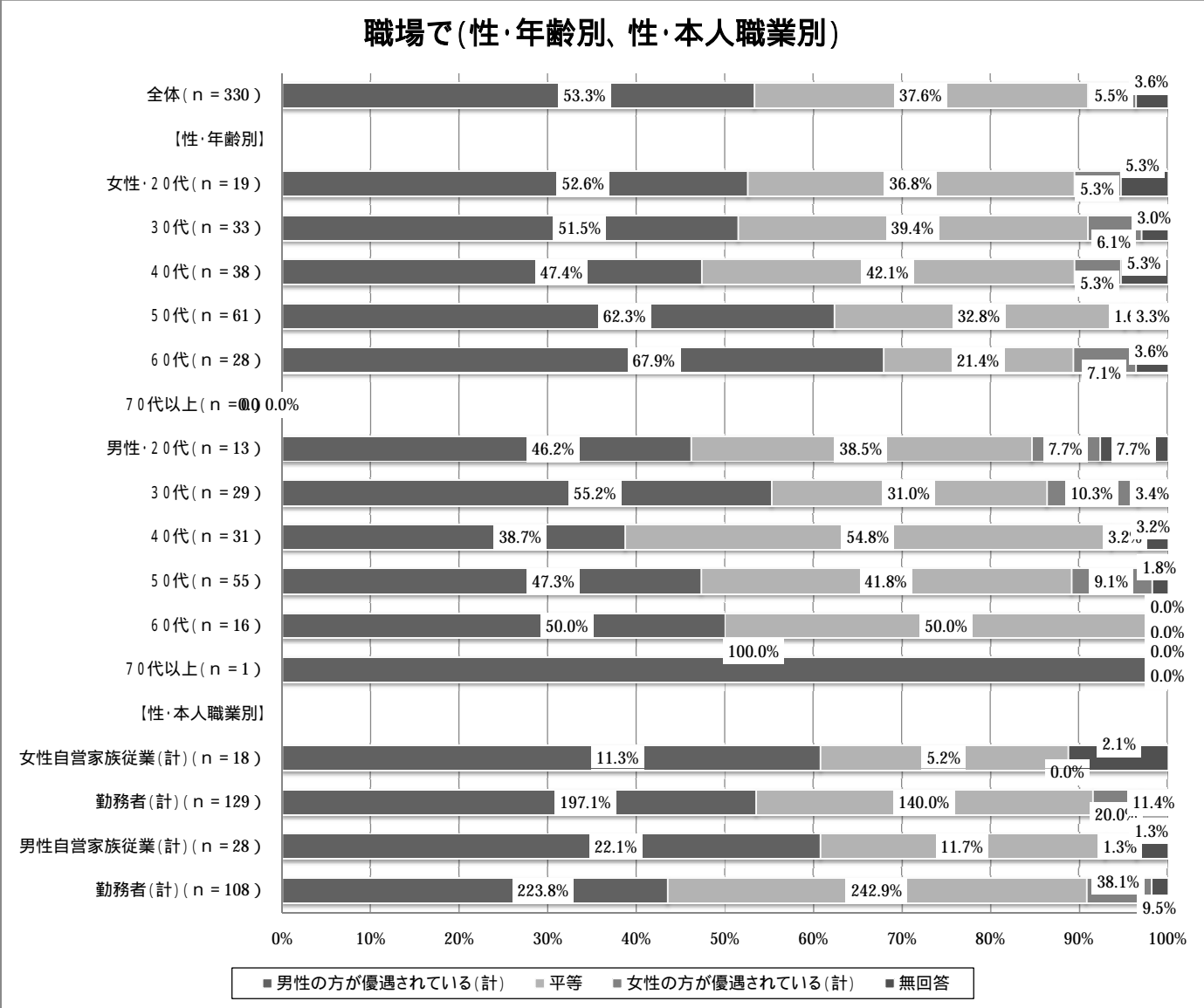
( 図 1 - 2 - 3 )

「職場で」は、男性優遇が53.3%と高く、平等は37.6%である。前回調査と比べると、ともに微増となっている

性・年齢別でみると、女性は年代が上がると男性優遇が高くなり平等との差が大きくなっている。男性は逆に平等が高くなり差が小さくなっている。

性・本人職業別でみると、男女とも自営家族従業の方が、男性優遇が高くなっている。

図1 - 2 - 3



前回との比較

区分		今回				前回			比較		
		(n)	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
全体		330	53.3%	37.6%	5.5%	50.7%	27.7%	4.2%	2.6%	9.9%	1.3%
【性・年齢別】											
女性	20代	19	52.6%	36.8%	5.3%	66.7%	22.2%	11.1%	-14.1%	14.6%	-5.8%
	30代	33	51.5%	39.4%	6.1%	54.5%	27.3%	18.2%	-3.0%	12.1%	-12.1%
	40代	38	47.4%	42.1%	5.3%	68.2%	9.1%	4.5%	-20.8%	33.0%	0.8%
	50代	61	62.3%	32.8%	1.6%	61.5%	33.3%	0.0%	0.8%	-0.5%	1.6%
	60代	28	67.9%	21.4%	7.1%	54.3%	31.4%	2.9%	13.6%	-10.0%	4.2%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	28.7%	3.4%	-33.3%	-28.7%	-3.4%
男性	20代	13	46.2%	38.5%	7.7%	87.5%	12.5%	0.0%	-41.3%	26.0%	7.7%
	30代	29	55.2%	31.0%	10.3%	50.0%	41.7%	8.3%	5.2%	-10.7%	2.0%
	40代	31	38.7%	54.8%	3.2%	50.0%	33.3%	16.7%	-11.3%	21.5%	-13.5%
	50代	55	47.3%	41.8%	9.1%	54.8%	41.9%	3.2%	-7.5%	-0.1%	5.9%
	60代	16	50.0%	50.0%	0.0%	70.4%	18.5%	7.4%	-20.4%	31.5%	-7.4%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	0.0%	48.4%	25.8%	1.6%	51.6%	-25.8%	-1.6%
【性・本人職業別】											
女性自営家族従業		18	61.1%	27.8%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	18.2%	-0.8%	0.0%
勤務者		129	53.5%	38.0%	5.4%	62.9%	25.8%	8.1%	-9.4%	12.2%	-2.7%
男性自営家族従業		28	60.7%	32.1%	3.6%	50.8%	31.1%	3.3%	9.9%	1.0%	0.3%
勤務者(計)		108	43.5%	47.2%	7.4%	58.6%	34.5%	6.9%	-15.1%	12.7%	0.5%

### ( 3 ) 地域活動で

( 図 1 - 2 - 4 )

「地域活動で」は、男性優遇が 60.9% と高く、平等は 30.3% である。前回調査と比べると、男性優遇が 7.6% 高くなった反面、平等は微減となっている。

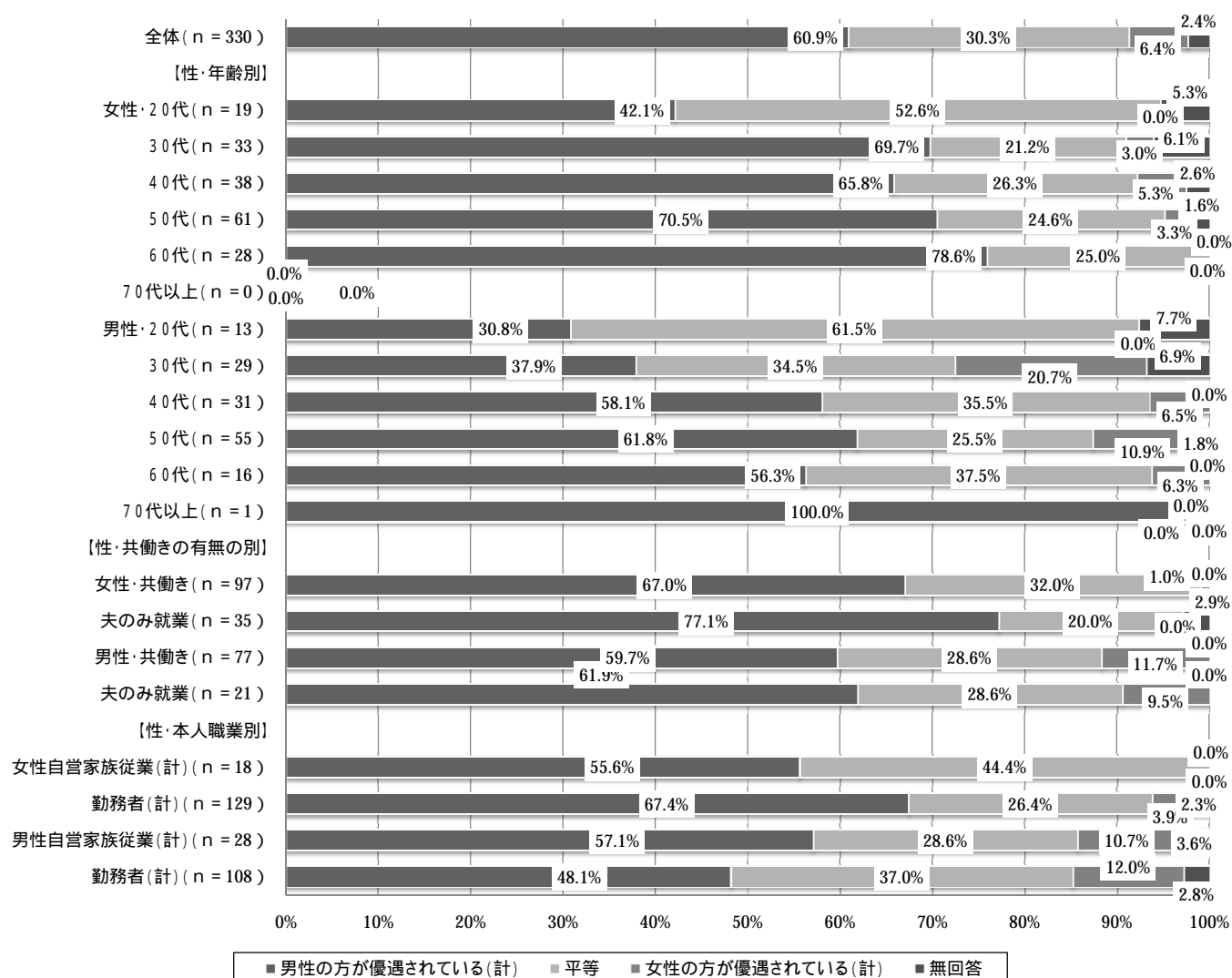
性・年齢別でみると、男性優遇を感じているのは女性の 30 代～60 代、男性の 40 代以上である。

性・共働きの有無別では、男女ともに「夫が就業」が高くなっている。

性・本人職業別では、女性は勤務者が高く、男性は自営家族従業が高くなっている。



## 地域活動で(性・年齢別、性・共働き、性・本人職業別)



## 前回との比較

区分		今回				前回			比較		
		(n)	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
全体		330	60.9%	30.3%	6.4%	53.3%	30.6%	3.7%	7.6%	-0.3%	2.7%
【性・年齢別】											
女性	20代	19	42.1%	52.6%	0.0%	66.7%	22.2%	11.1%	-24.6%	30.4%	-11.1%
	30代	33	69.7%	21.2%	3.0%	54.5%	36.4%	9.1%	15.2%	-15.2%	-6.1%
	40代	38	65.8%	26.3%	5.3%	68.2%	31.8%	0.0%	-2.4%	-5.5%	5.3%
	50代	61	70.5%	24.6%	3.3%	69.2%	20.5%	2.6%	1.3%	4.1%	0.7%
	60代	28	78.6%	25.0%	0.0%	48.6%	40.0%	0.0%	30.0%	-15.0%	0.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	48.3%	29.9%	2.3%	-48.3%	-29.9%	-2.3%
男性	20代	13	30.8%	61.5%	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%	-19.2%	24.0%	-12.5%
	30代	29	37.9%	34.5%	20.7%	75.0%	16.7%	0.0%	-37.1%	17.8%	20.7%
	40代	31	58.1%	35.5%	6.5%	61.1%	27.8%	11.1%	-3.0%	7.7%	-4.6%
	50代	55	61.8%	25.5%	10.9%	51.6%	48.4%	0.0%	10.2%	-22.9%	10.9%
	60代	16	56.3%	37.5%	6.3%	55.6%	29.6%	14.8%	0.7%	7.9%	-8.5%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	0.0%	46.8%	30.6%	3.2%	53.2%	-30.6%	-3.2%
【性・共働きの有無の別】											
女性	共働き	97	67.0%	32.0%	1.0%	57.4%	32.4%	4.4%	9.6%	-0.4%	-3.4%
	夫が就業	35	77.1%	20.0%	0.0%	54.8%	35.5%	0.0%	22.3%	-15.5%	0.0%
男性	共働き	77	59.7%	28.6%	11.7%	55.8%	31.2%	5.2%	3.9%	-2.6%	6.5%
	夫が就業	21	61.9%	28.6%	9.5%	68.4%	31.6%	0.0%	-6.5%	-3.0%	9.5%
【性・本人職業別】											
女性自営家族従業		18	55.6%	44.4%	0.0%	62.9%	31.4%	0.0%	-7.3%	13.0%	0.0%
勤務者		129	67.4%	26.4%	3.9%	66.1%	25.8%	4.8%	1.3%	0.6%	-0.9%
男性自営家族従業		28	57.1%	28.6%	10.7%	49.2%	36.1%	3.3%	7.9%	-7.5%	7.4%
勤務者		108	48.1%	37.0%	12.0%	70.7%	24.1%	3.4%	-22.6%	12.9%	8.6%

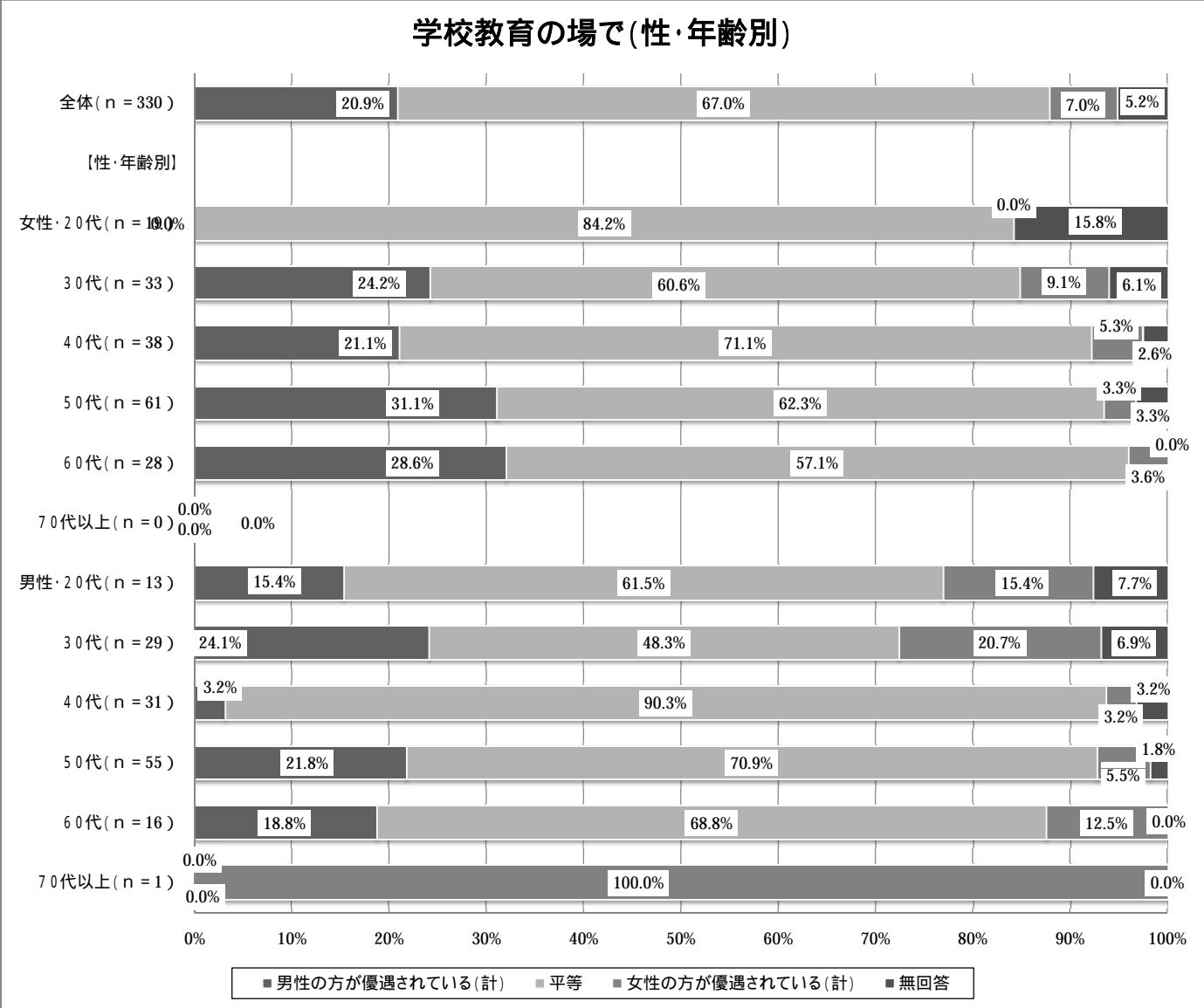
#### ( 4 ) 学校教育の場で

( 図 1 - 2 - 5 )

「学校教育の場で」は、平等が 67 % と高く、男性優遇は 20.9 % である。前回調査と比べると、平等が 10.3 %、男性優遇が 1.4 % 高くなっている。

他の分野に比べ全体的に男女の平等感が高い。

性・年齢別でみると、平等は、男性の 40 代が 90.3 % と最も高く、次いで、女性の 20 代が 84.2 % となっている。



前回との比較											
区分		今回				前回			比較		
		(n)	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
全体		330	20.9%	67.0%	7.0%	19.5%	56.7%	4.5%	1.4%	10.3%	2.5%
【性・年齢別】											
女性	20代	19	0.0%	84.2%	0.0%	44.4%	44.4%	0.0%	-44.4%	39.8%	0.0%
	30代	33	24.2%	60.6%	9.1%	18.2%	63.6%	9.1%	6.0%	-3.0%	0.0%
	40代	38	21.1%	71.1%	5.3%	40.9%	50.0%	4.5%	-19.8%	21.1%	0.8%
	50代	61	31.1%	62.3%	3.3%	30.8%	56.4%	0.0%	0.3%	5.9%	3.3%
	60代	28	28.6%	57.1%	3.6%	17.1%	65.7%	2.9%	11.5%	-8.6%	0.7%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	12.6%	48.3%	4.6%	-12.6%	-48.3%	-4.6%
男性	20代	13	15.4%	61.5%	15.4%	0.0%	87.5%	0.0%	15.4%	-26.0%	15.4%
	30代	29	24.1%	48.3%	20.7%	16.7%	75.0%	8.3%	7.4%	-26.7%	12.4%
	40代	31	3.2%	90.3%	3.2%	33.3%	55.6%	11.1%	-30.1%	34.7%	-7.9%
	50代	55	21.8%	70.9%	5.5%	16.1%	74.2%	3.2%	5.7%	-3.3%	2.3%
	60代	16	18.8%	68.8%	12.5%	14.8%	66.7%	7.4%	4.0%	2.1%	5.1%
	70代以上	1	0.0%	0.0%	100.0%	14.5%	56.5%	6.5%	-14.5%	-56.5%	93.5%

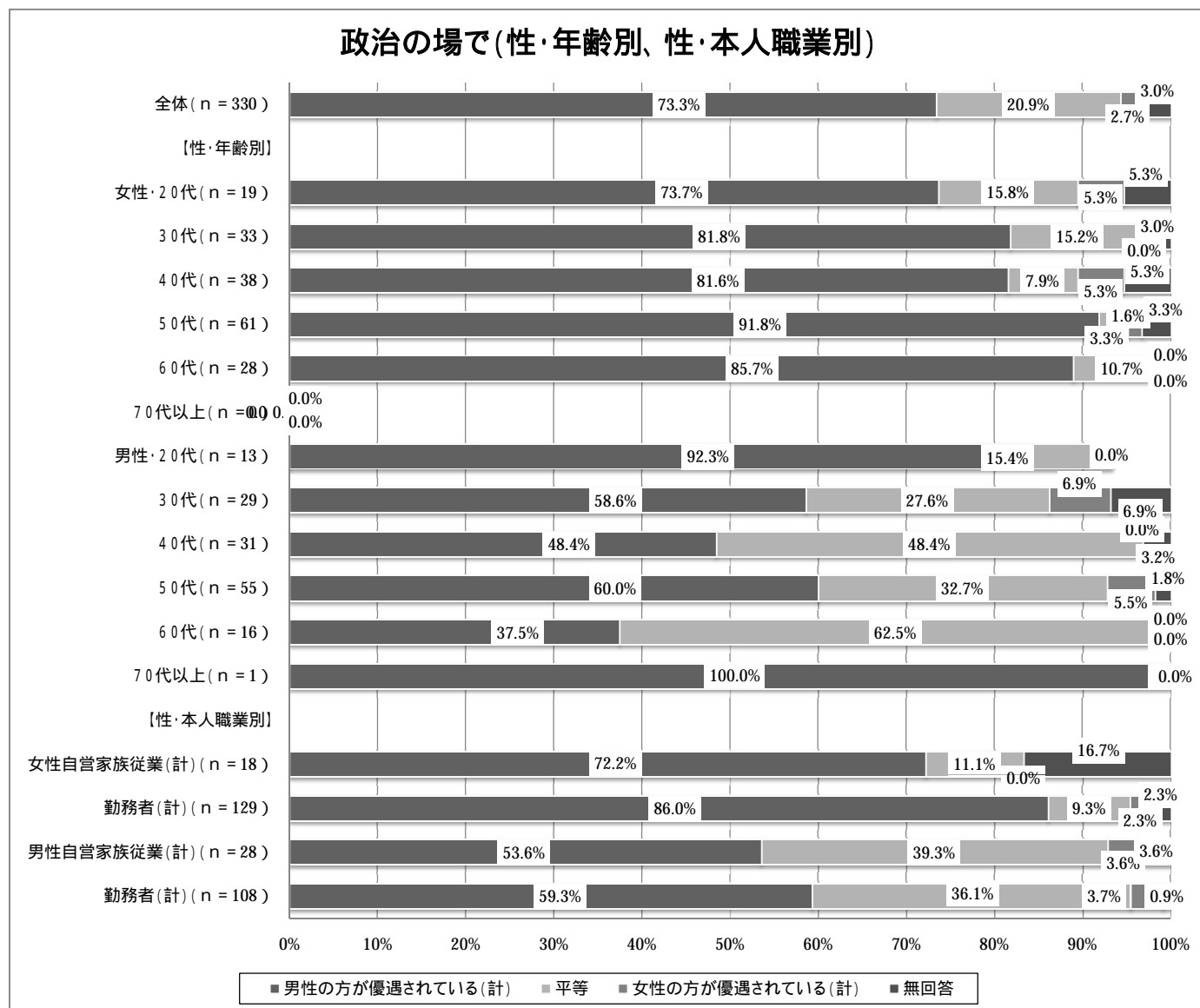
#### ( 5 ) 政治の場で

( 図 1 - 2 - 6 )

「政治の場で」は、男性優遇が73.3%と高く、平等は20.9%である。前回調査と比べると、男性優遇が13.4%高くなった反面、平等は4.2%低くなっている。

この分野では男女の意識の差が大きく、女性からみた男性優遇が高くなっている。性・年齢別における、男性の20代が92.3%と高いのは数が少ないことによるものと考えられる。

性・本人職業別では、男女とも勤務者の男性優遇が高くなっている。



## 前回との比較

区分		今回				前回			比較		
		(n)	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
全体		330	73.3%	20.9%	2.7%	59.9%	25.1%	1.1%	13.4%	-4.2%	1.6%
【性・年齢別】											
女性	20代	19	73.7%	15.8%	5.3%	88.9%	11.1%	0.0%	-15.2%	4.7%	5.3%
	30代	33	81.8%	15.2%	0.0%	72.7%	27.3%	0.0%	9.1%	-12.1%	0.0%
	40代	38	81.6%	7.9%	5.3%	81.8%	9.1%	0.0%	-0.2%	-1.2%	5.3%
	50代	61	91.8%	3.3%	1.6%	82.1%	10.3%	0.0%	9.7%	-7.0%	1.6%
	60代	28	85.7%	10.7%	0.0%	57.1%	37.1%	0.0%	28.6%	-26.4%	0.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	44.8%	25.3%	2.3%	-44.8%	-25.3%	-2.3%
男性	20代	13	92.3%	15.4%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	17.3%	-9.6%	0.0%
	30代	29	58.6%	27.6%	6.9%	66.7%	25.0%	0.0%	-8.1%	2.6%	6.9%
	40代	31	48.4%	48.4%	0.0%	61.1%	27.8%	11.1%	-12.7%	20.6%	-11.1%
	50代	55	60.0%	32.7%	5.5%	67.7%	32.3%	0.0%	-7.7%	0.4%	5.5%
	60代	16	37.5%	62.5%	0.0%	70.4%	25.9%	0.0%	-32.9%	36.6%	0.0%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	0.0%	51.6%	32.3%	0.0%	48.4%	-32.3%	0.0%
【性・本人職業別】											
女性自営家族従業		18	72.2%	11.1%	0.0%	54.3%	25.7%	0.0%	17.9%	-14.6%	0.0%
勤務者		129	86.0%	9.3%	2.3%	82.3%	16.1%	0.0%	3.7%	-6.8%	2.3%
男性自営家族従業		28	53.6%	39.3%	3.6%	54.1%	32.8%	1.6%	-0.5%	6.5%	2.0%
勤務者		108	59.3%	36.1%	3.7%	70.7%	25.9%	1.1%	-11.4%	10.2%	2.6%

## ( 6 ) 法律や制度上で

( 図 1 - 2 - 7 )

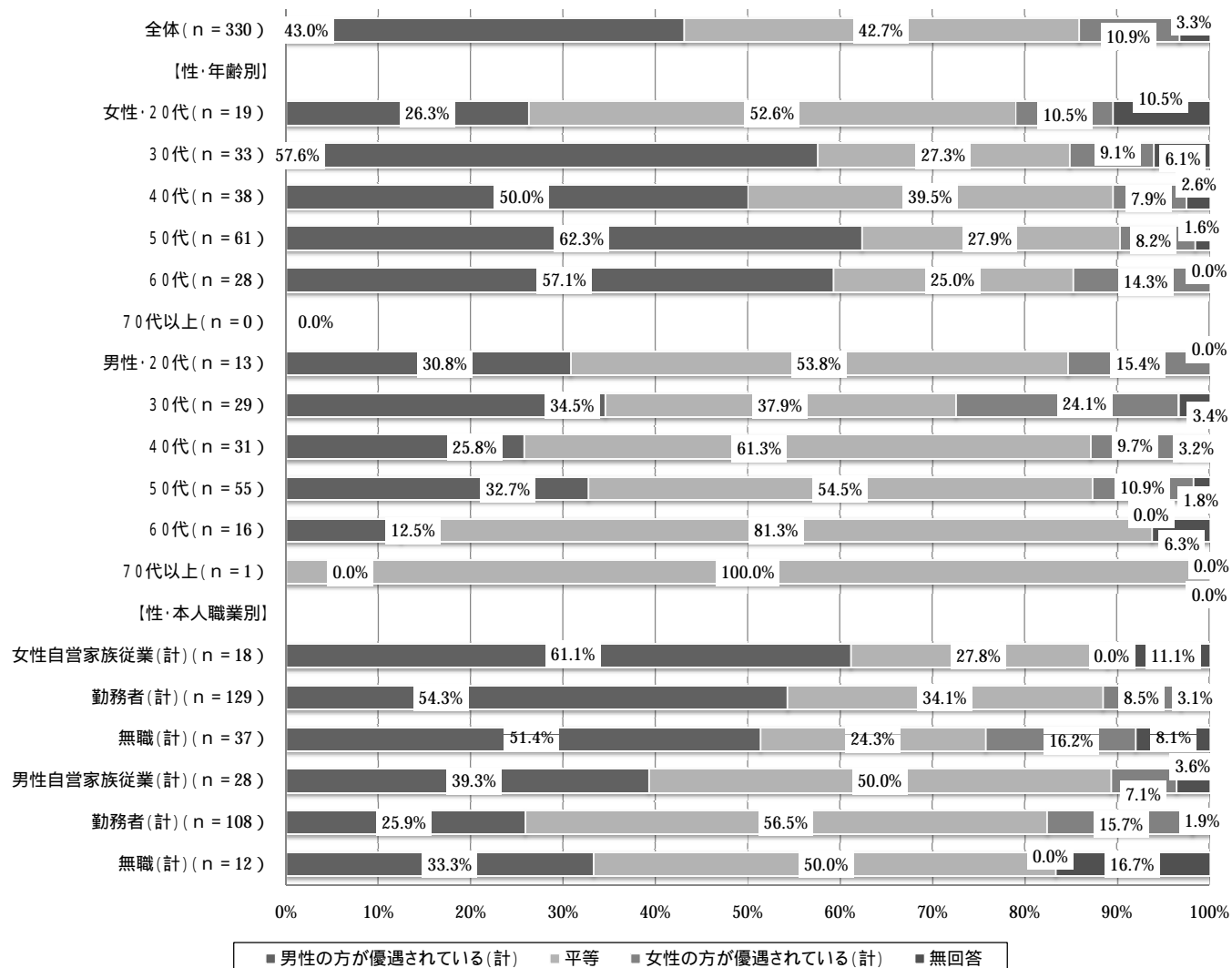
「法律や制度上で」は、男性優遇が 4 3 %、平等が 4 2 . 7 %と同程度である。前回調査と比べると、男性優遇が 5 %、平等が 2 . 6 %高くなっている。

性・年齢別でみると、女性は 2 0 代で平等が高いが他の年代では男性優遇が高い。一方男性は、すべての年代において平等が高い。

性・本人職業別では、女性は自営家族従業で男性優遇が高く、男性は勤務者で平等が高くなっている。

性・共働きの有無別では、男性の「夫が就業」で平等が 6 1 . 9 %と非常に高くなっている。

## 法律や制度上で(性・年齢別、性・本人職業別)



## 前回との比較

区分		今回				前回			比較		
		(n)	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
全体		330	43.0%	42.7%	10.9%	38.0%	40.1%	6.3%	5.0%	2.6%	4.6%
【性・年齢別】											
女性	20代	19	26.3%	52.6%	10.5%	66.7%	33.3%	0.0%	-40.4%	19.3%	10.5%
	30代	33	57.6%	27.3%	9.1%	63.6%	27.3%	9.1%	-6.0%	0.0%	0.0%
	40代	38	50.0%	39.5%	7.9%	54.5%	31.8%	4.5%	-4.5%	7.7%	3.4%
	50代	61	62.3%	27.9%	8.2%	66.7%	17.9%	7.7%	-4.4%	10.0%	0.5%
	60代	28	57.1%	25.0%	14.3%	40.0%	48.6%	2.9%	17.1%	-23.6%	11.4%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	26.4%	39.1%	3.4%	-26.4%	-39.1%	-3.4%
男性	20代	13	30.8%	53.8%	15.4%	25.0%	50.0%	25.0%	5.8%	3.8%	-9.6%
	30代	29	34.5%	37.9%	24.1%	33.3%	50.0%	16.7%	1.2%	-12.1%	7.4%
	40代	31	25.8%	61.3%	9.7%	27.8%	38.9%	33.3%	-2.0%	22.4%	-23.6%
	50代	55	32.7%	54.5%	10.9%	45.2%	45.2%	9.7%	-12.5%	9.3%	1.2%
	60代	16	12.5%	81.3%	0.0%	37.0%	55.6%	3.7%	-24.5%	25.7%	-3.7%
	70代以上	1	0.0%	100.0%	0.0%	29.0%	50.0%	1.6%	-29.0%	50.0%	-1.6%
【性・本人職業別】											
女性自営家族従業		18	61.1%	27.8%	0.0%	37.1%	31.4%	11.4%	24.0%	-3.6%	-11.4%
勤務者		129	54.3%	34.1%	8.5%	61.3%	27.4%	4.8%	-7.0%	6.7%	3.7%
無職		37	51.4%	24.3%	16.2%	35.4%	41.4%	2.0%	16.0%	-17.1%	14.2%
男性自営家族従業		28	39.3%	50.0%	7.1%	31.1%	50.8%	4.9%	8.2%	-0.8%	2.2%
勤務者		108	25.9%	56.5%	15.7%	36.2%	44.8%	17.2%	-10.3%	11.7%	-1.5%
無職		12	33.3%	50.0%	0.0%	32.3%	58.1%	6.5%	1.0%	-8.1%	-6.5%

( 7 ) 社会通念・慣習・しきたりなどで

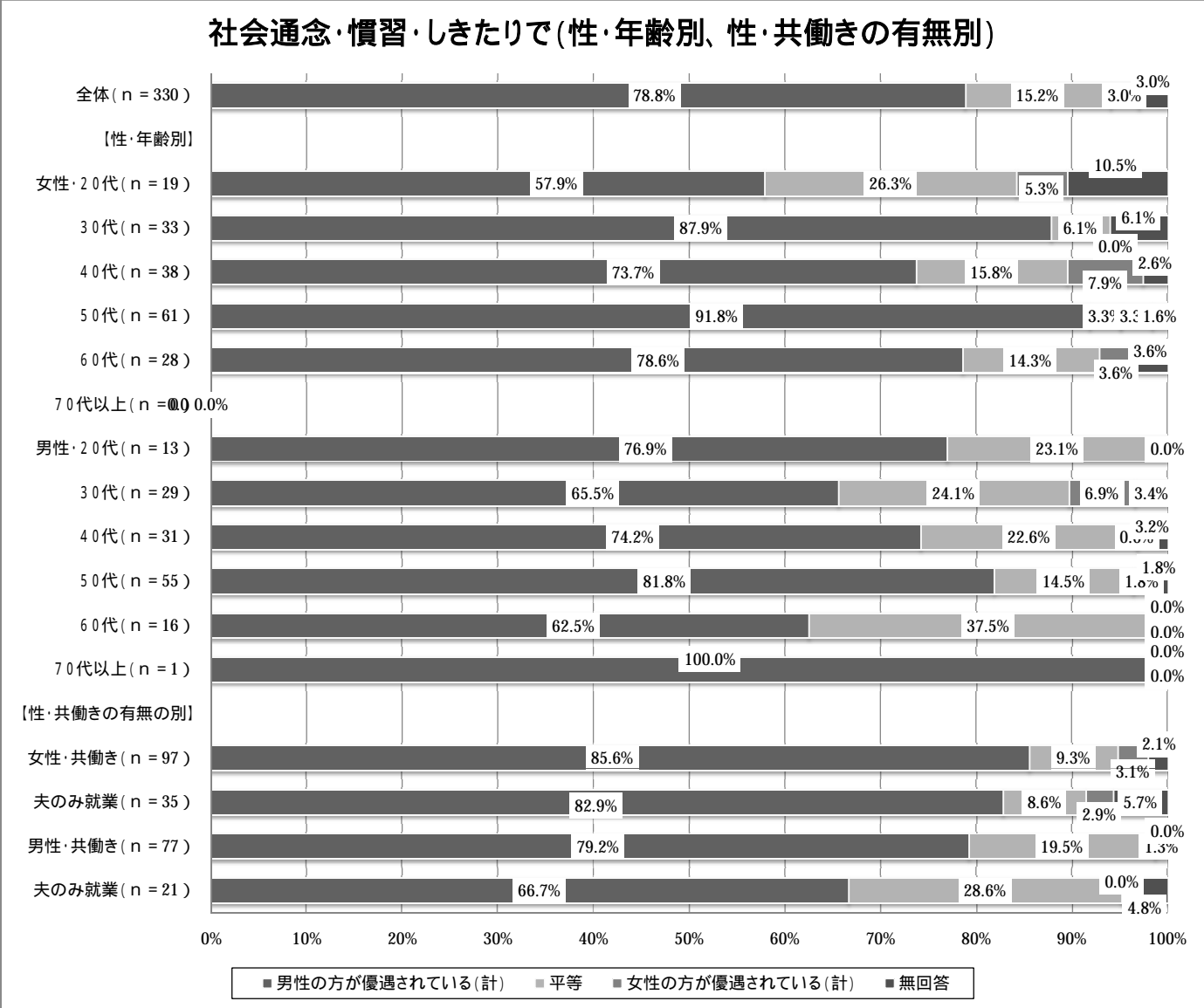
( 図 1 - 2 - 8 )

「社会通念・慣習・しきたりなどで」は、男性優遇が78.8%と高く、平等は15.2%である。前回調査と比べると、男性優遇が15.5%高くなった反面、平等は4.9%低くなっている。

性・年齢別でみると、女性の50代男性優遇が91.8%と最も高く、男性においても50代が81.8%であり、男女とも男性優遇を顕著に感じている。

性・共働きの有無別では、男女とも「共働き」の男性優遇が高くなっている。





前回との比較											
区分		今回				前回			比較		
		(n)	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
全体		330	78.8%	15.2%	3.0%	63.3%	20.1%	4.5%	15.5%	-4.9%	-1.5%
【性・年齢別】											
女性	20代	19	57.9%	26.3%	5.3%	100.0%	0.0%	0.0%	-42.1%	26.3%	5.3%
	30代	33	87.9%	6.1%	0.0%	72.7%	9.1%	18.2%	15.2%	-3.0%	-18.2%
	40代	38	73.7%	15.8%	7.9%	68.2%	22.7%	4.5%	5.5%	-6.9%	3.4%
	50代	61	91.8%	3.3%	3.3%	79.5%	12.8%	0.0%	12.3%	-9.5%	3.3%
	60代	28	78.6%	14.3%	3.6%	60.0%	25.7%	8.6%	18.6%	-11.4%	-5.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	48.3%	25.3%	3.4%	-48.3%	-25.3%	-3.4%
男性	20代	13	76.9%	23.1%	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%	-10.6%	10.6%	0.0%
	30代	29	65.5%	24.1%	6.9%	75.0%	25.0%	0.0%	-9.5%	-0.9%	6.9%
	40代	31	74.2%	22.6%	0.0%	77.8%	16.7%	5.6%	-3.6%	5.9%	-5.6%
	50代	55	81.8%	14.5%	1.8%	83.9%	6.5%	9.7%	-2.1%	8.0%	-7.9%
	60代	16	62.5%	37.5%	0.0%	70.4%	14.8%	11.1%	-7.9%	22.7%	-11.1%
70代以上		1	100.0%	0.0%	0.0%	54.8%	29.0%	1.6%	45.2%	-29.0%	-1.6%
【性・共働きの有無の別】											
女性	共働き	97	85.6%	9.3%	3.1%	66.2%	17.6%	5.9%	19.4%	-8.3%	-2.8%
	夫が就業	35	82.9%	8.6%	2.9%	74.2%	9.7%	0.0%	8.7%	-1.1%	2.9%
男性	共働き	77	79.2%	19.5%	1.3%	74.0%	13.0%	6.5%	5.2%	6.5%	-5.2%
	夫が就業	21	66.7%	28.6%	0.0%	68.4%	26.3%	0.0%	-1.7%	2.3%	0.0%

### 3．社会全体における男女の地位の平等感（問3）

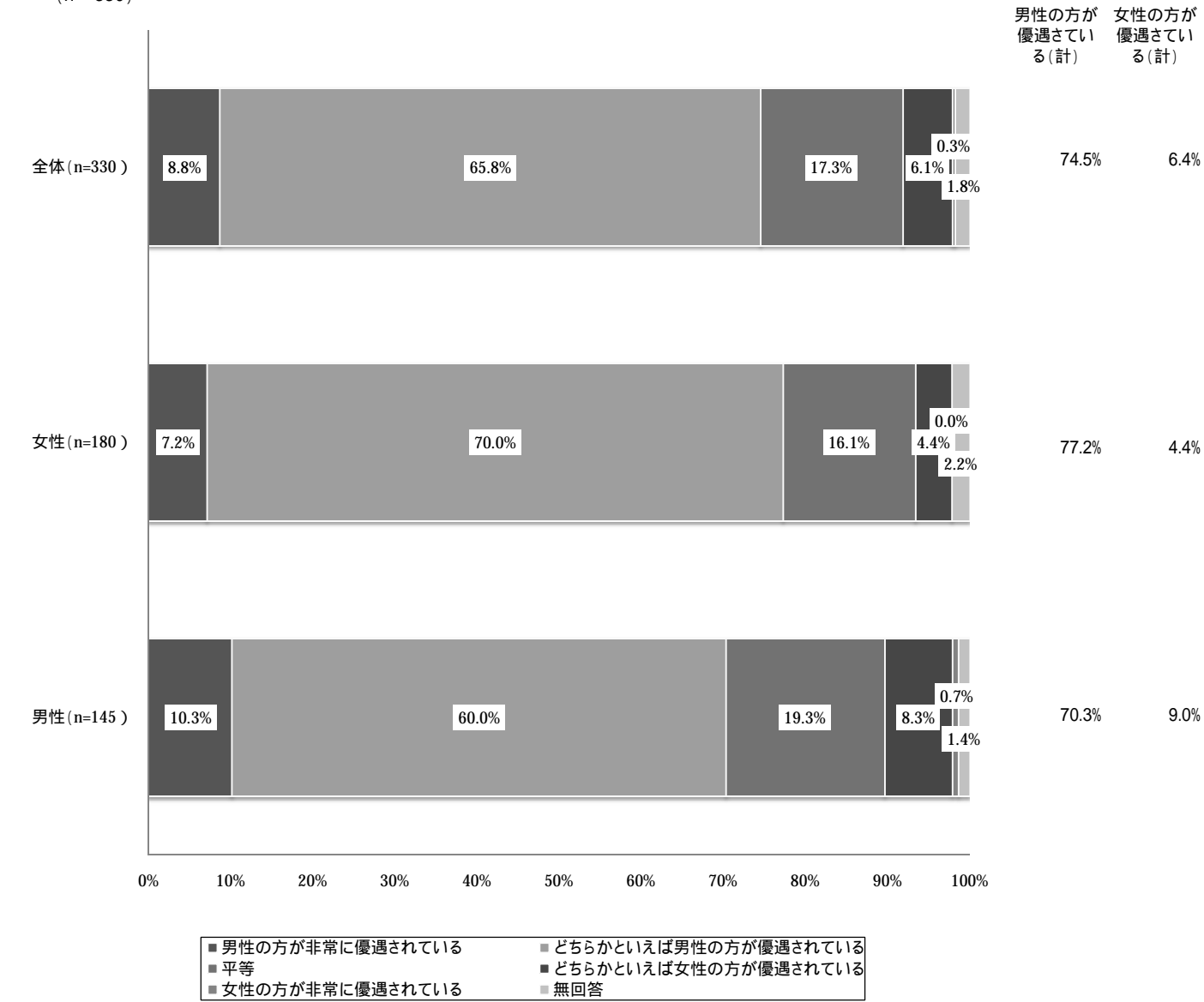
（図1 - 3）

社会全体でみた場合の、男性の優遇感は74.5%、平等感は17.3%と、男性の優遇感が高くなっている。特に女性は顕著に出ている。前回調査と比べると、平等が3.5%低くなり、男性優遇が7.2%高くなっている。

図1 - 3

社会全体における男女の地位の平等感

問3 社会全体でみた場合に、男女の地位は平等になっていると思いますか。( は1つ)  
(n = 330)



前回との比較

区分	今回				前回			比較増減		
	(n)	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇	男性優遇	平等	女性優遇
全体	330	74.5%	17.3%	6.4%	67.3%	20.8%	5.0%	7.2%	-3.5%	1.4%
女性	180	77.2%	16.1%	4.4%	70.9%	21.2%	2.5%	6.3%	-5.1%	1.9%
男性	145	70.3%	19.3%	9.0%	62.7%	20.3%	8.9%	7.6%	-1.0%	0.1%

#### 4．男性が優遇されている原因（問4）

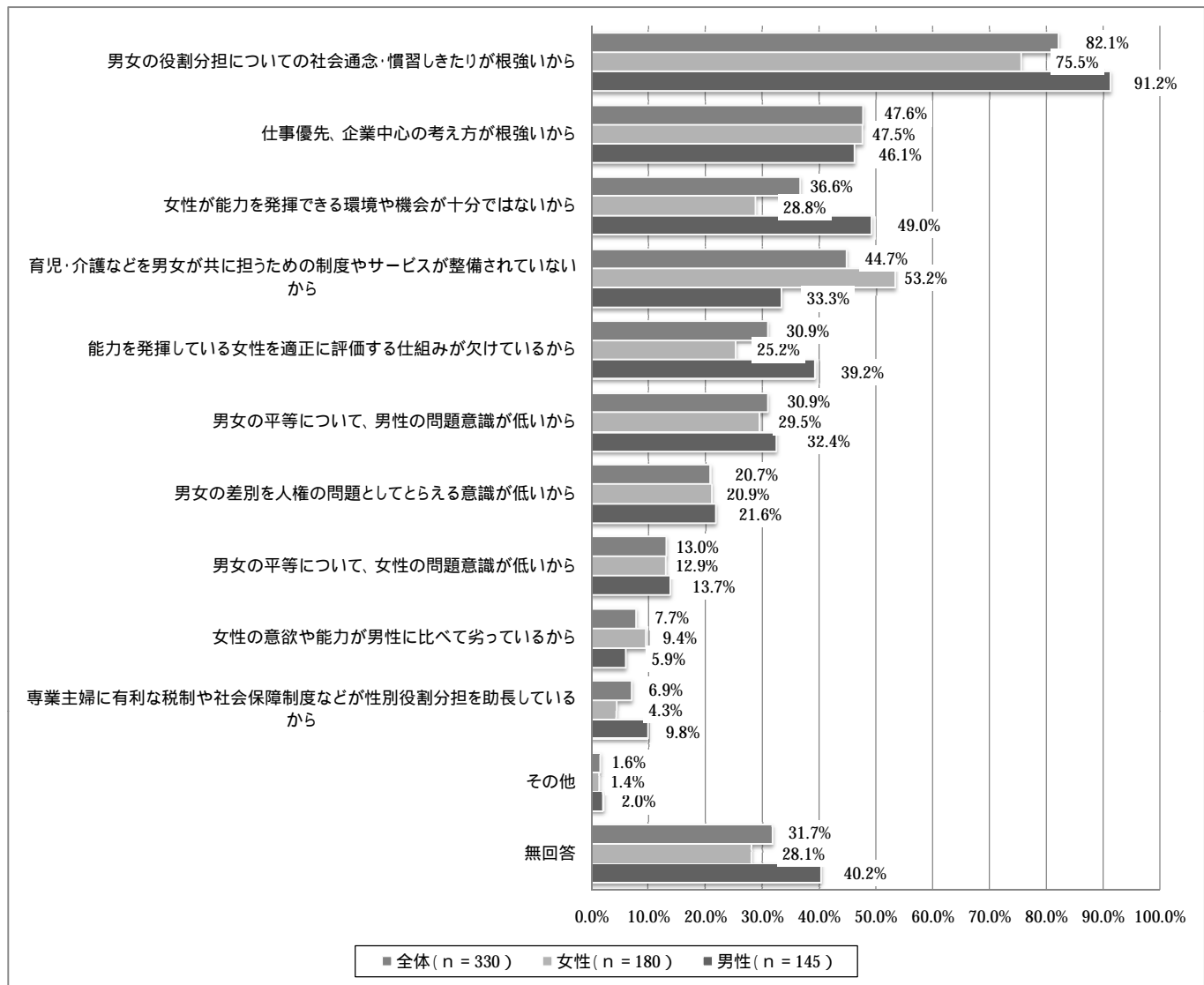
（図1 - 4）

「男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりが強いから」が82.1%と突出して高くなっている。男女ともにそうであるが、特に男性の91.2%は非常に高い。続いて「仕事優先、企業中心の考え方が根強いから」が47.6%、「育児・介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから」が44.7%となっている。また、男女の差をみると、「女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないから」が20.2%男性が高く、「育児・介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから」が19.9%女性が高くなっている。前回調査と比べると、全体の割合は同じようであるが、割合が高い項目は増加し、低い項目が減少し、その傾向を強くしている。

図1 - 4

男性が優遇されている原因

問4 社会全体でみて、男性の方が優遇されている原因は何だと思いますか。(はいくつでも)



前回との比較

区分	今回			前回			比較		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
男女の役割分担についての社会通念・慣習しきたりが根強いから	82.1%	75.5%	91.2%	66.7%	68.1%	68.7%	15.4%	7.4%	22.5%
仕事優先、企業中心の考え方が根強いから	47.6%	47.5%	46.1%	43.5%	40.3%	46.5%	4.1%	7.2%	-0.4%
女性が能力を発揮できる環境や機会が十分ではないから	36.6%	28.8%	49.0%	34.5%	29.9%	49.4%	2.1%	-1.1%	-0.4%
育児・介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから	44.7%	53.2%	33.3%	39.6%	47.9%	30.3%	5.1%	5.3%	3.0%
能力を発揮している女性を適正に評価する仕組みが欠けているから	30.9%	25.2%	39.2%	34.5%	34.0%	35.4%	-3.6%	-8.8%	3.8%
男女の平等について、男性の問題意識が低いから	30.9%	29.5%	32.4%	31.4%	35.4%	24.2%	-0.5%	-5.9%	8.2%
男女の差別を人権の問題としてとらえる意識が低いから	20.7%	20.9%	21.6%	18.8%	19.4%	16.2%	1.9%	1.5%	5.4%
男女の平等について、女性の問題意識が低いから	13.0%	12.9%	13.7%	18.8%	18.1%	20.2%	-5.8%	-5.2%	-6.5%
女性の意欲や能力が男性に比べて劣っているから	7.7%	9.4%	5.9%	12.2%	9.0%	14.1%	-4.5%	0.4%	-8.2%
専業主婦に有利な税制や社会保障制度などが性別役割分担を助長しているから	6.9%	4.3%	9.8%	7.8%	5.6%	10.1%	-0.9%	-1.3%	-0.3%
その他	1.6%	1.4%	2.0%	2.4%	2.1%	2.0%	-0.8%	-0.7%	0.0%
無回答	31.7%	28.1%	40.2%	3.9%	3.5%	5.1%	27.8%	24.6%	35.1%

## 第2章 女性の社会参画について

### 1. 女性の社会参画を推進する方策（問5）

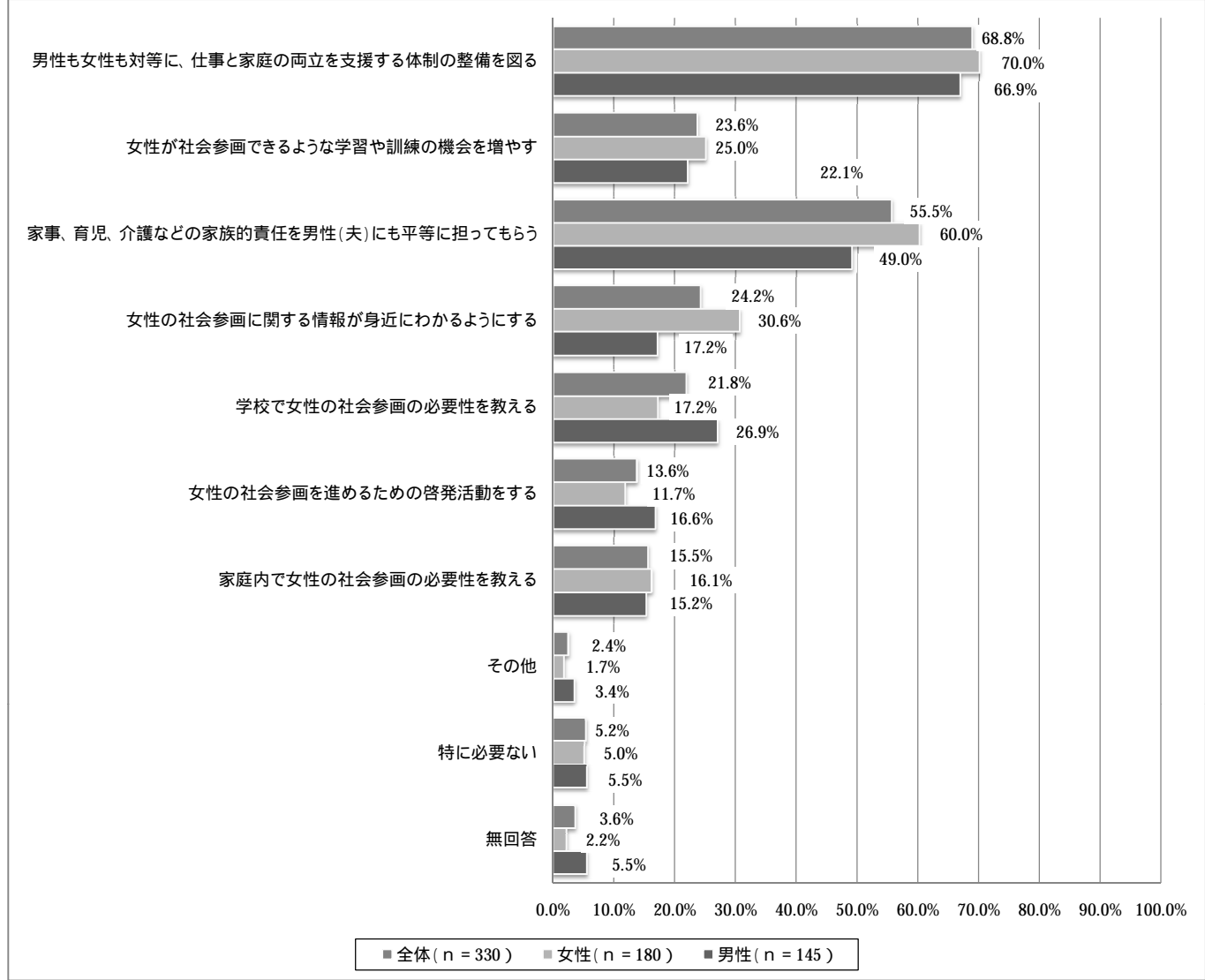
（図2 - 1）

「男性も女性も対等に、仕事と家庭の両立を支援する体制の整備を図る」が最も高くなっている（全体68.8%、女性70%、男性66.9%）。続いて「家事、育児、介護などの家族的責任を男性（夫）にも平等に担ってもらう」となっている（全体55.5%、女性60%、男性49%）。また、男女の差をみると、「女性の社会参画に関する情報が身近にわかるようにする」が13.4%女性が高く、「学校で女性の社会参画の必要性を教える」が9.7%男性が高くなっている。前回調査と比べると、「男性も女性も対等に、仕事と家庭の両立を支援する体制の整備を図る」が11.8%増加しているが、概ね同様の傾向である。

図2 - 1

女性の社会参画を推進する方策

問5 女性の社会参画を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。( はいくつでも)



前回との比較

区分	今回			前回			比較		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
男性も女性も対等に、仕事と家庭の両立を支援する体制の整備を図る	68.8%	70.0%	66.9%	57.0%	56.2%	52.3%	11.8%	13.8%	14.6%
女性が社会参画できるような学習や訓練の機会を増やす	23.6%	25.0%	22.1%	29.0%	25.6%	30.7%	-5.4%	-0.6%	-8.6%
家事、育児、介護などの家族的責任を男性(夫)にも平等に担ってもらう	55.5%	60.0%	49.0%	47.2%	55.7%	33.5%	8.3%	4.3%	15.5%
女性の社会参画に関する情報が身近にわかるようにする	24.2%	30.6%	17.2%	28.5%	30.0%	22.7%	-4.3%	0.6%	-5.5%
学校で女性の社会参画の必要性を教える	21.8%	17.2%	26.9%	18.7%	17.2%	17.0%	3.1%	0.0%	9.9%
女性の社会参画を進めるための啓発活動をする	13.6%	11.7%	16.6%	18.5%	12.8%	22.7%	-4.9%	-1.1%	-6.1%
家庭内で女性の社会参画の必要性を教える	15.5%	16.1%	15.2%	15.0%	14.8%	13.6%	0.5%	1.3%	1.6%
その他	2.4%	1.7%	3.4%	2.1%	1.0%	3.4%	0.3%	0.7%	0.0%
特に必要ない	5.2%	5.0%	5.5%	6.3%	5.4%	5.7%	-1.1%	-0.4%	-0.2%
無回答	3.6%	2.2%	5.5%	8.7%	8.4%	9.1%	-5.1%	-6.2%	-3.6%

## 2．女性の意見の反映度（問6）

（図2 - 2、図2 - 2 - 1）

町の政策に女性の意見や考え方がどの程度反映されているかという質問について、反映されているが半数以上を占め、男女の差も少ない（全体54.5％、女性53.3％、男性57.2％）。前回調査と比べると、全体と女性で半数を下回っていたが、今回はすべてで増加している。

これを性・年齢別でみると、女性の反映されていないが年代が上がれば高くなり、60代では57.1％に至っている。

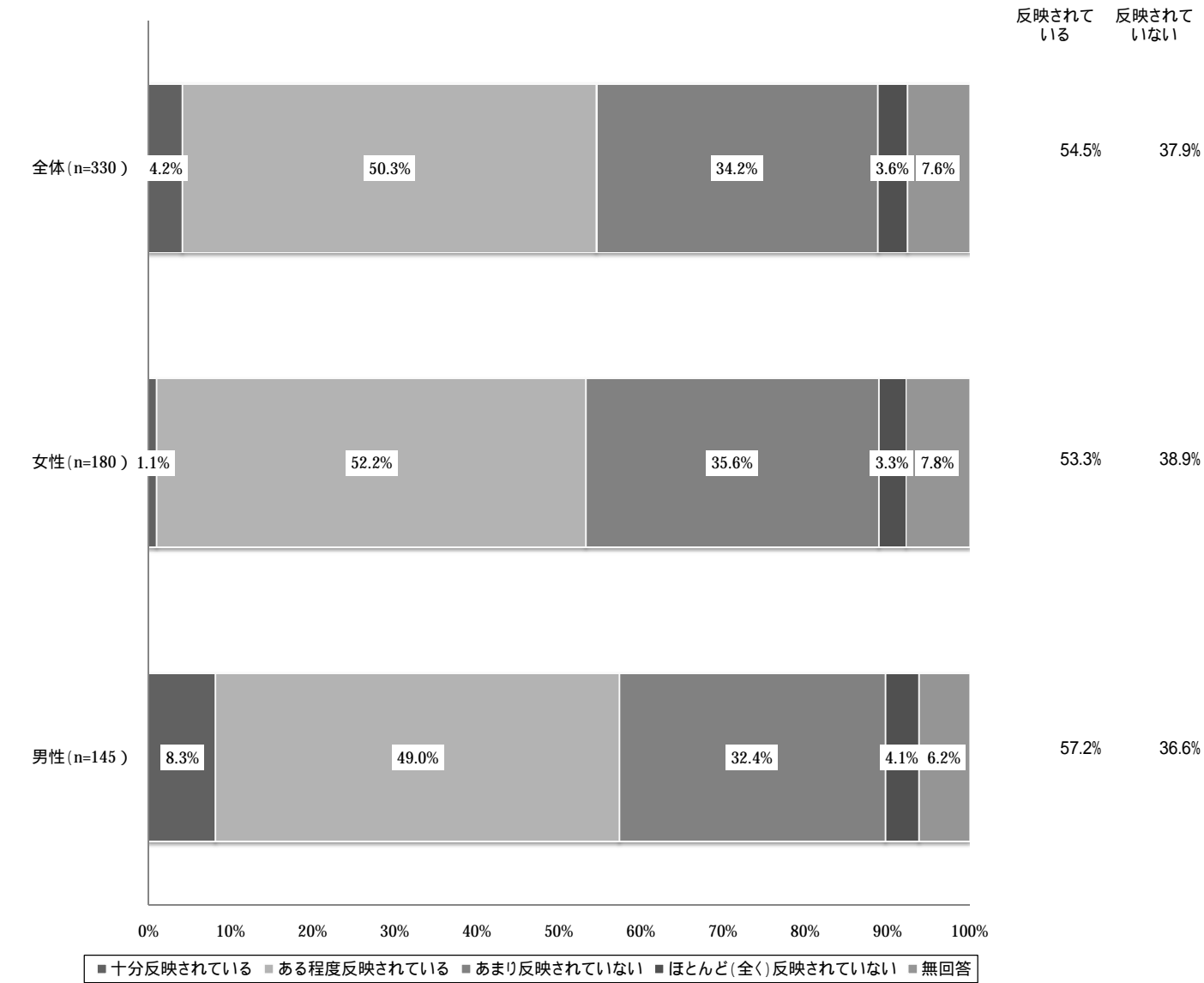
また、性・配偶関係別でみると、反映されているは男女とも未婚が高い。性・本人職業別でみると、反映されているは男女とも有職が高い。「社会全体での平等感別」でみると、平等と答えた人の71.9％が反映されていると答えている。



図2 - 2

女性の意見の反映度

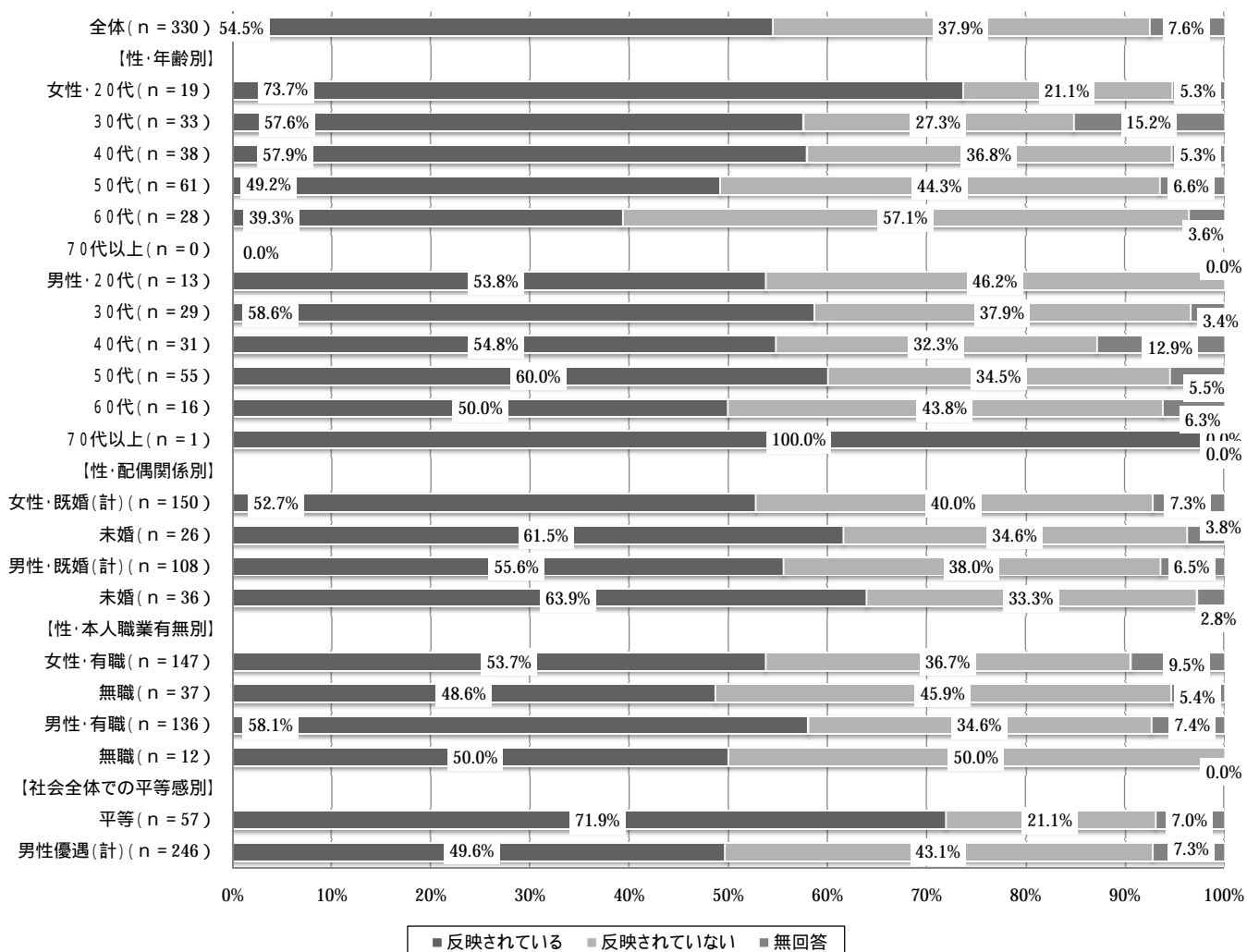
問6 あなたは、町の政策について女性の意見や考えがどの程度反映されていると思いますか。( 1は1つ)



前回との比較

区分	今回			前回		比較増減	
	(n)	反映されている	反映されていない	反映されている	反映されていない	反映されている	反映されていない
全体	330	54.5%	37.9%	47.2%	41.2%	7.3%	-3.3%
女性	180	53.3%	38.9%	41.4%	47.3%	11.9%	-8.4%
男性	145	57.2%	36.6%	53.2%	34.8%	4.0%	1.8%

# 女性の意見の反映度 (性・年齢別、性・配偶関係別、性・本人職業有無別、社会全体での平等感別)



## 前回との比較

区分		今回			前回		比較	
		(n)	反映され ている	反映され ていない	反映され	反映され ていない	反映され ている	反映され ていない
全体		330	54.5%	37.9%	47.2%	41.2%	7.3%	-3.3%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	73.7%	21.1%	33.3%	55.6%	40.4%	-34.5%
	30代	33	57.6%	27.3%	54.5%	45.5%	3.1%	-18.2%
	40代	38	57.9%	36.8%	40.9%	50.0%	17.0%	-13.2%
	50代	61	49.2%	44.3%	35.9%	61.5%	13.3%	-17.2%
	60代	28	39.3%	57.1%	37.1%	60.0%	2.2%	-2.9%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	44.8%	34.5%	-44.8%	-34.5%
男性	20代	13	53.8%	46.2%	75.0%	25.0%	-21.2%	21.2%
	30代	29	58.6%	37.9%	33.3%	58.3%	25.3%	-20.4%
	40代	31	54.8%	32.3%	55.6%	38.9%	-0.8%	-6.6%
	50代	55	60.0%	34.5%	54.8%	29.0%	5.2%	5.5%
	60代	16	50.0%	43.8%	55.6%	37.0%	-5.6%	6.8%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	51.6%	32.3%	48.4%	-32.3%
【性・配偶関係別】								
女性・既婚(計)		150	52.7%	40.0%	42.6%	47.4%	10.1%	-7.4%
未婚		26	61.5%	34.6%	44.4%	55.6%	17.1%	-21.0%
男性・既婚(計)		108	55.6%	38.0%	53.5%	35.2%	2.1%	2.8%
未婚		36	63.9%	33.3%	58.3%	25.0%	5.6%	8.3%
【性・本人職業有無別】								
女性・有職		147	53.7%	36.7%	43.3%	51.5%	10.4%	-14.8%
無職		37	48.6%	45.9%	41.4%	44.4%	7.2%	1.5%
男性・有職		136	58.1%	34.6%	52.9%	37.0%	5.2%	-2.4%
無職		12	50.0%	50.0%	67.7%	22.6%	-17.7%	27.4%
【社会全体での平等感別】								
平等		57	71.9%	21.1%	57.0%	32.9%	14.9%	-11.8%
男性優遇(計)		246	49.6%	43.1%	45.5%	47.5%	4.1%	-4.4%

### ３．女性の意見が反映されない理由（問７）

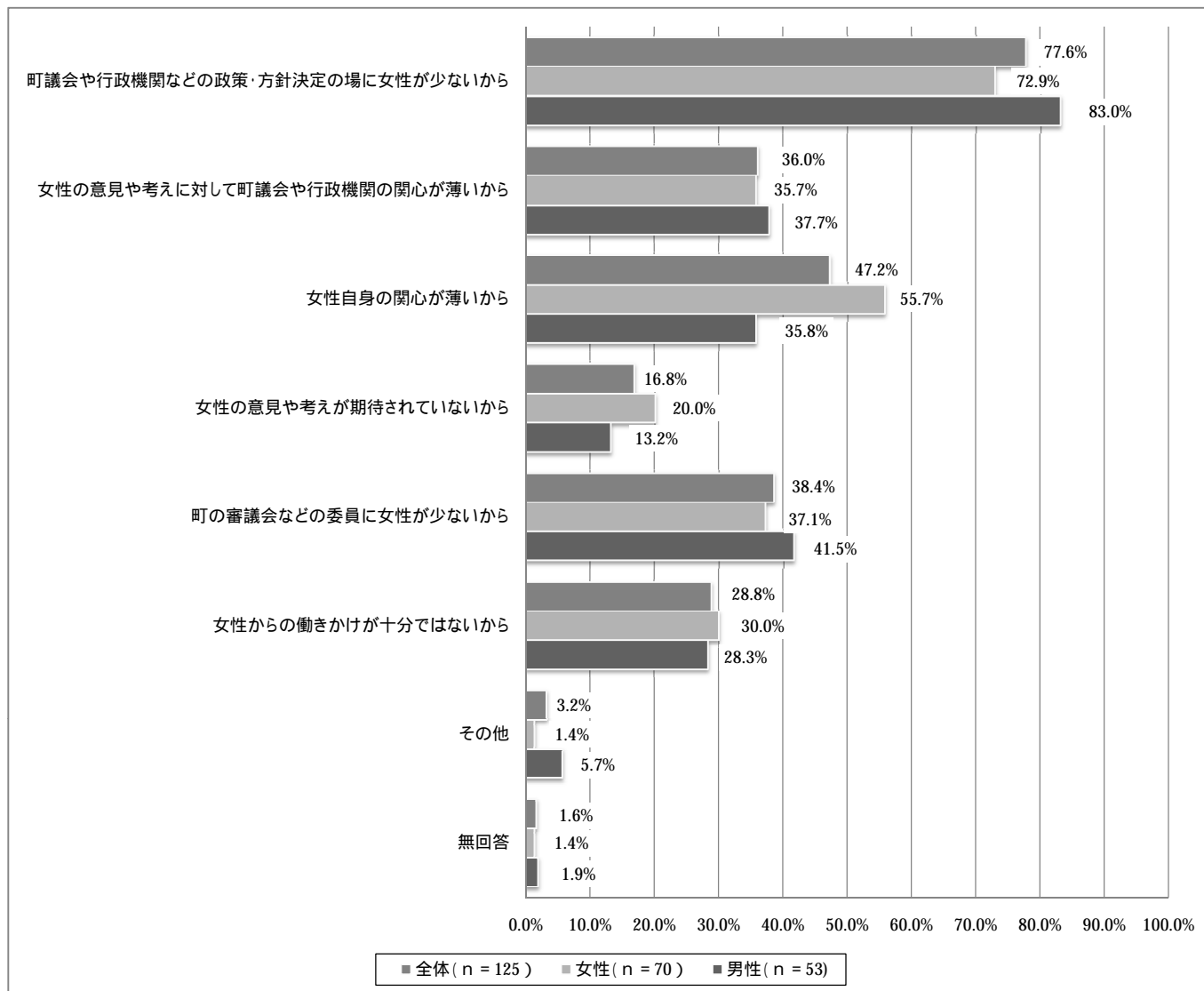
（図２－３）

町の政策に女性の意見や考え方が反映されていない理由については、「町議会や行政機関などの政策・方針決定の場に女性が少ないから」が最も多い（全体７７．６％、女性７２．９％、男性８３％）。次いで「女性自身の関心が薄いから」（全体４７．２％、女性５５．７％、男性３５．８％）となっている。前回調査と比べると、「町議会や行政機関などの政策・方針決定の場に女性が少ないから」が９％増加し、他は減少が多いが、概ね同じ傾向にある。

図2 - 3

女性の意見が反映されない理由

問7 町の政策に女性の意見や考えが反映されていないと思う理由は何ですか。( はいくつでも)



前回との比較

区分	今回			前回			比較		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
町議会や行政機関などの政	77.6%	72.9%	83.0%	68.6%	64.6%	80.0%	9.0%	8.3%	3.0%
女性の意見や考えに対して	36.0%	35.7%	37.7%	36.5%	37.5%	34.5%	-0.5%	-1.8%	3.2%
女性自身の関心が薄いから	47.2%	55.7%	35.8%	55.8%	64.6%	45.5%	-8.6%	-8.9%	-9.7%
女性の意見や考えが期待さ	16.8%	20.0%	13.2%	19.2%	21.9%	12.7%	-2.4%	-1.9%	0.5%
町の審議会などの委員に女	38.4%	37.1%	41.5%	37.2%	37.5%	38.2%	1.2%	-0.4%	3.3%
女性からの働きかけが十分	28.8%	30.0%	28.3%	30.1%	30.2%	32.7%	-1.3%	-0.2%	-4.4%
その他	3.2%	1.4%	5.7%	2.6%	2.1%	3.6%	0.6%	-0.7%	2.1%
無回答	1.6%	1.4%	1.9%	2.6%	2.1%	3.6%	-1.0%	-0.7%	-1.7%

### 第3章 女性と仕事について

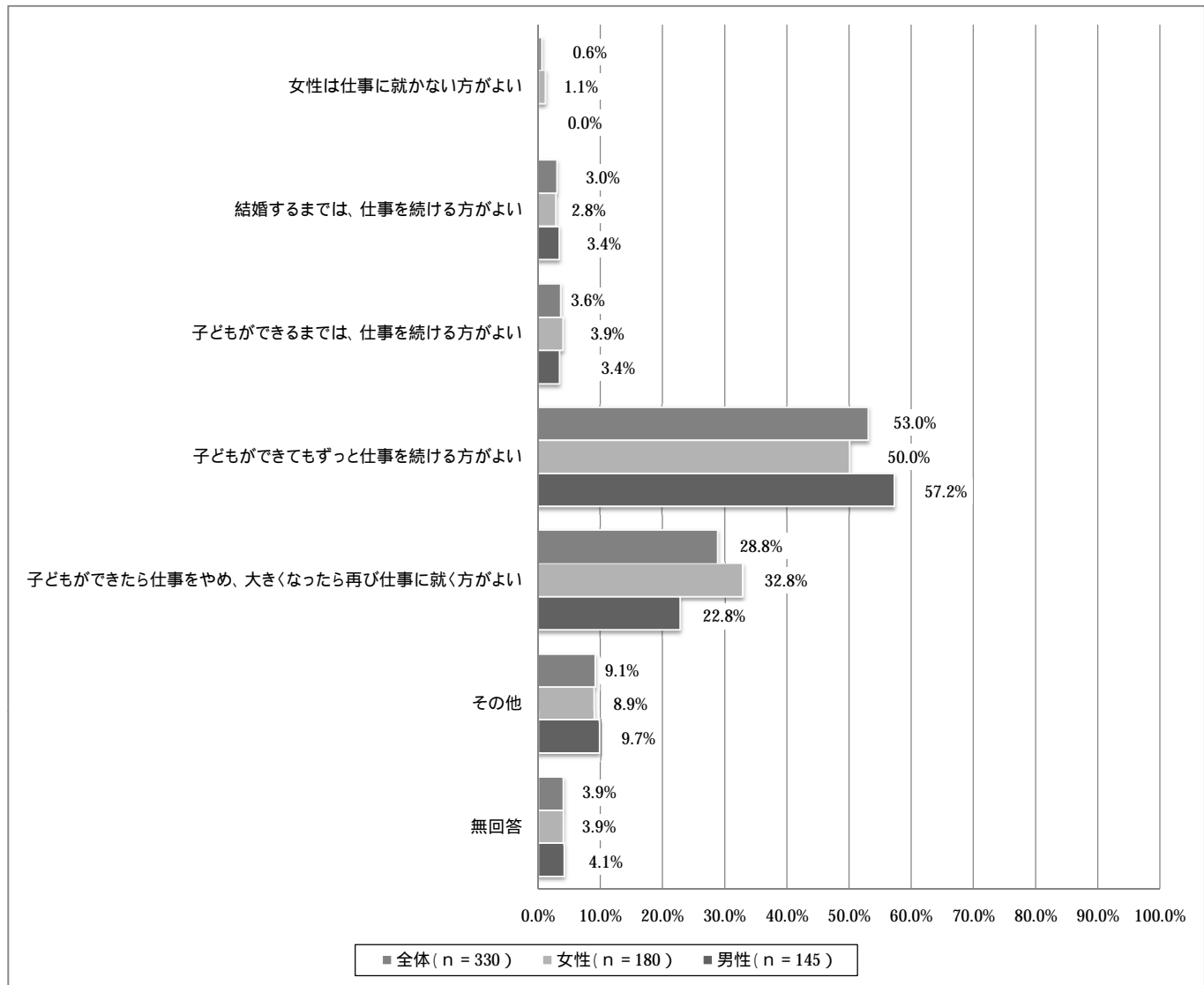
#### 1. 女性の就業パターン（問8）

（図3 - 1）

「子どもができてもしっかりと仕事を続ける方がよい」の「就労継続型」が最も多く（全体53%、女性50%、男性57.2%）、次いで「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事に就く方がよい」の「中断・再就労型」（全体28.8%、女性32.8%、男性22.8%）となり、他は非常に少ない。前回調査と比べると、20%以上の増減で「就労継続型」と「中断・再就労型」が逆転している。

図3 - 1

女性の就業パターン  
問8 一般的に女性と仕事について、あなたはどうお考えですか。( 1は1つ)



区分	今回			前回			比較		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
女性は仕事に就かない方がよい	0.6%	1.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.6%	0.1%	1.1%	-0.6%
結婚するまでは、仕事を続ける方がよい	3.0%	2.8%	3.4%	3.4%	3.4%	3.8%	-0.4%	-0.6%	-0.4%
子どもができるまでは、仕事を続ける方がよい	3.6%	3.9%	3.4%	4.5%	5.4%	1.9%	-0.9%	-1.5%	1.5%
子どもができてでもずっと仕事を続ける方がよい	53.0%	50.0%	57.2%	29.6%	26.1%	33.5%	23.4%	23.9%	23.7%
子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事に就く方がよい	28.8%	32.8%	22.8%	49.6%	53.2%	47.5%	-20.8%	-20.4%	-24.7%
その他	9.1%	8.9%	9.7%	4.7%	5.4%	4.4%	4.4%	3.5%	5.3%
無回答	3.9%	3.9%	4.1%	7.7%	6.4%	8.2%	-3.8%	-2.5%	-4.1%

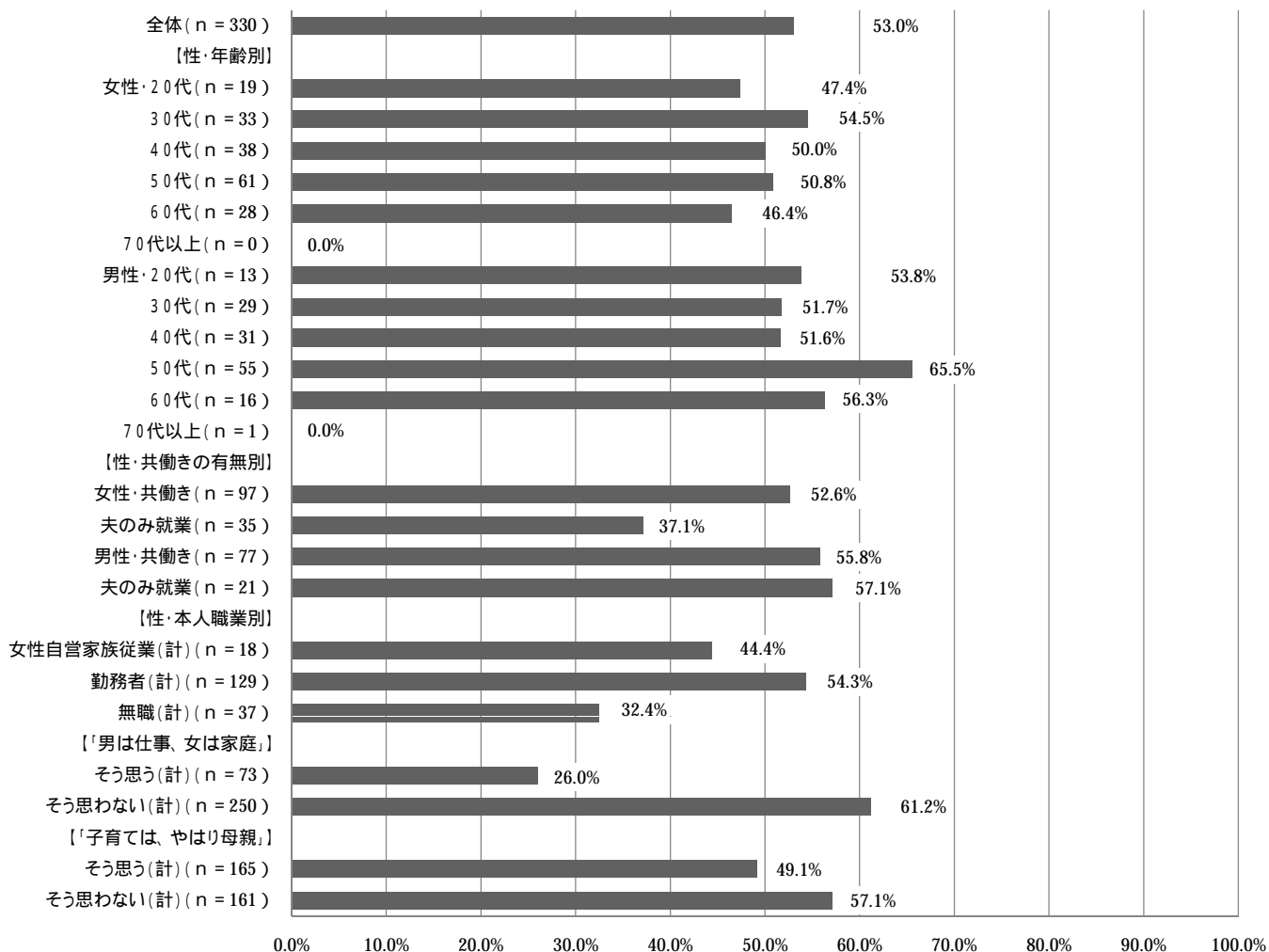
## ( 1 ) 就労継続型

( 図 3 - 1 - 1 )

「就労継続型」については、53%と高い。前回調査と比べると、23.4%の増加である。

性・年齢別でみると、男女ともに高いが、特に男性の50代60代が高くなっている。性・共働きの有無別でみると、女性の夫のみ就業が低く就労継続を支持しない傾向となっている。性・本人職業別でみると、女性の勤務者が最も就労継続を支持し、自営家族従業と無職では支持しない傾向となっている。「男は仕事、女は家庭」「子育ては、やはり母親」といった性別役割分担を否定する人が就労継続に対する支持が高い。

# 女性の就業パターン「子どもができてもしっかり仕事を続ける方がよい」 (性・年齢別、性・共働きの有無別、性・本人職業別、性別役割意識別)



## 前回との比較

区分		今回		前回	比較
全体		330	53.0%	29.6%	23.4%
【性・年齢別】					
女性	20代	19	47.4%	44.4%	3.0%
	30代	33	54.5%	27.3%	27.2%
	40代	38	50.0%	45.5%	4.5%
	50代	61	50.8%	39.5%	11.3%
	60代	28	46.4%	20.0%	26.4%
	70代以上	0	0.0%	16.1%	-16.1%
男性	20代	13	53.8%	50.0%	3.8%
	30代	29	51.7%	58.3%	-6.6%
	40代	31	51.6%	44.4%	7.2%
	50代	55	65.5%	38.7%	26.8%
	60代	16	56.3%	25.9%	30.4%
	70代以上	1	0.0%	24.2%	-24.2%
【性・共働きの有無別】					
女性	共働き	97	52.6%	36.8%	15.8%
	夫のみ就業	35	37.1%	25.8%	11.3%
男性	共働き	77	55.8%	37.7%	18.1%
	夫のみ就業	21	57.1%	21.1%	36.0%
【性・本人職業別】					
女性	自営家族従業	18	44.4%	20.0%	24.4%
	勤務者	129	54.3%	45.2%	9.1%
	無職	37	32.4%	19.2%	13.2%
【「男は仕事、女は家庭」性別役割意識別】					
そう思う (計)		73	26.0%	18.1%	7.9%
そう思わない (計)		250	61.2%	38.4%	22.8%
【「子育ては、やはり母親」性別役割意識別】					
そう思う (計)		165	49.1%	25.0%	24.1%
そう思わない (計)		161	57.1%	40.2%	16.9%



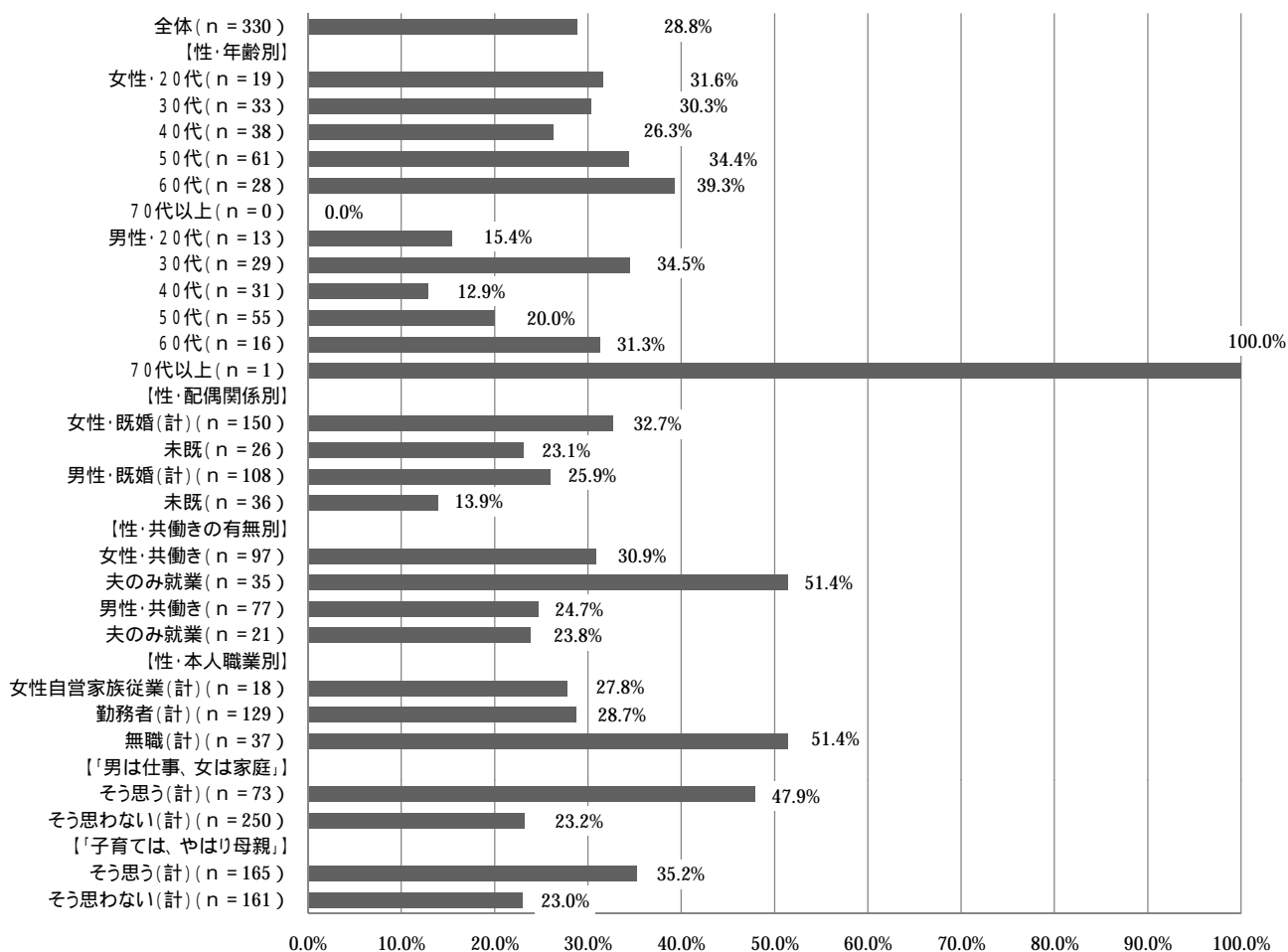
## ( 2 ) 中断・再就労型

( 図 3 - 1 - 2 )

「中断・再就労型」については、28.8%であり、前回調査と比べると、20.8%の減少している。

性・年齢別でみると、女性の50代60代の支持が高い。性・配偶関係別でみると、男女ともに既婚の方の支持が高い。性・共働きの有無別でみると、女性の夫のみ就業の支持だけが高い。性・本人職業別でみると、女性の無職の支持だけが高い。「男は仕事、女は家庭」「子育ては、やはり母親」といった性別役割分担を肯定する人の方の支持が高い。

女性の就業パターン「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら仕事に就く方がよい」  
(性・年齢別、性・配偶関係別・性・共働きの有無別、性・本人職業別、性別役割意識別)



## 前回との比較

区分		今回		前回	比較
全体		330	28.8%	49.6%	-20.8%
【性・年齢別】					
女性	20代	19	31.6%	33.3%	-1.7%
	30代	33	30.3%	54.5%	-24.2%
	40代	38	26.3%	40.9%	-14.6%
	50代	61	34.4%	53.8%	-19.4%
	60代	28	39.3%	68.6%	-29.3%
	70代以上	0	0.0%	51.7%	-51.7%
男性	20代	13	15.4%	25.0%	-9.6%
	30代	29	34.5%	16.7%	17.8%
	40代	31	12.9%	22.2%	-9.3%
	50代	55	20.0%	51.6%	-31.6%
	60代	16	31.3%	59.3%	-28.0%
	70代以上	1	100.0%	56.5%	43.5%
【性・配偶関係別】					
女性	既婚(計)	150	32.7%	54.2%	-21.5%
	未婚	26	23.1%	44.4%	-21.3%
男性	既婚(計)	108	25.9%	50.7%	-24.8%
	未婚	36	13.9%	25.0%	-11.1%
【性・共働きの有無別】					
女性	共働き	97	30.9%	54.4%	-23.5%
	夫のみ就業	35	51.4%	48.4%	3.0%
男性	共働き	77	24.7%	48.1%	-23.4%
	夫のみ就業	21	23.8%	57.9%	-34.1%
【性・本人職業別】					
女性	自営家族従業員	18	27.8%	65.7%	-37.9%
	勤務者	129	28.7%	43.5%	-14.8%
	無職	37	51.4%	55.6%	-4.2%
【「男は仕事、女は家庭」性別役割意識別】					
そう思う(計)		73	47.9%	59.1%	-11.2%
そう思わない(計)		250	23.2%	44.9%	-21.7%
【「子育ては、やはり母親」性別役割意識別】					
そう思う(計)		165	35.2%	53.1%	-17.9%
そう思わない(計)		161	23.0%	45.2%	-22.2%

## ２．女性の働き続けやすさ（問９）

（図３－２、図３－２－１）

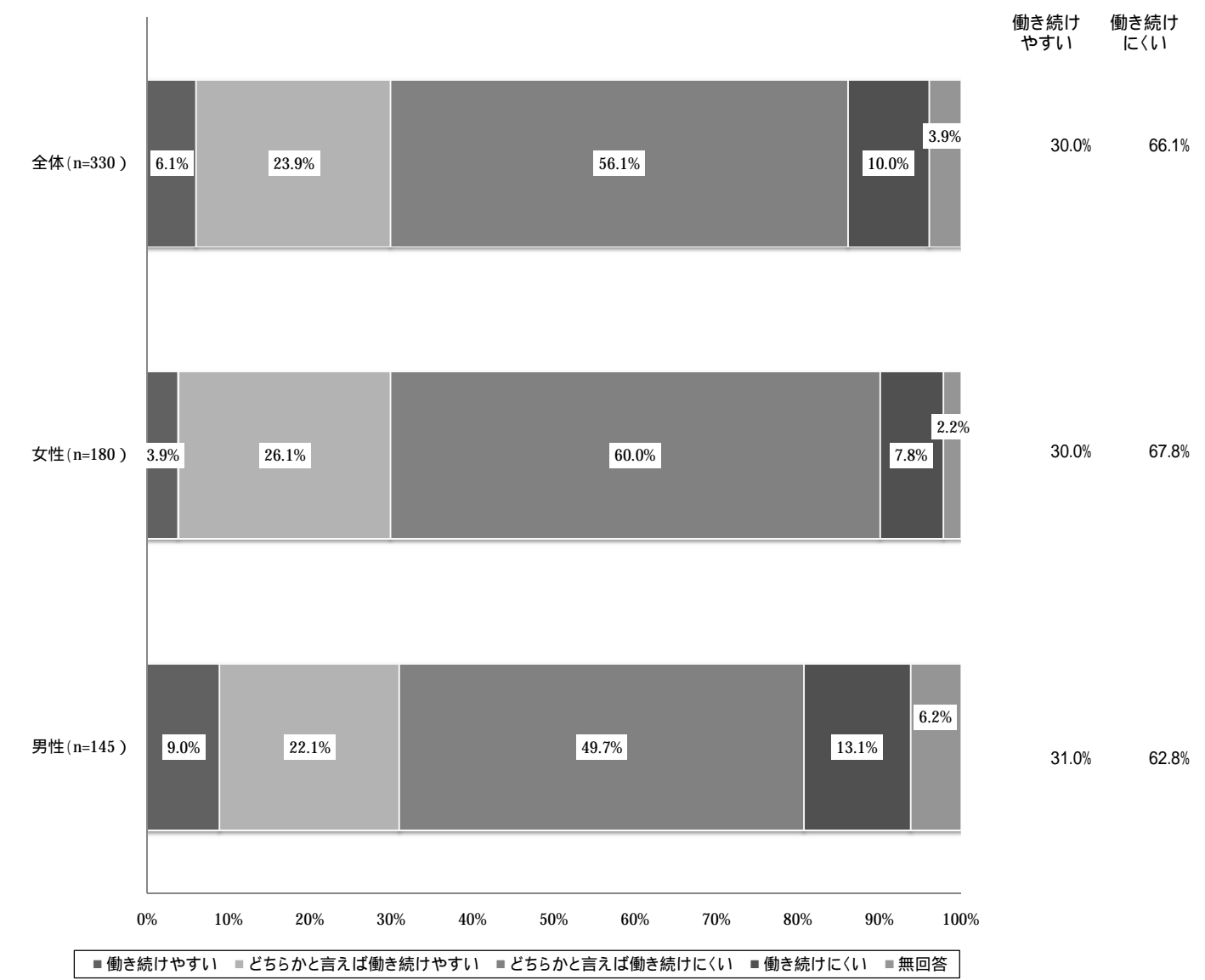
女性が働き続けるためにどういう状況にあるか尋ねたところ、「働き続けやすい」が３０％、「働き続けにくい」が６６．１％であった。前回調査と比べると、「働き続けにくい」が１４．９％増加している。

男女別にみると、ほぼ同じであるが、若干女性の方が「働き続けにくい」と感じる割合が高い。

また、性・年齢別では、女性の３０代４０代６０代と男性の３０代～６０代が「働き続けにくい」を感じる割合が高い。性・共働きの有無別では、男女とも共働きの有無に関わらず「働き続けにくい」を感じる割合が高い。性・本人職業別では、男女とも職業に関わらず「働き続けにくい」を感じる割合が高い。特に男性の無職は７５％と非常に高い。職場での平等感別では、平等と感じている人も男性優遇と感じている人も同程度「働き続けにくい」を感じる割合が高い。

図3 - 2

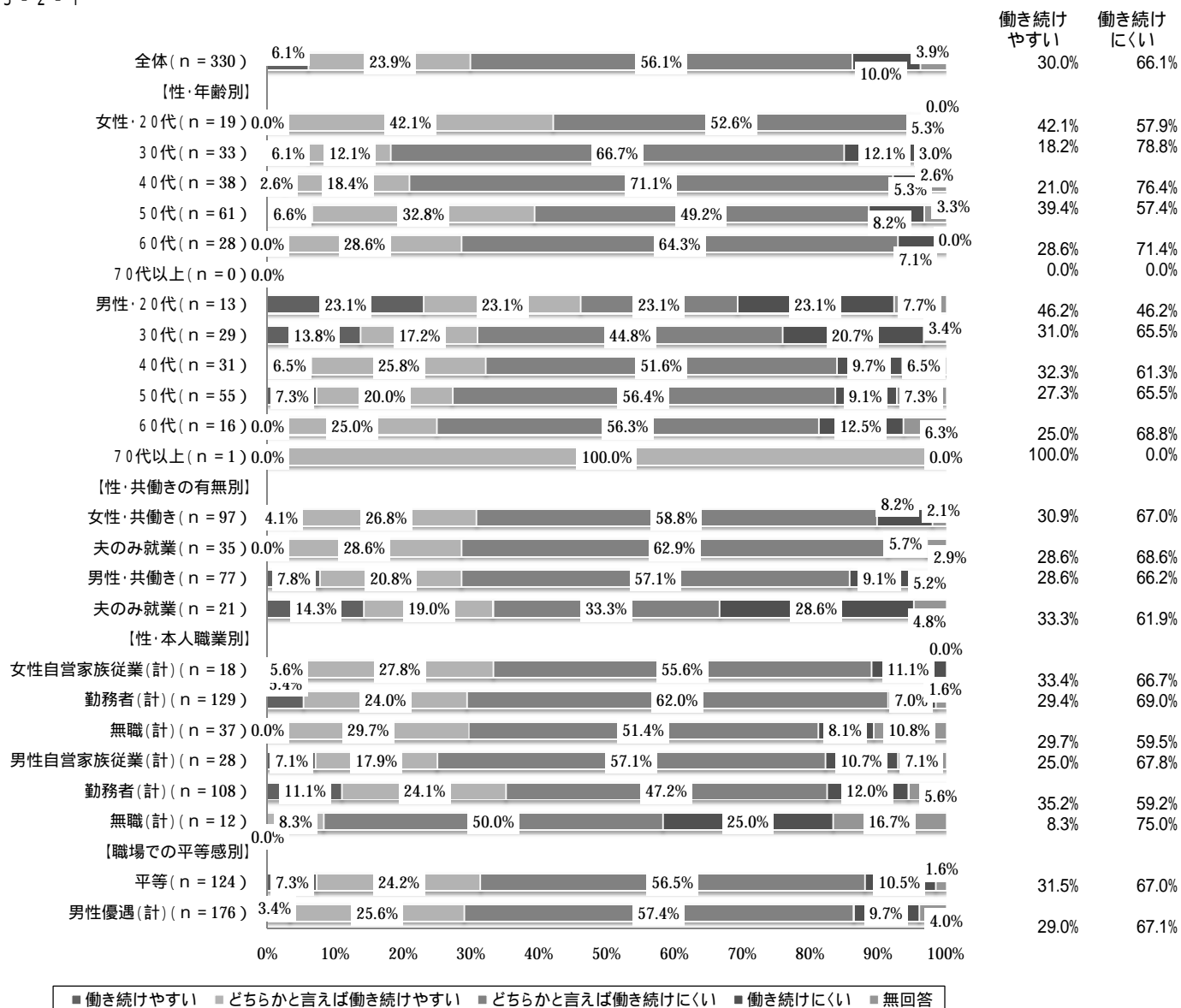
女性の働きやすさ  
問9 一般的に女性は現在働き続けやすい状況にあると思いますか。( は1つ)



前回との比較

区分	今回			前回		比較	
	(n)	働き続けやすい	働き続けない	働き続けやすい	働き続けない	働き続けやすい	働き続けない
全体	330	30.0%	66.1%	35.0%	51.2%	-5.0%	14.9%
女性	180	30.0%	67.8%	31.5%	54.7%	-1.5%	13.1%
男性	145	31.0%	62.8%	39.9%	46.8%	-8.9%	16.0%

図3 - 2 - 1



前回との比較

区分		今回		前回		比較	
		n	働き続けやすい	働き続けにくい	働き続けやすい	働き続けにくい	
全体		330	30.0%	66.1%	35.0%	51.2%	-5.0% 14.9%
【性・年齢別】							
女性	20代	19	42.1%	57.9%	22.2%	77.8%	19.9% -19.9%
	30代	33	18.2%	78.8%	27.3%	72.7%	-9.1% 6.1%
	40代	38	21.0%	76.4%	27.3%	68.2%	-6.3% 8.2%
	50代	61	39.4%	57.4%	33.3%	66.7%	6.1% -9.3%
	60代	28	28.6%	71.4%	40.0%	51.4%	-11.4% 20.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	29.9%	42.5%	-29.9% -42.5%
男性	20代	13	46.2%	46.2%	37.5%	62.5%	8.7% -16.3%
	30代	29	31.0%	65.5%	33.3%	58.3%	-2.3% 7.2%
	40代	31	32.3%	61.3%	33.3%	55.6%	-1.0% 5.7%
	50代	55	27.3%	65.5%	25.8%	67.7%	1.5% -2.2%
	60代	16	25.0%	68.8%	48.1%	44.4%	-23.1% 24.4%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	46.8%	30.6%	53.2% -30.6%
【性・共働きの有無別】							
女性	共働き	97	30.9%	67.0%	33.8%	61.8%	-2.9% 5.2%
	夫のみ就業	35	28.6%	68.6%	22.6%	64.5%	6.0% 4.1%
男性	共働き	77	28.6%	66.2%	31.2%	54.6%	-2.6% 11.6%
	夫のみ就業	21	33.3%	61.9%	57.9%	42.1%	-24.6% 19.8%
【性・本人職業別】							
女性	自営家族従業	18	33.4%	66.7%	34.3%	60.0%	-0.9% 6.7%
	勤務者	129	29.4%	69.0%	35.5%	61.3%	-6.1% 7.7%
	無職	37	29.7%	59.5%	26.3%	52.6%	3.4% 6.9%
男性	自営家族従業	28	25.0%	67.8%	42.7%	41.0%	-17.7% 26.8%
	勤務者	108	35.2%	59.2%	29.3%	60.4%	5.9% -1.2%
	無職	12	8.3%	75.0%	58.0%	32.2%	-49.7% 42.8%
【職場での平等感別】							
平等		124	31.5%	67.0%	44.8%	44.8%	-13.3% 22.2%
男性優遇 (計)		176	29.0%	67.1%	32.8%	59.4%	-3.8% 7.7%

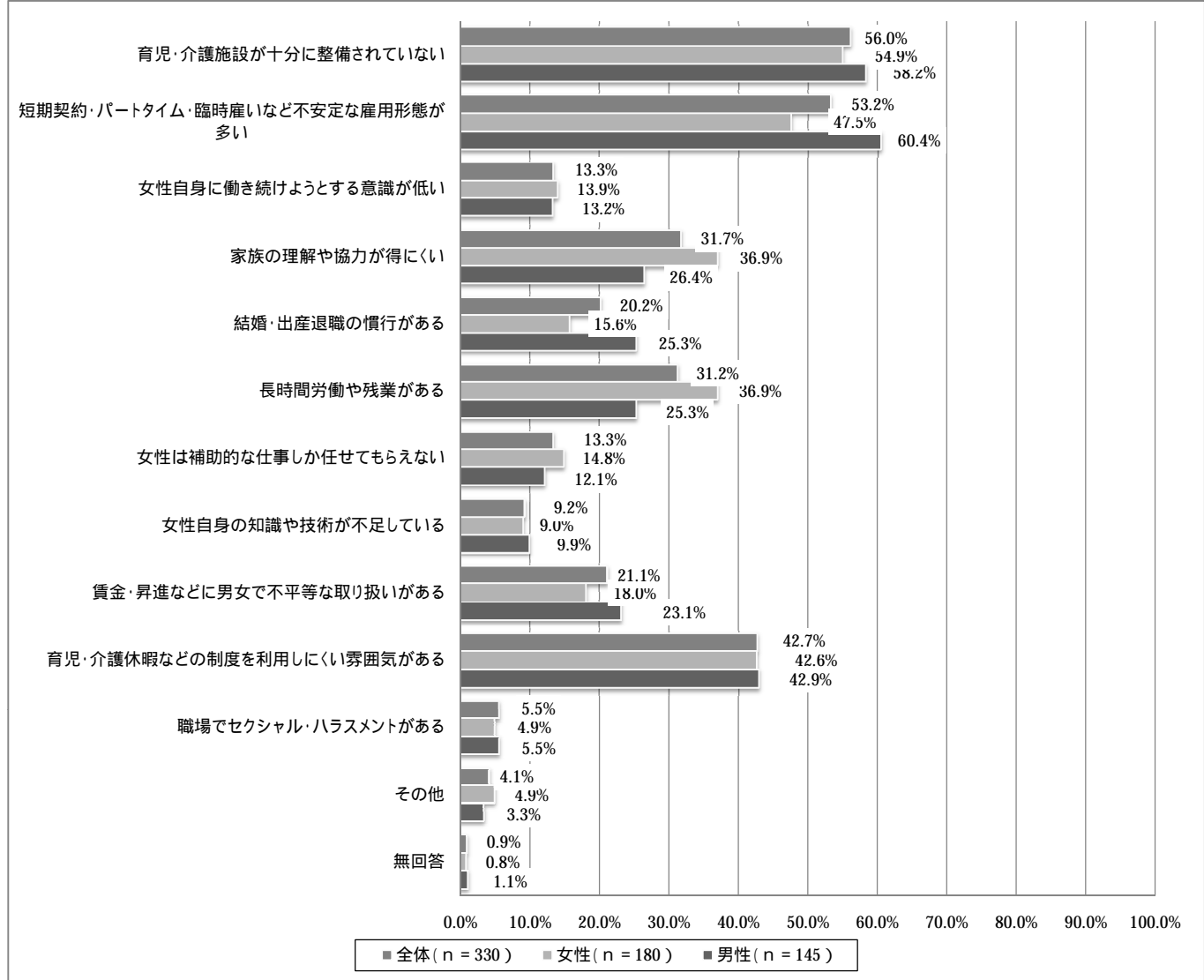
### 3．女性が働き続けるうえでの障害（問10）

（図3 - 3）

「働き続けにくい」と回答した人に障害が何か尋ねたところ、「育児・介護施設が十分に整備されていない」が56%、「短期契約・パートタイム・臨時雇いなど不安定な雇用形態が多い」が53.2%と半数以上であった。前回調査と比べると、この上位2項目が逆転しているほかは、大きな変動はない。

図3 - 3

女性が働き続けるうえでの障害  
問10 働き続けにくいと思うものはどのような理由からですか。( はいいくつでも)



前回との比較

区分	今回			前回			比較		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
育児・介護施設が十分に整備されていない	56.0%	54.9%	58.2%	50.5%	52.3%	51.4%	5.5%	2.6%	6.8%
短期契約・パートタイム・臨時雇いなど不安定な雇用形態が多い	53.2%	47.5%	60.4%	52.6%	45.0%	63.5%	0.6%	2.5%	-3.1%
女性自身に働き続けようとする意識が低い	13.3%	13.9%	13.2%	7.2%	9.9%	4.1%	6.1%	4.0%	9.1%
家族の理解や協力が得にくい	31.7%	36.9%	26.4%	30.9%	39.6%	20.3%	0.8%	-2.7%	6.1%
結婚・出産退職の慣行がある	20.2%	15.6%	25.3%	22.7%	18.9%	31.1%	-2.5%	-3.3%	-5.8%
長時間労働や残業がある	31.2%	36.9%	25.3%	23.7%	27.9%	17.6%	7.5%	9.0%	7.7%
女性は補助的な仕事しか任せてもらえない	13.3%	14.8%	12.1%	14.4%	9.9%	23.0%	-1.1%	4.9%	-10.9%
女性自身の知識や技術が不足している	9.2%	9.0%	9.9%	12.4%	14.4%	10.8%	-3.2%	-5.4%	-0.9%
賃金・昇進などに男女で不平等な取り扱いがある	21.1%	18.0%	23.1%	16.0%	15.3%	14.9%	5.1%	2.7%	8.2%
育児・介護休暇などの制度を利用しにくい雰囲気がある	42.7%	42.6%	42.9%	37.1%	39.6%	36.5%	5.6%	3.0%	6.4%
職場でセクシャル・ハラスメントがある	5.5%	4.9%	5.5%	3.6%	3.6%	4.1%	1.9%	1.3%	1.4%
その他	4.1%	4.9%	3.3%	1.5%	0.9%	1.4%	2.6%	4.0%	1.9%
無回答	0.9%	0.8%	1.1%	3.1%	3.6%	0.0%	-2.2%	-2.8%	1.1%

## 第4章 仕事と家庭・地域活動について

### 1. 仕事と家庭・地域活動についての考え方（問11）

#### （1）女性の望ましい生き方

（図4-1、図4-1-1）

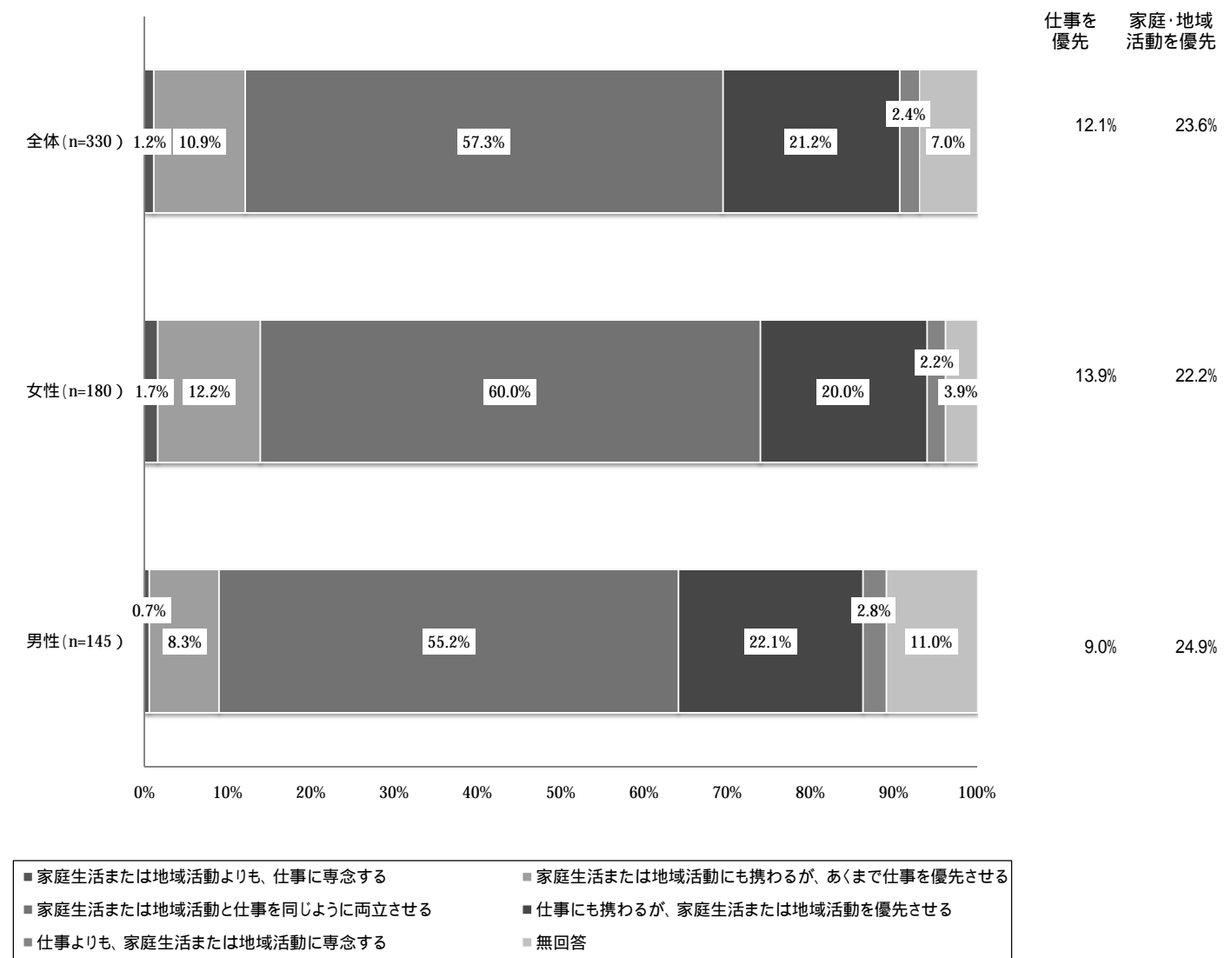
女性では、仕事と家庭・地域活動を両立させる「両立派」が57.3%と最も高く、次いで「家庭・地域活動を優先」が23.6%となっている。前回調査と比べると、「平等派」が13%増加している。

また、性別でみても、大きな差はなく「平等派」が高い。性・年齢別でみると、女性の「仕事優先」が60代で、「平等派」は20代～50代で高く、全体に男性よりも「仕事優先」「平等派」については女性が高い。性・共働きの有無別でみると、「両立派」が高いが、男女とも夫のみ就業で「家庭・地域活動を優先」が高くなっている。性・本人職業別をみると、女性の有職が「両立派」が特に高いのに対し、女性の無職では「家庭・地域活動を優先」が高めとなっている。「男は仕事、女は家庭」に肯定的な人は「家庭・地域活動を優先」が高く、否定的な人は「平等派」が高い。女性の就業パターン別では、「就労継続型」の人の「平等派」が高くなっている。



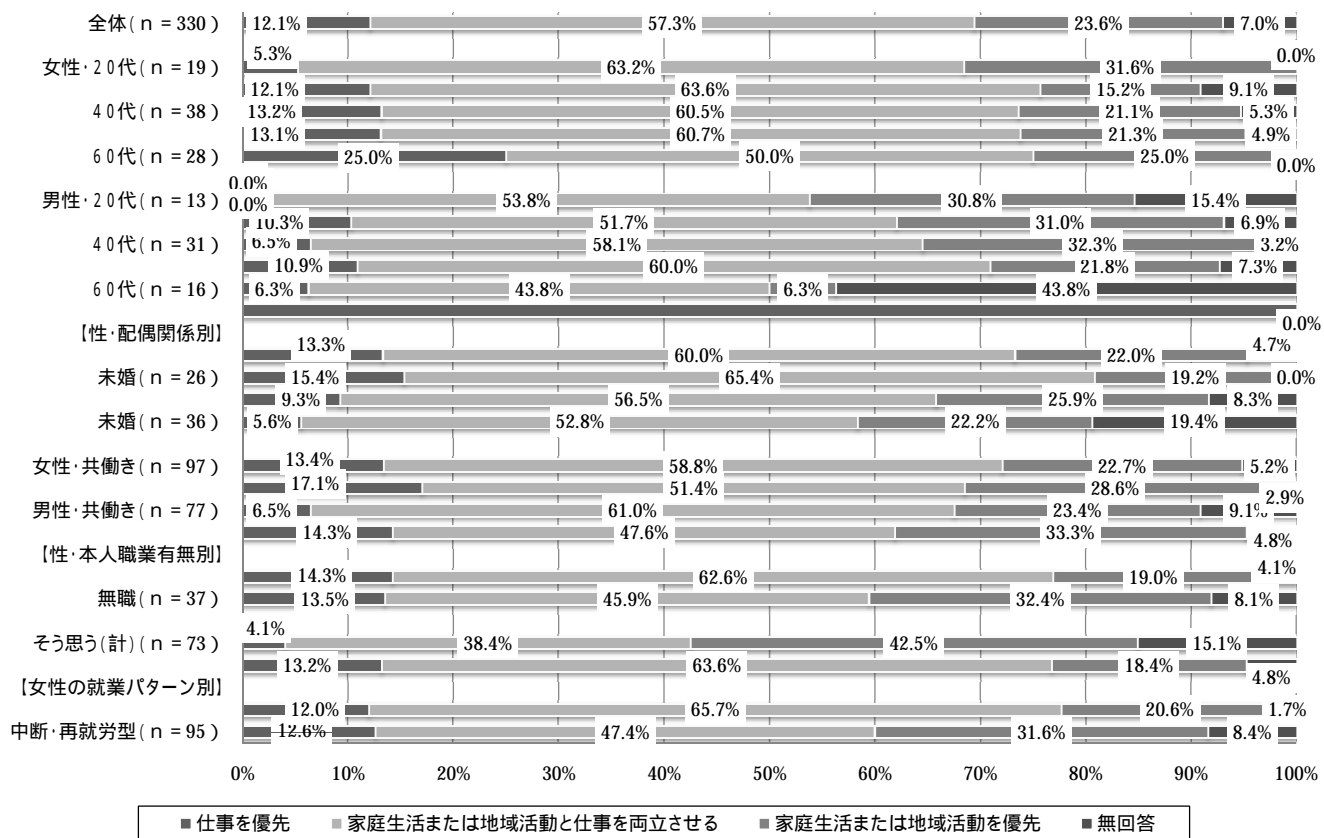
図4 - 1

仕事と家庭生活・地域活動について  
問11 女性、男性それぞれの生き方として、最も望ましいと思うものはどれですか。( は1つ)  
(1) 女性の仕事と家庭生活・地域活動について



前回との比較										
区分	今回				前回			比較		
	(n)	仕事を優先	両立	家庭・地域活動を優先	仕事を優先	両立	家庭・地域活動を優先	仕事を優先	両立	家庭・地域活動を優先
全体	330	12.1%	57.3%	23.6%	13.7%	44.3%	23.8%	-1.6%	13.0%	-0.2%
女性	180	13.9%	60.0%	22.2%	16.7%	47.3%	23.6%	-2.8%	12.7%	-1.4%
男性	145	9.0%	55.2%	24.9%	10.1%	41.8%	22.2%	-1.1%	13.4%	2.7%

**女性の仕事と家庭生活・地域活動について**  
**(性・年齢別、性・配偶関係別、性・共働きの有無別、性・本人職業有無別、**  
**性別役割意識別、女性の就業パターン別)**



## 前回との比較

区分	(n)	今回			前回			比較		
		仕事を優先	両立	家庭生活・地域活動を優先	仕事を優先	両立	家庭生活・地域活動を優先	仕事を優先	両立	家庭生活・地域活動を優先
全体	330	12.1%	57.3%	23.6%	13.7%	44.3%	23.7%	-1.6%	13.0%	-0.1%
【性・年齢別】										
女性										
20代	19	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	66.7%	22.2%	5.3%	-3.5%	9.4%
30代	33	12.1%	63.6%	15.2%	0.0%	54.5%	45.5%	12.1%	9.1%	-30.3%
40代	38	13.2%	60.5%	21.1%	13.6%	40.9%	36.4%	-0.4%	19.6%	-15.3%
50代	61	13.1%	60.7%	21.3%	12.8%	66.7%	15.4%	0.3%	-6.0%	5.9%
60代	28	25.0%	50.0%	25.0%	25.7%	51.4%	11.4%	-0.7%	-1.4%	13.6%
70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	19.5%	35.6%	26.4%	-19.5%	-35.6%	-26.4%
男性										
20代	13	0.0%	53.8%	30.8%	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%	-33.7%	18.3%
30代	29	10.3%	51.7%	31.0%	25.0%	41.7%	16.7%	-14.7%	10.0%	14.3%
40代	31	6.5%	58.1%	32.3%	11.1%	55.6%	16.7%	-4.6%	2.5%	15.6%
50代	55	10.9%	60.0%	21.8%	19.4%	32.3%	32.3%	-8.5%	27.7%	-10.5%
60代	16	6.3%	43.8%	6.3%	3.7%	37.0%	29.6%	2.6%	6.8%	-23.3%
70代以上	1	100.0%	0.0%	0.0%	6.5%	38.7%	17.7%	93.5%	-38.7%	-17.7%
【性・配偶関係別】										
女性 既婚 (計)	150	13.3%	60.0%	22.0%	17.4%	46.3%	24.2%	-4.1%	13.7%	-2.2%
女性 未婚 (計)	26	15.4%	65.4%	19.2%	0.0%	88.9%	11.1%	15.4%	-23.5%	8.1%
男性 既婚 (計)	108	9.3%	56.5%	25.9%	9.9%	42.3%	21.1%	-0.6%	14.2%	4.8%
男性 未婚 (計)	36	5.6%	52.8%	22.2%	8.3%	41.7%	41.7%	-2.7%	11.1%	-19.5%
【性・共働きの有無別】										
女性・共働き	97	13.4%	58.8%	22.7%	16.2%	51.5%	27.9%	-2.8%	7.3%	-5.2%
夫のみ就業	35	17.1%	51.4%	28.6%	12.9%	54.8%	16.1%	4.2%	-3.4%	12.5%
男性・共働き	77	6.5%	61.0%	23.4%	11.7%	49.4%	20.8%	-5.2%	11.6%	2.6%
夫のみ就業 (n = 21)	21	14.3%	47.6%	33.3%	10.5%	42.1%	15.8%	3.8%	5.5%	17.5%
【性・本人職業有無別】										
女性・有職 (n = 147)	147	14.3%	62.6%	19.0%	14.4%	52.6%	25.8%	-0.1%	10.0%	-6.8%
無職 (n = 37)	37	13.5%	45.9%	32.4%	18.2%	45.5%	20.2%	-4.7%	0.4%	12.2%
【「男は仕事、女は家庭」】										
そう思う (計) (n = 73)	73	4.1%	38.4%	42.5%	11.4%	38.9%	30.2%	-7.3%	-0.5%	12.3%
そう思わない (計) (n = 250)	250	13.2%	63.6%	18.4%	12.6%	52.5%	19.7%	0.6%	11.1%	-1.3%
【女性の就業パターン別】										
就労継続型 (n = 175)	175	12.0%	65.7%	20.6%	17.9%	53.6%	19.6%	-5.9%	12.1%	1.0%
中断・再就労型 (n = 95)	95	12.6%	47.4%	31.6%	13.8%	43.6%	30.3%	-1.2%	3.8%	1.3%

## （２）男性の望ましい生き方

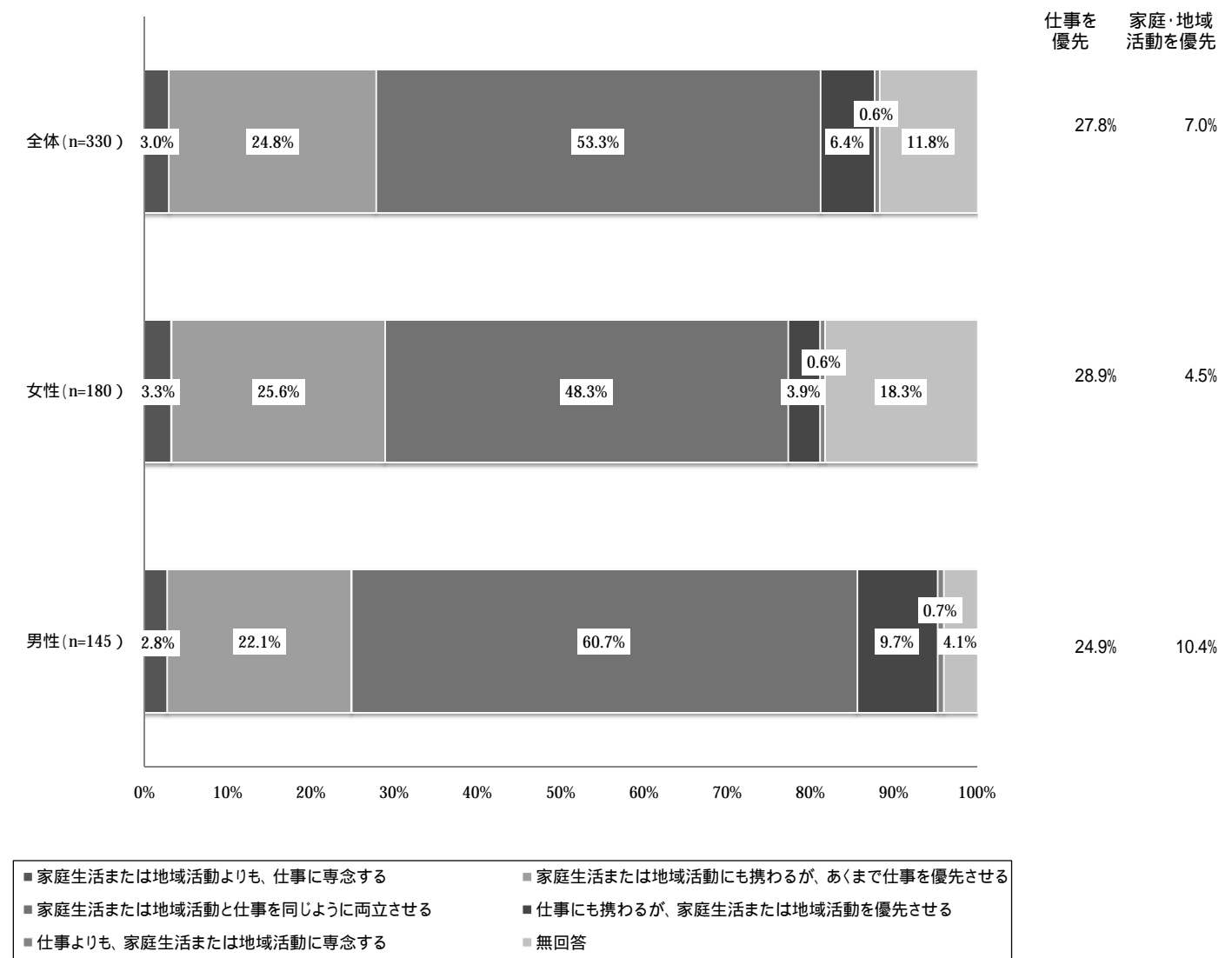
（図４－１－２、図４－１－３）

男性では、仕事と家庭・地域活動を両立させる「両立派」が５３．３％と最も高く、次いで「仕事優先」が２７．８％となっている。前回調査と比べると、「平等派」が１８．５％増加しているが、女性の「仕事優先」も４．８％増加している。

また、性別でみると、女性の「平等派」が４８．３％と低く、「仕事優先」が男性よりも高い。性・年齢別でみると、「両立派」は女性の５０代６０代を除き半数以上であるが、女性の２０代５０代６０代と男性の５０代の「仕事優先」も他と比べ高い。また、「家庭・地域活動を優先」は男性よりも女性が低くなっている。性・配偶関係別をみると、女性の既婚が「平等派」が低めで「仕事優先」が高めとなっている。男性の未婚では、「家庭・地域活動を優先」が高めである。性・本人職業別をみると、男性の有職の「平等派」が高いのに対し、女性の有職無職ともに「仕事優先」と男性の無職の「家庭・地域活動を優先」が高めである。「男は仕事、女は家庭」に肯定的な人は「仕事優先」が高めなのに対し、否定的な人は「平等派」が高い。女性の望ましい生き方別をみると、両立派は「両立派」特に高く、家庭・地域優先派は「仕事優先」が若干高いが「両立派」「家庭・地域活動を優先」も同程度である。

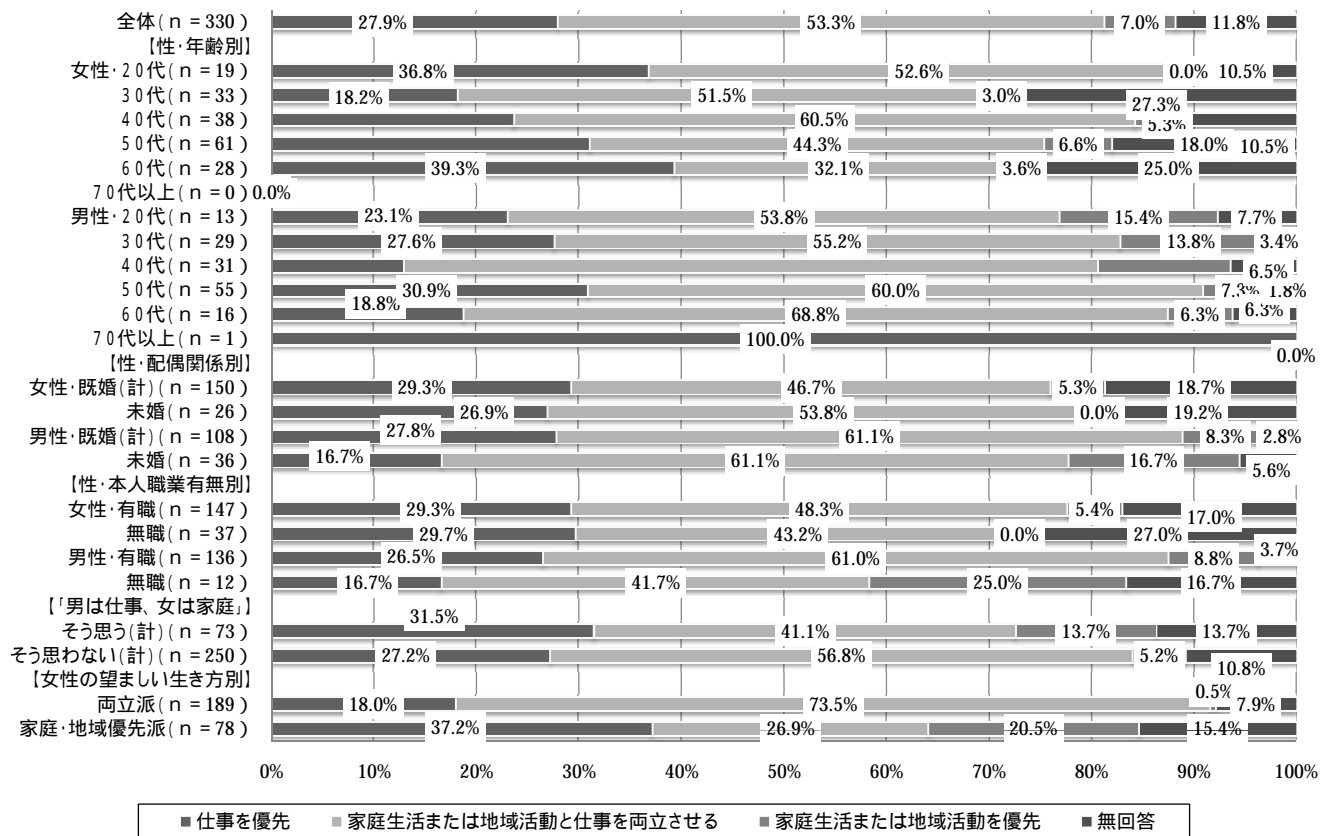
図4 - 1 - 2

仕事と家庭生活・地域活動について  
問11 女性、男性それぞれの生き方として、最も望ましいと思うものはどれですか。( は1つ)  
(2)男性の仕事と家庭生活・地域活動について



前回との比較										
区分	今回				前回			比較		
	(n)	仕事を優先	両立	家庭・地域活動を優先	仕事を優先	両立	家庭・地域活動を優先	仕事を優先	両立	家庭・地域活動を優先
全体	330	27.8%	53.3%	7.0%	30.3%	34.8%	5.0%	-2.5%	18.5%	2.0%
女性	180	28.9%	48.3%	4.5%	24.1%	32.0%	3.9%	4.8%	16.3%	0.6%
男性	145	24.9%	60.7%	10.4%	37.9%	40.5%	6.3%	-13.0%	20.2%	4.1%

**男性の仕事と家庭生活・地域活動について**  
**(性・年齢別、性・配偶関係別、性・本人職業有無別、性別役割意識別、**  
**女性の望ましい生き方別)**



## 前回との比較

区分		今回			前回			比較		
		(n)	仕事を優先	両立	家庭生活・地域活動を優先	仕事を優先	両立	家庭生活・地域活動を優先	仕事を優先	両立
全体		330	27.9%	53.3%	7.0%	30.3%	34.8%	5.0%	-2.4%	18.5%
【性・年齢別】										
女性	20代	19	36.8%	52.6%	0.0%	11.1%	66.7%	11.1%	25.7%	-14.1%
	30代	33	18.2%	51.5%	3.0%	27.3%	54.5%	18.2%	-9.1%	-15.2%
	40代	38	23.7%	60.5%	5.3%	22.7%	45.5%	4.5%	1.0%	15.0%
	50代	61	31.1%	44.3%	6.6%	28.2%	43.6%	0.0%	2.9%	0.7%
	60代	28	39.3%	32.1%	3.6%	22.9%	28.6%	2.9%	16.4%	3.5%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	24.1%	18.4%	3.4%	-24.1%	-18.4%
男性	20代	13	23.1%	53.8%	15.4%	12.5%	75.0%	12.5%	10.6%	-21.2%
	30代	29	27.6%	55.2%	13.8%	50.0%	33.3%	12.5%	-22.4%	21.9%
	40代	31	12.9%	67.7%	12.9%	27.8%	55.6%	5.6%	-14.9%	12.1%
	50代	55	30.9%	60.0%	7.3%	48.4%	48.4%	0.0%	-17.5%	11.6%
	60代	16	18.8%	68.8%	6.3%	37.0%	37.0%	11.1%	-18.2%	31.8%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	0.0%	37.1%	30.6%	6.5%	62.9%	-30.6%
【性・配偶関係別】										
女性	既婚(計)	150	29.3%	46.7%	5.3%	25.3%	29.5%	3.7%	4.0%	17.2%
	未婚	26	26.9%	53.8%	0.0%	0.0%	88.9%	1.1%	26.9%	-35.1%
男性	既婚(計)	108	27.8%	61.1%	8.3%	35.9%	42.3%	5.6%	-8.1%	18.8%
	未婚	36	16.7%	61.1%	16.7%	58.3%	25.0%	16.7%	-41.6%	36.1%
【性・本人職業有無別】										
女性	有職	147	29.3%	48.3%	5.4%	26.8%	35.1%	5.2%	2.5%	13.2%
	無職	37	29.7%	43.2%	0.0%	22.2%	29.3%	3.0%	7.5%	13.9%
男性	有職	136	26.5%	61.0%	8.8%	37.8%	42.9%	7.6%	-11.3%	18.1%
	無職	12	16.7%	41.7%	25.0%	41.9%	32.3%	3.2%	-25.2%	9.4%
【「男は仕事、女は家庭」 そう思う(計)		73	31.5%	41.1%	13.7%	38.3%	24.8%	3.4%	-6.8%	16.3%
そう思わない(計)		250	27.2%	56.8%	5.2%	25.8%	44.9%	6.1%	1.4%	11.9%
【女性の望ましい生き方別】										
両立派		189	18.0%	73.5%	0.5%	24.4%	54.8%	1.2%	-6.4%	18.7%
家庭・地域優先派		78	37.2%	26.9%	20.5%	45.7%	22.9%	14.3%	-8.5%	4.0%

## 2．日常生活における家庭の仕事等の役割分担（問１２）

（図４－２、図４－２－１・２・３・４・５）

既婚者に対し、日常生活における家庭の仕事等の役割分担について尋ねたところ、９項目のうち家事・育児に関する６項目については「妻がすることが多い」の割合が高く、介護についても高い割合の「該当する仕事がない」を除けば「妻がすることが多い」の割合が高い。反対に「家庭における重大な事柄の決定」「地域活動への参加」は「夫がすることが多い」の割合が高い。前回調査と比べると、全体に「妻がすることが多い」が増加しているが、特に「日常の買い物」「小さい子どもも世話」は増加している。

男女別にみると、全項目において女性は男性より「妻がすることが多い」が高い。また、男女の意識の差が大きいのは「日常の買い物」「食事にかたづけ」「介護」であった。

性別役割意識別との関連をみると、「男は仕事、女は家庭」に否定的な人でも家事・育児・介護の項目における「妻がすることが多い」の割合が高く、肯定的な人と同じ傾向にある。共働きの有無別にみると、前回調査と異なりどの項目においても共働きの有無に関わらず同じ傾向にある。男性の望ましい生き方別をみると、「両立派」よりも「仕事優先派」の方が「妻がすることが多い」が高い傾向にある。

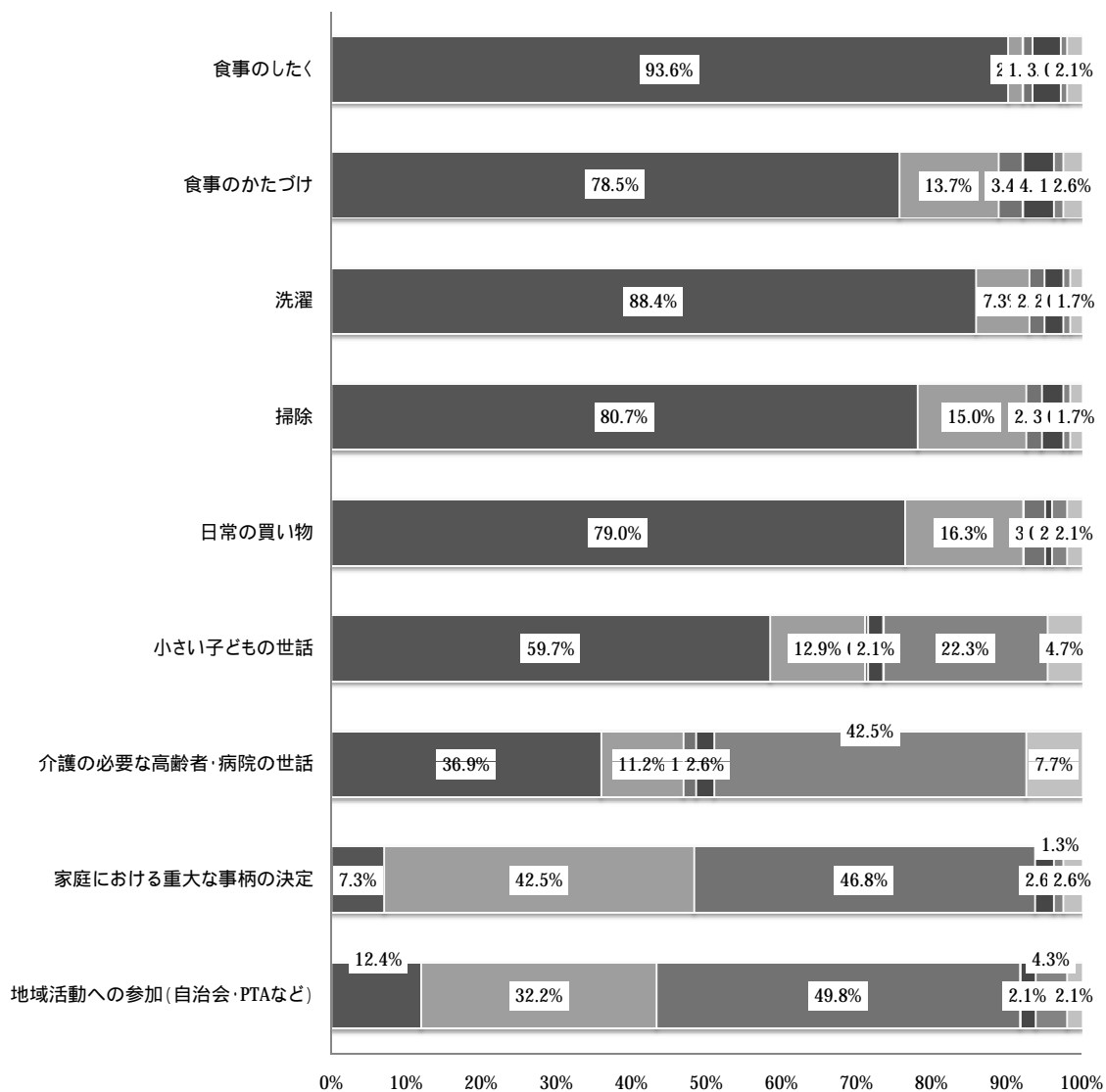
また、「家庭における重大な事柄の決定」をみると、性別役割意識について肯定的な人は「夫がすることが多い」が高く、否定的な人は「妻と夫が同じ程度分担」が高い傾向にある。

図4 - 2

日常生活における家庭の仕事等の役割分担

問12 家庭の中で次の仕事は主にどなたが担当されますか。( は1つ)

(n = 233)



■妻がすることが多い ■妻と夫が同じ程度分担 ■夫がすることが多い ■主に親や子どもなど夫婦以外 ■該当する仕事はない ■無回答

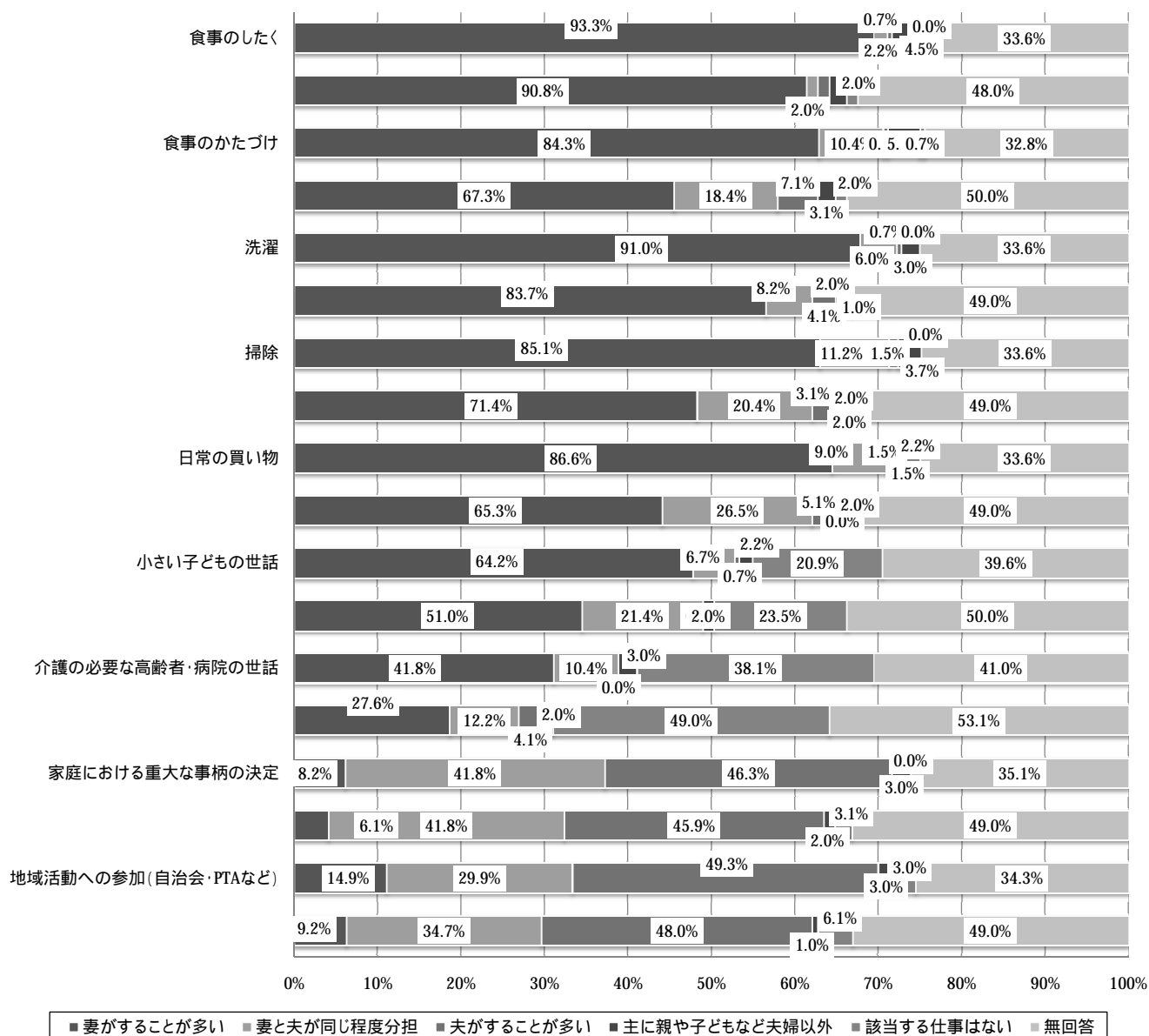
前回との比較

区分	今回		前回		比較	
	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担
食事のしたく	93.6%	2.1%	84.1%	4.7%	9.5%	-2.6%
食事のかたづけ	78.5%	13.7%	77.3%	8.7%	1.2%	5.0%
洗濯	88.4%	7.3%	81.2%	5.8%	7.2%	1.5%
掃除	80.7%	15.0%	71.8%	15.2%	8.9%	-0.2%
日常の買い物	79.0%	16.3%	59.6%	23.1%	19.4%	-6.8%
小さい子どもの世話	59.7%	12.9%	39.4%	10.5%	20.3%	2.4%
介護の必要な高齢者・病院の世話	36.9%	11.2%	31.0%	11.2%	5.9%	0.0%
家庭における重大な事柄の決定	7.3%	42.5%	4.3%	30.3%	3.0%	12.2%
地域活動への参加(自治会・PTAなど)	12.4%	32.2%	16.2%	27.8%	-3.8%	4.4%

## 日常生活における家庭の仕事等の役割分担(性別)

上段: 女性 (n = 134)

下段: 男性 (n = 98)

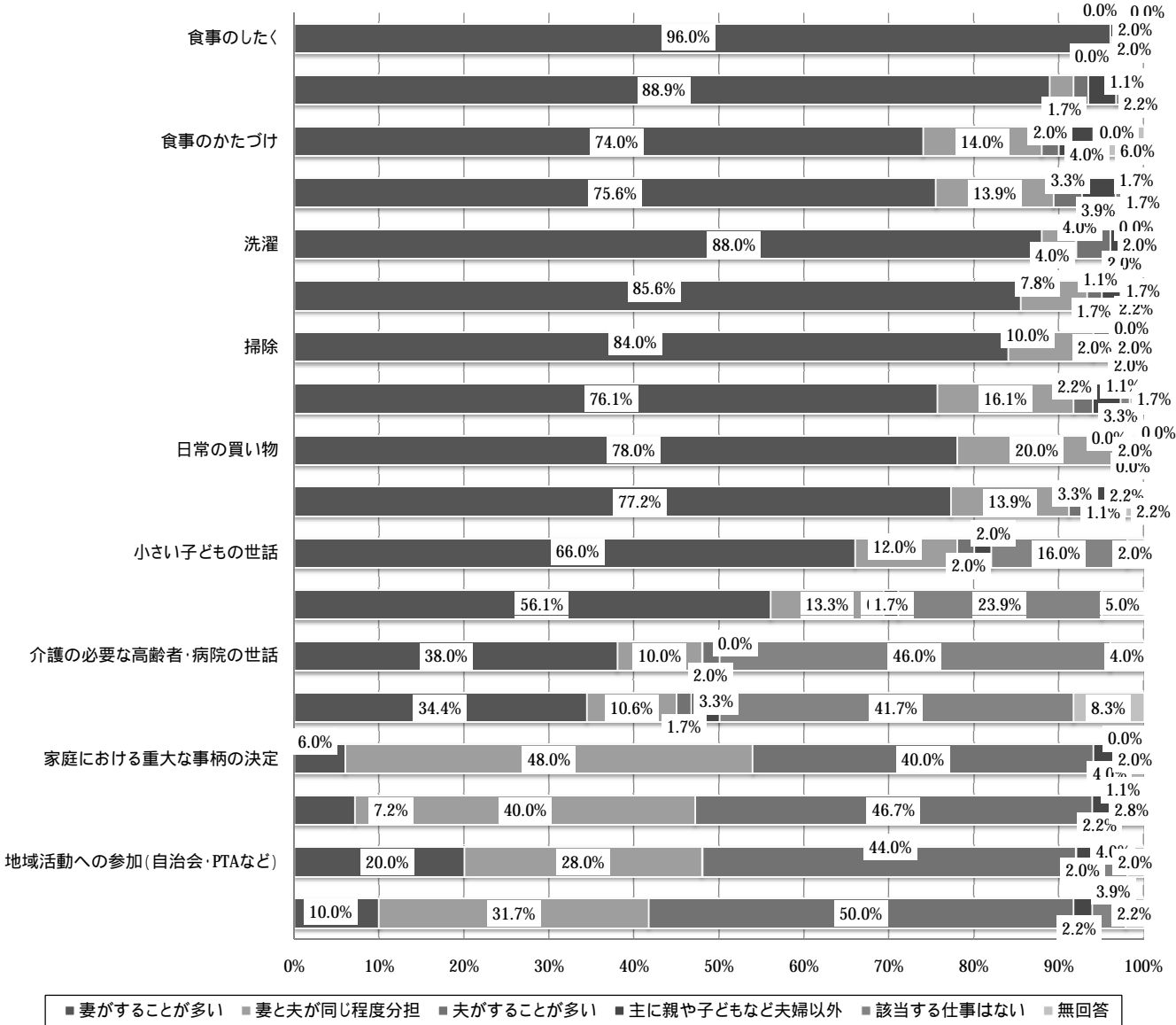


## 前回との比較

区分		今回		前回		比較	
		妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担
食事のしたく	女	93.3%	2.2%	83.9%	3.5%	9.4%	-1.3%
	男	90.8%	2.0%	85.2%	8.3%	5.6%	-6.3%
食事のかたづけ	女	84.3%	10.4%	78.3%	8.3%	6.0%	2.1%
	男	67.3%	18.4%	77.3%	10.9%	-10.0%	7.5%
洗濯	女	91.0%	6.0%	83.9%	2.0%	7.1%	4.0%
	男	83.7%	8.2%	78.9%	8.0%	4.8%	0.2%
掃除	女	85.1%	11.2%	78.3%	9.8%	6.8%	1.4%
	男	71.4%	20.4%	64.1%	21.9%	7.3%	-1.5%
日常の買い物	女	86.6%	9.0%	70.6%	15.4%	16.0%	-6.4%
	男	65.3%	26.5%	46.9%	32.8%	18.4%	-6.3%
小さい子どもの世話	女	64.2%	6.7%	39.2%	10.5%	25.0%	-3.8%
	男	51.0%	21.4%	39.8%	10.2%	11.2%	11.2%
介護の必要な高齢者・病院の世話	女	41.8%	10.4%	39.9%	4.9%	1.9%	5.5%
	男	27.6%	12.2%	21.9%	18.0%	5.7%	-5.8%
家庭における重大な事柄の決定	女	8.2%	41.8%	4.9%	32.9%	3.3%	8.9%
	男	6.1%	41.8%	3.9%	28.8%	2.2%	13.0%
地域活動への参加(自治会・PTAなど)	女	14.9%	29.9%	18.9%	29.4%	-4.0%	0.5%
	男	9.2%	34.7%	14.1%	25.0%	-4.9%	9.7%



日常生活における家庭の仕事等の役割分担(性別役割意識別)  
「男は外で働き、女は家庭を守るべき」  
上段: そう思う(計)(n = 50)  
下段: そう思わない(計)(n = 180)



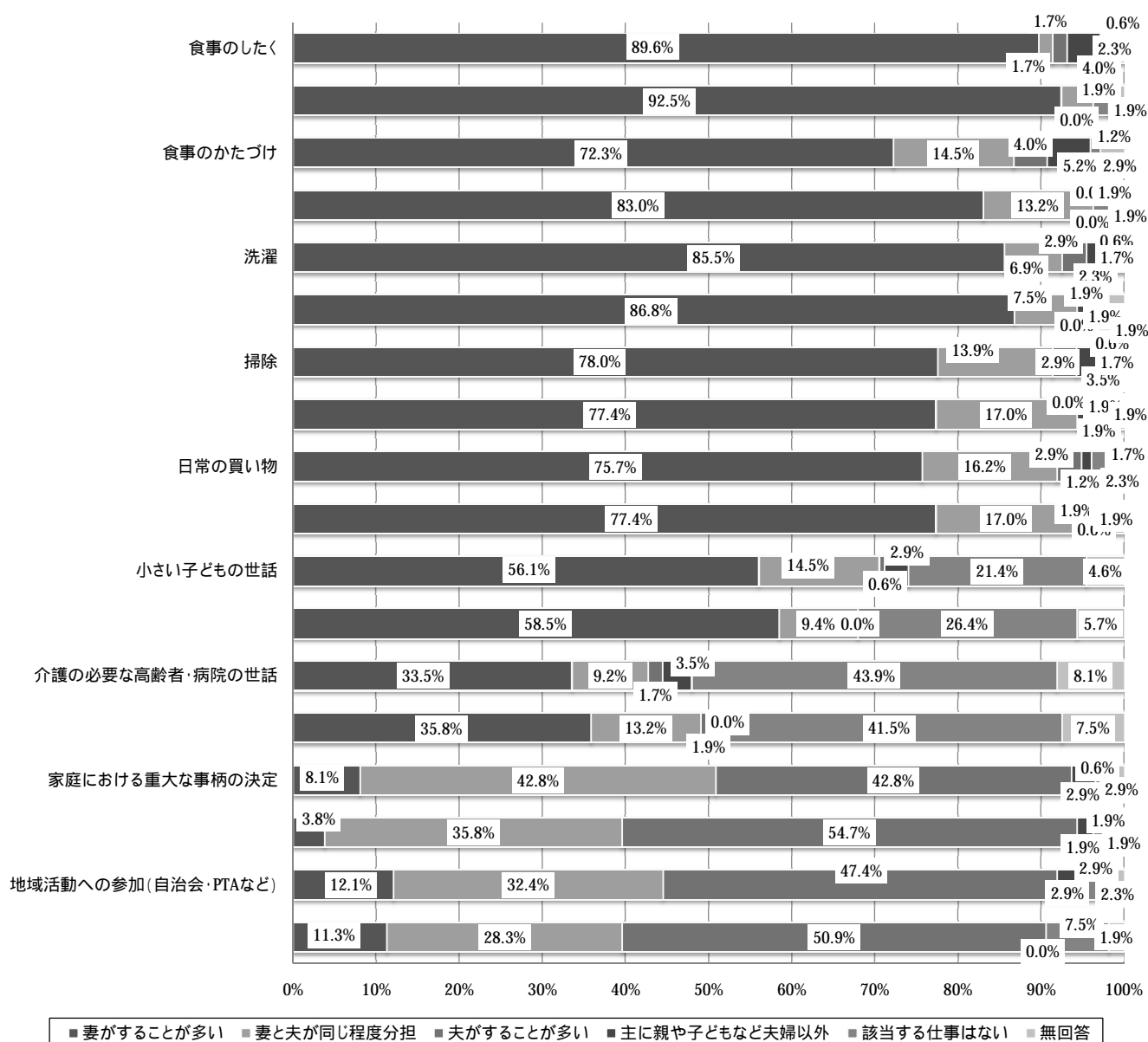
前回との比較

区分		今回		前回		比較	
		妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担
食事のしたく	思う	96.0%	0.0%	84.3%	10.0%	11.7%	-10.0%
	思わない	88.9%	2.8%	84.9%	7.2%	4.0%	-4.4%
食事のかたづけ	思う	74.0%	14.0%	80.6%	46.0%	-6.6%	-32.0%
	思わない	75.6%	13.9%	77.0%	11.2%	-1.4%	2.7%
洗濯	思う	88.0%	4.0%	78.7%	5.5%	9.3%	-1.5%
	思わない	85.6%	7.8%	84.2%	5.9%	1.4%	1.9%
掃除	思う	84.0%	10.0%	75.0%	10.2%	9.0%	-0.2%
	思わない	76.1%	16.1%	69.7%	20.4%	6.4%	-4.3%
日常の買い物	思う	78.0%	20.0%	59.3%	20.4%	18.7%	-0.4%
	思わない	77.2%	13.9%	61.8%	25.7%	15.4%	-11.8%
小さい子どもの世話	思う	66.0%	12.0%	41.7%	10.0%	24.3%	2.0%
	思わない	56.1%	13.3%	41.4%	17.1%	14.7%	-3.8%
介護の必要な高齢者・病院の世話	思う	38.0%	10.0%	30.6%	12.0%	7.4%	-2.0%
	思わない	34.4%	10.6%	31.6%	11.2%	2.8%	-0.6%
家庭における重大な事柄の決定	思う	6.0%	48.0%	1.9%	25.9%	4.1%	22.1%
	思わない	7.2%	40.0%	5.9%	33.6%	1.3%	6.4%
地域活動への参加(自治会・PTAなど)	思う	20.0%	28.0%	14.8%	21.3%	5.2%	6.7%
	思わない	10.0%	31.7%	17.1%	32.2%	-7.1%	-0.5%

## 日常生活における家庭の仕事等の役割分担(共働きの有無別)

上段: 共働き (n = 173)

下段: 夫のみ就業 (n = 53)



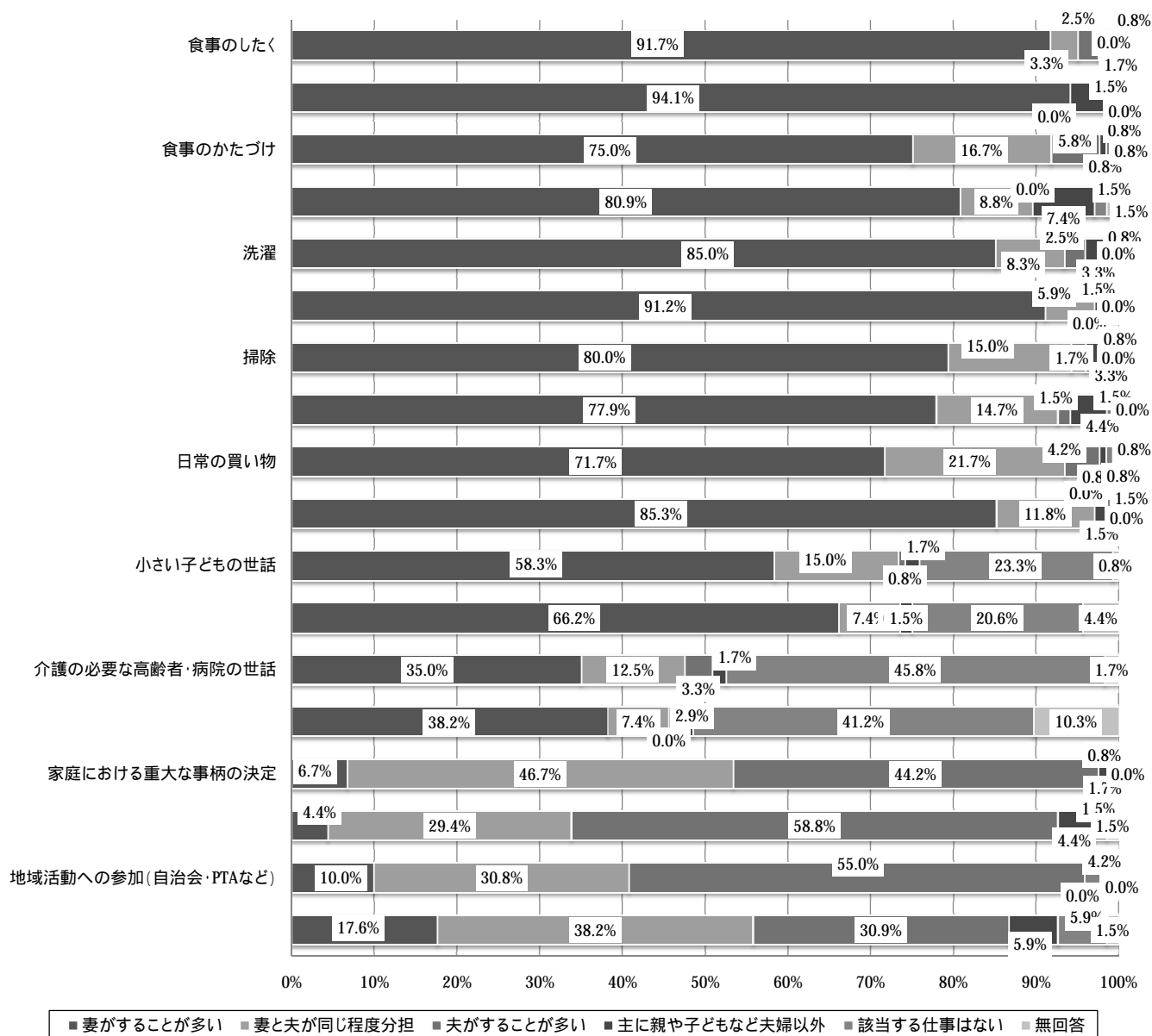
## 前回との比較

区分		今回		前回		比較	
		妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担
食事のしたく	共働き	89.6%	1.7%	86.5%	4.1%	3.1%	-2.4%
	夫のみ	92.5%	3.8%	86.0%	4.0%	6.5%	-0.2%
食事のかたづけ	共働き	72.3%	14.5%	79.7%	6.8%	-7.4%	7.7%
	夫のみ	83.0%	13.2%	74.0%	12.0%	9.0%	1.2%
洗濯	共働き	85.5%	6.9%	85.1%	4.1%	0.4%	2.8%
	夫のみ	86.8%	7.5%	78.0%	8.0%	8.8%	-0.5%
掃除	共働き	78.0%	13.9%	75.7%	12.8%	2.3%	1.1%
	夫のみ	77.4%	17.0%	64.0%	22.0%	13.4%	-5.0%
日常の買い物	共働き	75.7%	16.2%	64.2%	20.9%	11.5%	-4.7%
	夫のみ	77.4%	17.0%	56.0%	24.0%	21.4%	-7.0%
小さい子どもの世話	共働き	56.1%	14.5%	45.3%	11.5%	10.8%	3.0%
	夫のみ	58.5%	9.4%	36.0%	16.0%	22.5%	-6.6%
介護の必要な高齢者・病院の世話	共働き	33.5%	9.2%	33.8%	11.5%	-0.3%	-2.3%
	夫のみ	35.8%	13.2%	28.0%	16.0%	7.8%	-2.8%
家庭における重大な事柄の決定	共働き	8.1%	42.8%	4.1%	30.4%	4.0%	12.4%
	夫のみ	3.8%	35.8%	4.0%	40.0%	-0.2%	-4.2%
地域活動への参加(自治会・PTAなど)	共働き	12.1%	32.4%	15.5%	31.1%	-3.4%	1.3%
	夫のみ	11.3%	28.3%	12.0%	34.0%	-0.7%	-5.7%

## 日常生活における家庭の仕事等の役割分担(男性の望ましい生き方別)

上段: 仕事と家庭を両立 (n = 120)

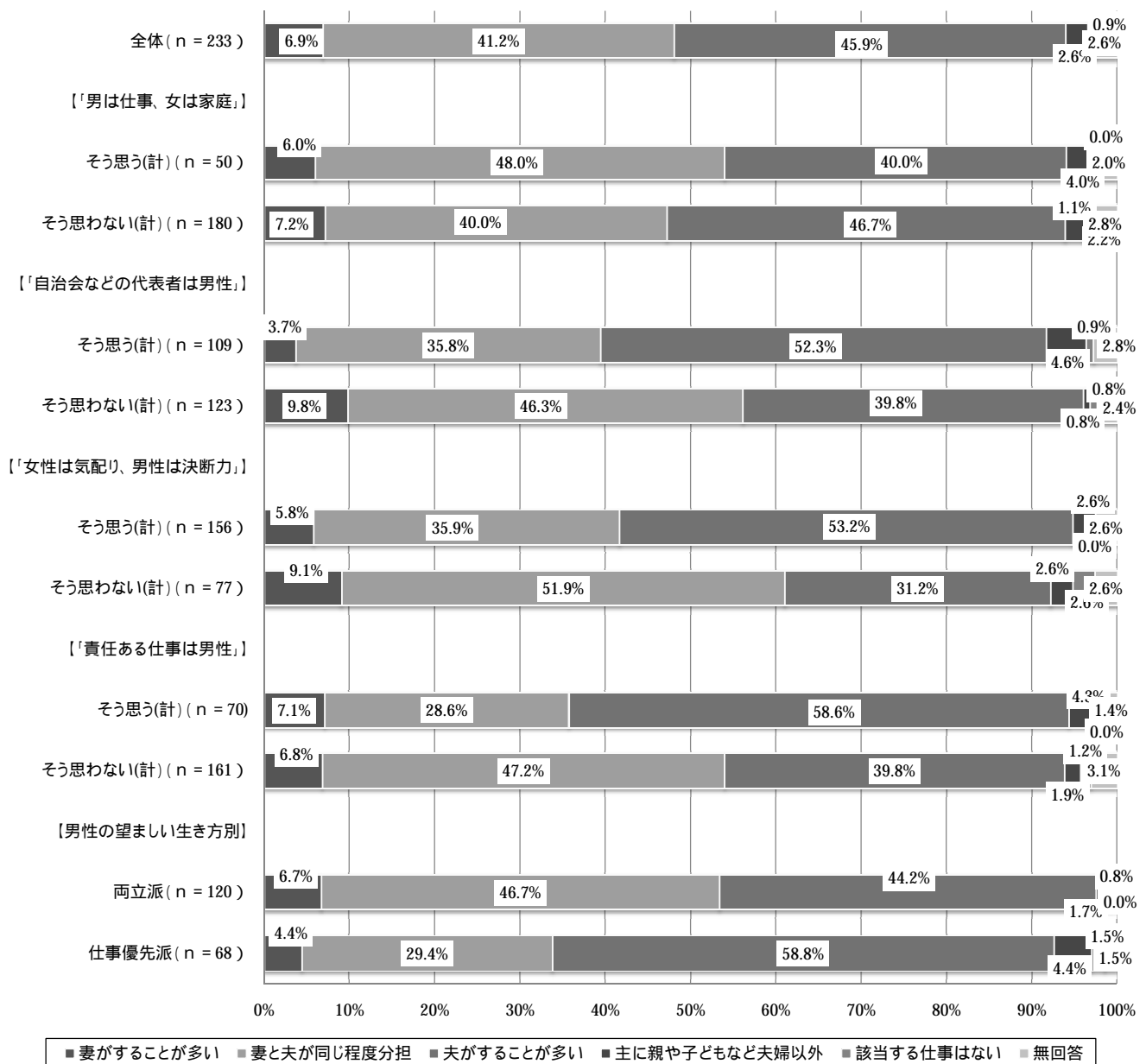
下段: 仕事を優先 (n = 68)



## 前回との比較

区分		今回		前回		比較	
		妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担
食事のしたく	両立	91.7%	3.3%	86.0%	7.5%	5.7%	-4.2%
	仕事優先	94.1%	0.0%	95.2%	2.0%	-1.1%	-2.0%
食事のかたづけ	両立	75.0%	16.7%	78.5%	11.2%	-3.5%	5.5%
	仕事優先	80.9%	8.8%	83.3%	6.0%	-2.4%	2.8%
洗濯	両立	85.0%	8.3%	86.0%	7.5%	-1.0%	0.8%
	仕事優先	91.2%	5.9%	82.1%	6.0%	9.1%	-0.1%
掃除	両立	80.0%	15.0%	71.0%	21.2%	9.0%	-6.2%
	仕事優先	77.9%	14.7%	77.4%	13.1%	0.5%	1.6%
日常の買い物	両立	71.7%	21.7%	61.7%	26.2%	10.0%	-4.5%
	仕事優先	85.3%	11.8%	60.7%	25.2%	24.6%	-13.4%
小さい子どもの世話	両立	58.3%	15.0%	39.3%	12.1%	19.0%	2.9%
	仕事優先	66.2%	7.4%	51.2%	10.7%	15.0%	-3.3%
介護の必要な高齢者・病院の世話	両立	35.0%	12.5%	26.2%	14.0%	8.8%	-1.5%
	仕事優先	38.2%	7.4%	36.9%	15.5%	1.3%	-8.1%
家庭における重大な事柄の決定	両立	6.7%	46.7%	3.7%	37.4%	3.0%	9.3%
	仕事優先	4.4%	29.4%	3.6%	29.8%	0.8%	-0.4%
地域活動への参加(自治会・PTAなど)	両立	10.0%	30.8%	11.2%	35.5%	-1.2%	-4.7%
	仕事優先	17.6%	38.2%	23.8%	26.2%	-6.2%	12.0%

日常生活における家庭の仕事等の役割分担(家庭における重大な事柄の決定)  
(性別役割意識別、男性の望ましい生き方別)



## 前回との比較

区分	n	今回			前回			比較		
		妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	夫がすることが多い	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	夫がすることが多い	妻がすることが多い	妻と夫が同じ程度分担	夫がすることが多い
全体 (n = 330)	233	6.9%	41.2%	45.9%	4.0%	30.0%	49.0%	2.9%	11.2%	-3.1%
【「男は仕事、女は家庭」】										
そう思う(計) (n = 73)	50	6.0%	48.0%	40.0%	1.9%	25.9%	53.7%	4.1%	22.1%	-13.7%
そう思わない(計) (n = 250)	180	7.2%	40.0%	46.7%	5.9%	33.6%	49.3%	1.3%	6.4%	-2.6%
【「自治会などの代表者は男性」】										
そう思う(計) (n = 148)	109	3.7%	35.8%	52.3%	4.1%	27.8%	49.7%	-0.4%	8.0%	2.6%
そう思わない(計) (n = 180)	123	9.8%	46.3%	39.8%	3.3%	34.1%	52.7%	6.5%	12.2%	-12.9%
【「女性は気配り、男性は決断力」】										
そう思う(計) (n = 214)	156	5.8%	35.9%	53.2%	3.7%	26.5%	53.5%	2.1%	9.4%	-0.3%
そう思わない(計) (n = 114)	77	9.1%	51.9%	31.2%	4.1%	51.0%	36.7%	5.0%	0.9%	-5.5%
【「責任ある仕事は男性」】										
そう思う(計) (n = 97)	70	7.1%	28.6%	58.6%	6.0%	21.6%	53.0%	1.1%	7.0%	5.6%
そう思わない(計) (n = 230)	161	6.8%	47.2%	39.8%	3.2%	37.9%	50.8%	3.6%	9.3%	-11.0%
【男性の望ましい生き方別】										
両立派 (n = 176)	120	6.7%	46.7%	44.2%	3.7%	37.4%	48.6%	3.0%	9.3%	-4.4%
仕事優先派 (n = 92)	68	4.4%	29.4%	58.8%	3.6%	29.8%	57.1%	0.8%	-0.4%	1.7%

### 3．男性の家庭・地域活動への参加のために必要なこと（問13）

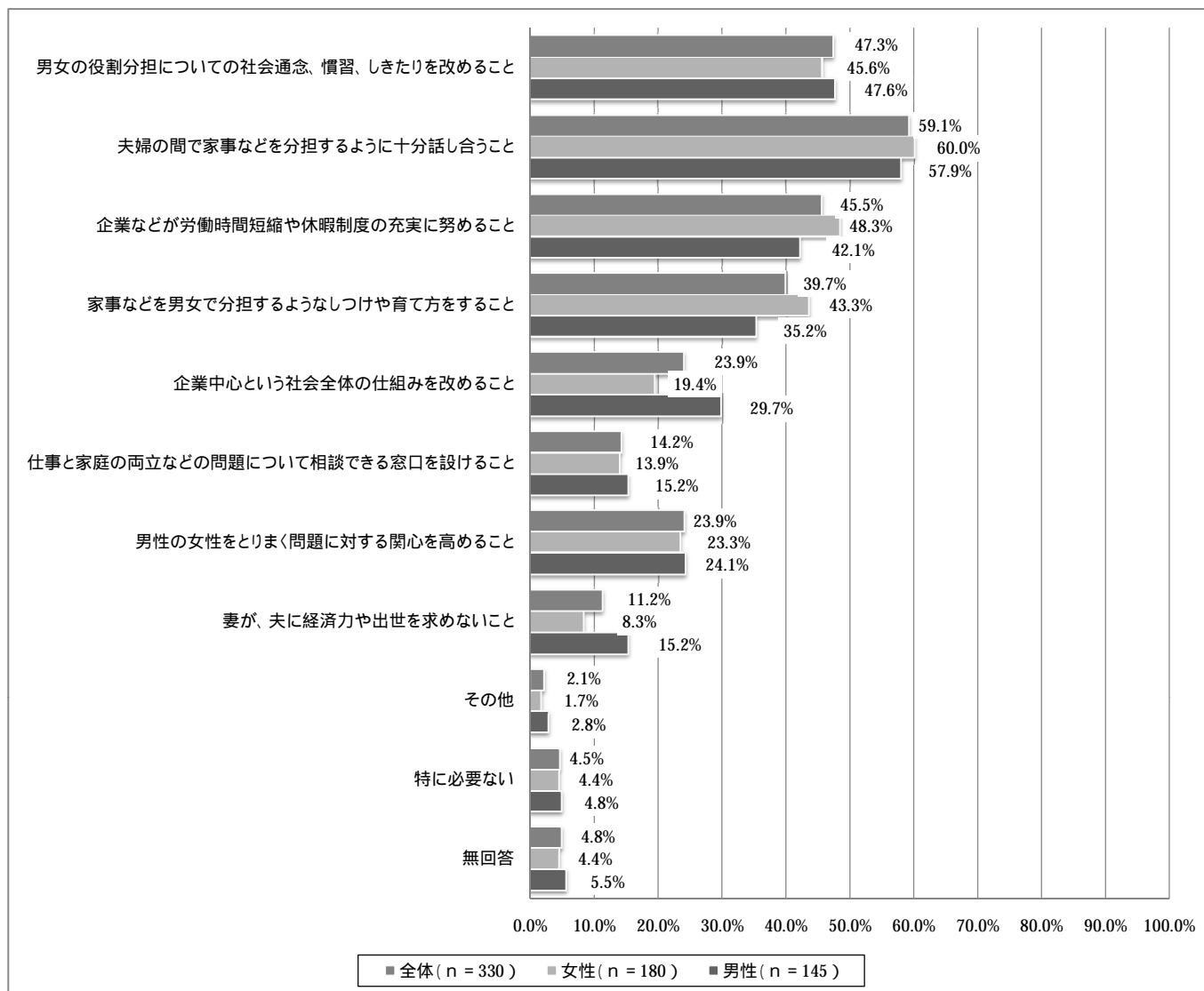
（図4 - 3）

「夫婦の間に家事などを分担するように十分話し合うこと」が59.1%、次いで「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」が47.3%、「企業などが労働時間短縮や休暇制度の充実に努めること」が45.5%となっている。男女別にみても、ほぼ同じ傾向であった。前回と比べると、これらはいずれも増加しているが、特に「企業などが労働時間短縮や休暇制度の充実に努めること」については17.3%と大きく増加している。

図4 - 3

男性の家庭・地域活動への参加のために必要なこと

問13 今後男性が女性とともに家事・子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。( はいいくつでも)



前回との比較

区分	今回			前回			比較		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	47.3%	45.6%	47.6%	39.6%	41.4%	37.3%	7.7%	4.2%	10.3%
夫婦の間で家事などを分担するように十分話し合うこと	59.1%	60.0%	57.9%	52.0%	53.2%	51.9%	7.1%	6.8%	6.0%
企業などが労働時間短縮や休暇制度の充実に努めること	45.5%	48.3%	42.1%	28.2%	28.1%	28.5%	17.3%	20.2%	13.6%
家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること	39.7%	43.3%	35.2%	33.2%	38.9%	26.6%	6.5%	4.4%	8.6%
企業中心という社会全体の仕組みを改めること	23.9%	19.4%	29.7%	16.4%	11.3%	22.2%	7.5%	8.1%	7.5%
仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	14.2%	13.9%	15.2%	15.6%	15.8%	14.6%	-1.4%	-1.9%	0.6%
男性の女性をとりまく問題に対する関心を高めること	23.9%	23.3%	24.1%	15.3%	16.7%	14.6%	8.6%	6.6%	9.5%
妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	11.2%	8.3%	15.2%	14.0%	13.3%	15.8%	-2.8%	-5.0%	-0.6%
その他	2.1%	1.7%	2.8%	0.5%	0.0%	1.3%	1.6%	1.7%	1.5%
特に必要ない	4.5%	4.4%	4.8%	5.0%	4.9%	5.1%	-0.5%	-0.5%	-0.3%
無回答	4.8%	4.4%	5.5%	28.5%	35.0%	18.4%	-23.7%	-30.6%	-12.9%

#### 4．仕事以外の活動の状況（問14）

（図4 - 4）

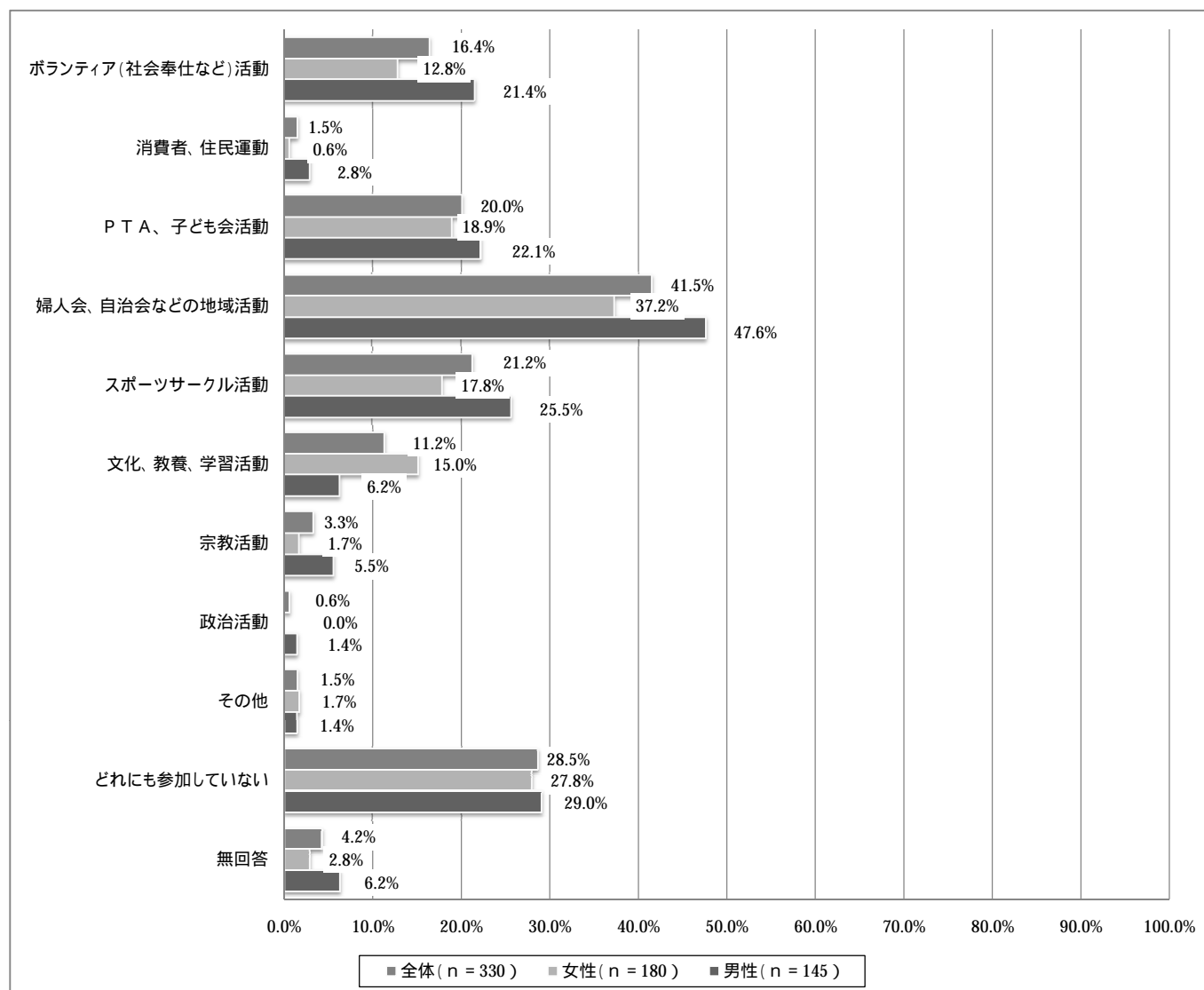
参加している項目では、「婦人会、自治会などの地域活動」が41.5%、「スポーツサークル活動」が21.2%、「PTA、子ども会活動」が20%となっている。また、「どれにも参加していない」は28.5%と高い割合になっている。前回調査と比べると、「PTA、子ども会活動」が13.1%と大きく増加している反面、比較的高い割合であった「文化、教養、学習活動」は下がっている。

男女別にみると、「婦人会、自治会などの地域活動」など高い割合の項目については、女性よりも男性が高い割合を示している。「どれにも参加していない」は男女ともにさほど差はない。

図4 - 4

仕事以外の活動の状況

問14 あなたは、現在仕事以外で何か活動をしていますか。( はい/いつでも)



前回との比較

区分	今回			前回			比較		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
ボランティア(社会奉仕など)活動	16.4%	12.8%	21.4%	17.2%	13.8%	20.3%	-0.8%	-1.0%	1.1%
消費者、住民運動	1.5%	0.6%	2.8%	0.5%	0.5%	0.0%	1.0%	0.1%	2.8%
P T A、子ども会活動	20.0%	18.9%	22.1%	6.9%	7.4%	6.3%	13.1%	11.5%	15.8%
婦人会、自治会などの地域活動	41.5%	37.2%	47.6%	34.6%	34.5%	36.7%	6.9%	2.7%	10.9%
スポーツサークル活動	21.2%	17.8%	25.5%	11.6%	7.4%	16.5%	9.6%	10.4%	9.0%
文化、教養、学習活動	11.2%	15.0%	6.2%	15.0%	14.8%	16.5%	-3.8%	0.2%	-10.3%
宗教活動	3.3%	1.7%	5.5%	5.3%	4.4%	5.1%	-2.0%	-2.7%	0.4%
政治活動	0.6%	0.0%	1.4%	1.6%	0.0%	3.2%	-1.0%	0.0%	-1.8%
その他	1.5%	1.7%	1.4%	2.6%	2.5%	3.2%	-1.1%	-0.8%	-1.8%
どれにも参加していない	28.5%	27.8%	29.0%	31.1%	33.5%	27.8%	-2.6%	-5.7%	1.2%
無回答	4.2%	2.8%	6.2%	13.2%	15.3%	9.5%	-9.0%	-12.5%	-3.3%



## 5．参加していない理由（問15）

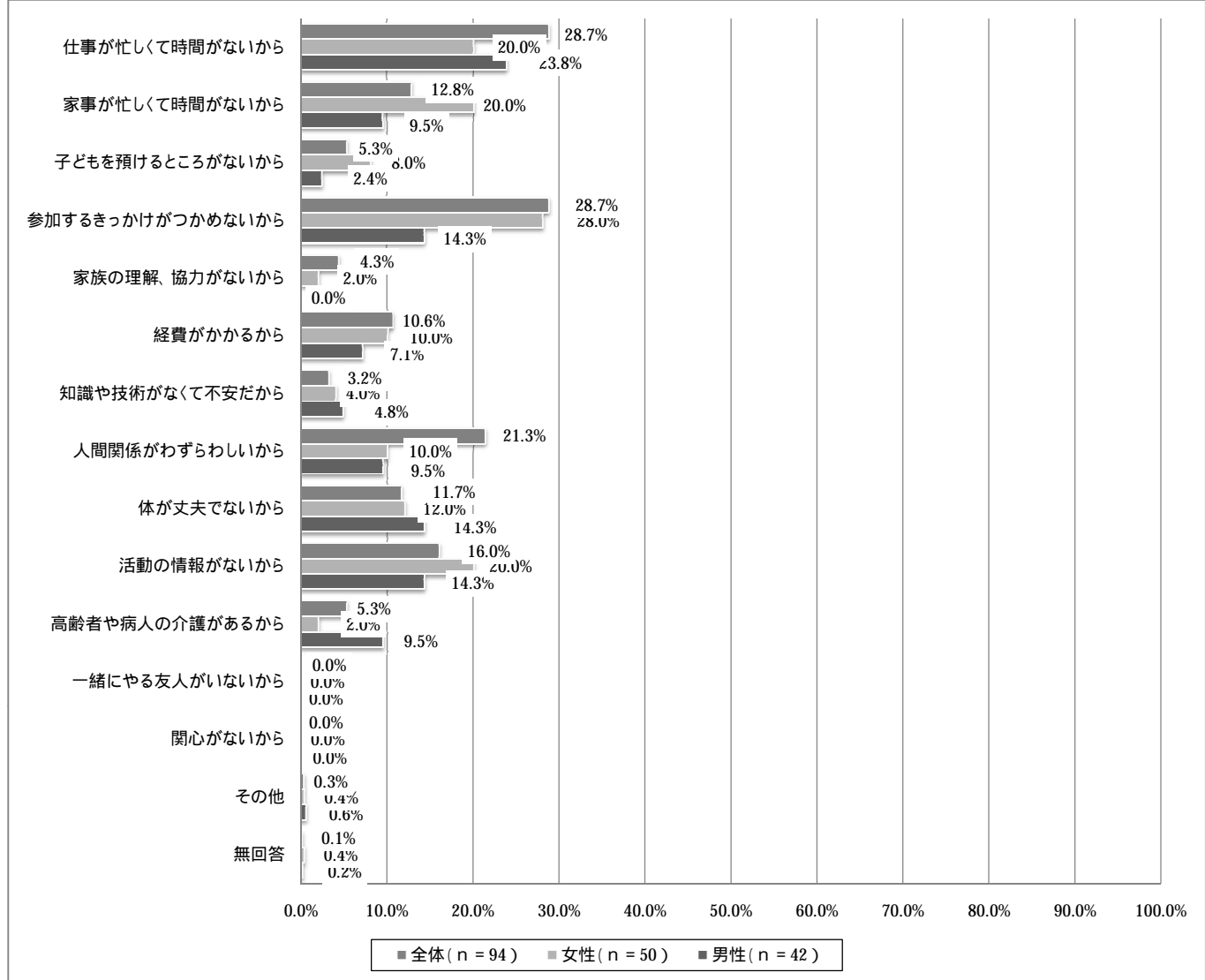
（図4 - 5）

仕事以外の活動に参加していない理由を尋ねたところ、「仕事が忙しくて時間がないから」と「参加するきっかけがつかめないから」が28.7%、次いで「人間関係がわずらわしいから」が21.3%となっている。前回と比べると、「人間関係がわずらわしいから」が12%増加し、「体が丈夫でないから」が12.9%減少、「関心がないから」減少し0.0%となっているが、他は大きな変動はない。

男女別にみると、女性は「参加するきっかけがつかめないから」「家事が忙しくて時間がないから」「活動の情報が無いから」「子どもを預けるところがないから」が男性よりも高く、男性は「仕事が忙しくて時間がないから」「体が丈夫でないから」「高齢者や病院の介護があるから」が女性よりも高くなっている。

図 4 - 5

参加していない理由  
問15 参加していない主な理由は次のどれにあたりますか。( はいくつでも)



前回との比較

区分	今回			前回			比較		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
仕事が忙しくて時間がないから	28.7%	20.0%	23.8%	25.4%	22.1%	29.5%	3.3%	-2.1%	-5.7%
家事が忙しくて時間がないから	12.8%	20.0%	9.5%	9.3%	10.3%	6.8%	3.5%	9.7%	2.7%
子どもを預けるところがないから	5.3%	8.0%	2.4%	1.7%	1.5%	2.3%	3.6%	6.5%	0.1%
参加するきっかけがつかめないから	28.7%	28.0%	14.3%	20.3%	25.0%	13.6%	8.4%	3.0%	0.7%
家族の理解、協力がいないから	4.3%	2.0%	0.0%	3.4%	5.9%	0.0%	0.9%	-3.9%	0.0%
経費がかかるから	10.6%	10.0%	7.1%	5.9%	4.4%	9.1%	4.7%	5.6%	-2.0%
知識や技術がなくて不安だから	3.2%	4.0%	4.8%	6.8%	7.4%	6.8%	-3.6%	-3.4%	-2.0%
人間関係がわずらわしいから	21.3%	10.0%	9.5%	9.3%	8.8%	11.4%	12.0%	1.2%	-1.9%
体が丈夫でないから	11.7%	12.0%	14.3%	24.6%	23.5%	25.0%	-12.9%	-11.5%	-10.7%
活動の情報がいないから	16.0%	20.0%	14.3%	11.9%	19.1%	2.3%	4.1%	0.9%	12.0%
高齢者や病人の介護があるから	5.3%	2.0%	9.5%	11.9%	16.2%	4.5%	-6.6%	-14.2%	5.0%
一緒にやる友人がいないから	0.0%	0.0%	0.0%	6.8%	7.4%	4.5%	-6.8%	-7.4%	-4.5%
関心がないから	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%	10.3%	13.6%	-11.9%	-10.3%	-13.6%
その他	0.3%	0.4%	0.6%	8.5%	4.4%	15.9%	-8.2%	-4.0%	-15.3%
無回答	0.1%	0.4%	0.2%	6.8%	8.8%	4.5%	-6.7%	-8.4%	-4.3%

## 6．参加してみたい活動（問16）

（図4 - 6）

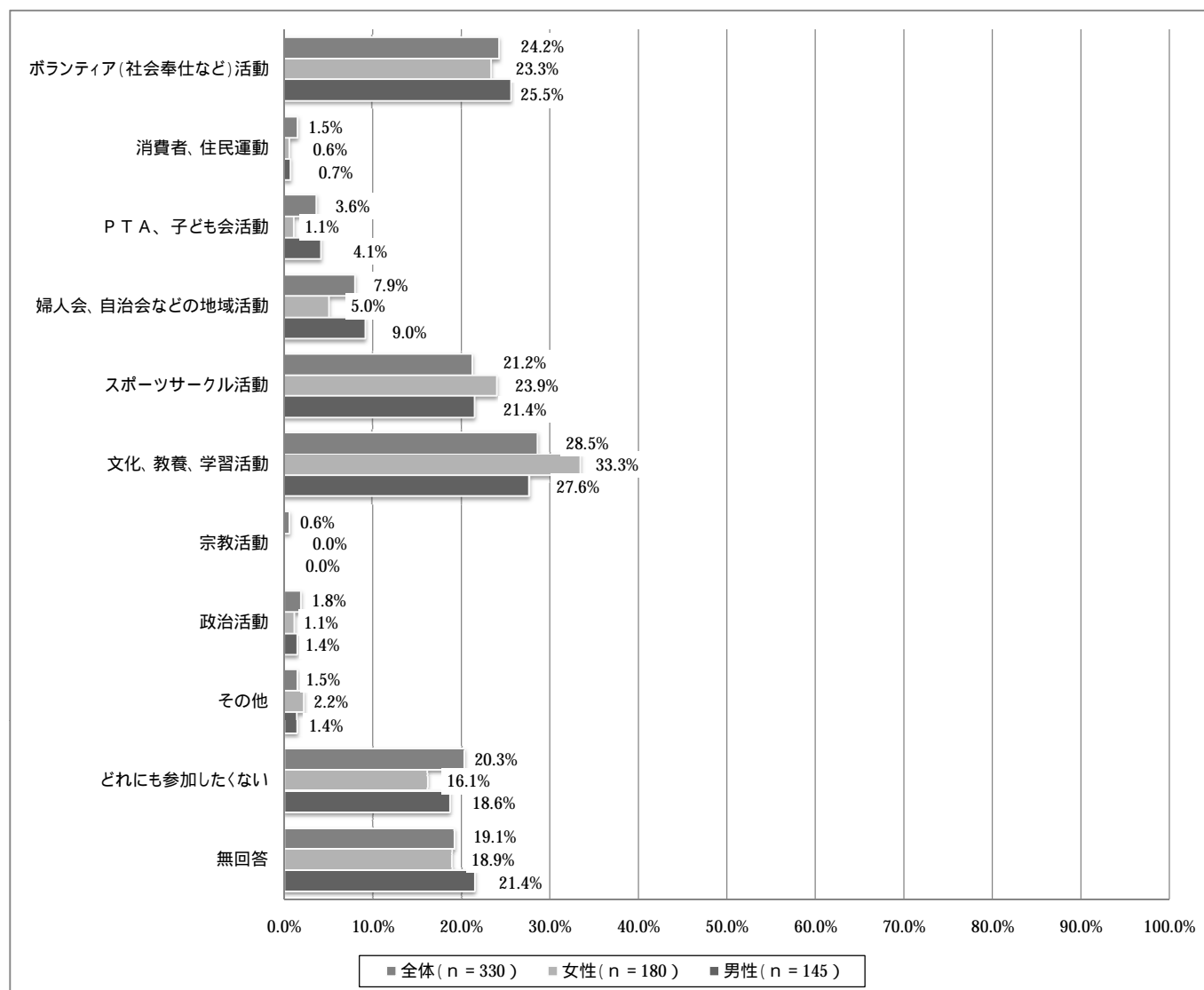
最も多いのは、「文化、教養、学習活動」で28.5%、次いで「ボランティア（社会奉仕など）活動」が24.2%、「スポーツサークル活動」が21.2%、「どれにも参加したくない」が20.3%となっている。前回調査と比べると、「文化、教養、学習活動」が11.6%増加している。また、「どれにも参加したくない」は9.4%減少している。

男女別にみると、大きな差はないが、「文化、教養、学習活動」「スポーツサークル活動」で女性が、「ボランティア（社会奉仕など）活動」「婦人会、自治会などの地域活動」で男性が、高い傾向にある。

図4 - 6

参加してみたい活動

問16 今後、参加してみたい活動は何ですか。( はいくつでも)



前回との比較

区分	今回			前回			比較		
	全体	女性	男性	全体	女性	男性	全体	女性	男性
ボランティア(社会奉仕など)活動	24.2%	23.3%	25.5%	21.2%	26.5%	13.6%	3.0%	-3.2%	11.9%
消費者、住民運動	1.5%	0.6%	0.7%	2.5%	1.5%	0.0%	-1.0%	-0.9%	0.7%
P T A、子ども会活動	3.6%	1.1%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	1.1%	4.1%
婦人会、自治会などの地域活動	7.9%	5.0%	9.0%	5.1%	7.4%	2.3%	2.8%	-2.4%	6.7%
スポーツサークル活動	21.2%	23.9%	21.4%	17.8%	20.6%	13.6%	3.4%	3.3%	7.8%
文化、教養、学習活動	28.5%	33.3%	27.6%	16.9%	19.1%	15.9%	11.6%	14.2%	11.7%
宗教活動	0.6%	0.0%	0.0%	2.5%	4.4%	0.0%	-1.9%	-4.4%	0.0%
政治活動	1.8%	1.1%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	1.1%	1.4%
その他	1.5%	2.2%	1.4%	1.7%	1.5%	2.3%	-0.2%	0.7%	-0.9%
どれにも参加したくない	20.3%	16.1%	18.6%	29.7%	27.9%	31.8%	-9.4%	-11.8%	-13.2%
無回答	19.1%	18.9%	21.4%	22.9%	20.6%	27.3%	-3.8%	-1.7%	-5.9%

## 第5章 女性の人権について

### 1. セクシュアル・ハラスメントの経験（問17）

（図5 - 1、図5 - 1 - 1）

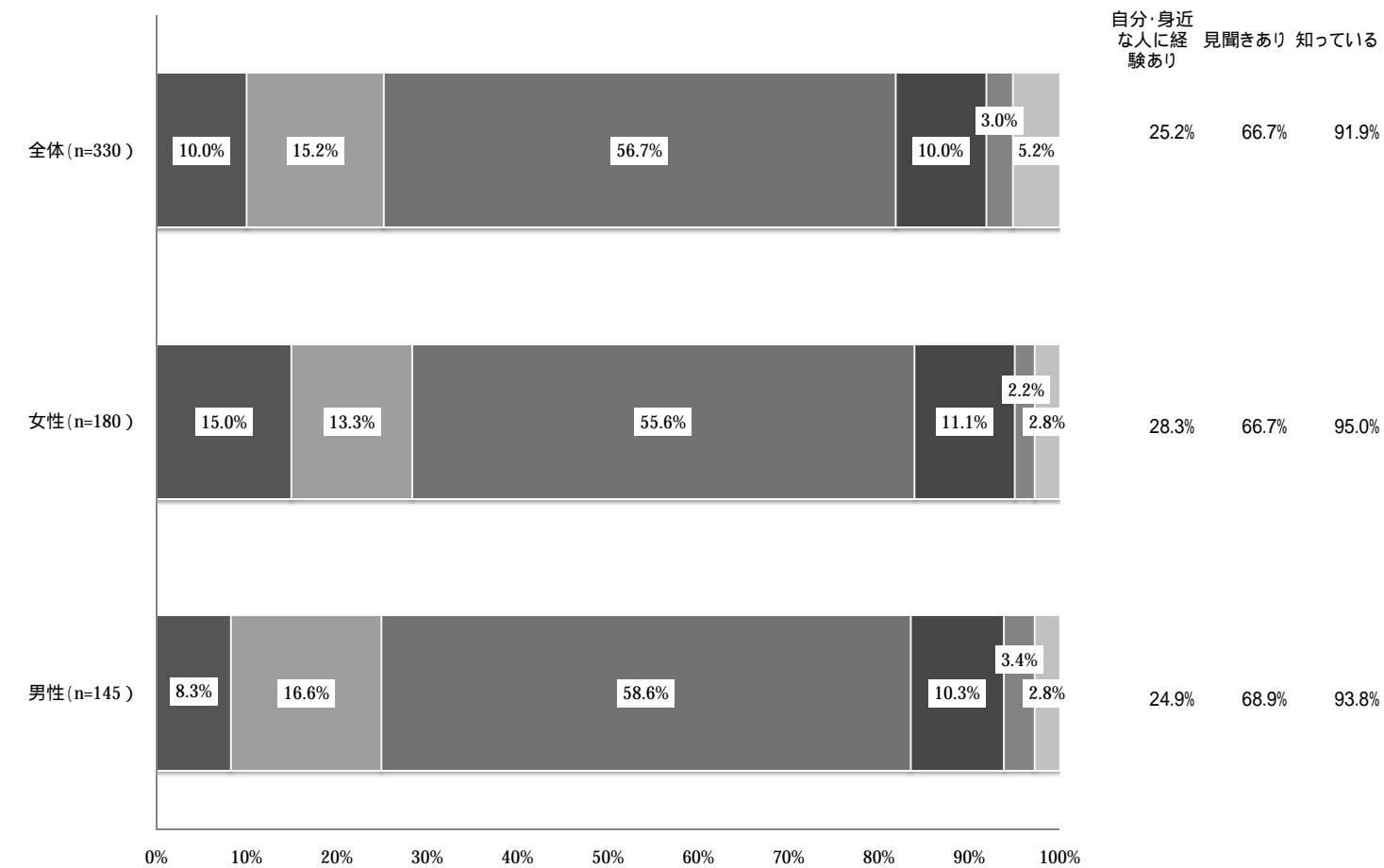
セクハラについて、「そういう言葉は今まで聞いたことがない」「無回答」を除いた「知っている」いわゆる認知度は91.9%と非常に高い、また、「直接経験したことがある」「自分のまわりに経験した人がいる」つまり実際の被害経験についても、25.2%と高い。前回調査と比べてみると、「自分・身近な人に経験あり」が9.4%、「見聞きあり」が11.6%、「知っている」が2.1%増加している。

男女別にみると、差はほとんどない。女性の年齢別にみると、「自分・身近な人に経験あり」について20代～50代で30%以上の割合であり、すべての世代に渡って認知度は高い。女性の本人職業有無別でみると、「自分・身近な人に経験あり」は勤務者が34.1%、自営家族従業が27.8%と高く、無職は8.1%となっている。

図5 - 1

セクシュアル・ハラスメントの経験

問17 セクシュアル・ハラスメントについて、被害を経験したり見聞きしたことがありますか。( 1は1つ)



- 直接経験したことがある
- 直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した人がある
- 直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した人がいないが、一般的な知識として知っている
- セクシュアル・ハラスメントという言葉を知ったことがある
- そういう言葉は今まで聞いたことがない
- 無回答

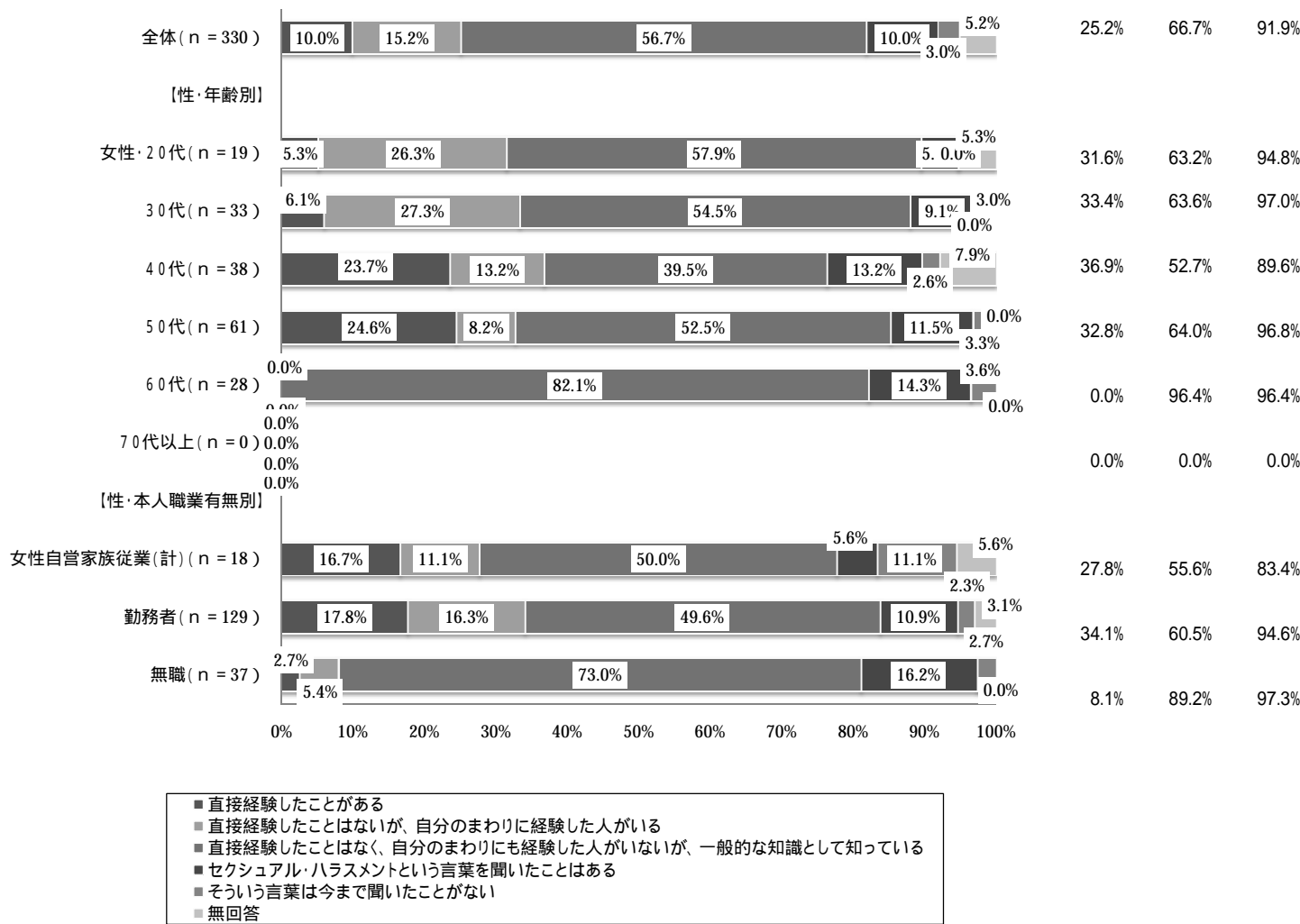
前回との比較

区分	今回				前回			比較		
	(n)	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている
全体	330	25.2%	66.7%	91.9%	15.8%	55.1%	70.9%	9.4%	11.6%	21.0%
女性	180	28.3%	66.7%	95.0%	19.7%	56.2%	75.9%	8.6%	10.5%	19.1%
男性	145	24.9%	68.9%	93.8%	12.0%	55.1%	67.1%	12.9%	13.8%	26.7%

図5 - 1 - 1

セクシュアル・ハラスメントの経験  
(性・年齢別、性・本人職業別)

自分・身近  
な人に経  
験あり 見聞きあり 知っている



前回との比較

区分		今回			前回			比較		
		n	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり
全体		330	25.2%	66.7%	91.9%	15.8%	55.1%	70.9%	9.4%	11.6%
【性・年齢別】										
女性	20代	19	31.6%	63.2%	94.8%	55.6%	44.4%	100.0%	-24.0%	18.8%
	30代	33	33.4%	63.6%	97.0%	72.7%	27.3%	100.0%	-39.3%	36.3%
	40代	38	36.9%	52.7%	89.6%	40.9%	59.1%	100.0%	-4.0%	-6.4%
	50代	61	32.8%	64.0%	96.8%	28.2%	64.1%	92.3%	4.6%	-0.1%
	60代	28	0.0%	96.4%	96.4%	8.6%	71.4%	80.0%	-8.6%	25.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	50.6%	55.2%	-4.6%	-50.6%
【性・本人職業有無別】										
女性	自営家族従業(計)	18	27.8%	55.6%	83.4%	11.5%	71.4%	82.9%	16.3%	-15.8%
	勤務者	129	34.1%	60.5%	94.6%	40.4%	51.6%	92.0%	-6.3%	8.9%
	無職	37	8.1%	89.2%	97.3%	9.1%	56.6%	65.7%	-1.0%	32.6%

## ２．ドメスティック・バイオレンスの経験（問１８）

（図５－２、図５－２－１）

DVについて、「そういう言葉は今まで聞いたことがない」「無回答」を除いた「知っている」いわゆる認知度は９０．３％と非常に高い、また、「直接経験したことがある」「自分のまわりに経験した人がいる」つまり実際の被害経験についても、２５．８％と高い。前回調査と比べてみると、「自分・身近な人に経験あり」が１５．３％、「見聞きあり」が１３．６％、「知っている」が２８．９％増加している。

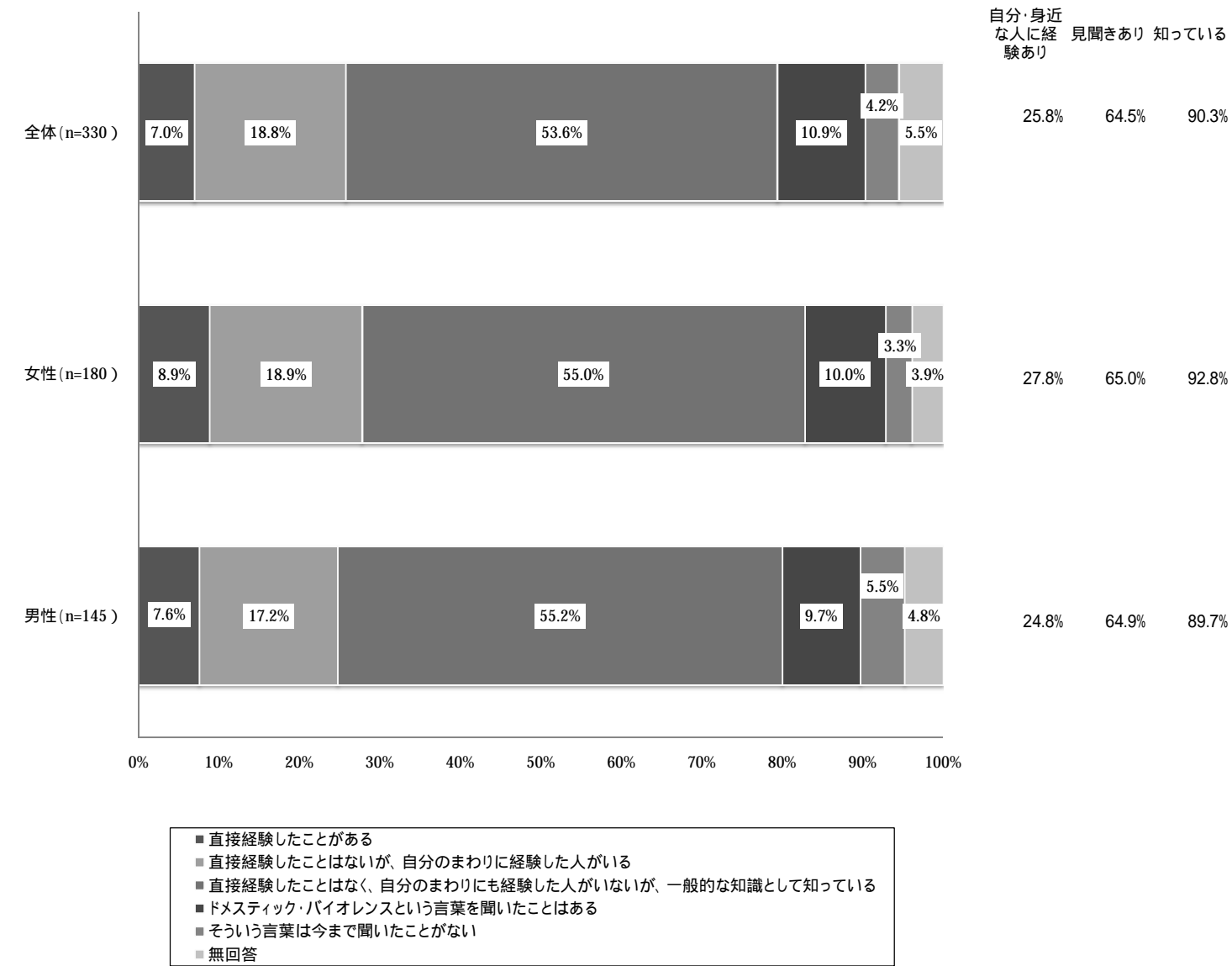
男女別にみると、差はほとんどない。女性の年齢別にみると、「自分・身近な人に経験あり」について３０代４０代が高く、すべての世代に数字がある。女性の本人職業有無別でみると、「自分・身近な人に経験あり」は勤務者が３１％、無職が２７％と高く、自営家族従業は５．６％となっている。「男は仕事、女は家庭」の性別役割分担意識別で、否定的な人の方が「自分・身近な人に経験あり」が高くなっている。



図5 - 2

ドメスティック・バイオレンスの経験

問18 夫婦や恋人・パートナーの間での暴力について被害を経験したり見聞きしたことはありますか。( 1は1つ)



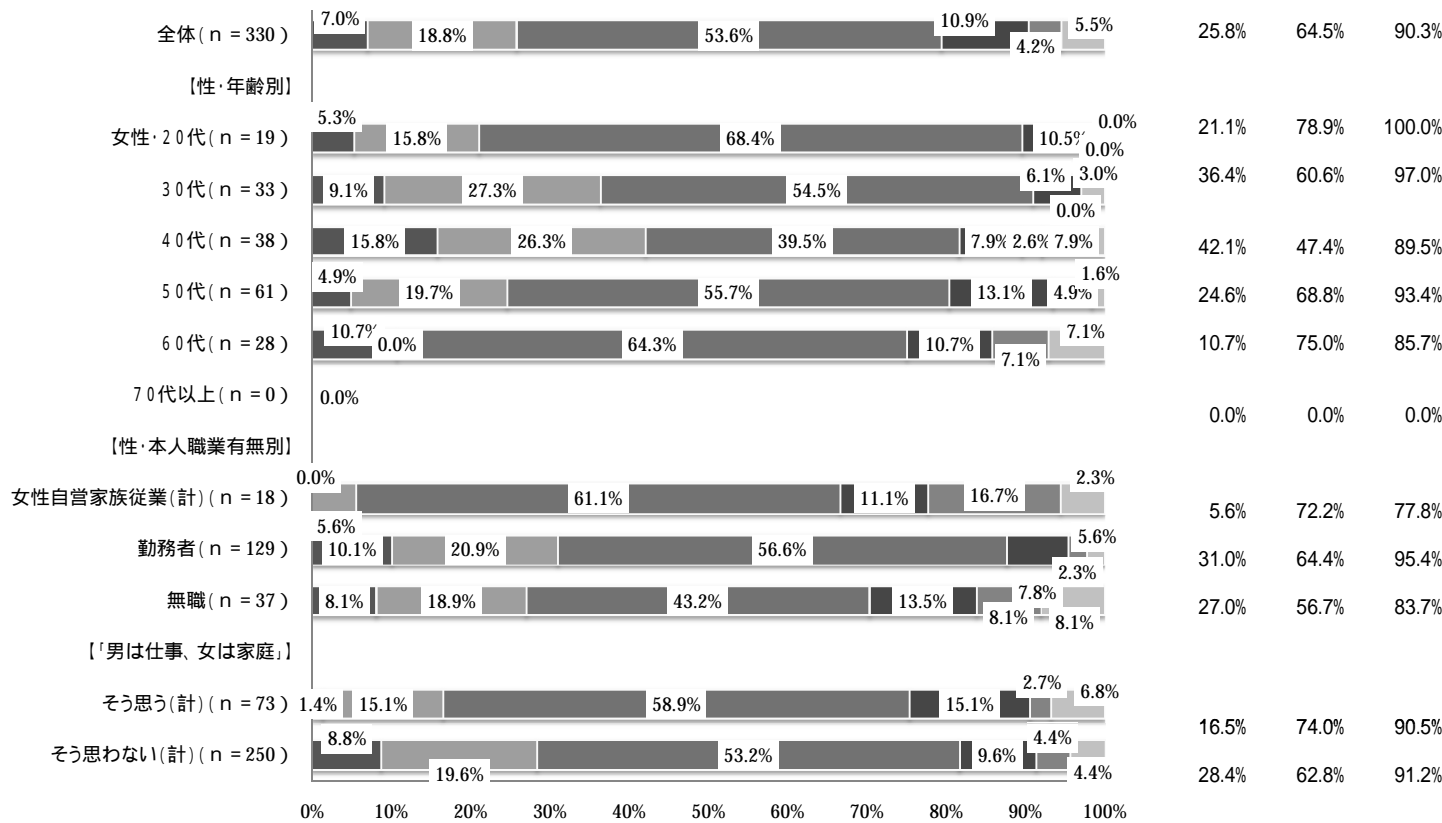
前回との比較

区分	今回			前回			比較		
	(n)	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり
全体	330	25.8%	64.5%	90.3%	10.5%	50.9%	61.4%	15.3%	13.6%
女性	180	27.8%	65.0%	92.8%	12.8%	49.8%	62.6%	15.0%	15.2%
男性	145	24.8%	64.9%	89.7%	8.2%	54.4%	62.6%	16.6%	10.5%

図5 - 2 - 1

ドメスティック・バイオレンスの経験  
(性・年齢別、性・本人職業別、性別役割意識別)

自分・身近  
な人に経 見聞きあり 知っている  
験あり



- 直接経験したことがある
- 直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した人がある
- 直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した人がいないが、一般的な知識として知っている
- ドメスティック・バイオレンスという言葉聞いたことはある
- そういう言葉は今まで聞いたことがない
- 無回答

前回との比較

区分		今回				前回			比較		
		n	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている	自分・身近な人に経験あり	見聞きあり	知っている
全体		330	25.8%	64.5%	90.3%	10.6%	50.9%	61.5%	15.2%	13.6%	28.8%
【性・年齢別】											
女性	20代	19	21.1%	78.9%	100.0%	22.2%	77.8%	100.0%	-1.1%	1.1%	0.0%
	30代	33	36.4%	60.6%	97.0%	36.4%	63.6%	100.0%	0.0%	-3.0%	-3.0%
	40代	38	42.1%	47.4%	89.5%	27.3%	72.7%	100.0%	14.8%	-25.3%	-10.5%
	50代	61	24.6%	68.8%	93.4%	15.4%	61.5%	76.9%	9.2%	7.3%	16.5%
	60代	28	10.7%	75.0%	85.7%	8.6%	54.3%	62.9%	2.1%	20.7%	22.8%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	32.2%	37.9%	-5.7%	-32.2%	-37.9%
【性・本人職業有無別】											
女性	自営家族従業（計）	18	5.6%	72.2%	77.8%	8.6%	60.0%	68.6%	-3.0%	12.2%	9.2%
	勤務者	129	31.0%	64.4%	95.4%	19.3%	61.3%	80.6%	11.7%	3.1%	14.8%
	無職	37	27.0%	56.7%	83.7%	10.1%	41.4%	51.5%	16.9%	15.3%	32.2%
【「男は仕事、女は家庭」】											
そう思う（計）		73	16.5%	74.0%	90.5%	8.7%	46.3%	55.0%	7.8%	27.7%	35.5%
そう思わない（計）		250	28.4%	62.8%	91.2%	12.6%	59.6%	72.2%	15.8%	3.2%	19.0%

## 第6章 男女共同参画政策について

### 1. 男女共同参画政策について（問19）

（図6-1、図6-1-1～図6-1-19）

男女共同参画政策で望むものについて、最も多かったのは「男女ともに育児・介護休暇が取得しやすい職場環境の整備を企業等に呼びかけていく」が70%で、男女とも最も高い。男性と女性では女性が5.9%高い。年代別では女性の20代と30代、男性の40代が80%を超え高くなっている。

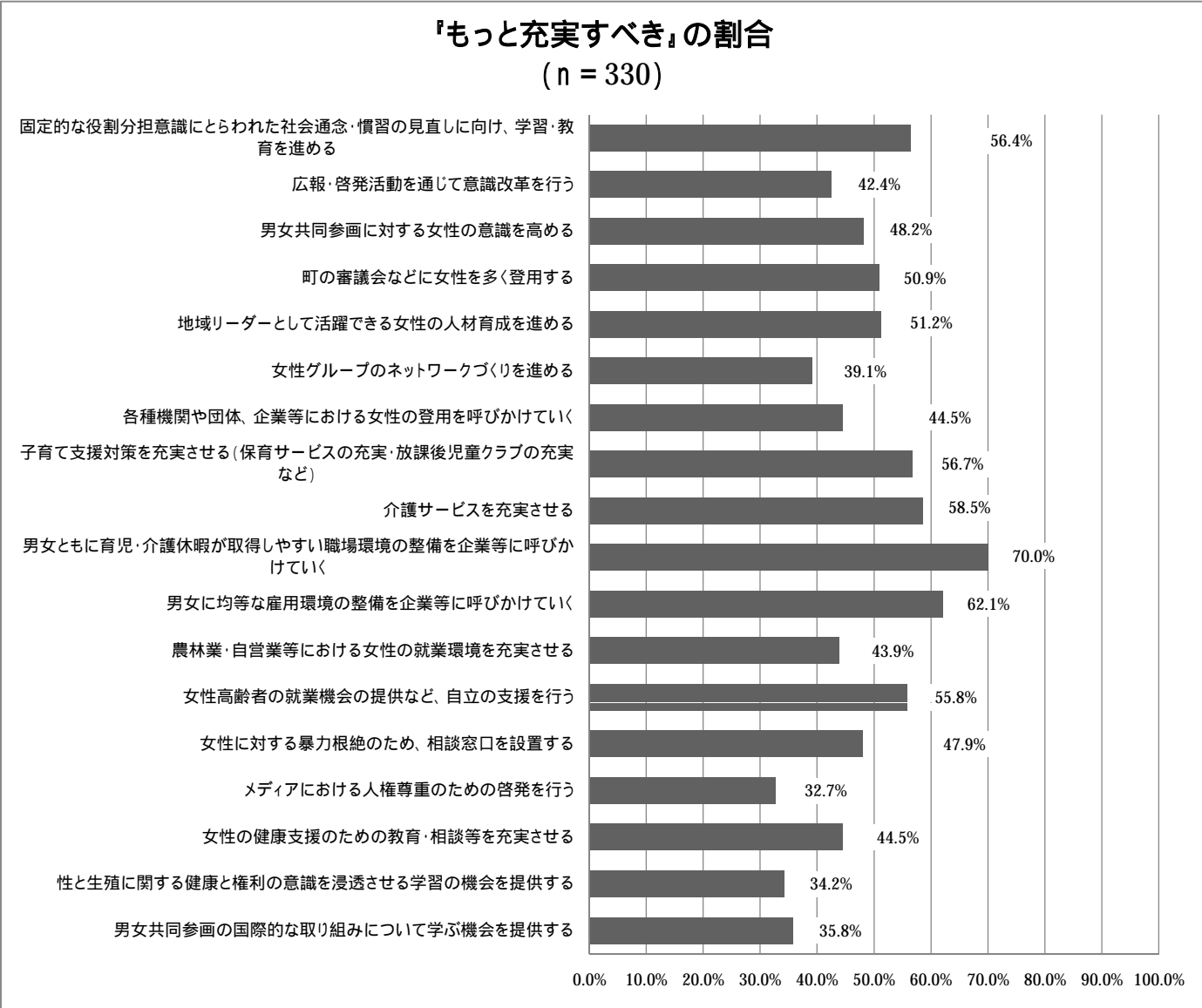
次に多いのが「男女に均等な雇用環境の整備を企業等に呼びかけていく」が62.1%で、男女とも2番目に高い。男性と女性では男性が5.2%高い。年代別では、女性の20代30代50代と、男性の40代を除く年代が60%を超えて高くなっている。

続いて「介護サービスを充実させる」が58.5%で、男性は4番目に女性は3番目に高い。年代別では、女性の20代、男性の50代を除く年代が60%を超え高くなっている。

18項目のうち「男女ともに育児・介護休暇が取得しやすい職場環境の整備を企業等に呼びかけていく」以外において男性の割合が高くなっている。回答結果では、女性よりも男性の方が男女共同参画政策を望んでいることが伺える。

前回調査と比べると、すべての項目で大きく増加している。特に「男女に均等な雇用環境の整備を企業等に呼びかけていく」は20.7%増加していて、全体の割合をみても、企業等の体質改善を政策に求める意識が非常に高くなってる。

男女共同参画政策について  
問19 あなたは、町に対してどのような男女共同参画政策を望みますか。( 1は1つ)



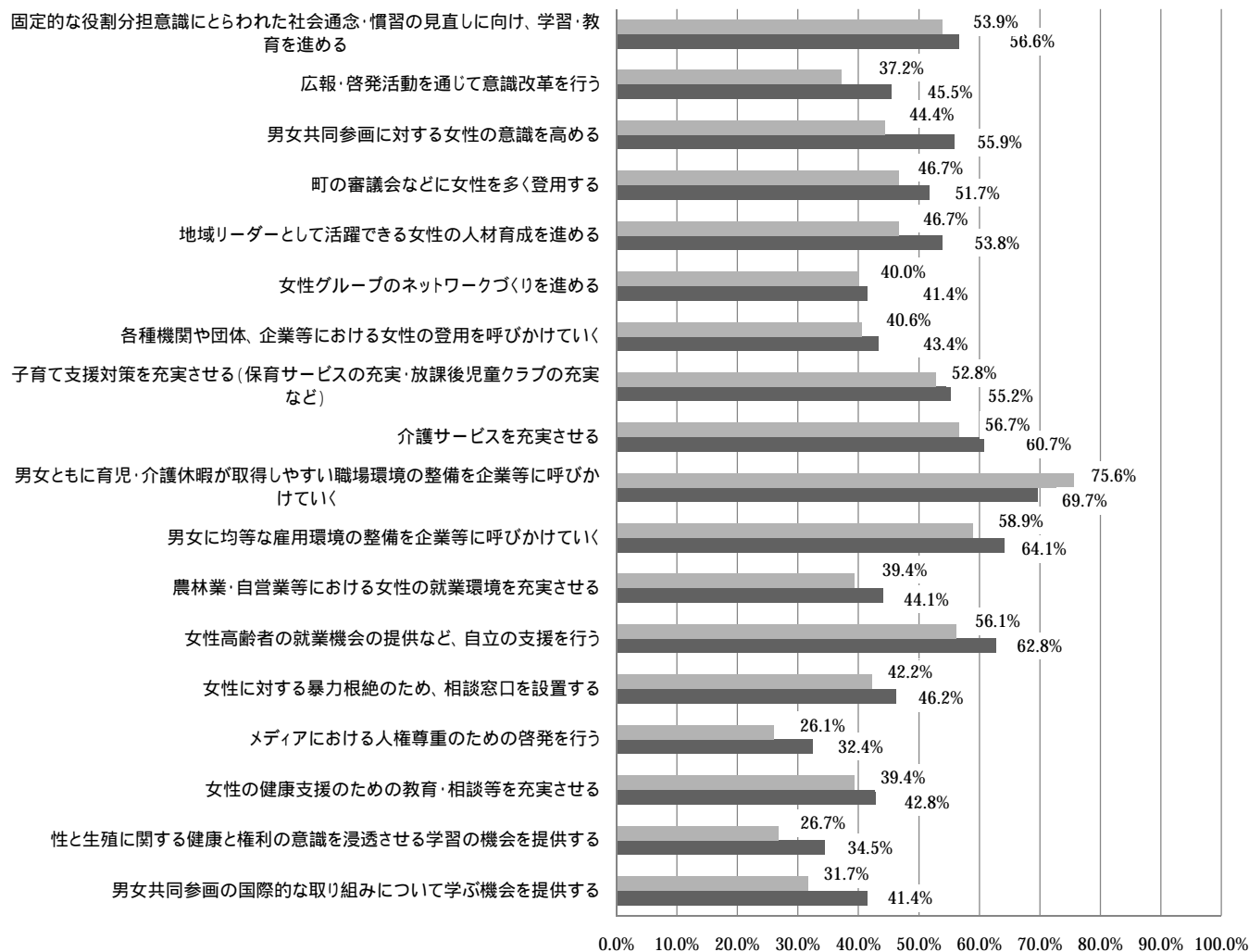
前回との比較

区分	今回	前回	比較
固定的な役割分担意識にとらわれた社会通念・慣習の見直しに向け、学習・教育を進める	56.4%	43.5%	12.9%
広報・啓発活動を通じて意識改革を行う	42.4%	32.7%	9.7%
男女共同参画に対する女性の意識を高める	48.2%	41.7%	6.5%
町の審議会などに女性を多く登用する	50.9%	36.1%	14.8%
地域リーダーとして活躍できる女性の人材育成を進める	51.2%	39.1%	12.1%
女性グループのネットワークづくりを進める	39.1%	27.4%	11.7%
各種機関や団体、企業等における女性の登用を呼びかけていく	44.5%	34.6%	9.9%
子育て支援対策を充実させる(保育サービスの充実・放課後児童クラブの充実など)	56.7%	43.3%	13.4%
介護サービスを充実させる	58.5%	46.4%	12.1%
男女ともに育児・介護休暇が取得しやすい職場環境の整備を企業等に呼びかけていく	70.0%	61.7%	8.3%
男女に均等な雇用環境の整備を企業等に呼びかけていく	62.1%	41.4%	20.7%
農林業・自営業等における女性の就業環境を充実させる	43.9%	32.7%	11.2%
女性高齢者の就業機会の提供など、自立の支援を行う	55.8%	36.9%	18.9%
女性に対する暴力根絶のため、相談窓口を設置する	47.9%	32.7%	15.2%
メディアにおける人権尊重のための啓発を行う	32.7%	26.1%	6.6%
女性の健康支援のための教育・相談等を充実させる	44.5%	34.6%	9.9%
性と生殖に関する健康と権利の意識を浸透させる学習の機会を提供する	34.2%	27.2%	7.0%
男女共同参画の国際的な取り組みについて学ぶ機会を提供する	35.8%	30.6%	5.2%

# 男女共同参画政策「もっと充実すべき」

上段: 女性 (n = 180)

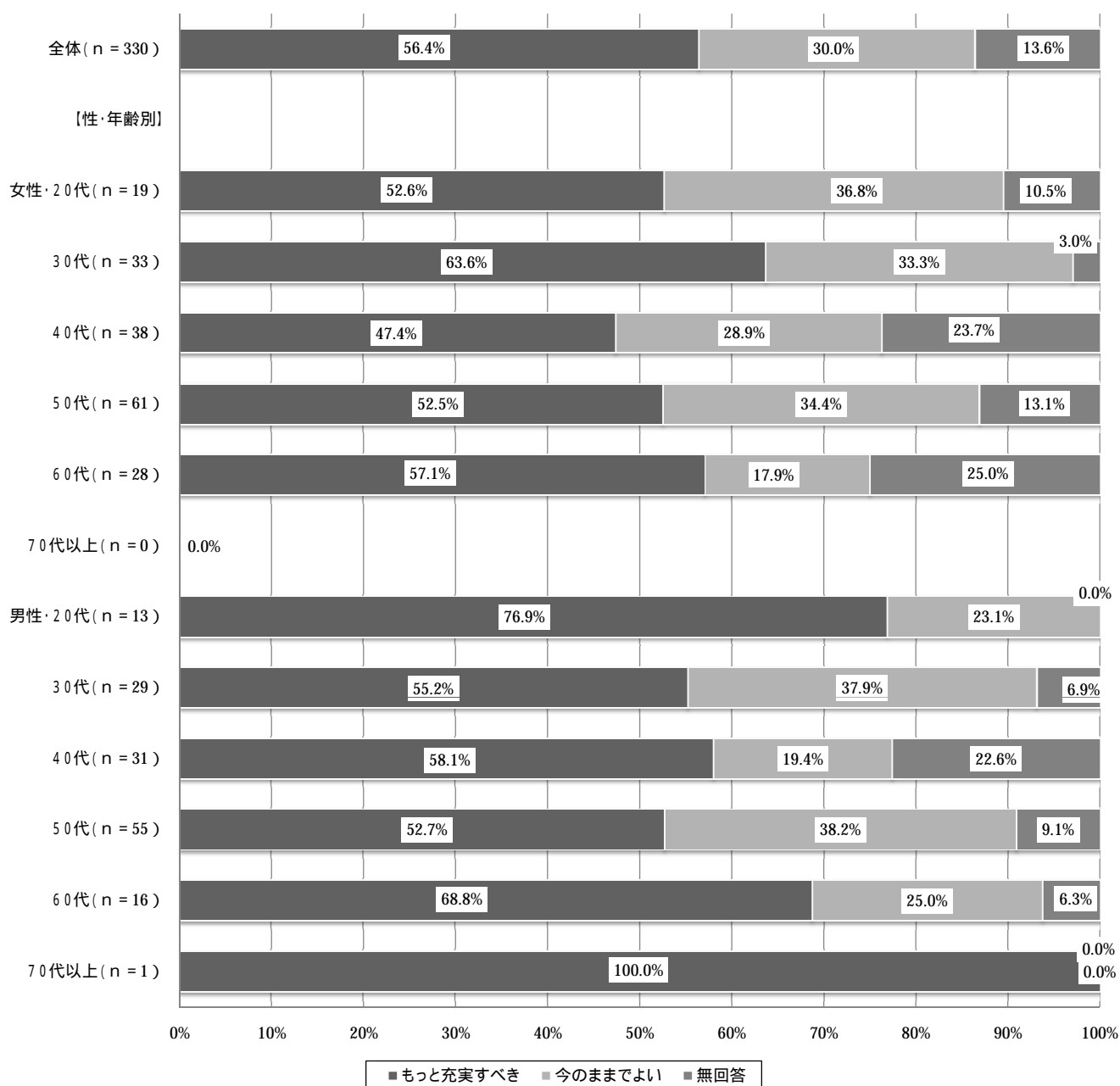
下段: 男性 (n = 145)



## 前回との比較

区分	今回		前回		比較	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性
固定的な役割分担意識にとらわれた社会通念・慣習の見直しに向け、学習・教育を進める	53.9%	56.6%	43.8%	46.8%	10.1%	9.8%
広報・啓発活動を通じて意識改革を行う	37.2%	45.5%	28.6%	39.9%	8.6%	5.6%
男女共同参画に対する女性の意識を高める	44.4%	55.9%	38.9%	48.1%	5.5%	7.8%
町の審議会などに女性を多く登用する	46.7%	51.7%	33.5%	43.0%	13.2%	8.7%
地域リーダーとして活躍できる女性の人材育成を進める	46.7%	53.8%	36.0%	46.2%	10.7%	7.6%
女性グループのネットワークづくりを進める	40.0%	41.4%	30.5%	35.9%	9.5%	5.5%
各種機関や団体、企業等における女性の登用を呼びかけていく	40.6%	43.4%	31.0%	42.4%	9.6%	1.0%
子育て支援対策を充実させる(保育サービスの充実・放課後児童クラブの充実など)	52.8%	55.2%	39.4%	51.9%	13.4%	3.3%
介護サービスを充実させる	56.7%	60.7%	47.8%	48.1%	8.9%	12.6%
男女ともに育児・介護休暇が取得しやすい職場環境の整備を企業等に呼びかけていく	75.6%	69.7%	52.2%	55.1%	23.4%	14.6%
男女に均等な雇用環境の整備を企業等に呼びかけていく	58.9%	64.1%	37.9%	49.4%	21.0%	14.7%
農林業・自営業等における女性の就業環境を充実させる	39.4%	44.1%	27.6%	40.5%	11.8%	3.6%
女性高齢者の就業機会の提供など、自立の支援を行う	56.1%	62.8%	36.9%	39.9%	19.2%	22.9%
女性に対する暴力根絶のため、相談窓口を設置する	42.2%	46.2%	28.6%	41.1%	13.6%	5.1%
メディアにおける人権尊重のための啓発を行う	26.1%	32.4%	21.7%	34.8%	4.4%	-2.4%
女性の健康支援のための教育・相談等を充実させる	39.4%	42.8%	34.5%	36.7%	4.9%	6.1%
性と生殖に関する健康と権利の意識を浸透させる学習の機会を提供する	26.7%	34.5%	22.2%	25.4%	4.5%	9.1%
男女共同参画の国際的な取り組みについて学ぶ機会を提供する	31.7%	41.4%	25.6%	39.9%	6.1%	1.5%

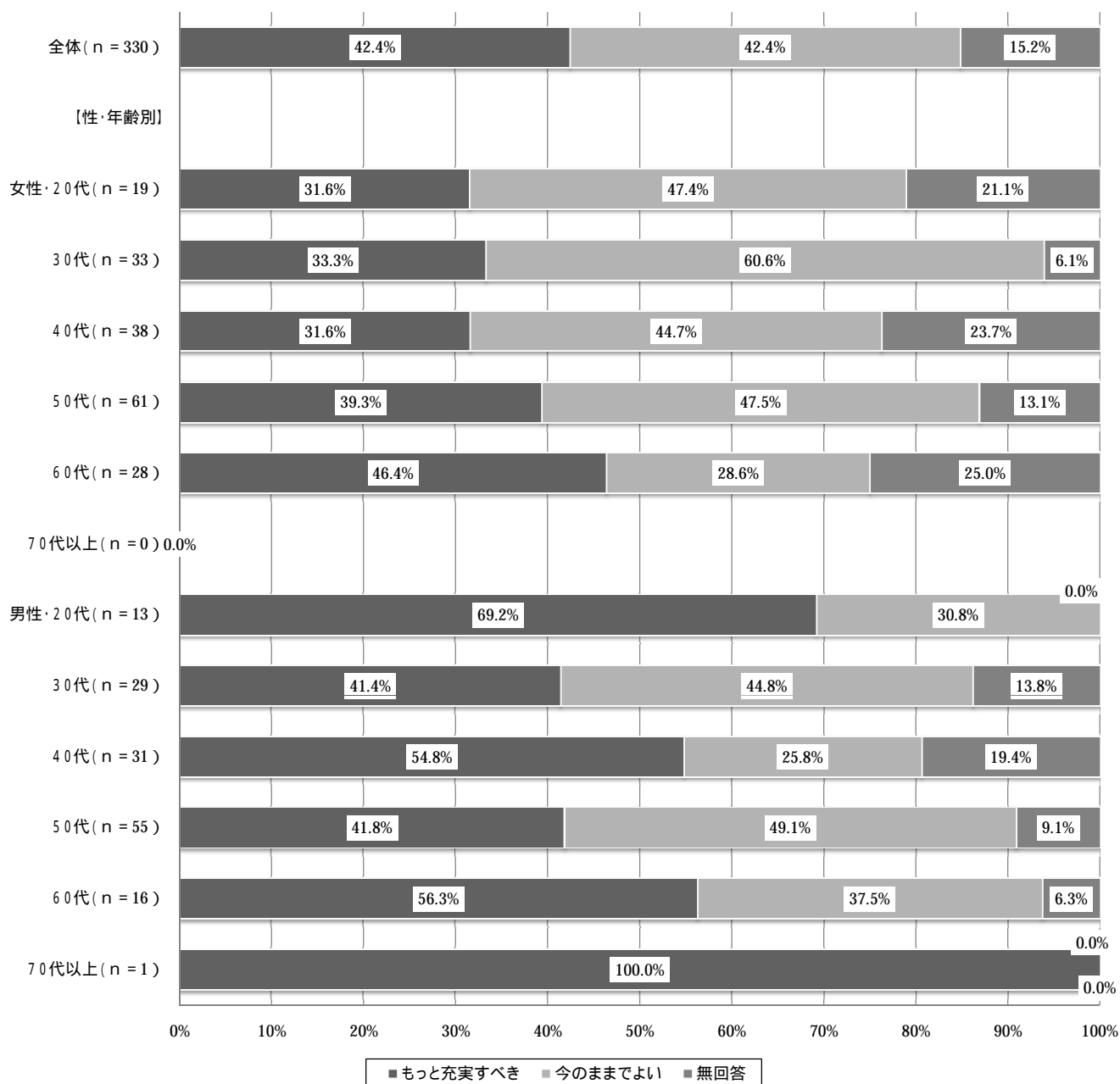
## (1) 固定的な役割分担意識にとらわれた社会通念・慣習の見直しに向け、学習・教育を進める



## 前回との比較

区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい
全体		330	56.4%	30.0%	43.5%	24.3%	12.9%	5.7%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	52.6%	36.8%	88.9%	11.1%	-36.3%	25.7%
	30代	33	63.6%	33.3%	54.5%	27.3%	9.1%	6.0%
	40代	38	47.4%	28.9%	63.6%	18.2%	-16.2%	10.7%
	50代	61	52.5%	34.4%	61.5%	20.5%	-9.0%	13.9%
	60代	28	57.1%	17.9%	40.0%	34.3%	17.1%	-16.4%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	26.4%	19.5%	-26.4%	-19.5%
男性	20代	13	76.9%	23.1%	87.5%	12.5%	-10.6%	10.6%
	30代	29	55.2%	37.9%	66.7%	25.0%	-11.5%	12.9%
	40代	31	58.1%	19.4%	61.1%	33.3%	-3.0%	-13.9%
	50代	55	52.7%	38.2%	38.7%	32.3%	14.0%	5.9%
	60代	16	68.8%	25.0%	37.0%	29.6%	31.8%	-4.6%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	41.9%	21.0%	58.1%	-21.0%

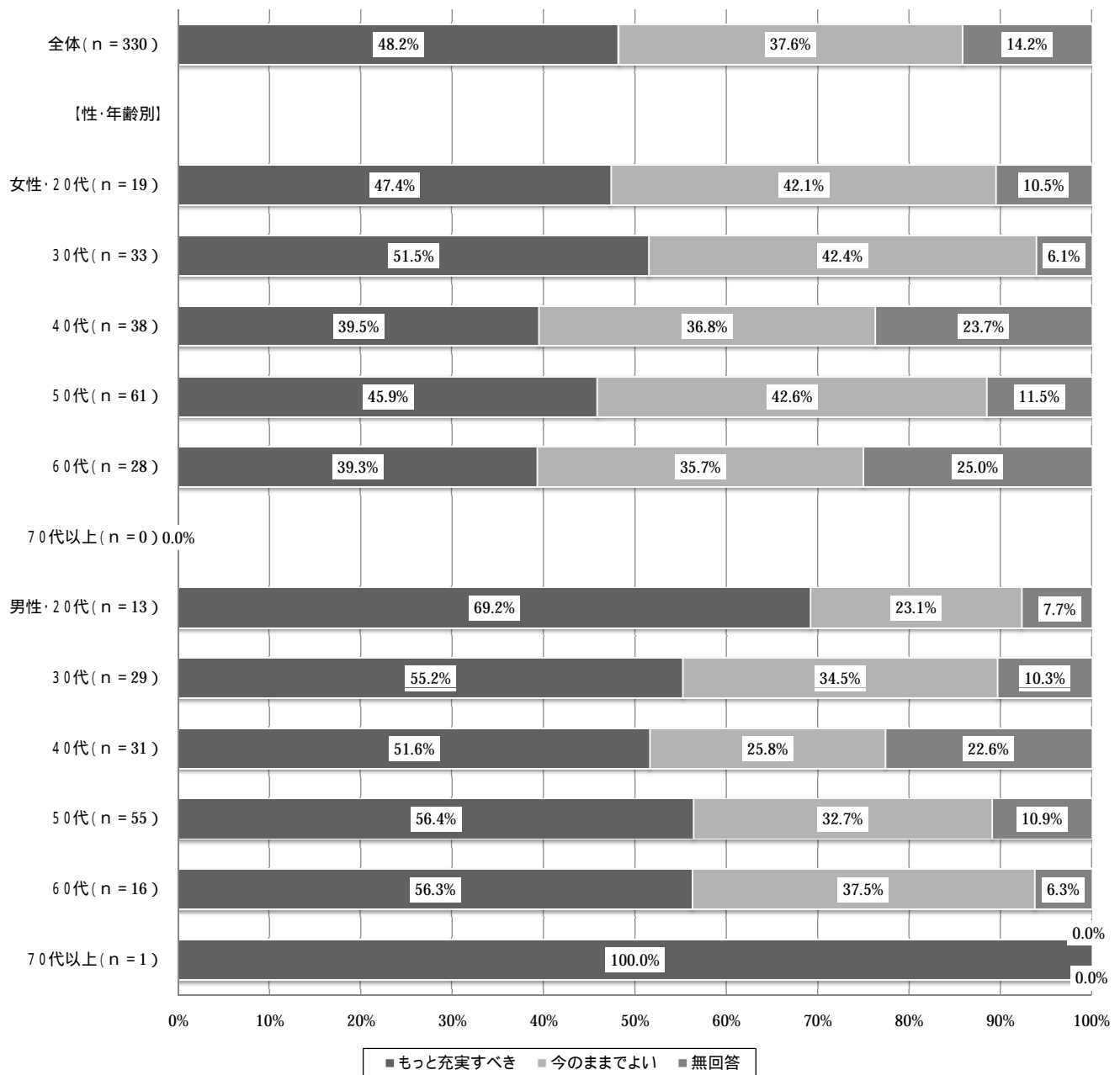
## (2) 広報・啓発活動を通じて意識改革を行う



## 前回との比較

区分	n	今回		前回		比較	
		もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい
全体	330	42.4%	42.4%	32.7%	30.9%	9.7%	11.5%
【性・年齢別】							
女性	20代	19	31.6%	47.4%	44.4%	55.6%	-12.8%
	30代	33	33.3%	60.6%	45.5%	27.3%	-12.2%
	40代	38	31.6%	44.7%	36.4%	31.8%	-4.8%
	50代	61	39.3%	47.5%	38.5%	43.6%	0.8%
	60代	28	46.4%	28.6%	31.4%	42.9%	15.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	17.2%	24.1%	-17.2%
男性	20代	13	69.2%	30.8%	62.5%	25.0%	6.7%
	30代	29	41.4%	44.8%	50.0%	33.3%	-8.6%
	40代	31	54.8%	25.8%	50.0%	44.4%	4.8%
	50代	55	41.8%	49.1%	45.2%	22.6%	-3.4%
	60代	16	56.3%	37.5%	18.5%	44.4%	37.8%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	38.7%	16.1%	61.3%

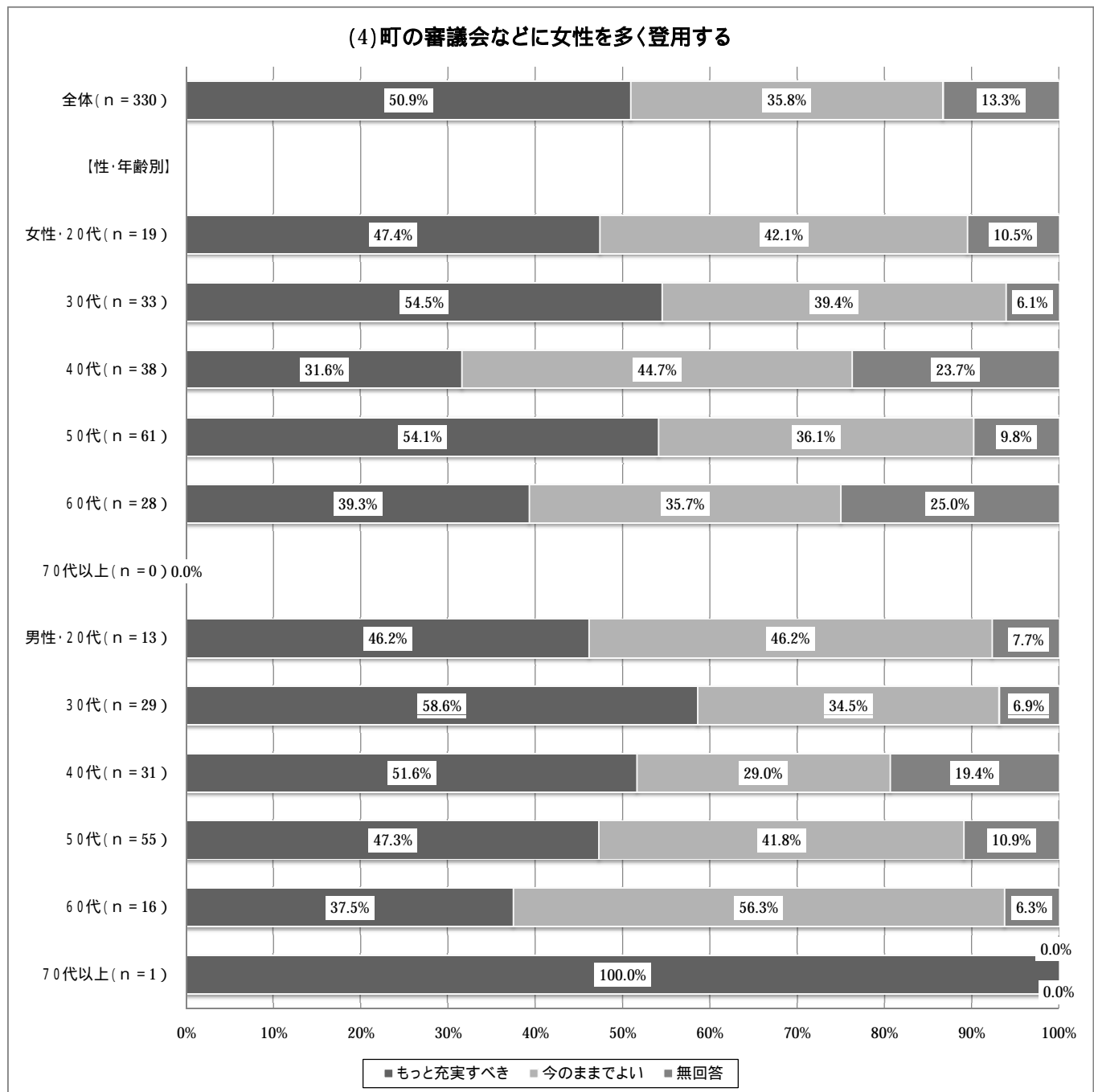
## (3)男女共同参画に対する女性の意識を高める



## 前回との比較

区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい
全体		330	48.2%	37.6%	41.7%	24.5%	6.5%	13.1%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	47.4%	42.1%	55.6%	44.4%	-8.2%	-2.3%
	30代	33	51.5%	42.4%	54.5%	18.2%	-3.0%	24.2%
	40代	38	39.5%	36.8%	45.5%	27.3%	-6.0%	9.5%
	50代	61	45.9%	42.6%	53.8%	28.2%	-7.9%	14.4%
	60代	28	39.3%	35.7%	45.7%	25.7%	-6.4%	10.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	24.1%	23.0%	-24.1%	-23.0%
男性	20代	13	69.2%	23.1%	62.5%	37.5%	6.7%	-14.4%
	30代	29	55.2%	34.5%	41.7%	41.7%	13.5%	-7.2%
	40代	31	51.6%	25.8%	55.6%	38.9%	-4.0%	-13.1%
	50代	55	56.4%	32.7%	58.1%	16.1%	-1.7%	16.6%
	60代	16	56.3%	37.5%	44.4%	18.5%	11.9%	19.0%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	41.9%	17.7%	58.1%	-17.7%

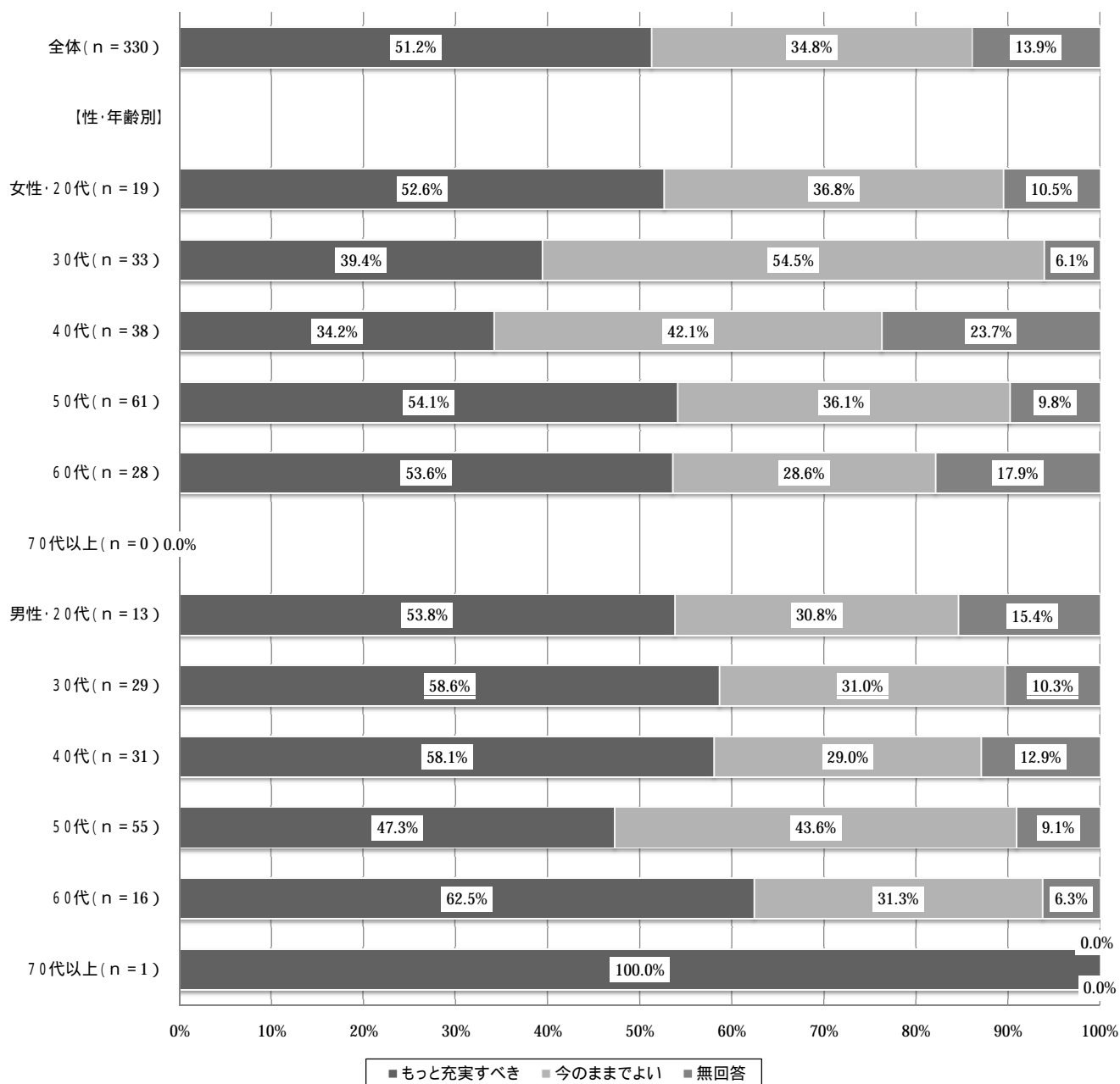




前回との比較

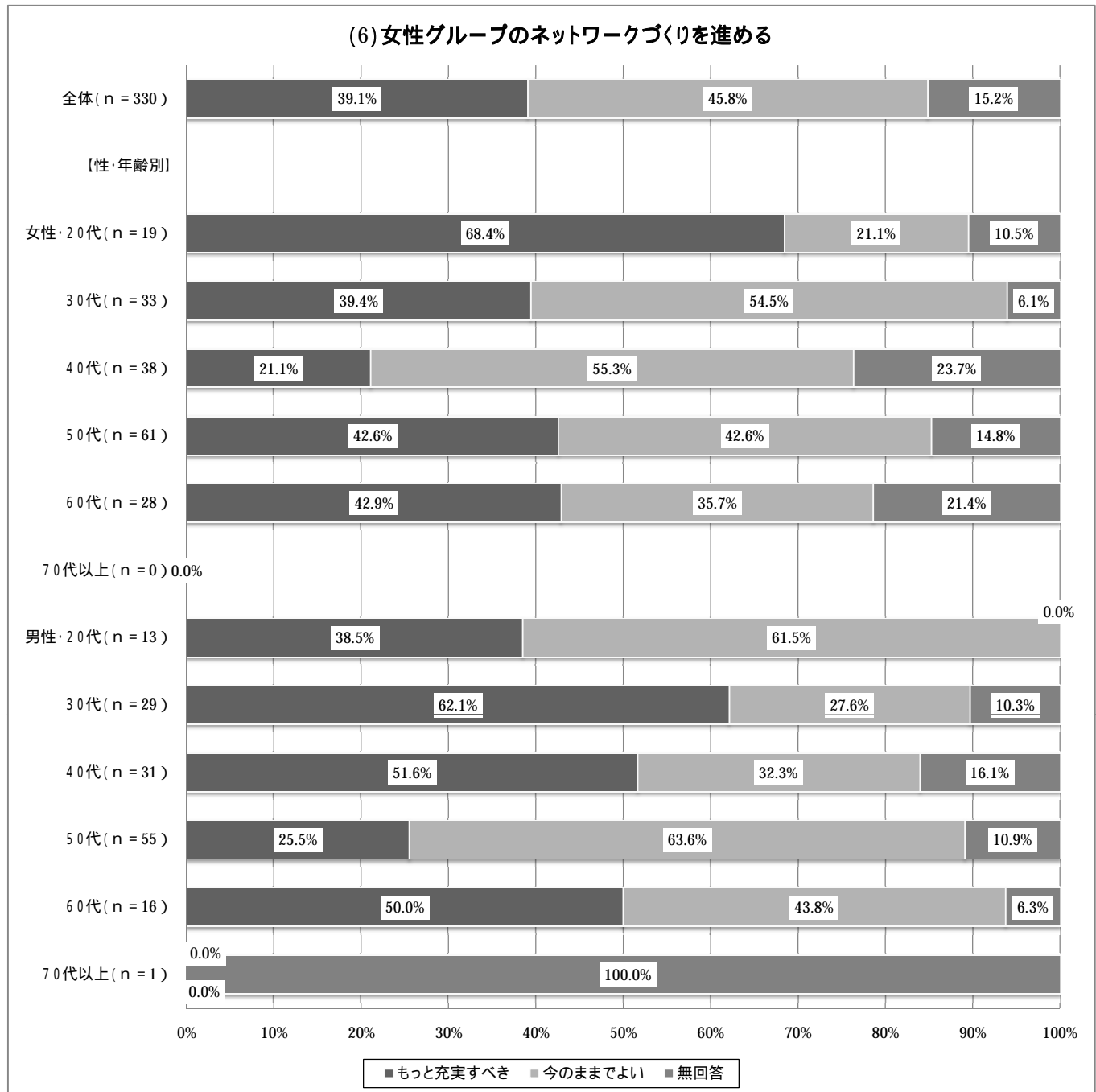
区分	n	今回		前回		比較	
		もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい
全体	330	50.9%	35.8%	36.1%	28.0%	14.8%	7.8%
【性・年齢別】							
女性	20代	19	47.4%	42.1%	44.4%	3.0%	-2.3%
	30代	33	54.5%	39.4%	45.5%	9.0%	12.1%
	40代	38	31.6%	44.7%	50.0%	-18.4%	22.0%
	50代	61	54.1%	36.1%	48.7%	5.4%	2.8%
	60代	28	39.3%	35.7%	34.3%	5.0%	-1.4%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	19.5%	-19.5%	-24.1%
男性	20代	13	46.2%	46.2%	62.5%	-16.3%	21.2%
	30代	29	58.6%	34.5%	66.7%	-8.1%	9.5%
	40代	31	51.6%	29.0%	44.4%	7.2%	-21.0%
	50代	55	47.3%	41.8%	51.6%	-4.3%	19.2%
	60代	16	37.5%	56.3%	37.0%	0.5%	30.4%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	33.9%	66.1%	-22.6%

## (5)地域リーダーとして活躍できる女性の人材育成を進める



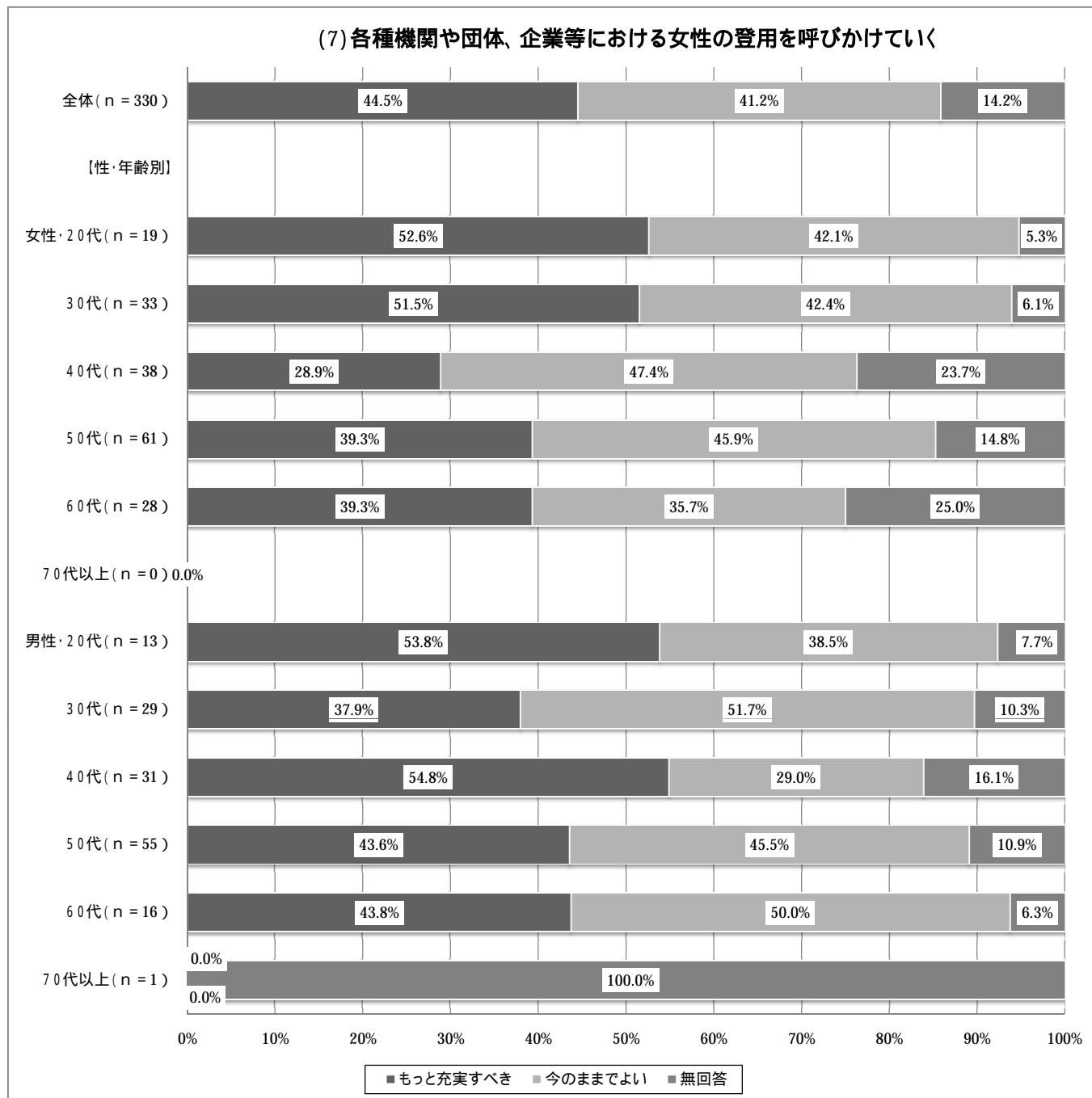
## 前回との比較

区分	n	今回		前回		比較	
		もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい
全体	330	51.2%	34.8%	39.1%	26.4%	12.1%	8.4%
【性・年齢別】							
女性	20代	19	52.6%	36.8%	33.3%	66.7%	19.3%
	30代	33	39.4%	54.5%	54.5%	27.3%	-15.1%
	40代	38	34.2%	42.1%	50.0%	27.3%	-15.8%
	50代	61	54.1%	36.1%	41.0%	38.5%	13.1%
	60代	28	53.6%	28.6%	42.9%	31.4%	10.7%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	25.3%	18.4%	-25.3%
男性	20代	13	53.8%	30.8%	50.0%	37.5%	3.8%
	30代	29	58.6%	31.0%	58.3%	41.7%	0.3%
	40代	31	58.1%	29.0%	50.0%	44.4%	8.1%
	50代	55	47.3%	43.6%	45.2%	19.4%	2.1%
	60代	16	62.5%	31.3%	44.4%	29.6%	18.1%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	43.5%	12.9%	56.5%



前回との比較

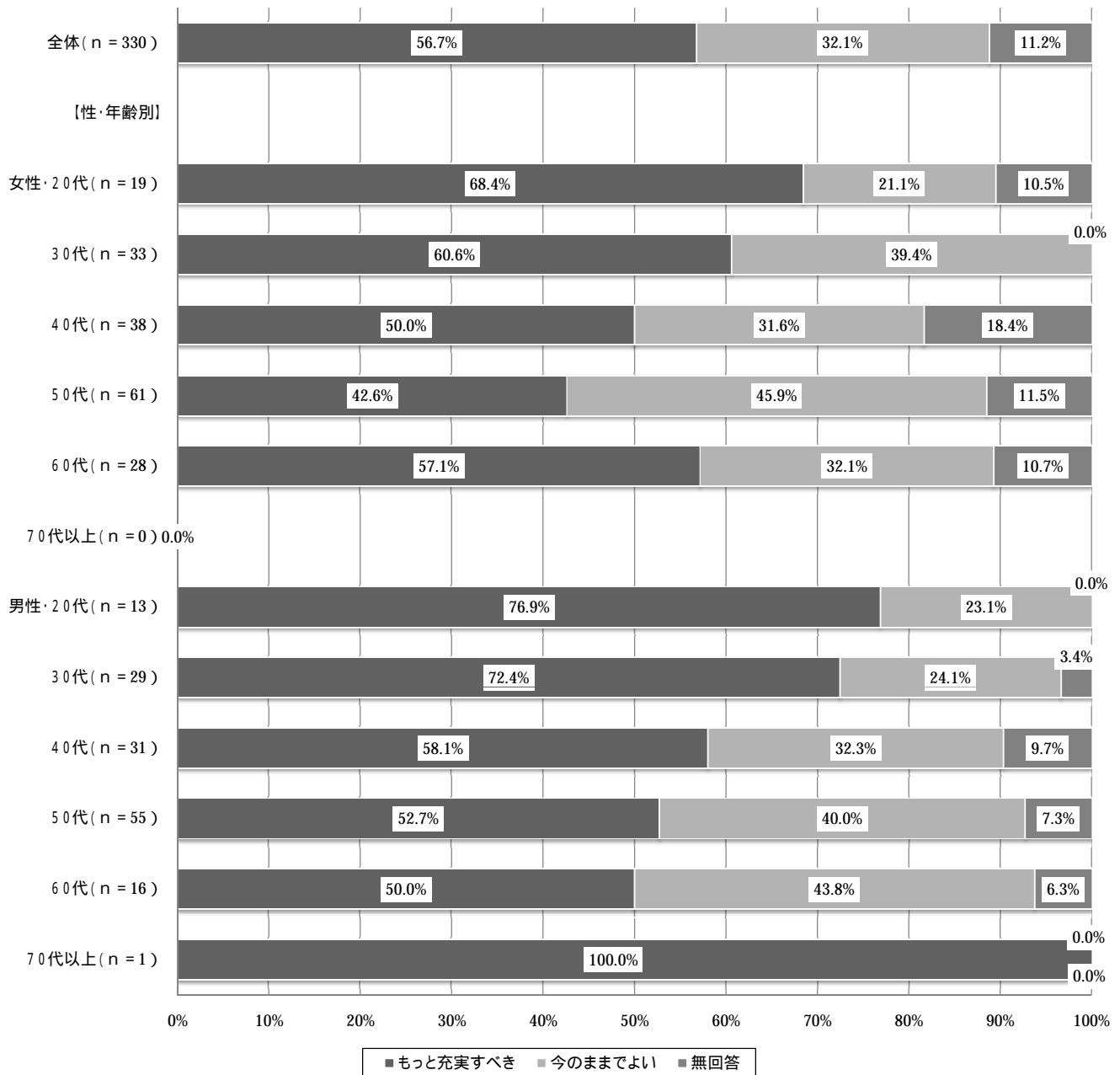
区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい
全体		330	39.1%	45.8%	27.4%	31.9%	11.7%	13.9%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	68.4%	21.1%	55.6%	44.4%	12.8%	-23.3%
	30代	33	39.4%	54.5%	45.5%	27.3%	-6.1%	27.2%
	40代	38	21.1%	55.3%	45.5%	27.3%	-24.4%	28.0%
	50代	61	42.6%	42.6%	41.0%	33.3%	1.6%	9.3%
	60代	28	42.9%	35.7%	20.0%	45.7%	22.9%	-10.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	21.8%	19.5%	-21.8%	-19.5%
男性	20代	13	38.5%	61.5%	37.5%	62.5%	1.0%	-1.0%
	30代	29	62.1%	27.6%	16.7%	50.0%	45.4%	-22.4%
	40代	31	51.6%	32.3%	33.3%	61.1%	18.3%	-28.8%
	50代	55	25.5%	63.6%	32.3%	32.3%	-6.8%	31.3%
	60代	16	50.0%	43.8%	22.2%	37.0%	27.8%	6.8%
	70代以上	1	0.0%	0.0%	22.6%	24.2%	-22.6%	-24.2%



前回との比較

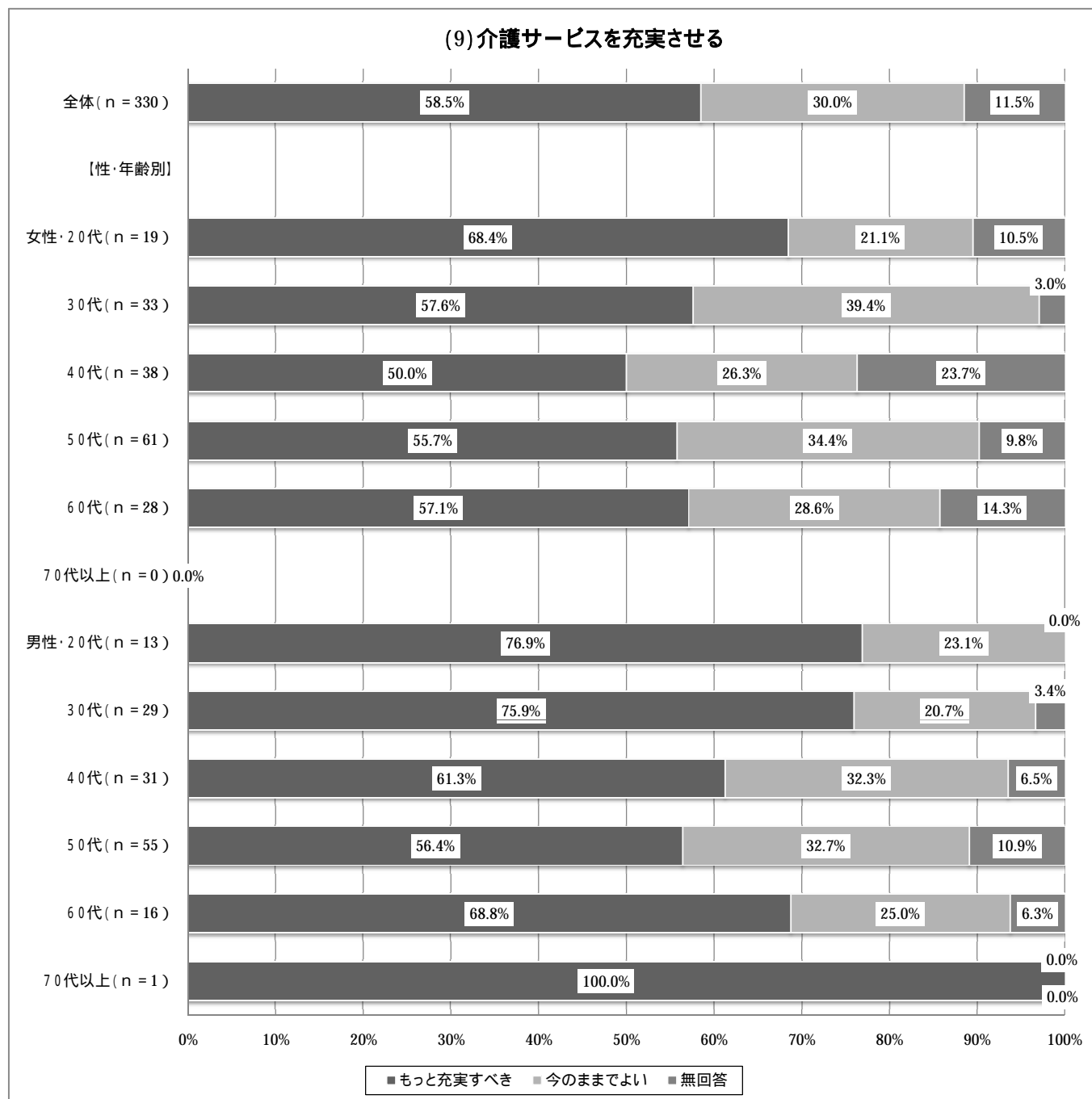
区分	n	今回		前回		比較	
		もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい
全体	330	44.5%	41.2%	34.6%	29.6%	9.9%	11.6%
【性・年齢別】							
女性	20代	19	52.6%	42.1%	33.3%	66.7%	19.3%
	30代	33	51.5%	42.4%	54.5%	18.2%	-3.0%
	40代	38	28.9%	47.4%	45.5%	27.3%	-16.6%
	50代	61	39.3%	45.9%	38.5%	43.6%	0.8%
	60代	28	39.3%	35.7%	31.4%	42.9%	7.9%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	20.7%	20.7%	-20.7%
男性	20代	13	53.8%	38.5%	50.0%	37.5%	3.8%
	30代	29	37.9%	51.7%	50.0%	41.7%	-12.1%
	40代	31	54.8%	29.0%	61.1%	33.3%	-6.3%
	50代	55	43.6%	45.5%	48.4%	19.4%	-4.8%
	60代	16	43.8%	50.0%	29.6%	37.0%	14.2%
	70代以上	1	0.0%	0.0%	37.1%	21.0%	-37.1%

## (8)子育て支援対策を充実させる(保育サービスの充実・放課後児童クラブの充実など)



## 前回との比較

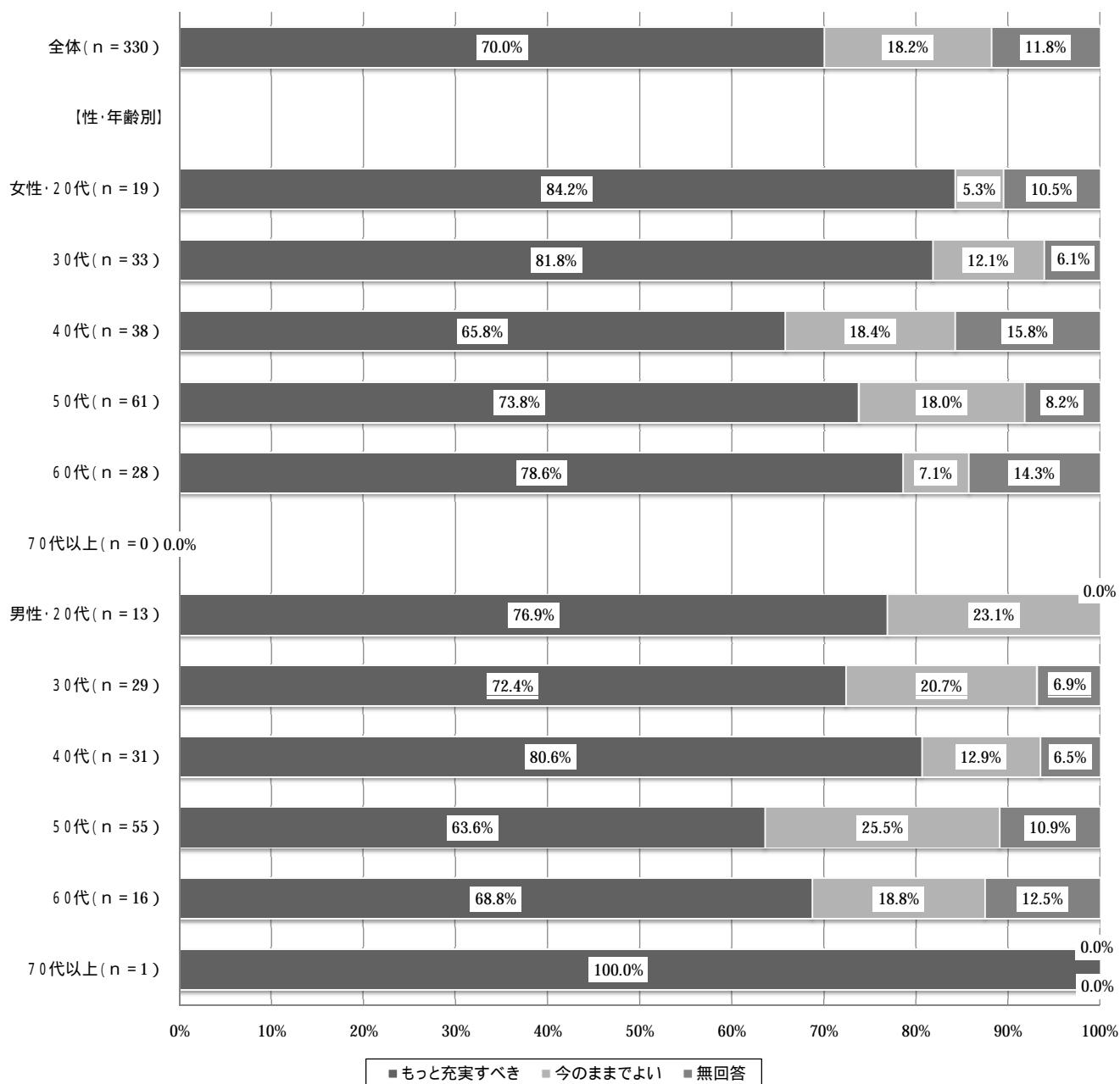
区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい
全体		330	56.7%	32.1%	43.3%	22.7%	13.4%	9.4%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	68.4%	21.1%	66.7%	33.3%	1.7%	-12.2%
	30代	33	60.6%	39.4%	72.7%	27.3%	-12.1%	12.1%
	40代	38	50.0%	31.6%	40.9%	31.8%	9.1%	-0.2%
	50代	61	42.6%	45.9%	56.4%	28.2%	-13.8%	17.7%
	60代	28	57.1%	32.1%	34.3%	34.3%	22.8%	-2.2%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	26.4%	18.4%	-26.4%	-18.4%
男性	20代	13	76.9%	23.1%	75.0%	12.5%	1.9%	10.6%
	30代	29	72.4%	24.1%	75.0%	25.0%	-2.6%	-0.9%
	40代	31	58.1%	32.3%	72.2%	22.2%	-14.1%	10.1%
	50代	55	52.7%	40.0%	51.6%	22.6%	1.1%	17.4%
	60代	16	50.0%	43.8%	40.7%	25.9%	9.3%	17.9%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	43.5%	12.9%	56.5%	-12.9%



前回との比較

区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい
全体		330	58.5%	30.0%	46.4%	22.4%	12.1%	7.6%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	68.4%	21.1%	77.8%	22.2%	-9.4%	-1.1%
	30代	33	57.6%	39.4%	45.5%	54.5%	12.1%	-15.1%
	40代	38	50.0%	26.3%	45.5%	27.3%	4.5%	-1.0%
	50代	61	55.7%	34.4%	66.7%	23.1%	-11.0%	11.3%
	60代	28	57.1%	28.6%	54.3%	20.0%	2.8%	8.6%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	34.5%	17.2%	-34.5%	-17.2%
男性	20代	13	76.9%	23.1%	50.0%	37.5%	26.9%	-14.4%
	30代	29	75.9%	20.7%	58.3%	41.7%	17.6%	-21.0%
	40代	31	61.3%	32.3%	72.2%	22.2%	-10.9%	10.1%
	50代	55	56.4%	32.7%	45.2%	29.0%	11.2%	3.7%
	60代	16	68.8%	25.0%	59.3%	14.8%	9.5%	10.2%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	35.5%	16.1%	64.5%	-16.1%

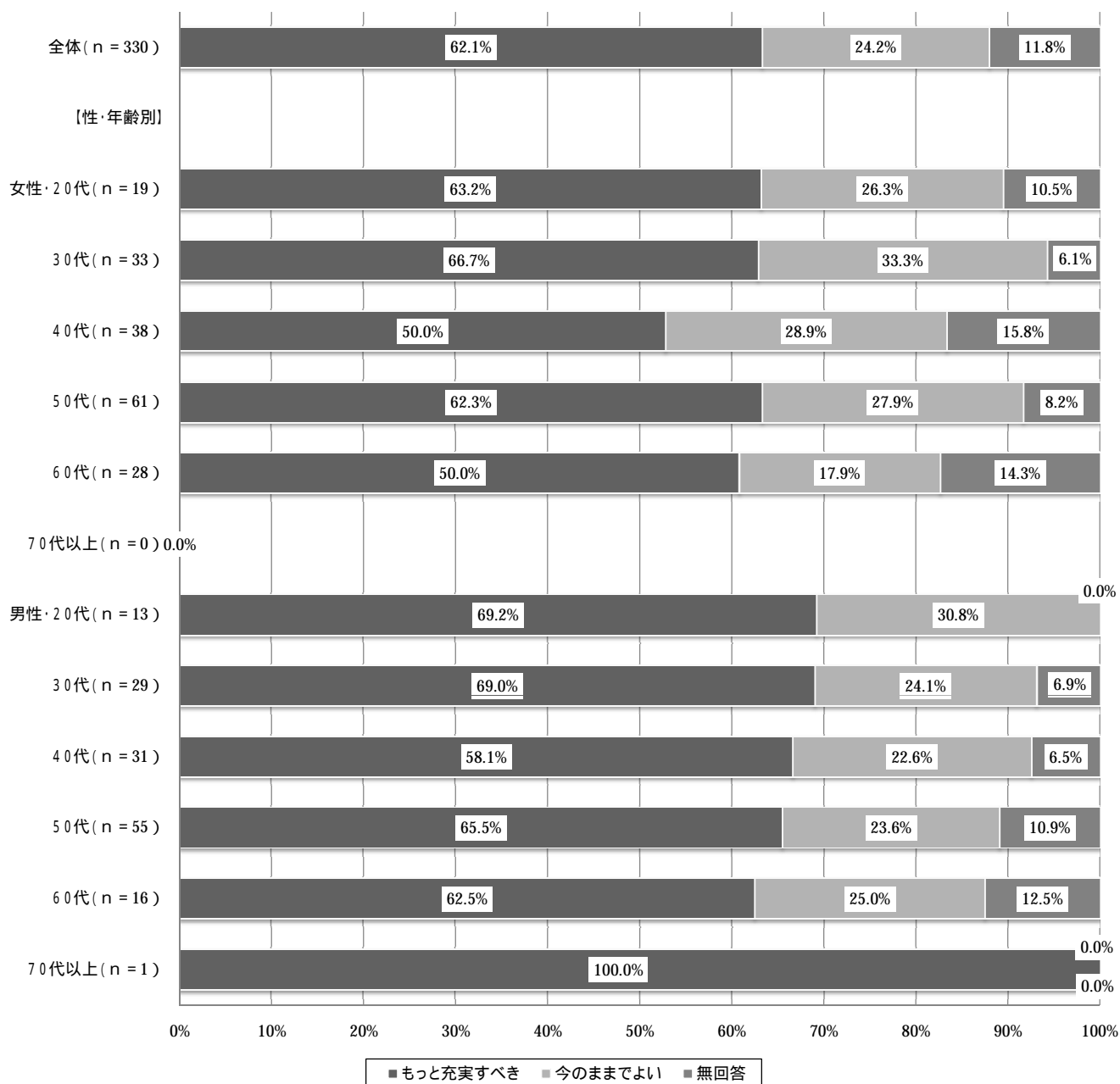
(10)男女ともに育児・介護休暇が所得しやすい職場環境の整備を企業等に呼びかけていく



前回との比較

区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい
全体		330	70.0%	18.2%	51.7%	14.8%	18.3%	3.4%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	84.2%	5.3%	88.9%	11.1%	-4.7%	-5.8%
	30代	33	81.8%	12.1%	72.7%	27.3%	9.1%	-15.2%
	40代	38	65.8%	18.4%	68.2%	13.6%	-2.4%	4.8%
	50代	61	73.8%	18.0%	64.1%	17.9%	9.7%	0.1%
	60代	28	78.6%	7.1%	60.0%	17.1%	18.6%	-10.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	33.3%	10.3%	-33.3%	-10.3%
男性	20代	13	76.9%	23.1%	87.5%	0.0%	-10.6%	23.1%
	30代	29	72.4%	20.7%	66.7%	25.0%	5.7%	-4.3%
	40代	31	80.6%	12.9%	66.7%	27.8%	13.9%	-14.9%
	50代	55	63.6%	25.5%	64.5%	9.7%	-0.9%	15.8%
	60代	16	68.8%	18.8%	44.4%	18.5%	24.4%	0.3%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	45.2%	11.3%	54.8%	-11.3%

(11) 男女に均等な雇用環境の整備を企業等に呼びかけていく

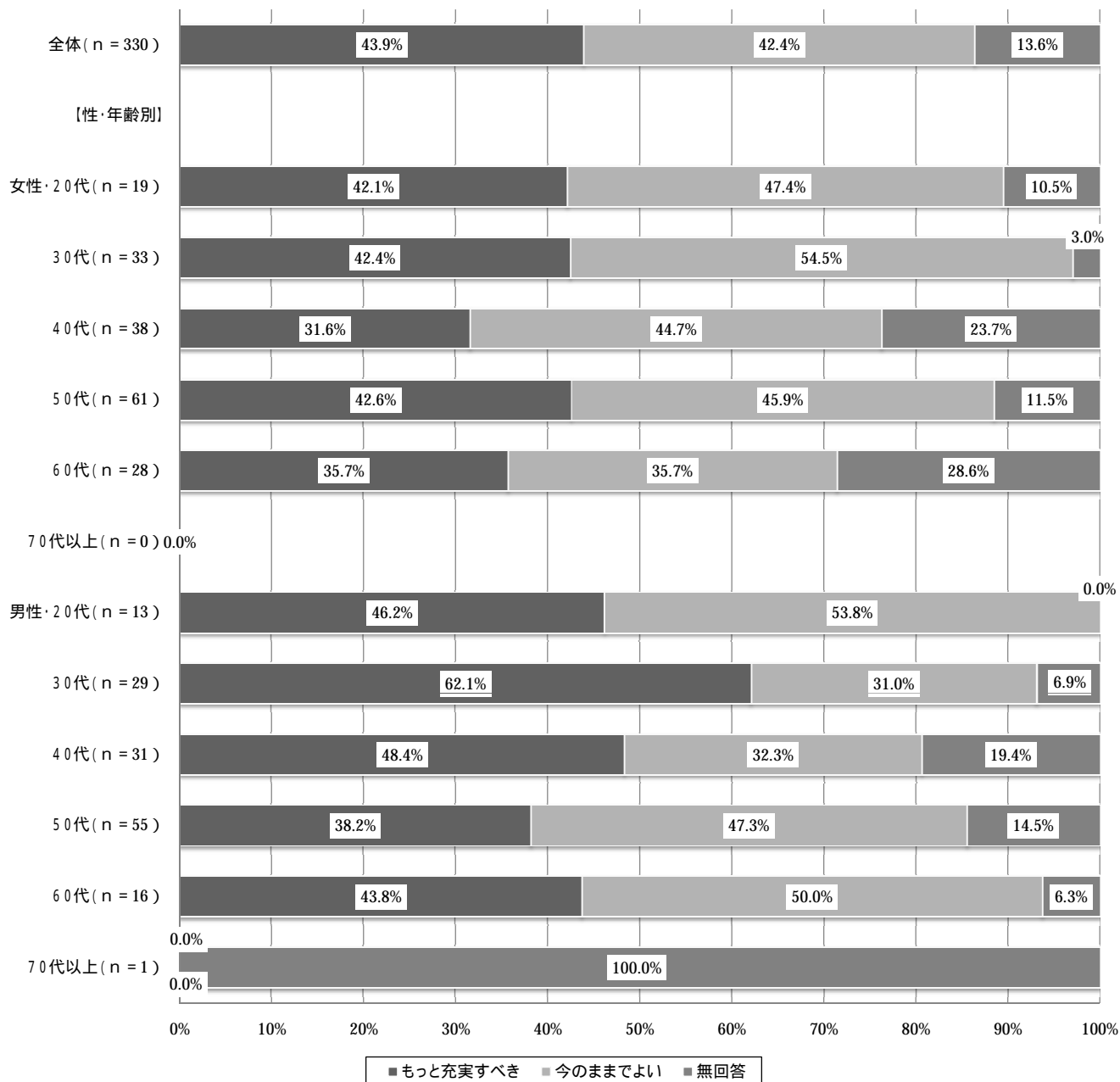


前回との比較

区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい
全体		330	62.1%	24.2%	41.4%	20.1%	20.7%	4.1%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	63.2%	26.3%	77.8%	22.2%	-14.6%	4.1%
	30代	33	66.7%	33.3%	72.7%	27.3%	-6.0%	6.0%
	40代	38	50.0%	28.9%	54.5%	18.2%	-4.5%	10.7%
	50代	61	62.3%	27.9%	43.6%	33.3%	18.7%	-5.4%
	60代	28	50.0%	17.9%	40.0%	31.4%	10.0%	-13.5%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	21.8%	18.4%	-21.8%	-18.4%
男性	20代	13	69.2%	30.8%	62.5%	25.0%	6.7%	5.8%
	30代	29	69.0%	24.1%	58.3%	16.7%	10.7%	7.4%
	40代	31	58.1%	22.6%	66.7%	27.8%	-8.6%	-5.2%
	50代	55	65.5%	23.6%	51.6%	16.1%	13.9%	7.5%
	60代	16	62.5%	25.0%	59.3%	11.1%	3.2%	13.9%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	35.5%	9.7%	64.5%	-9.7%



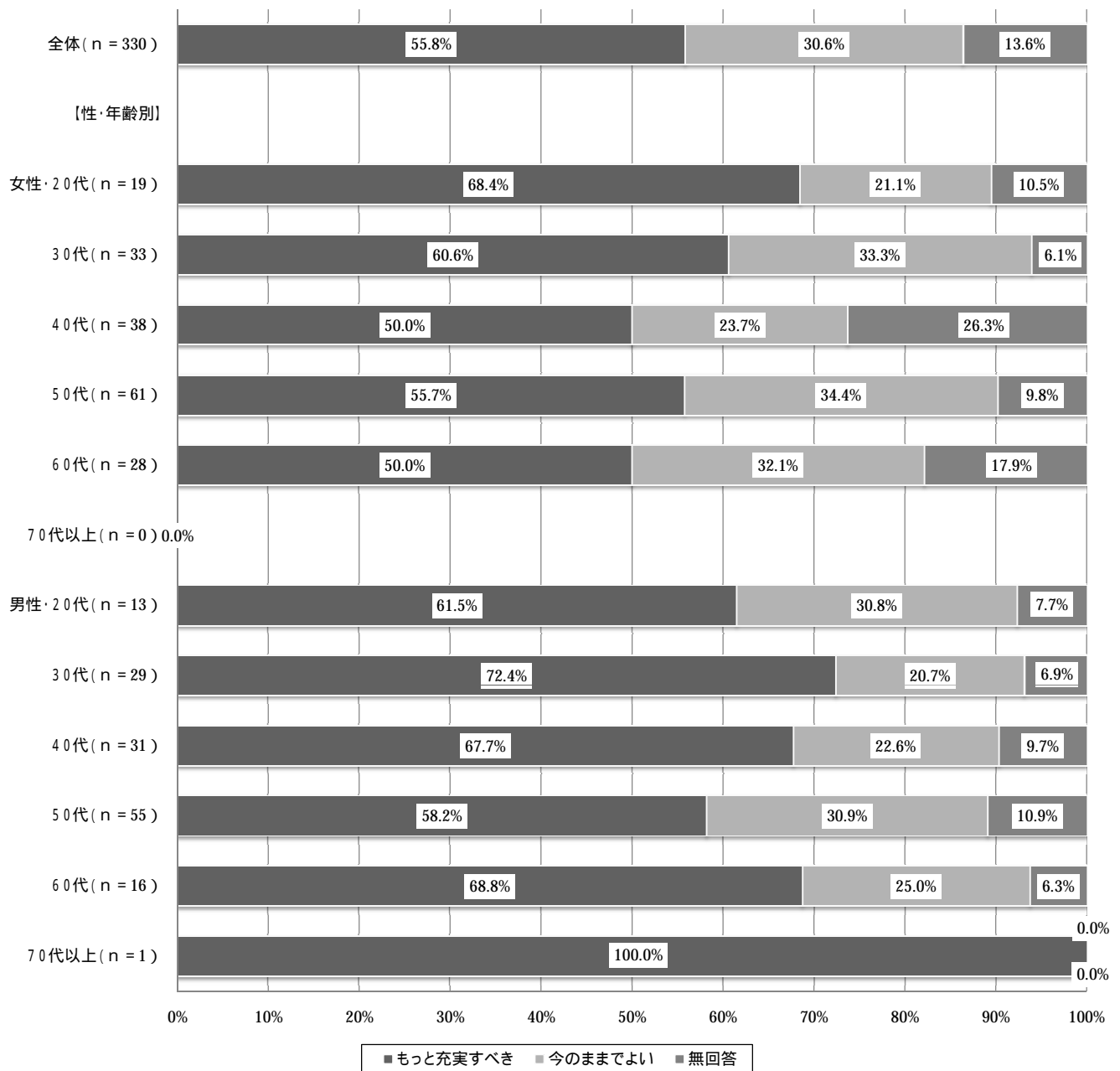
## (12) 農林業・自営業等における女性の就業環境を充実させる



## 前回との比較

区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい
全体		330	43.9%	42.4%	32.7%	28.0%	11.2%	14.4%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	42.1%	47.4%	44.4%	55.6%	-2.3%	-8.2%
	30代	33	42.4%	54.5%	45.5%	27.3%	-3.1%	27.2%
	40代	38	31.6%	44.7%	36.4%	27.3%	-4.8%	17.4%
	50代	61	42.6%	45.9%	38.5%	33.3%	4.1%	12.6%
	60代	28	35.7%	35.7%	34.3%	37.1%	1.4%	-1.4%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	13.8%	24.1%	-13.8%	-24.1%
男性	20代	13	46.2%	53.8%	37.5%	50.0%	8.7%	3.8%
	30代	29	62.1%	31.0%	50.0%	33.3%	12.1%	-2.3%
	40代	31	48.4%	32.3%	55.6%	38.9%	-7.2%	-6.6%
	50代	55	38.2%	47.3%	48.4%	19.4%	-10.2%	27.9%
	60代	16	43.8%	50.0%	44.4%	29.6%	-0.6%	20.4%
	70代以上	1	0.0%	0.0%	29.0%	22.6%	-29.0%	-22.6%

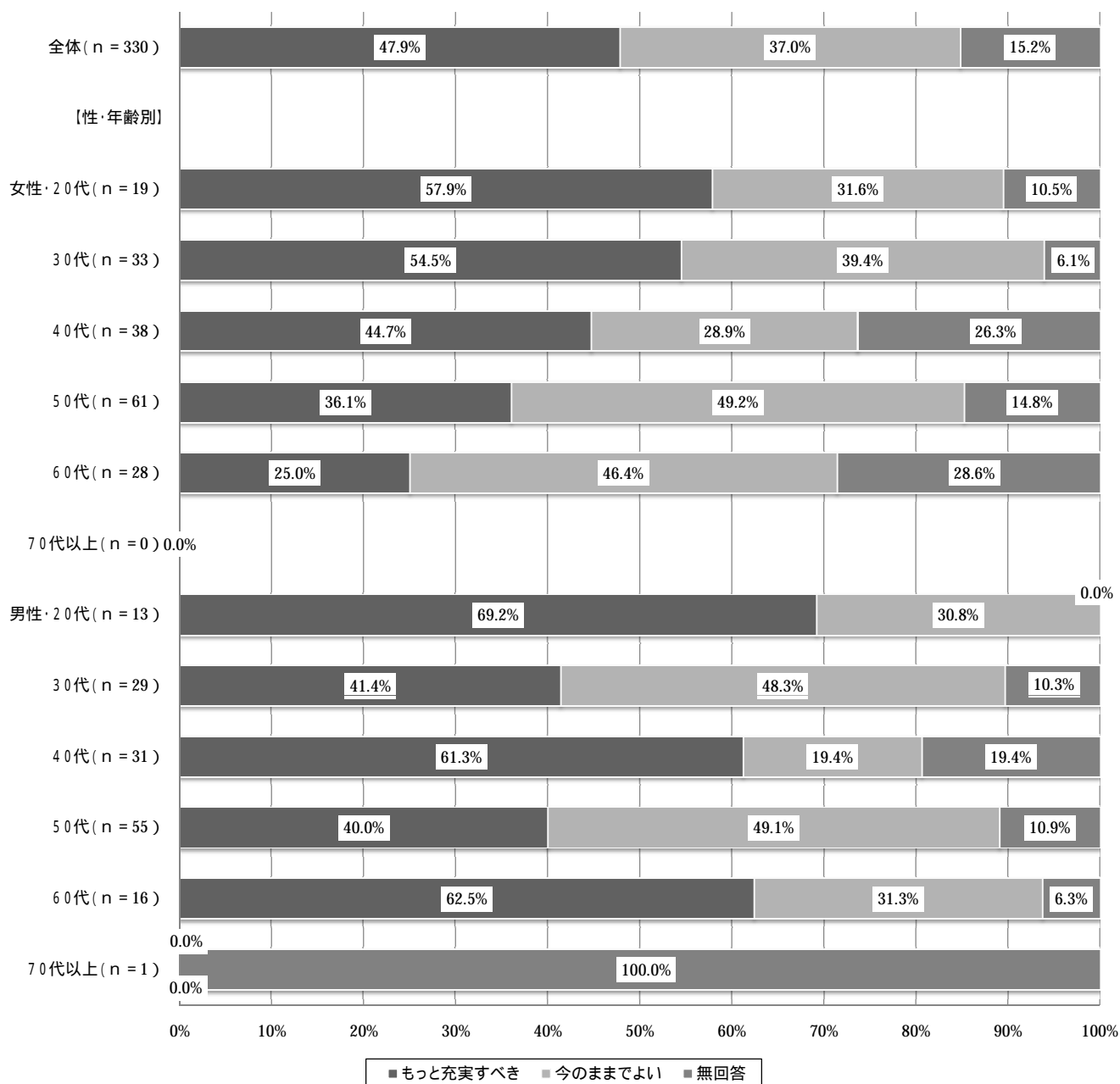
## (13) 女性高齢者の就業機会の提供など、自立の支援を行う



## 前回との比較

区分	n	今回		前回		比較	
		もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい
全体	330	55.8%	30.6%	36.9%	25.9%	18.9%	4.7%
【性・年齢別】							
女性	20代	19	68.4%	21.1%	55.6%	44.4%	12.8%
	30代	33	60.6%	33.3%	45.5%	45.5%	15.1%
	40代	38	50.0%	23.7%	54.5%	18.2%	-4.5%
	50代	61	55.7%	34.4%	43.6%	33.3%	12.1%
	60代	28	50.0%	32.1%	40.0%	31.4%	10.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	25.3%	17.2%	-25.3%
男性	20代	13	61.5%	30.8%	62.5%	25.0%	-1.0%
	30代	29	72.4%	20.7%	41.7%	41.7%	30.7%
	40代	31	67.7%	22.6%	66.7%	27.8%	1.0%
	50代	55	58.2%	30.9%	48.4%	22.6%	9.8%
	60代	16	68.8%	25.0%	29.6%	29.6%	39.2%
	70代以上	1	100.0%	0.0%	29.0%	24.2%	71.0%

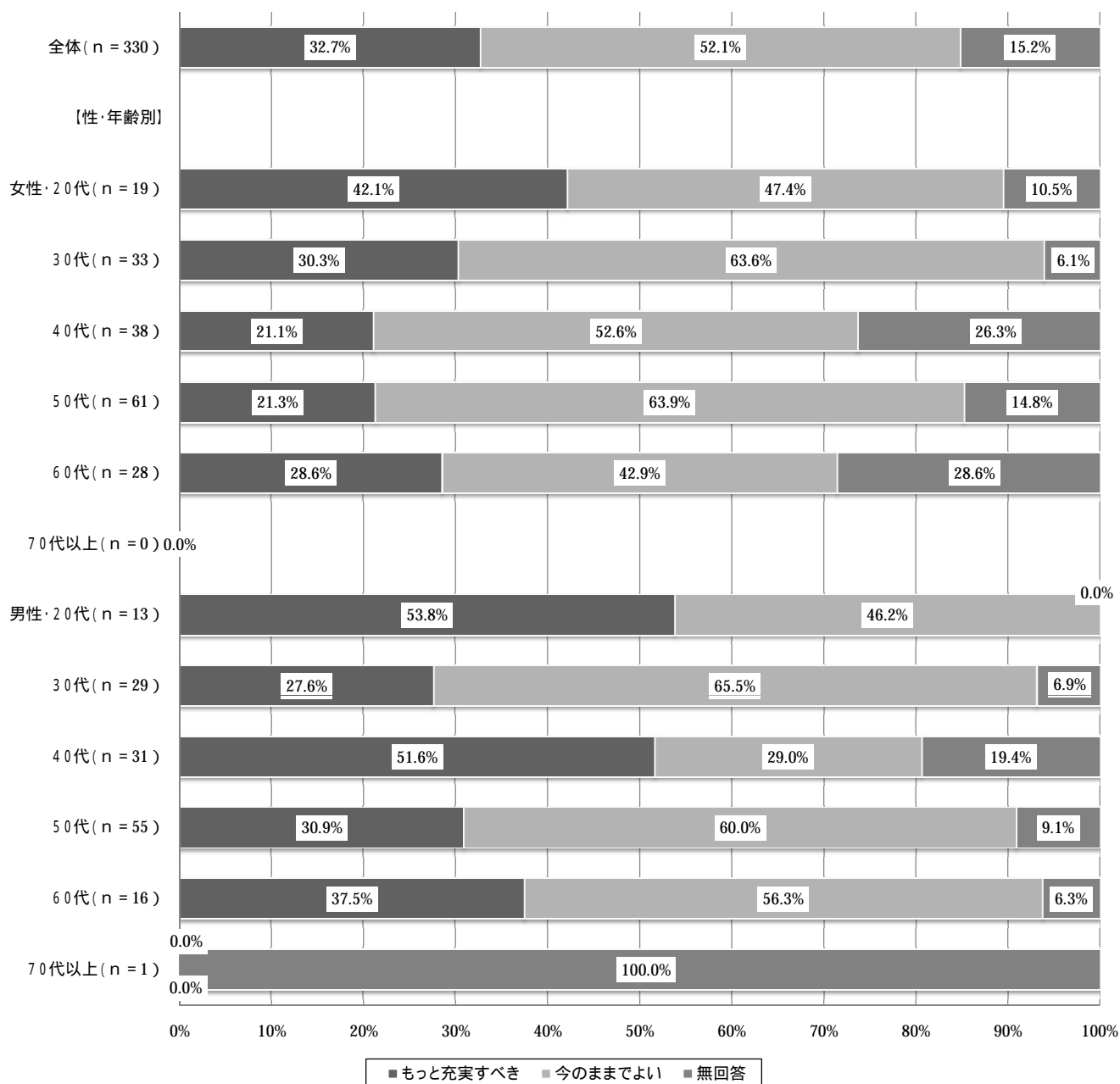
(14) 女性に対する暴力根絶のため、相談窓口を設置する



前回との比較

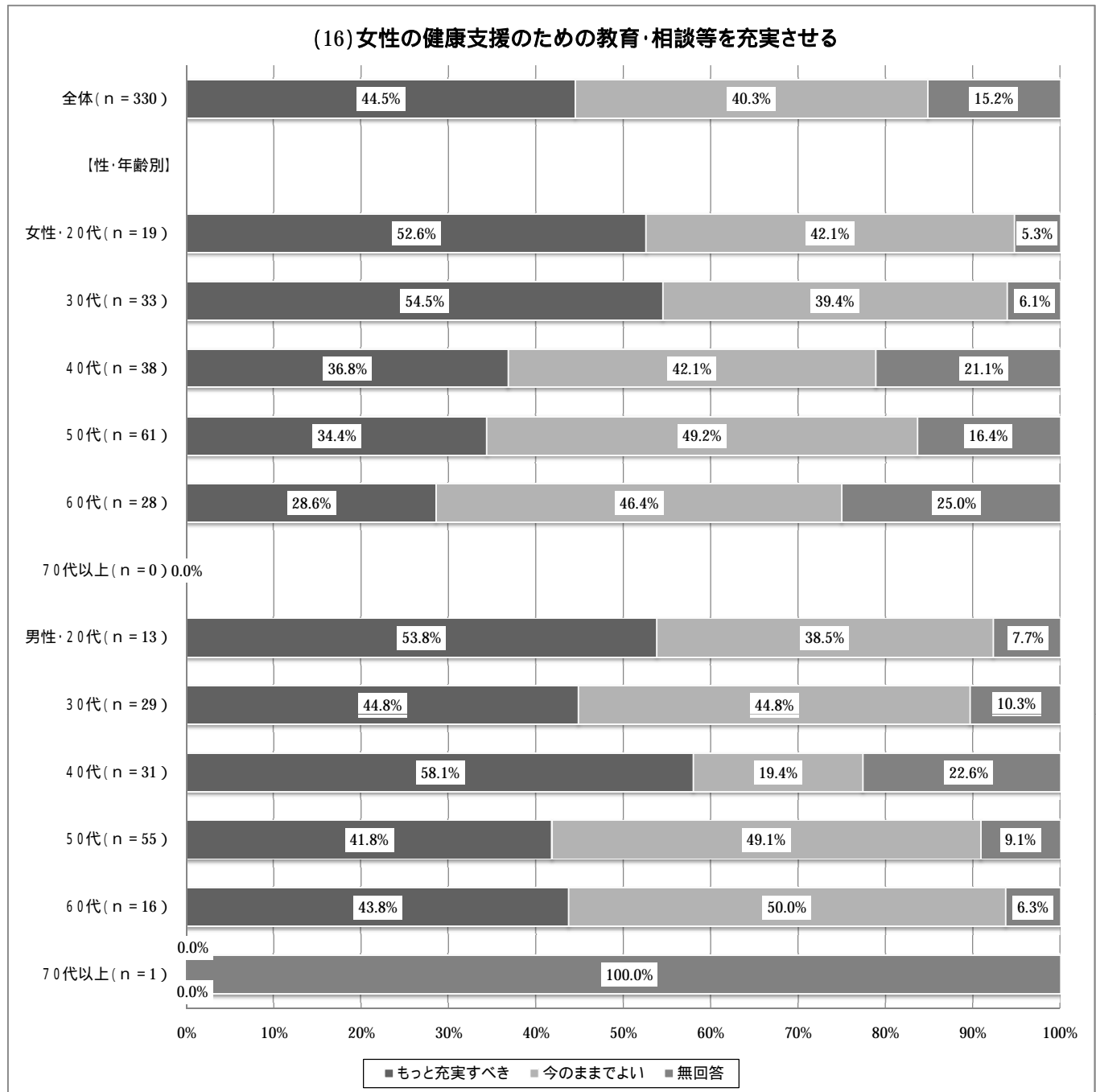
区分	n	今回		前回		比較	
		もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい
全体	330	47.9%	37.0%	32.7%	29.0%	15.2%	8.0%
【性・年齢別】							
女性	20代	19	57.9%	31.6%	55.6%	44.4%	2.3%
	30代	33	54.5%	39.4%	45.5%	36.4%	9.0%
	40代	38	44.7%	28.9%	59.1%	13.6%	-14.4%
	50代	61	36.1%	49.2%	30.8%	43.6%	5.3%
	60代	28	25.0%	46.4%	20.0%	48.6%	5.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	18.4%	21.8%	-18.4%
男性	20代	13	69.2%	30.8%	87.5%	0.0%	-18.3%
	30代	29	41.4%	48.3%	33.3%	41.7%	8.1%
	40代	31	61.3%	19.4%	50.0%	44.4%	11.3%
	50代	55	40.0%	49.1%	48.4%	25.8%	-8.4%
	60代	16	62.5%	31.3%	29.6%	37.0%	32.9%
	70代以上	1	0.0%	0.0%	35.5%	17.7%	-35.5%

(15)メディアにおける人権尊重のための啓発を行う



前回との比較

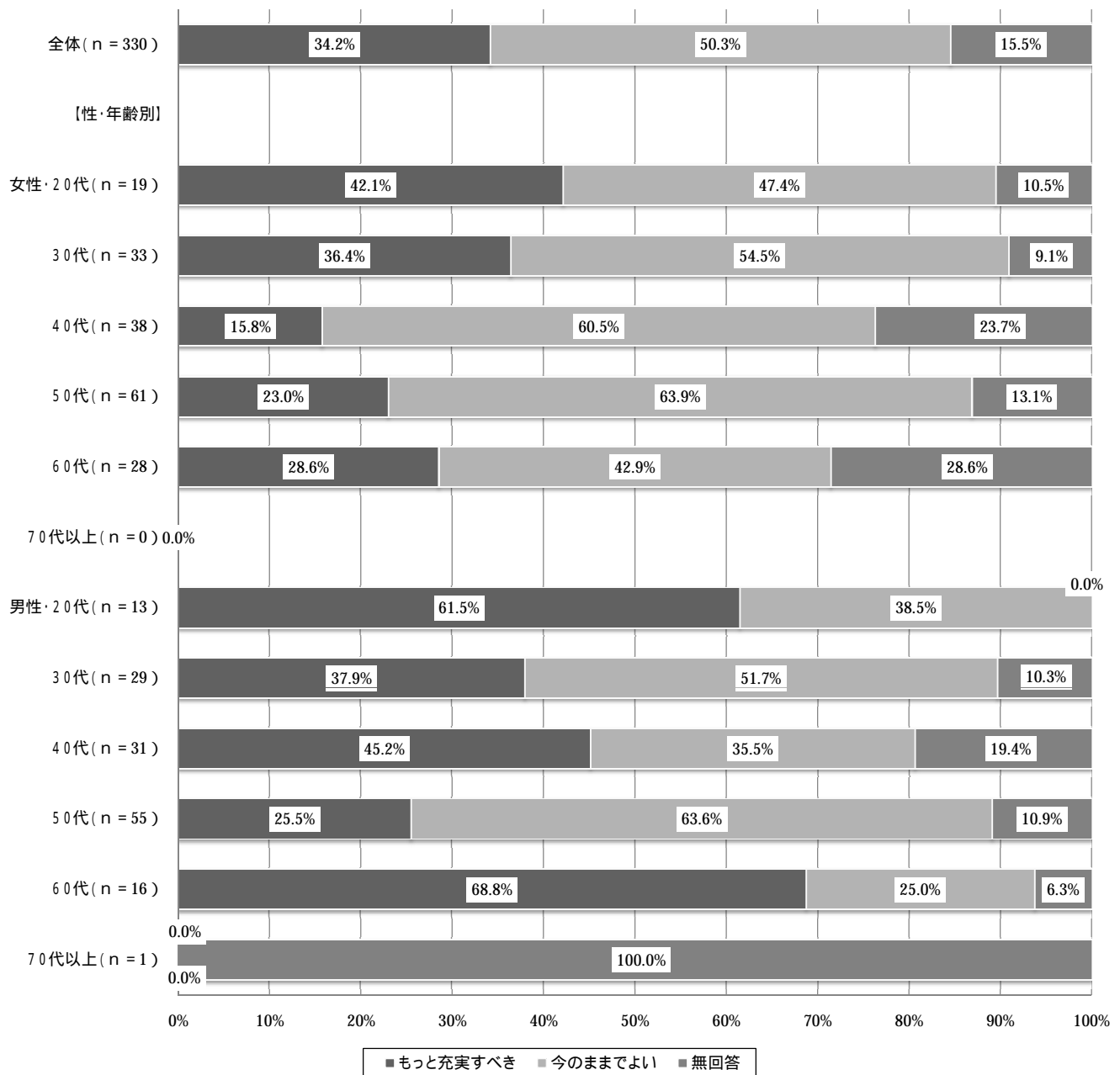
区分	n	今回		前回		比較	
		もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい
全体	330	32.7%	52.1%	26.1%	32.5%	6.6%	19.6%
【性・年齢別】							
女性	20代	42.1%	47.4%	33.3%	66.7%	8.8%	-19.3%
	30代	30.3%	63.6%	27.3%	54.5%	3.0%	9.1%
	40代	21.1%	52.6%	27.3%	40.9%	-6.2%	11.7%
	50代	21.3%	63.9%	30.8%	43.6%	-9.5%	20.3%
	60代	28.6%	42.9%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%
	70代以上	0.0%	0.0%	11.5%	24.1%	-11.5%	-24.1%
男性	20代	53.8%	46.2%	37.5%	50.0%	16.3%	-3.8%
	30代	27.6%	65.5%	41.7%	33.3%	-14.1%	32.2%
	40代	51.6%	29.0%	50.0%	44.4%	1.6%	-15.4%
	50代	30.9%	60.0%	35.5%	29.0%	-4.6%	31.0%
	60代	37.5%	56.3%	18.5%	44.4%	19.0%	11.9%
	70代以上	0.0%	0.0%	35.5%	9.7%	-35.5%	-9.7%



前回との比較

区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい	もっと充 実すべき	今のまま でよい
全体		330	44.5%	40.3%	34.6%	27.2%	9.9%	13.1%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	52.6%	42.1%	88.9%	11.1%	-36.3%	31.0%
	30代	33	54.5%	39.4%	45.5%	36.4%	9.0%	3.0%
	40代	38	36.8%	42.1%	36.4%	27.3%	0.4%	14.8%
	50代	61	34.4%	49.2%	33.3%	43.6%	1.1%	5.6%
	60代	28	28.6%	46.4%	22.9%	48.6%	5.7%	-2.2%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	32.2%	10.3%	-32.2%	-10.3%
男性	20代	13	53.8%	38.5%	37.5%	50.0%	16.3%	-11.5%
	30代	29	44.8%	44.8%	41.7%	33.3%	3.1%	11.5%
	40代	31	58.1%	19.4%	50.0%	44.4%	8.1%	-25.0%
	50代	55	41.8%	49.1%	41.9%	25.8%	-0.1%	23.3%
	60代	16	43.8%	50.0%	33.3%	37.0%	10.5%	13.0%
	70代以上	1	0.0%	0.0%	30.6%	16.1%	-30.6%	-16.1%

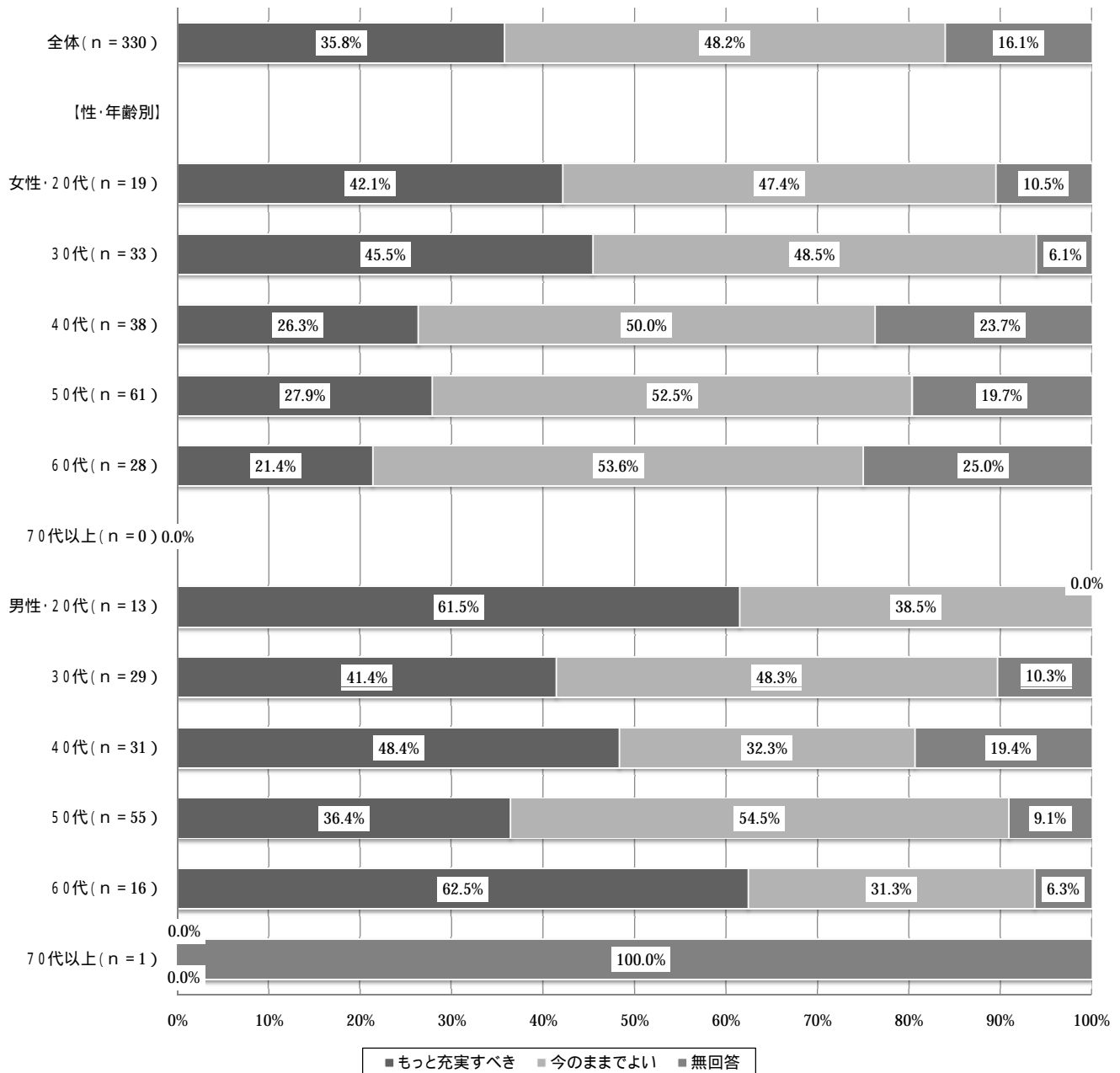
(17)性と生殖に関する健康と権利の意識を浸透させる学習の機会を提供する



前回との比較

区分	n	今回		前回		比較	
		もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい
全体	330	34.2%	50.3%	27.2%	31.9%	7.0%	18.4%
【性・年齢別】							
女性	20代	19	42.1%	47.4%	33.3%	66.7%	8.8%
	30代	33	36.4%	54.5%	36.4%	36.4%	0.0%
	40代	38	15.8%	60.5%	31.8%	36.4%	-16.0%
	50代	61	23.0%	63.9%	35.9%	35.9%	-12.9%
	60代	28	28.6%	42.9%	28.6%	42.9%	0.0%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	8.0%	29.9%	-8.0%
男性	20代	13	61.5%	38.5%	50.0%	37.5%	11.5%
	30代	29	37.9%	51.7%	25.0%	50.0%	12.9%
	40代	31	45.2%	35.5%	55.6%	38.9%	-10.4%
	50代	55	25.5%	63.6%	38.7%	29.0%	-13.2%
	60代	16	68.8%	25.0%	33.3%	33.3%	35.5%
	70代以上	1	0.0%	0.0%	29.0%	16.1%	-29.0%

(18)男女共同参画の国際的な取り組みについて学ぶ機会を提供する



前回との比較

前回との比較

区分		n	今回		前回		比較	
			もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい	もっと充実すべき	今のままでよい
全体		330	35.8%	48.2%	30.6%	29.0%	5.2%	19.2%
【性・年齢別】								
女性	20代	19	42.1%	47.4%	44.4%	55.6%	-2.3%	-8.2%
	30代	33	45.5%	48.5%	54.5%	27.3%	-9.0%	21.2%
	40代	38	26.3%	50.0%	22.7%	40.9%	3.6%	9.1%
	50代	61	27.9%	52.5%	25.6%	48.7%	2.3%	3.8%
	60代	28	21.4%	53.6%	34.3%	37.1%	-12.9%	16.5%
	70代以上	0	0.0%	0.0%	17.2%	19.5%	-17.2%	-19.5%
男性	20代	13	61.5%	38.5%	62.5%	25.0%	-1.0%	13.5%
	30代	29	41.4%	48.3%	33.3%	50.0%	8.1%	-1.7%
	40代	31	48.4%	32.3%	61.1%	33.3%	-12.7%	-1.0%
	50代	55	36.4%	54.5%	38.7%	29.0%	-2.3%	25.5%
	60代	16	62.5%	31.3%	33.3%	33.3%	29.2%	-2.0%
	70代以上	1	0.0%	0.0%	35.5%	11.3%	-35.5%	-11.3%

. 自 由 回 答



## ( 1 ) 男女共同参画について

このような事業をされていることに驚き、すばらしさを感じます。すべて平等でというのではなく、それぞれが自分で選べるのが大切ではと思います。

( 6 0 代、女性 )

このように考えている町に住むことはうれしいかぎりです。今後も期待しています。( 6 0 代、女性 )

男女共同参画ということについては、とてもすばらしい理念なのですが、男性がした方がよい事、女性がした方がよい事があり、家庭や社会がうまく進んで行くと思います。同じ事を分担していくのは、すばらしい面もありますが、秩序が壊れていくようで恐い気がします。難しい問題ですね。( 4 0 代、男性 )

女性の方もばりばりやられて参画されている人も多くおられます。本人の性格等もあり参加しにくい方もおられると思います。私もその類に入ります。

( 4 0 代、女性 )

このことに関する意識は人によって違うと思います。女性についても、自分は社会で男性と同じ役割を望んでいない方も多くいるのではないのでしょうか。私は男ですので本当の所はわかりませんが、そのように感じるところも多々あります。あと、当たり前のことですが、女性も男性も「らしさ」を発揮できることとそうでないことがあるので、すべてを平等にしなくてもよいのではないのでしょうか。しかし、本人が望めばそういった機会は平等に与えるべきでしょう。( 6 0 代、男性 )

「女性の意見を取り入れる」とはよく言うけど、実際には男性が実権を握っているし、社会全体が「それで良い」と思っている。具体的な計画を立てる前に、そういう習慣や意識を変えていかないと、いつまでたっても変わらない、それは日本国民もだが、調整も同じだ。( 3 0 代、女性 )

男女は生まれた時から同じとは考えられない。それぞれの良さから発揮できることを考えていきたい。男の良さ、女の良さはあると思います。お互いを思いやり、協力する、又自分自身向上したいと常に思う気持ちが持てる社会になって行きたいと思う。制度・法律・役割を決めたからよくなるものではないし、「男女共同参画」という言葉はあまり好きではなく、私の中では消化しきれない。

( 5 0 代、女性 )

我々の世代は20代の時に男女機会均等法ができ、女性が社会に出てきましたが、ことごとくその夢を打ち破られ、その上に負け組とまで打ちのめされるのを間近で見ました。行政が旗を振れば出てくるのは、逆差別ばかり。一番大切なことは女性の能力を社会で教育すること、それを計画すること。(40代、女性)

男女は元々身体づくりが違うので、社会において色々な面で差が出てくるのは仕方のないことだと思う。もしも企業の社長であつたら、2人の男女の能力が全く同じなら、男を採用するでしょう。女性の産休の穴埋めはたやすすくないからだ。民間企業は公務員の様な人事に余裕はないので、一人の責任は重い。実際民間に押し付けると(休暇制度等)そのしわ寄せは社員の給与に跳ね返るため、邑南町の民間企業では子供を大学に行かせたり、家を建てたりという全国の都会レベルの生活ができなくなると思う。田舎離れにつながる。我々の生活レベルが公務員の給与並みなら、男女共同参画などという事にも関心が持てるかもしれないが、はっきり言ってどうでも良い。そんな暇はない。(30代、男性)

男女平等ではあるが、男女の違い(絶対的な体力・運動能力の差は大きい)個々の違いをよく考え理解したうえで、男女共同参画をしなければ無理があると思う(完全な男女共同参画には無理がある。男女の根本的な違いがあるから)慣習、社会通念、周囲の目・圧力等によってマヒしていたり、我慢させられたりしていることもあるが、すべての人、家庭一律に男女共同参画が最も大切と唱えるのではなく、家庭や個人の事情、希望等を最優先して、あくまでも誰もが何にも邪魔されず選択することができる雰囲気があるとよい。あまり男女共同参画に偏りすぎると、人によっては、逆にそうでないことに罪悪感を抱いたり、偏見や差別を感じたりすることもある。(50代、男性)

今頑張っておられますので、このままでも?(50代、男性)

一般的には「男だから」「女だから」と区別する職場や社会は、あまり発展していない例が多いです。わが町も、都合が悪い時には「男だから」「女だから」と男性を前面に出したがり、責任を与えたがります。先日も全国の人たちと交流の場があり、発表者を男性にさせたがり、全国一緒なんだなと感じました。女性にはもう少し自信を持ち、都合の悪い時だけ男性に責任を押し付ける風潮を根本から見直すよう、国や社会全体が見直さなければなりません。女性に訴えるだけでは無理ですから、地域で女性リーダーを育てる為の研修を重ねながら、徐々に各種の組織を作るとき重要なポストには男女各々適度な割り当てを始めから決めていく・・・そうして徐々に意識改革を進めなければならないと思う。まだまだ町内に限って言えば、男性の負担が大きいように思えます。(60代、男性)

男女共同参画の取り組みはまず、男性の意識の変化がないと難しいと思ってます。全国的に女性の方もがんばっておられて、最近では男性だから女性だからといった意見は聞かれなくなりましたが、まだ中には女性だから無理だとかそんなことは女性にやらせておけばいい、女のくせになど言っておられる男性の方が少数ではありますがいることも事実です。今回の調査は選挙人名簿から無作為に選んだとありますが、邑南町各家庭に調査票を送って調査してもいいと思います（５０代、男性）

現在の法律等は女性有利に作られているため男性は不利になっている。これでは男女平等とは言えないと思う。同じ賃金等にする場合、女性は許されて男性は許されない場合があるので、平等ではない。（６０代）

「男女」にこだわらず、個人としてとらえていけたらよいと思う。個人の尊重として豊かな生活を目指していけたらと・・・。（５０代、女性）

男女平等、共同参画という言葉はよく聞きますし、様々な活動がされていると思いますが、なかなか意識改革ができていないように思います。女性の甘え「男性に任せておけばよい」「責任が重い」など。まずは女性の覚悟、甘えをなくすところから。特に田舎は根強く残っているので。（４０代、女性）

男女が全く平等である必要はないと思います。それぞれの「らしさ」を生かした生活環境が充実することが望ましいと思います。しかし、個人の意識改革なくしては環境整備だけでは全くの無意味なものになると思います。また、公の場ではそれぞれ求められることも異なるのではないかと思いますし、概念的に「こうあるべき」とか「こうでなくては」という事でもない気がします。（３０代、女性）

## （２）仕事・職場環境について

邑南町役場や島根県内の自治体の男性職員の育児・介護休暇の取得状況を広報で教えてほしいです。（２０代、女性）

女性のスムーズな職場復帰のためにも、男性の育児休暇が取得しやすい環境が必要と感じます。（２０代、女性）

役場等自治体男性職員が率先して育児・介護休暇を取得していかないと浸透しないと思います。（２０代、女性）

Ｉターン・Ｕターンの働き場が少ないと思う。もう少し企業か、働く場を作ってほしい。（４０代、女性）

私の職場において、制度的には平等であり意識的にも男女平等である方は多いと思っています。でも中には、男女平等には扱ってもらってないなぁと感じる上司の方もおられます。男性の上司で、部下が同じことをしても、男性の部下には何も言わず女性の部下には風当たりがきつい人がいます。自分の指示のミスであったのに「女の子に頼んだもので・・・」と部下のせいにして謝っている人もいます。女性の側も。もっと研修したり学習したりしないと、そういう男性に太刀打ちできないと感じます。女性自身が「男尊女卑」の社会通念にからめとられてしまっていることもよくあると思います（「うちの主人に聞いてみないとわかりません」というセリフを断るときに使うとか）邑南町でそういう研修をもっておられるのかどうか、実はあまりよく知らないのですが、これから関心を持って町の広報等に目を通したいと思います。（４０代、男性）

小さい子どもがいるので、病気をしたときなどの休暇の充実を会社、企業でもっと考えてほしい。３歳未満の子供が伝染病にかかった場合、３日休暇がとれる、その間の休業保障。（５０代、女性）

「ファミリーサポートセンター」サービスを望みます。仕事の内容によっては、夜・朝と仕事をしておられる方も多く、女性も男性も働きやすい雰囲気町づくりを願います。転勤者もいます。（６０代、女性）

邑南町へ来る前は広島へいましたが、広島にいた時よりも（自分が働いていた会社や友人の話など）邑南町のほうが育休や産休を取って再び働くという事がしやすい雰囲気があると思います。スポーツサークルや習い事等、いろいろやってみたいことはありますが、情報がわからず、どう調べればいいのかもよくわからないので、もっと情報提供があれば助かります。（５０代、男性）

会社などで管理職あるいは責任ある仕事についてもらうとき、しり込みしてうまくいかない。やはり女性自身の考え方（気持ち）変えてもらわないと、いつまでたっても同じことだと思っています。男女平等が言われてからずいぶん経ちますが、なかなか変わっていかないのは、この辺が影響しているのではないのでしょうか。

（４０代、女性）

### （３）仕事と家庭生活、地域活動について

一人暮らしで不定休の仕事をしていると、近所の付き合いもなくなり、地域の催し物への参加もできず、なんとなく疎外感を感じているこの頃です。

（５０代、女性）

気軽に参加できるサークルや交流の場の情報提供がもっと増えれば、まだまだ社会に役に立ちたい、働きたい行動をおこせないでいる人の参加が増えるのではないのでしょうか？（５０代、女性）

よく男性が家庭において家事を平等に負担すべきなどと意見がありますが、同等に女性にも責任ある仕事や活動という義務が発生すると思うのですが、その義務を負うことを嫌う女性も多いと感じます。男が積極的に家庭内のことも分担するのも大事ですが、女性にも職場や地域で責任を負うことができる様意識改革が必要と思います。（４０代、女性）

女性ばかりではなく、男性にも同じようなサービスを。男性も女性も性別関係なく、輝ける地域、職場であってほしいと願います。（４０代、女性）

それぞれの家庭においてそれぞれの役割があり、みんな同じとは限らない。男と女が全く平等にはならないと思います。（３０代、男性）

私自身についてのことですが、自身の家事能力が低いため、家庭内で妻に頼らざるを得ない面が多くあります。結果妻の家事分担が多くなり、妻の負担が増加していると思います。そこで家庭内で妻の負担を低減し、社会参画を進めるために、男性の家事能力を向上させる取り組みがあるとよいと思います。例えば、「主夫検定」とか「家事検定」などを行い、能力向上も目指す取り組みはいかがでしょう。ちなみに、我が家では、妻認定の主夫検定を行っています。（４０代、女性）

職場でも家庭でも具体的な事実で判断していただきたい。職場において職務を果たしたり実績をあげていけば、まずそこを評価していただきたい。そこはさておいて「女性だから」ということで昇進できなかったり、適切な評価を受けられないのはおかしいと思う。仕事や職場に対する貢献意欲を低下し、ひいては社会を前進する力が弱まると思う。

高齢の男性は、社会とのかかわりが少なくなりがちなので、家に閉じこもりがちになりやすい。本人の精神的にもよくない。そのため配偶者の負担が増えるような気がします。（２０代、男性）

#### （４）保育、教育、子育て環境、介護について

子どもが放課後または保育園の延長時間について、もっと充実するべきです。このままじゃ何も役には立ちません。（２０代、男性）

子育て支援にも関係あるが、行政は企業に対し、もっと子育てしやすいよう、休暇制度や就労状況の改善などを働きかけてほしい。いくら町民の意識が高揚しても、企業が今までと変わらなければ意味がない。日本一の子育て村を目指す邑南町として、ぜひ取り組んでほしい。(50代、女性)

男女のことだけでなく、大切なのは次世代を担う子どもです。子どもを0歳から預けてそれで子育てといえるのでしょうか。愛情のない子どもがその土地を愛して親を介護するのでしょうか。女性が社会へ出るのはいいいですが、社会に出なくても安心して子どもを育てられることが大切です。また夫婦の会話、コミュニケーションも。家族が壊れているのに社会だけ安定、平和になることはありません。

(50代、男性)

女性が家の外で活躍しようとする、どうしても子供が犠牲になるような気がする。小さい子にとって母性は大切なものであり、人間形成の基礎になるもので、母親という役割を十分に果たしてほしいと思うのは古い考えなのかもしれないが……。生まれて間もない赤ちゃんが男女で興味を示すものが違うように、男女の能力の違いはあるはずである。持っている能力を十分に発揮することができる環境を作ることが大切だと思う。育児・家事・介護の仕事の社会的地位の向上が大切だと思う。汗を流して働くことや、パソコンが使えるのが優れているのではない。外でバリバリ働けるのは、家庭をきちんと守ってくれる人がいるからだという感謝の気持ちと言葉があれば、参画なんて必要ないと思うがー。子どもをきちんとした人間に成長させていくことが一番必要な仕事だと思うのだが、わりと軽く見られている気がしてならない。教育次第で町は発展していくのでは？(30代、男性)

夫婦共働きで妻も家庭を支え協力しているのに、育児や介護はなかなか夫に協力してもらえない。育児のほうは若かったので必死にやってきたが、介護のほうは「自分の親だから大事にしてくれ」というばかりで、下の世話など全部妻にやらせ、夫は見て見ぬふり。自分の親だからというのなら、妻がやれないときは、もっと協力してほしいと願います。90歳近い両親と同居して、女は家庭の中、男は台所に入るべからず、そういう風習はなかなか解けません。(40代、女性)

今までは勤めていたので、地域の事にあまり参加できなかった。姑さんの介護にて定年まで勤めることができず、その後、介護の上に看取った。今では最後まで看取ることができ、嫁として良かったと思う。それも医療、地域、家族の協力を得ながらであり、とても一人ではできないこととつくづく感じました。家族も夫婦も介護を通じて、暗黙の状態になることも……。なんで私ばかり・・・家を空けるにはすべてして・・・出ないとやれない。精神がおかしくなると思いつつ、人には言えず……。そこに地域の集まりに参加して自分の居場所見つけた時には、別世界にいるようで

した。些細なことだが、私の心を大きくしてくれ・・・また優しく接することができた。人間一人では生きられない～協力をしながら生きてゆくことである。だからこそ主婦が出やすい計画をしていただきたい。人と話すことって大切ですね。

( 40代、男性 )

問19の9についてですが(介護)昨年9月まで看護師さんヘルパーさんにお世話になりました。在宅介護者の家族にとっては、介護を手伝っていただき、助けていただき、感謝いたし、良い制度だなあと痛感しております。しかし契約した仕事の内容しかしていただけなく、その点残念に思いました。それは契約した仕事で(今日は)ほかの仕事をお願いしたいと思い依頼すると、契約されていない仕事なので断られました。時間内に契約した仕事の中で、契約した仕事の代わりに、ほかの仕事(介護を受けている人に関係する仕事)ができるようになれば良いように思いました。共稼ぎを行っている家庭は、男女ともに助け合っていないといけないと思います(女性に負担がかかるため)各家庭で話し合いをし、役割分担をすることが大切だと思います。女性自身も意識改革をし(女性だから女の子だからという甘い考えを)これからの女の子にも男の子と同じように学力をつけさせてゆくことが大切だと思います。そして能力のある女性は、大いに社会で男性と同じように、行政または一般の仕事でリーダーに登用され、力を発揮することができたらいいなあと思います。行政側も力のある女性(能力のある女性)が採用されるようにしていただいていると思うのですが、そうでない点がありましたらできるようにしていただきたいと思います。(50代、女性)

何かしたいと思っても、子供のことがふっとよぎってなかなか前に進めなかったりします。子どもとの時間をどうやりくりするかが、私にとっての男女共同参画になるのかなと思いました。

## (5)健康について

自分が年齢が高くなってきたせいか感じるのですが、パソコン等の作業が多くなってきて、若いお母さんたちは体力が低下してきていると思います。又、今のお母さんたちはスタイルはいいのですが、若い時のダイエットで子宮等の発育が悪くなり、今は赤ちゃんが子宮の中で大きく育たない病気も出てきております。「男女共同参画」という言葉は格好よく良いことではありますが、私としては女性らしいといえば「食生活」から切り離すことができないと思います。又家を守り、健康のことを考えたら、家庭が暖かであれば、家族全員笑顔が出ると思います。女性も社会に出て設けることも必要であります。時間がなかったら(30代、男性)

## ( 6 ) 行政について

相談に行ったとき（してる時）上から目線で話すことはやめてください。相談に乗っている態度ではありません。（ 30 代、男性）

他地域の先進的な取り組みなどを広報等で連載のようにお知らせする取り組みはどうでしょう。（ 50 代、女性）

特にありませんが、このような問題は意識の問題であり、行政があまり関与しないほうがいいと思う。社会意識が変化してくれば、当然世の中も変わるものだと思う。調査としてはよろしいが、これがすべてではないし、女性のほうから積極的な考えが出てくるのでは？（ 50 代、女性）

邑南町も高知県のようになにか女性、男性を問わず生涯元気に働くことのできるものを提供することができたら、素晴らしいと思います。地域、個人で参加でき、その余暇が趣味（旅行、サークル）であれば、毎日が充実して生き生きと生活でき、社会とのかかわりも失われないのではと思います。（ 40 代、男性）

## ( 7 ) アンケートと計画について

ジェンダーというのは性差という意味で、ジェンダー問題の一般的解釈は、男女平等にあると思うのですが、決して女性を優遇するような問題ではなく、平等化をはかるのでしたら質問内容を変えたほうがよいと思います。逆に、男性が差別されない職場が全く触れていないのは何故なのか？（ 20 代、男性）

アンケートの内容を検討された方がよいと思います。（ 20 代、男性）

何故 800 人に人数をしぼったのか？全員に聞いてみるべきではないかとまづ思った。（ 40 代、男性）

封筒が小さすぎて入れにくいです。（ 50 代、女性）

この資料を作られた方は、良くわかっていらっしゃると思います。即その様にしてください。（ 50 代、男性）

ありがとうございました。（ 50 代、女性）

アンケート用紙と返信用封筒の大きさが違うのに配慮がないなと感じました。も



う少し大きめの封筒を用意すべき。このギャップが、行政不信につながる。共同参画も気配りでしょうが・・・！！（４０代、男性）

封筒が小さすぎて入れるのに困難。用紙を３つ折りに入れるような大きさにしてほしい。（６０代）

用紙の入れやすい封筒だったらありがたかったのですが・・・。（６０代、女性）

若い世代の夫婦と高齢夫婦ではどのように意識の違いがあるのか、今回の調査で分かれば興味深いです。ぜひ意識調査の内容を生かした計画の見直しをしてください。ちなみにわたくしが子供のころを思い出すと、学校から帰って母が「お帰り」と言ってくれる日はとても心が安らいだと思います。なぜ共稼ぎをするのかその目的は子供の時代の母親がいてくれるという安心感を奪うだけの価値があるのでしょうか。外へ出たい女性の思いを実現しやすい環境整備は大事と思いますが、過去のしきたりを議論なく否定することは間違っていると思います。（女性）

返信用封筒が小さくないですか？せめて三つ折り封筒で。（３０代、男性）

## . 参 考 资 料

## 男女共同参画に関する町民の意識調査

——— ご協力のお願い ———

皆さまには、日ごろから町行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

邑南町では、男性と女性がともにお互いの人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指し、平成19年3月に「邑南町男女共同参画計画」を策定し、取り組みを進めてまいりました。

この度の調査は、「邑南町男女共同参画計画」の策定にあたり行いました平成17年7月の意識調査以降、町民の皆さんの生活実態や意識がどのように変わっているのかを調査し、今後の計画の見直しなどの基礎資料とするものです。

お忙しいこととは存じますが、調査の目的をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、町内にお住いの満20歳以上の方800人を選挙人名簿から無作為に選ばせていただきました。

回答はすべて無記名で、個々のお答えの内容が外部にもれたりなど、ご迷惑をおかけすることは一切ありません。

記入された調査票は、同封の返信用封筒に入れて、10月14日（金）までに、ご返送ください。お名前やご住所はお書きにならないでください。切手は不要です。

この調査の集計結果は広報でお知らせします。

ご質問などございましたら、下記にお問い合わせください。

問い合わせ先  
邑南町役場町民課  
電話 95 - 1114  
I P 050 - 5207 - 3006

## あなたご自身やご家族についておたずねします

(あてはまるものに )

あなたの性別は

- 1 . 女性                      2 . 男性

年代 (おとしはおいくつですか。)

- 1 . 20代    2 . 30代    3 . 40代    4 . 50代    5 . 60代    6 . 70代以上

あなたの仕事 (職業) は、次の中のどれですか。(主なものに )

勤め人	1 . 常勤	家族従業者	5 . 農林漁業	
	2 . パート、臨時、非常勤		6 . その他の業種	
自営業主	3 . 農林漁業	その他	7 . 主婦、主夫(家事専業)	
	4 . その他の業種		8 . 学生	
			9 . 無職(年金生活者など)	

あなたには現在配偶者がいますか。

- 1 . 配偶者がいる      2 . 配偶者とは離別・死別      3 . 結婚したことはない

( で「1 . 配偶者がいる」と回答された方にうかがいます。)

あなたは共働きをしていますか。

- 1 . 共働きをしている      2 . 共働きをしていない

あなたの配偶者の方のお仕事は、次の中のどれですか。(主なものに )

勤め人	1 . 常勤	家族従業者	5 . 農林漁業	
	2 . パート、臨時、非常勤		6 . その他の業種	
自営業主	3 . 農林漁業	その他	7 . 主婦、主夫(家事専業)	
	4 . その他の業種		8 . 学生	
			9 . 無職(年金生活者など)	

(全員の方にうかがいます。)

あなたの世帯は、次のうちどれですか。

- 1 . 自分だけの単身世帯                      4 . 三世代以上の世帯  
2 . 夫婦だけの世帯                          5 . その他 (                                      )  
3 . 親子二世代にわたる世帯

あなたのお住いは、どちらですか。

- 1 . 羽須美地域                      2 . 瑞穂地域                      3 . 石見地域

## 男女の役割などについておたずねします

問1 次にあげることがらについて、あなたはどのように思いますか。

( はそれぞれ1つずつ )

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
(1) 男は外で働き、女は家庭を守るべき				
(2) 女性は文系、男性は理系の分野が向いている				
(3) 自治会などの団体の代表者は、男性の方がうまくいく				
(4) 女性には細やかな気配りが、男性にはいざという時の決断力が必要だ				
(5) 子育ては、やはり母親でなくてはと思う				
(6) 女性は結婚したら、自分自身のことよりも、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい				
(7) 子どもは、女の子らしさ、男の子らしさにこだわらず個性を重視して育てた方がよい				
(8) 責任ある仕事は男性の方が頼れる				
(9) 女性の上司の下では働きにくい				

問2 次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

( はそれぞれ1つずつ )

	女性の方が非常に優遇されている	どちらかと言え ば男性の方が優遇されている	平等	どちらかと言え ば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている
(1) 家庭で					
(2) 職場で					
(3) 地域活動で					
(4) 学校教育の場で					
(5) 政治の場で					
(6) 法律や制度上で					
(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで					

問3 では、社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。  
( は1つ )

- 1 . 男性の方が非常に優遇されている
- 2 . どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- 3 . 平等
- 4 . どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- 5 . 女性の方が非常に優遇されている

( 問3で「1 . 男性の方が非常に優遇されている」「2 . どちらかと言えば男性の方が優遇されている」と回答された方にききます。それ以外の方は問5へ )

問4 男性の方が優遇されている原因は何だと思いますか。  
( はいくつでも )

- 1 . 男女の役割分担についての社会通念・慣習・しきたりなどが根強いから
- 2 . 仕事優先、企業中心の考え方が根強いから
- 3 . 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分ではないから
- 4 . 育児・介護などを男女が共に担うための制度やサービスが整備されていないから
- 5 . 能力を発揮している女性を適正に評価する仕組みが欠けているから
- 6 . 男女の平等について、男性の問題意識が低いから
- 7 . 男女の差別を人権の問題としてとらえる意識が低いから
- 8 . 男女の平等について、女性の問題意識が低いから
- 9 . 女性の意欲や能力が男性に比べて劣っているから
- 10 . 専業主婦に有利な税制や社会保障制度などが性別役割分担を助長しているから
- 11 . その他 ( 具体的に )

## 女性の社会参画についておたずねします

「参画」とは、単なる参加ではなく、より積極的に意思決定過程に加わるという意味です。

(全員の方にうかがいます)

問5 女性の社会参画を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
(はいくつでも)

1. 男性も女性も対等に、仕事と家庭の両立を支援する体制の整備を図る
2. 女性が社会参画できるような学習や訓練の機会を増やす
3. 家事、育児、介護などの家族的責任を男性(夫)にも平等に担ってもらう
4. 女性の社会参画に関する情報が身近にわかるようにする
5. 学校で女性の社会参画の必要性を教える
6. 女性の社会参画を進めるための啓発活動をする
7. 家庭内で女性の社会参画の必要性を教える
8. その他(具体的に )
9. 特に必要はない

問6 あなたは、町の施策について女性の意見や考えがどの程度反映されていると思いますか。  
(は1つ)

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 1. 十分反映されている   | 3. あまり反映されていない        |
| 2. ある程度反映されている | 4. ほとんど(まったく)反映されていない |

(問6で「3.あまり反映されていない」「4.ほとんど(まったく)反映されていない」と回答された方にききます。それ以外の方は問8へ)

問7 町の施策に女性の意見や考えが反映されていないと思う理由は何ですか。  
(はいくつでも)

1. 町議会や行政機関などの政策・方針決定の場に女性が少ないから
2. 女性の意見や考えに対して町議会や行政機関の関心が薄いから
3. 女性自身の関心が薄いから
4. 女性の意見や考えが期待されていないから
5. 町の審議会などの委員に女性が少ないから
6. 女性からの働きかけが十分ではないから
7. その他(具体的に )

## 仕事についておたずねします

(全員の方にうかがいます)

問8 一般的に女性と仕事について、あなたはどのようにお考えですか。

( は1つ )

- 1 . 女性は仕事に就かない方がよい
- 2 . 結婚するまでは、仕事を続ける方がよい
- 3 . 子どもができるまでは、仕事を続ける方がよい
- 4 . 子どもができてみずっと仕事を続ける方がよい
- 5 . 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事に就く方がよい
- 6 . その他 ( 具体的に )

問9 一般的に女性は現在働き続けやすい状況にあると思いますか。

( は1つ )

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 . 働き続けやすい         | 3 . どちらかと言えば働き続けにくい |
| 2 . どちらかと言えば働き続けやすい | 4 . 働き続けにくい         |

(問9で「3 . どちらかと言えば働き続けにくい」「4 . 働き続けにくい」と回答された方にききます。それ以外の方は問11へ)

問10 働き続けにくいと思うのはどのような理由からですか。

( はいくつでも )

- 1 . 育児・介護施設が十分に整備されていない
- 2 . 短期契約・パートタイム・臨時雇いなど不安定な雇用形態が多い
- 3 . 女性自身に働き続けようとする意識が低い
- 4 . 家族の理解や協力が得にくい
- 5 . 結婚・出産退職の慣行がある
- 6 . 長時間労働や残業がある
- 7 . 女性は補助的な仕事しか任せてもらえない
- 8 . 女性自身の知識や技術が不足している
- 9 . 賃金・昇進などに男女で不平等な取り扱いがある
- 10 . 育児・介護休暇などの制度を利用しにくい雰囲気がある
- 11 . 職場でセクシャル・ハラスメントがある
- 12 . その他 ( 具体的に )



## 仕事と家庭生活、地域活動についておたずねします

(全員の方にうかがいます)

問11 (1) 女性、(2) 男性、それぞれの生き方として、最も望ましいと思うものはどれですか。

( はそれぞれ1つずつ)

(1) 女性の生き方

1. 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する
2. 家庭生活または地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる
3. 家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる
4. 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる
5. 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する

(2) 男性の生き方

1. 家庭生活または地域活動よりも、仕事に専念する
2. 家庭生活または地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる
3. 家庭生活または地域活動と仕事を同じように両立させる
4. 仕事にも携わるが、家庭生活または地域活動を優先させる
5. 仕事よりも、家庭生活または地域活動に専念する

(配偶者がいらっしゃる方にききます。それ以外の方は問13へ)

問12 家庭の中で次の仕事は主にどなたが担当されていますか。

( はそれぞれ1つずつ)

	多い 妻が することが	度 妻と夫 分担が 同じ程	多い 夫が することが	主に親や子ども など夫婦以外	ない 該当する仕事は
(1) 食事のしたく					
(2) 食事のかたづけ					
(3) 洗濯					
(4) 掃除					
(5) 日常の買い物					
(6) 小さい子どもの世話					
(7) 介護の必要な高齢者・病人の世話					
(8) 家庭における重大な事柄の決定					
(9) 地域活動への参加(自治会・PTAなど)					

(全員の方向けに)

問13 今後、男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(はいくつでも)

1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
2. 夫婦の間で家事などを分担するように十分話し合うこと
3. 企業などが労働時間短縮や休暇制度の充実に努めること
4. 家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること
5. 企業中心という社会全体の仕組みを改めること
6. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
7. 男性の女性をとりまく問題に対する関心を高めること
8. 妻が、夫に経済力や出世を求めないこと
9. その他(具体的に )
10. 特に必要ない

問14 あなたは、現在仕事以外で何か活動をしていますか。

(はいくつでも)

1. ボランティア(社会奉仕など)活動
2. 消費者、住民運動
3. PTA、子ども会活動
4. 婦人会、自治会などの地域活動
5. スポーツサークル活動
6. 文化、教養、学習活動
7. 宗教活動
8. 政治活動
9. その他(具体的に )
10. どれにも参加していない

(問14で「10. どれにも参加していない」と回答された方にききます。それ以外の方は問16へ)

問15 参加していない主な理由は次のどれにあたりますか。

( はいくつでも )

- 1 . 仕事が忙しくて時間がないから
- 2 . 家事が忙しくて時間がないから
- 3 . 子どもを預けるところがないから
- 4 . 参加するきっかけがつかめないから
- 5 . 家族の理解、協力がいないから
- 6 . 経費がかかるから
- 7 . 知識や技術がなくて不安だから
- 8 . 人間関係がわずらわしいから
- 9 . 体が丈夫でないから
- 10 . 活動の情報がないから
- 11 . 高齢者や病人の介護があるから
- 12 . 一緒にやる友人がいないから
- 13 . 関心がないから
- 14 . その他 ( 具体的に

)

問16 今後、参加してみたい活動は何ですか。

( はいくつでも )

- 1 . ボランティア ( 社会奉仕など ) 活動
- 2 . 消費者、住民運動
- 3 . P T A、子ども会活動
- 4 . 婦人会、自治会などの地域活動
- 5 . スポーツサークル活動
- 6 . 文化、教養、学習活動
- 7 . 宗教活動
- 8 . 政治活動
- 9 . その他 ( 具体的に
- 10 . どれにも参加したくない

)

## 女性の人権についておたずねします

---

(全員の方にうかがいます)

問17 セクシュアル・ハラスメント(性的ないやがらせ)について被害を経験したり見聞きしたことがありますか。

( は1つ)

1. 直接経験したことがある
2. 直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる
3. 直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている
4. セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)という言葉聞いたことはある
5. そういう言葉は今まで聞いたことがない

問18 ドメスティック・バイオレンスが問題になっていますが、あなたは、夫婦や恋人・パートナーの間での暴力について被害を経験したり見聞きしたことはありますか。

ドメスティック・バイオレンスとは、夫や恋人など親密な関係にある男性から女性に対してふるわれる身体的・心理的・性的な暴力のことです。

( は1つ)

1. 直接経験したことがある
2. 直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる
3. 直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている
4. ドメスティック・バイオレンス(DV)という言葉聞いたことはある
5. そういう言葉は今まで聞いたことがない

## 男女共同参画政策についておたずねします

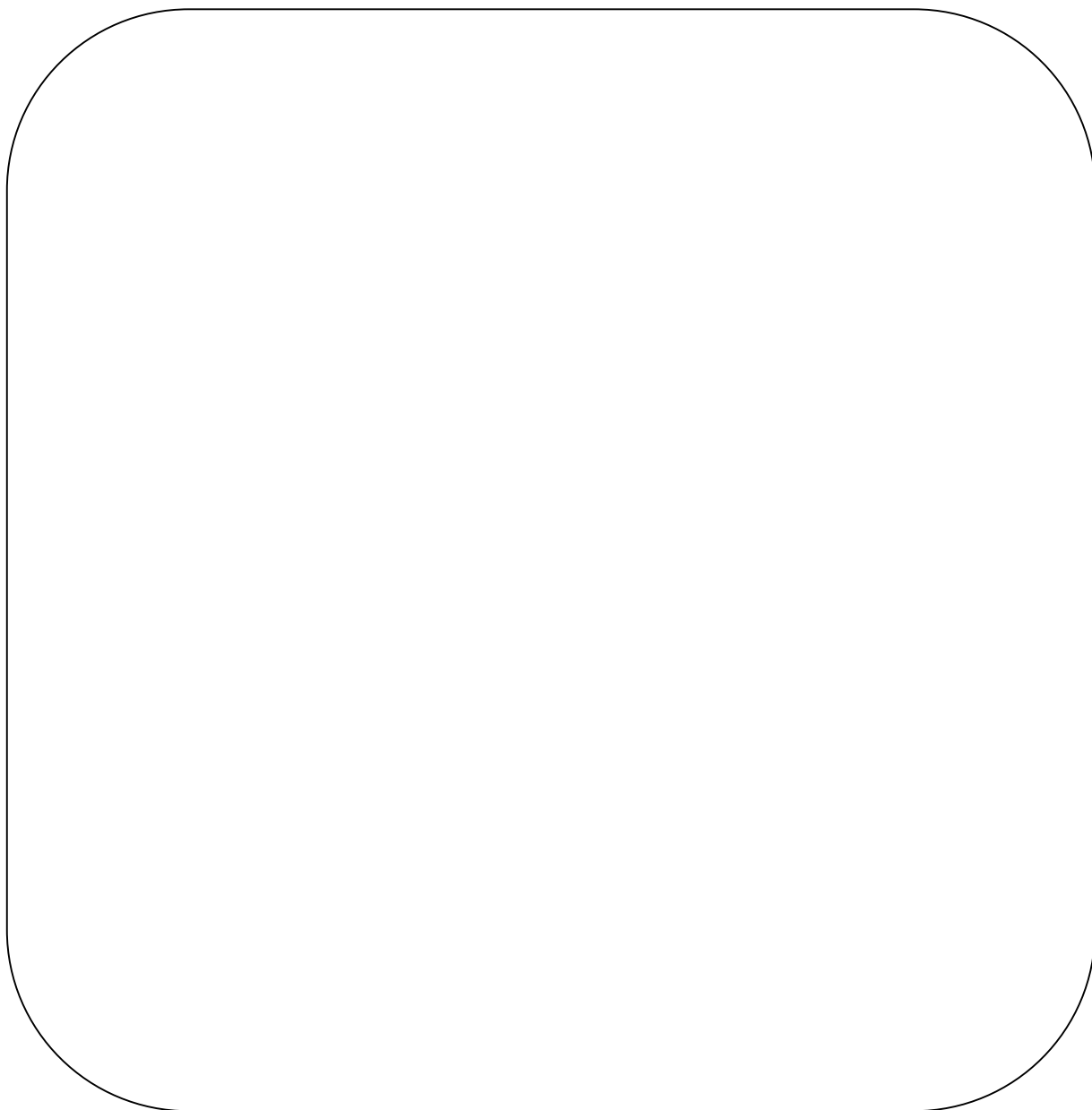
問19 あなたは、町に対してどのような男女共同参画政策を望みますか。

( はそれぞれ1つ )

	す も と と 充 実 す べ き	よ い 今 の ま ま で
( 1 ) 固定的な役割分担意識にとらわれた社会通念・慣習の見直しに向け、学習・教育を進める		
( 2 ) 広報・啓発活動を通じて意識改革を行う		
( 3 ) 男女共同参画に対する女性の意識を高める		
( 4 ) 町の審議会などに女性を多く登用する		
( 5 ) 地域リーダーとして活躍できる女性の人材育成を進める		
( 6 ) 女性グループのネットワークづくりを進める		
( 7 ) 各種機関や団体、企業等における女性の登用を呼びかけていく		
( 8 ) 子育て支援対策を充実させる(保育サービスの充実・放課後児童クラブの充実など)		
( 9 ) 介護サービスを充実させる		
( 10 ) 男女ともに育児・介護休暇が取得しやすい職場環境の整備を企業等に呼びかけていく		
( 11 ) 男女に均等な雇用環境の整備を企業等に呼びかけていく		
( 12 ) 農林業・自営業等における女性の就業環境を充実させる		
( 13 ) 女性高齢者の就業機会の提供など、自立の支援を行う		
( 14 ) 女性に対する暴力根絶のため、相談窓口を設置する		
( 15 ) メディアにおける人権尊重のための啓発を行う		
( 16 ) 女性の健康支援のための教育・相談等を充実させる		
( 17 ) 性と生殖に関する健康と権利の意識を浸透させる学習の機会を提供する		
( 18 ) 男女共同参画の国際的な取り組みについて学ぶ機会を提供する		

その他、「男女共同参画」に対するご意見、ご質問など、何でも結構です。ご自由にみなさんの声を聞かせてください。

具体的に、こういったことをしたらいい、計画にこういった内容を入れたらいい、生活の中で疑問に感じることなど、なんでも結構です。お書きください。



ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて

10月14日（金）までに

投函してください。